

Hitachi Automation Director

メッセージ

4010-1J-014-80

対象製品

Hitachi Automation Director 10.6.1

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>). This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ, Now, その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (<http://relaxngcc.sf.net/>). This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

This product includes software developed by Andy Clark.

本製品は、米国 EMC コーポレーションの RSA BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

HITACHI
Inspire the Next

 株式会社 日立製作所



発行

2021年7月 4010-1J-014-80

著作権

All Rights Reserved. Copyright © 2019, 2021, Hitachi, Ltd.



目次

はじめに.....	9
対象読者.....	10
マニュアルの構成.....	10
マイクロソフト製品の表記について.....	10
関連マニュアル.....	10
KB（キロバイト）などの単位表記について.....	10
1. メッセージの概要.....	11
1.1 メッセージ構文.....	12
1.2 メッセージ ID の形式と種類.....	12
2. メッセージ一覧.....	13
2.1 メッセージ一覧（Automation Director）.....	14



表目次

表 1-1 メッセージ ID の種類と説明.....	12
----------------------------	----



はじめに

このマニュアルは Hitachi Automation Director に関する情報を提供します。

- 対象読者
- マニュアルの構成
- マイクロソフト製品の表記について
- 関連マニュアル
- KB（キロバイト）などの単位表記について

対象読者

このマニュアルの説明は、ストレージ環境内のストレージ、サービス、およびアプリケーションの責任者であるストレージ管理者を対象としています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

第1章 メッセージの概要

Automation Director が出力するメッセージの出力先や形式など、メッセージの概要について説明しています。

第2章 メッセージ一覧

Automation Director が出力するメッセージの内容について説明しています。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Internet Explorer	Internet Explorer®
Windows	次の製品を区別する必要がある場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none">• Microsoft® Windows Server® 2008 R2• Microsoft® Windows Server® 2012• Microsoft® Windows Server® 2012 R2• Microsoft® Windows Server® 2016• Microsoft® Windows Server® 2019

関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- *Hitachi Automation Director ユーザーズガイド* (4010-1J-010)
- *Hitachi Automation Director インストールガイド* (4010-1J-011)
- *Hitachi Automation Director Service Builder ユーザーズガイド* (4010-1J-013)

KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）は、それぞれ1KiB（キビバイト）、1MiB（メビバイト）、1GiB（ギビバイト）、1TiB（テビバイト）と読み替えてください。

1KiB、1MiB、1GiB、1TiB は、それぞれ 1,024 バイト、1,024KiB、1,024MiB、1,024GiB です。

メッセージの概要

Automation Director では、各種イベント（インストール、実行中のタスク、およびシステムエラーなど）に関するメッセージが生成されます。メッセージ内の情報を利用することで、システムの状態の確認や、システム上の問題の解決が可能です。

KNAE または KAIA というプレフィックス以外のメッセージの詳細は、『*Hitachi Command Suite* メッセージ』を参照してください。

- 1.1 メッセージ構文
- 1.2 メッセージ ID の形式と種類

1.1 メッセージ構文

Automation Director で生成されたメッセージは、管理クライアントユーザーインターフェイスに表示され、製品ログファイルに記録されます。メッセージは、メッセージ ID とメッセージテキストから構成されます。

コンポーネントによっては、日時およびプログラム名も出力されます。

1.2 メッセージ ID の形式と種類

メッセージ ID の形式を以下に示します。

プレフィックス nnnnn-Z

プレフィックス

メッセージを生成する構成要素（この場合 Automation Director）を示します。

nnnnn

メッセージの通し番号です。

-Z

メッセージの種類を示します。メッセージによっては、メッセージの種類が含まれていない場合もあります。メッセージの種類と意味は次のとおりです。

I : (Information) ユーザーに情報を通知します。

Q : (Question) ユーザーに回答を促します。

W : (Warning) 処理は続行されますが、特定の制限があることを通知します。

E : (Error) エラーのため処理を続行できないことを通知します。

表 1-1 メッセージ ID の種類と説明

メッセージ ID	説明
KNAE00001-KNAE01999	ユーザーによる操作に関連するメッセージです。
KNAE02000-KNAE02999	監査ログに関連するメッセージです。
KNAE03000-KNAE03999	ユーザーによる操作に関連するメッセージです。
KNAE04000-KNAE04999	製品のインストールに関連するメッセージです。
KNAE05000-KNAE05999	ユーザーによる操作に関連するメッセージです。
KNAE06500-KNAE08999	タスクの実行に関連するメッセージです。
KNAE09000-KNAE23999	ユーザーによる操作に関連するメッセージです。
KAIA00000-KAIA01999	タスクの実行に関連するメッセージです。

エラーメッセージの説明とともに、推奨される対処が適宜提供されます。エラーメッセージ内に対処として「顧客問い合わせ窓口にお問い合わせください」が表示された場合は、『Hitachi Automation Director ユーザーズガイド』を参照し、関連する保守情報を収集してご連絡ください。

メッセージ一覧

この章では、Automation Director が出力するメッセージについて説明します。

- 2.1 メッセージ一覧 (Automation Director)

2.1 メッセージ一覧 (Automation Director)

メッセージID	メッセージの内容
KNAE00001-E	ログインできませんでした。 [原因] ユーザー ID およびパスワードが入力されていません。 [対処] ユーザー ID およびパスワードを入力してください。
KNAE00002-E	ログインできませんでした。 [原因] ユーザー ID が入力されていません。 [対処] ユーザー ID を入力してください。
KNAE00003-E	ログインできませんでした。 [原因] パスワードが入力されていません。 [対処] パスワードを入力してください。
KNAE00004-E	ログインできませんでした。 [原因] ユーザー認証に失敗、またはサービスグループへの権限がありません。 [対処] 次を確認してください。 ・ユーザー ID、パスワードが正しく入力されているか。 ・サービスグループに対する権限が正しく設定されているか。
KNAE00004-E	ログインできませんでした。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ユーザー認証に失敗しました。 ・サービスグループへの権限がありません。 ・認証サーバへの接続に失敗しました。 [対処] 次を確認してください。 ・ユーザー ID、パスワードが正しく入力されているか。 ・サービスグループに対する権限が正しく設定されているか。 ・認証サーバが起動しているか。
KNAE00005-E	ライセンスキーを登録してください。
KNAE00006-E	ライセンスキーの登録に失敗しました。 [原因] ライセンスキーが無効か、すでに登録されているライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。 [対処] 有効なライセンスキーを登録してください。
KNAE00007-E	指定したライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。 [原因] ほかの製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。 [対処] 有効なライセンスキーファイルを指定して、再度操作してください。
KNAE00008-Q	アプリケーションを終了しますか？
KNAE00009-Q	ログアウトしますか？
KNAE00010-E	セッションが無効です。 [原因] すでにログアウトしています。 [対処] ログインからやり直してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE00011-E	<p>ユーザーを認証できません。</p> <p>[原因] ユーザー認証に失敗、または認証サーバとの接続に失敗しました。</p> <p>[対処] 次を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー ID、パスワードが正しく入力されているか。 ・認証サーバが起動しているか、また認証サーバと通信できるか。
KNAE00012-E	<p>ユーザーを認証できません。</p> <p>[原因] 外部認証サーバとの接続に失敗しました。</p> <p>[対処] 外部認証サーバが起動していること、また外部認証サーバと通信できることを確認してください。</p>
KNAE00014-E	<p>ライセンスが無効です。</p> <p>[対処] 有効なライセンスを登録してください。</p>
KNAE00016-E	<p>ログインできません。</p> <p>[原因] 評価版の使用期限が切れました。</p>
KNAE00017-I	<p>ライセンスキーを登録してください。</p>
KNAE00018-E	<p>製品のサービスを正常に起動できませんでした。</p> <p>[対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから、[ログイン]画面を更新してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00019-I	<p>サーバは起動途中です。</p> <p>[対処] しばらくお待ちください。</p>
KNAE00021-E	<p>指定された URL にアクセスできませんでした。</p> <p>[原因] 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ URL のクエリパラメータにサロゲートペア文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータに制御文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータのキーに使用できない文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータの長さが 1024 文字を超えています。 <p>[対処] URL のクエリパラメータを確認し、再度操作してください。</p>
KNAE00021-E	<p>指定された URL にアクセスできませんでした。</p> <p>[原因] 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ URL のクエリパラメータにサロゲートペア文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータに制御文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータのキーに使用できない文字が含まれています。 ・ URL のクエリパラメータの長さが 1024 文字を超えています。 <p>[対処] URL のクエリパラメータを確認し、再度操作してください。</p>
KNAE00022-E	<p>SSL 接続に失敗しました。</p> <p>[原因] 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証サーバの証明書が登録されていない。 ・ 認証サーバの証明書の有効期限が切れている。 ・ 認証サーバのホスト名が変更された。 <p>[対処] 要因を取り除き、再度操作を実行してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	同じエラーが何度も発生する場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00022-E	SSL 接続に失敗しました。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ 認証サーバの証明書が登録されていない。 ・ 認証サーバの証明書の有効期限が切れている。 ・ 認証サーバのホスト名が変更された。 [対処] 要因を取り除き、再度操作を実行してください。 同じエラーが何度も発生する場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00023-E	外部認証の初期化に失敗しました。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ 認証サーバが停止している。 ・ 外部認証のセットアップに失敗している。 ・ 認証サーバの証明書が登録されていない。 ・ 認証サーバの証明書の有効期限が切れている。 ・ 認証サーバのホスト名が変更された。 [対処] 要因を取り除き、再度操作を実行してください。 同じエラーが何度も発生する場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00023-E	外部認証の初期化に失敗しました。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ 認証サーバが停止している。 ・ 外部認証のセットアップに失敗している。 ・ 認証サーバの証明書が登録されていない。 ・ 認証サーバの証明書の有効期限が切れている。 ・ 認証サーバのホスト名が変更された。 [対処] 要因を取り除き、再度操作を実行してください。 同じエラーが何度も発生する場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00050-Q	ログアウトしますか？ 編集中のサービステンプレートが破棄されます。必要なら保存してください。
KNAE00052-Q	アプリケーションを終了しますか？ 編集中のサービステンプレートが破棄されます。必要なら保存してください。
KNAE00053-E	指定したリソースが存在しないか、アクセス権がありません。次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ リソースの有無 ・ リソースへのアクセス権限
KNAE00109-I	サービスを追加しました。続けてサービス設定を行ってください。
KNAE00111-Q	サービス設定時に入力必須プロパティの値が入力されていません。 このサービスを実行すると失敗します。 サービスを設定せずに終了しますか？
KNAE00115-E	サービスを追加できません。 [原因] サービステンプレートがインポートされていません。 [対処] サービステンプレートのインポートを実施してから、操作を再実行してください。
KNAE00116-E	サービスの操作に失敗しました。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] 操作対象サービスがサービス一覧から削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] 操作対象のサービスが存在することを確認してください。</p>
KNAE00117-E	<p>サービスはこれ以上追加できません。</p> <p>[原因] 追加できるサービスの数が上限({0})を超えています。</p> <p>[対処] 不要なサービスを削除してから再実行してください。 0: 追加できるサービスの上限数</p>
KNAE00122-E	<p>サービスの削除に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス({0})から生成したタスクが存在します。</p> <p>[対処] すべてのタスクをアーカイブしてから削除を実行してください。 0: 削除対象のサービス名</p>
KNAE00123-I	<p>サービスを削除しました。</p>
KNAE00124-E	<p>サービステンプレート情報を表示できません。</p> <p>[原因] サービステンプレート情報の取得に失敗しました。</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00125-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] 指定したサービス名はすでに作成されています(サービス名: {0})。</p> <p>[対処] 異なるサービス名を指定してください。 0: 指定したサービス名</p>
KNAE00126-I	<p>サービスを設定しました。</p>
KNAE00128-E	<p>サービステンプレートの操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 操作対象サービステンプレートがサービステンプレート一覧から削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] 画面を開き直してください。</p>
KNAE00129-Q	<p>サービス共有プロパティ({0})の値が変更されています。</p> <p>値を変更すると、このプロパティを使用しているほかのサービスにも変更した値が適用されます。</p> <p>操作を続行しますか？</p> <p>0: サービス共有プロパティ名</p>
KNAE00130-I	<p>プリセットプロパティを反映しました。</p>
KNAE00131-E	<p>プリセットプロパティを反映できませんでした(プリセット名: {0})。</p> <p>[原因] 操作対象のサービス、またはプリセットプロパティ定義ファイルが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、操作対象のサービスが存在することを確認し、画面を開き直してください。 0: プリセット名</p>
KNAE00132-E	<p>プリセットプロパティを反映できませんでした(プリセット名: {0})。</p> <p>[原因] プリセットプロパティ定義ファイルが不正です。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	システム管理者に問い合わせしてプリセットプロパティ定義ファイルの内容を見直してください。 0: プリセット名
KNAE00133-E	URL のクエリパラメータの反映に失敗しました(クエリパラメータ: {0})。すべての値にサービスの既定値を反映しました。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ 値が入力されていません。 ・ 入力文字数が上限を超えています。 ・ 入力値に制御文字が含まれています。 ・ 不正な値が指定されています。 ・ 指定できないプロパティキーが指定されています。 [対処] URL のクエリパラメータを確認し、再度操作してください。 0: クエリパラメータ
KNAE00133-E	URL のクエリパラメータの反映に失敗しました(クエリパラメータ: {0})。すべての値にサービスの既定値を反映しました。 [原因] 次の原因が考えられます。 ・ 値が入力されていません。 ・ 入力文字数が上限を超えています。 ・ 入力値に制御文字が含まれています。 ・ 不正な値が指定されています。 ・ 指定できないプロパティキーが指定されています。 [対処] URL のクエリパラメータを確認し、再度操作してください。 0: クエリパラメータ
KNAE00134-Q	サービスを有効に設定しますか？
KNAE00135-E	サービスを有効に設定できませんでした。
KNAE00136-I	サービスを有効に設定しました。
KNAE00137-Q	サービスをメンテナンスに設定しますか？
KNAE00138-E	サービスをメンテナンスに設定できませんでした。
KNAE00139-I	サービスをメンテナンスに設定しました。
KNAE00140-Q	サービスをリリースしますか？
KNAE00141-E	サービスのリリースに失敗しました。
KNAE00142-I	サービスをリリースしました。
KNAE00146-Q	サービスを再実行しますか？
KNAE00147-E	サービスの再実行に失敗しました。
KNAE00148-I	サービスを再実行しました。
KNAE00149-I	タグ、タググループの更新に成功しました。
KNAE00150-Q	選択中のタグですが削除しますか？
KNAE00151-I	サービスのタグ情報更新に成功しました。
KNAE00152-E	サービスのタグ情報更新に失敗しました。
KNAE00153-Q	サービスを無効に設定しますか？
KNAE00154-E	サービスを無効に設定できませんでした。
KNAE00155-I	サービスを無効に設定しました。
KNAE00156-E	他のユーザの更新により、タグ、タググループの更新ができませんでした。
KNAE00157-Q	サービスを実行しますか？
KNAE00158-I	指定したリソースが存在しません。

メッセージID	メッセージの内容
KNAE00201-I	タスクをアーカイブしました({0})。 ・自動アーカイブの場合 0: 自動 ・手動アーカイブの場合 0: 手動
KNAE00203-I	タスクを実行停止しました。
KNAE00204-I	タスクをスケジュール一時停止しました。
KNAE00205-I	タスクをスケジュール再開しました。
KNAE00206-E	タスクに応答入力できません。 [原因] タスクの状態が応答待ち中ではありません。応答入力済みか、応答待ちがタイムアウトした可能性があります。 [対処] 最新のタスクの状態を確認してください。
KNAE00207-I	応答を受け付けました。
KNAE00208-Q	応答せずに終了しますか？
KNAE00210-E	タスクの実行停止に失敗しました。 [原因] タスクの状態が実行中、長期実行中、応答待ち中、異常検出のどれでもありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00211-E	タスクのスケジュール一時停止に失敗しました。 [原因] タスクの状態が待機中ではありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00212-E	タスクのスケジュール再開に失敗しました。 [原因] タスクの状態が保留中ではありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00214-E	タスクのスケジュールキャンセルに失敗しました。 [原因] タスクの状態が待機中、保留中のどちらでもありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00215-I	タスクをスケジュールキャンセルしました。
KNAE00216-E	タスクログの取得に失敗しました。 [原因] 次の要因が考えられます。 (1) 指定したタスクログの保存先が存在しないかアクセスできない。 (2) 指定したタスクログの保存先のディスク容量が不足している。 (3) タスクログが存在しないかアクセスできない。 [対処] 要因を取り除き、再度操作を実行してください。 同じエラーが何度も発生する場合、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00217-E	タスクの操作に失敗しました。 [原因] すでにタスクはアーカイブ、または削除されています。 [対処] 画面を更新し、最新の情報を取得してください。

メッセージID	メッセージの内容
KNAE00218-E	サービスはこれ以上実行できません。 [原因] タスクの数が上限({0})を超えています。 [対処] 不要なタスクをアーカイブしてから再度実行してください。 0: タスクの上限数
KNAE00219-E	失敗したステップからのリトライに失敗しました。 [原因] タスクの状態が失敗ではありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00220-E	失敗した次のステップからのリトライに失敗しました。 [原因] タスクの状態が失敗ではありません。 [対処] タスクの状態を確認してください。
KNAE00223-Q	タスクを失敗したステップからリトライしますか？
KNAE00224-Q	タスクを失敗した次のステップからリトライしますか？
KNAE00225-I	タスクを強制停止しました。
KNAE00228-W	リストアしたタスクであるため、モニタを表示できません。
KNAE00229-W	繰り返し実行部品配下のフロー数が上限を超えているため、モニタを表示できません。
KNAE00230-E	失敗したステップからのリトライに失敗しました。 [原因] リストアしたタスクであるため、リトライできません。 [対処] サービスの実行からやり直してください。
KNAE00231-E	失敗した次のステップからのリトライに失敗しました。 [原因] リストアしたタスクであるため、リトライできません。 [対処] サービスの実行からやり直してください。
KNAE00281-I	履歴を削除しました({0})。 ・自動削除の場合 0: 自動 ・手動削除の場合 0: 手動
KNAE00301-I	ユーザーグループを削除しました。
KNAE00306-I	ユーザーグループの割り当てが完了しました(ユーザー ID : {0})。 0: ユーザーグループ割り当てをしたユーザー ID
KNAE00308-E	同じ名前のサービスグループがすでに作成されています(サービスグループ名 : {0})。 [対処] 異なるサービスグループ名を指定してください。 0: 指定したサービスグループ名
KNAE00310-I	エージェントレス接続先定義を削除しました。
KNAE00311-I	接続テストに成功しました。
KNAE00312-I	接続テストに成功しました。(ホストからの HTTP 応答を確認、認証情報や個別の API の接続確認は未対応)
KNAE00315-I	サービス共有プロパティを設定しました。
KNAE00316-E	ユーザーグループの削除に失敗しました(ユーザーグループ名 : {0})。 [原因] 他製品のサービスグループが設定されています。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] ユーザーグループに設定されているサービスグループを確認してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00317-E	<p>ユーザーグループの情報を取得できませんでした。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取してから、再度画面を開き直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00318-E	<p>ユーザーグループが見つかりません。 [原因] 操作対象ユーザーグループがユーザーグループ一覧から削除されたおそれがあります。 [対処] [ユーザーグループ]メニューをクリックし、画面を更新して、ユーザーグループが存在することを確認してください。</p>
KNAE00319-E	<p>ユーザーグループの削除に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取してから、ユーザーグループを削除し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00320-E	<p>指定したユーザーグループ名はすでに作成されています(ユーザーグループ名: {0})。 [対処] 異なるユーザーグループ名を指定してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00321-E	<p>ユーザーグループの作成に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、ユーザーグループを作成し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。 0: ユーザーグループ名 1: 保守情報</p>
KNAE00322-E	<p>ユーザーグループへのユーザー追加に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、[ユーザーグループ編集]ダイアログボックスでユーザーグループにユーザーを追加し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。 0: ユーザーグループ名 1: 保守情報</p>
KNAE00323-E	<p>ユーザーグループへのサービスグループとロールの割り当てに失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、ユーザーグループにサービスグループとロールを割り当て直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。 0: ユーザーグループ名</p>

メッセージID	メッセージの内容
	1: 保守情報
KNAE00324-E	<p>ユーザーグループへのサービスグループとロールの割り当てに失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザーグループ, またはサービスグループが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと, ユーザーグループとサービスグループが存在することを確認し, 再度操作してください。</p> <p>0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00325-E	<p>ユーザーグループ名または説明の編集に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し, 資料採取ツールで資料を採取したあと, ユーザーグループを編集し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。</p> <p>0: ユーザーグループ名 1: 保守情報</p>
KNAE00326-E	<p>ユーザーグループの割り当てができませんでした(ユーザー ID: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し, 資料採取ツールで資料を採取したあと, ユーザーグループにユーザーを登録し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。</p> <p>0: ユーザー ID 1: 保守情報</p>
KNAE00327-E	<p>ユーザーの情報が見つかりません(ユーザー ID: {0})。</p> <p>[原因] ユーザーがすでに削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと, [管理]画面の[ユーザー管理]メニューで[ユーザー管理]画面を表示し, 操作対象ユーザーが存在するか確認してください。</p> <p>0: ユーザー ID</p>
KNAE00328-E	<p>ユーザーグループの割り当てができませんでした(ユーザー ID: {0})。</p> <p>[原因] ユーザーグループ, またはユーザーが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと, ユーザーグループとユーザーが存在することを確認し, 再度操作してください。</p> <p>0: ユーザー ID</p>
KNAE00329-E	<p>ユーザーグループへのサービスグループとロールの割り当て, または削除に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し, 資料採取ツールで資料を採取したあと, [ユーザーグループ編集]ダイアログボックスでユーザーグループにサービスグループを設定し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は, 資料採取ツールで資料を採取し, システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。</p> <p>0: ユーザーグループ名 1: 保守情報</p>
KNAE00330-E	<p>ユーザーグループへのサービスグループとロールの割り当て, または削除に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>ユーザーグループ、またはサービスグループが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとサービスグループが存在することを確認し、再度操作してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00331-E	<p>ユーザーグループへのユーザー追加、または削除に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザーグループ、またはユーザーが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとユーザーが存在することを確認し、再度操作してください。 それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。 0: ユーザーグループ名 1: 保守情報</p>
KNAE00332-E	<p>ユーザーグループへのユーザー追加に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザーグループ、またはユーザーが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとユーザーが存在することを確認し、再度操作してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00334-E	<p>ユーザーグループとサービスグループとロールの関連について、情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00336-E	<p>ユーザーグループの情報を取得できませんでした(ユーザーグループ ID: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ユーザーグループ ID</p>
KNAE00337-E	<p>ユーザーの情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00338-E	<p>ユーザーの情報を取得できませんでした(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ユーザーグループ名</p>
KNAE00340-E	<p>ユーザーグループの情報を取得できませんでした(ユーザー ID: {0})。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>O: ユーザー ID</p>
KNAE00341-E	<p>サービスグループの作成に失敗しました。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。</p> <p>O: 保守情報</p>
KNAE00342-E	<p>サービスグループが見つかりません。</p> <p>[原因] サービスグループが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、[管理]画面の[サービスグループ]メニューをクリックし、画面を更新してください。</p>
KNAE00344-E	<p>サービスグループの削除に失敗しました(サービスグループ名: {0})。</p> <p>[原因] サービス、履歴、デバッグ実行したタスクまたはエージェントレス接続先定義が含まれています。</p> <p>[対処] いったん操作を終了し、サービスグループに割り当てられているサービス、履歴、デバッグ実行したタスク、エージェントレス接続先定義を削除してください。</p> <p>O: サービスグループ名</p>
KNAE00345-I	<p>ユーザーグループを作成しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>O: 作成したユーザーグループ名</p>
KNAE00346-I	<p>ユーザーグループを編集しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>O: 編集したユーザーグループ名</p>
KNAE00349-I	<p>エージェントレス接続先定義を作成しました。</p>
KNAE00350-I	<p>エージェントレス接続先定義を編集しました。</p>
KNAE00351-E	<p>エージェントレス接続先定義が見つかりません。</p> <p>[原因] エージェントレス接続先定義はすでに削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、[管理]画面の[エージェントレス接続先定義]メニューをクリックし、画面を更新して、操作対象のエージェントレス接続先定義が存在することを確認してください。</p>
KNAE00357-E	<p>サービス共有プロパティの操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 操作対象のサービス共有プロパティは削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] [管理]画面の[サービス共有プロパティ]メニューをクリックして画面を更新し、操作対象のサービス共有プロパティが存在することを確認してください。</p>
KNAE00359-E	<p>エージェントレス接続先定義へのサービスグループの割り当てに失敗しました(サービスグループ名: {0})。</p> <p>[原因] サービスグループが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	いったん操作を終了したあと、操作対象のサービスグループが存在することを確認してください。 0: サービスグループ名
KNAE00361-E	エージェントレス接続先定義はこれ以上登録できません。 [原因] 登録できるエージェントレス接続先定義の数が上限({0})を超えています。 [対処] 不要なエージェントレス接続先定義を削除してから登録してください。 0: 登録できるエージェントレス接続先定義の上限数
KNAE00363-E	サービスグループの編集に失敗しました。 [原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取したあと、再度操作してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE00365-E	サービスグループ情報の初期化に失敗しました。 [原因] サービスグループ情報の初期化時にデータベースエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、製品のサービスを再起動してから操作を再実行してください。
KNAE00366-E	サービスグループ情報の初期化時にエラーが発生しました(サービスグループ名: {0})。 [原因] サービスグループがすでにデータベースに存在します。 [対処] サービスグループの状態を確認してください。 0: サービスグループ名
KNAE00367-E	サービスグループ情報の初期化に失敗しました。 [原因] サービスグループ情報の初期化時にエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取した後、製品のサービスを再起動してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。
KNAE00368-E	指定したユーザーグループ名はすでに作成されています(ユーザーグループ名: {0})。 [対処] 異なるユーザーグループ名を指定してください。 0: ユーザーグループ名
KNAE00369-E	ユーザーグループの削除に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [原因] 他製品のリソースグループ、またはサービスグループが設定されています。 0: ユーザーグループ名
KNAE00370-Q	ストレージプロファイルを工場出荷時の状態に戻しますか?
KNAE00371-Q	レプリケーション設定情報を更新しますか?
KNAE00372-E	ストレージシステムの情報の登録に失敗しました(詳細情報: {0})。 0: 詳細情報
KNAE00373-E	ストレージシステムの情報の削除に失敗しました(詳細情報: {0})。 0: 詳細情報
KNAE00374-I	Configuration Manager REST API サーバがリクエストを受け付けました。しばらくしてから Reload ボタンをクリックし、最新情報を確認してください。
KNAE00400-E	ステップの操作に失敗しました。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	コンポーネントが削除されたおそれがあるので確認してください。
KNAE00401-Q	選択したバージョンのコンポーネントが存在しないため、ほかのバージョンのコンポーネントを表示しますか？
KNAE00402-Q	選択したプロパティのマッピングパラメータを消去しますか？
KNAE00403-I	複製元の{0}が予約ベンダー ID を使用していたため、ベンダー ID、ベンダー名を削除しました。 ・ 部品の場合 0: 部品 ・ サービステンプレートの場合 0: サービステンプレート
KNAE00404-E	部品の操作に失敗しました。 [原因] 部品 ID とベンダー ID の合計文字数が最大文字数を超過しています(最大文字数: {0}, 現在の合計文字数: {1})。 [対処] 部品 ID、ベンダー ID を変更してください。 0: 最大文字数 1: 現在の合計文字数
KNAE00405-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [原因] サービステンプレート ID とベンダー ID の合計文字数が最大文字数を超過しています(最大文字数: {0}, 現在の合計文字数: {1})。 [対処] サービステンプレート ID、ベンダー ID を変更してください。 0: 最大文字数 1: 現在の合計文字数
KNAE00406-Q	{0}の定義情報を取り込みますか？取り込みを実行した場合、添付ファイルを除く定義情報を上書きし、添付ファイルは空になります。 0: プラットフォーム
KNAE00407-Q	チェックボックスにチェックすると、値から次の文字が削除されます。 ・ 改行 ・ 水平タブ 操作を続行しますか？
KNAE00408-E	画面カスタムファイル名が設定されていません。 [対処] 画面カスタムファイルを選択している場合は、ファイル名を1つ以上設定してください。
KNAE00409-E	プロパティの挿入に失敗しました。 [原因] 挿入後の値が最大長({0}文字)を超過しています。 [対処] 値が最大長を超えないよう設定してください。 0: 値の最大長
KNAE00410-E	部品を{0}できません。 [原因] 部品 ID、部品バージョン、ベンダー ID の組み合わせが同じ部品が、すでに登録されています。大文字と小文字は区別されません。 [対処] 部品 ID、部品バージョン、ベンダー ID の組み合わせが重複しないようにしてください。 ・ 作成の場合 0: 作成 ・ 複製の場合 0: 複製

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE00411-E	<p>部品を{0}できません。</p> <p>[原因] 部品数が最大数を超過しています(最大数 : {1})。</p> <p>[対処] 不要な部品を削除してください。 ・ 作成の場合 0: 作成 ・ 複製の場合 0: 複製 1: 最大数</p>
KNAE00412-E	<p>コンポーネントの操作に失敗しました。</p> <p>[対処] コンポーネントが削除されたおそれがあるので確認してください。</p>
KNAE00413-E	<p>部品を削除できません。</p> <p>[原因] サービステンプレートのステップに使用されています (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>[対処] この部品を使用しているすべてのサービステンプレートからステップを削除してください。デバッグ版のサービステンプレートがインポートされている場合は再度ビルド操作を実行してください。この部品を使用しているサービステンプレートはログ (Server[n].log)で確認してください。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:サービステンプレートバージョン</p>
KNAE00414-E	<p>部品の操作に失敗しました。</p> <p>[対処] 部品がリリースされたおそれがあるので確認してください。</p>
KNAE00415-E	<p>部品の操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、アイコンファイルが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] [部品編集]ダイアログを開き直してください。</p>
KNAE00416-E	<p>部品の操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、スクリプトファイルが削除された、またはファイル名が変更されたおそれがあります(プラットフォーム : {0}, ファイル名 : {1})。</p> <p>[対処] [部品編集]ダイアログを開き直してください。 0: プラットフォーム 1: ファイル名</p>
KNAE00420-E	<p>サービステンプレートの操作に失敗しました。</p> <p>[対処] サービステンプレートが削除されたおそれがあるので画面を開き直して確認してください。</p>
KNAE00421-E	<p>サービステンプレートを{0}できません。</p> <p>[原因] サービステンプレート ID, サービステンプレートバージョン, ベンダー ID の組み合わせが同じサービステンプレートが、すでに登録されています。大文字と小文字は区別されません。</p> <p>[対処] サービステンプレート ID, サービステンプレートバージョン, ベンダー ID の組み合わせが重複しないようにしてください。 ・ 作成の場合 0: 作成</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> 複製の場合 0: 複製
KNAE00422-E	サービステンプレートを{0}できません。 [原因] サービステンプレート数が最大数を超過しています(最大数: {1})。 [対処] 不要なサービステンプレートを削除してください。 <ul style="list-style-type: none"> 作成の場合 0: 作成 <ul style="list-style-type: none"> 複製の場合 0: 複製 1: 最大数
KNAE00423-E	サービステンプレートを削除できません。 [原因] デバッグ版のタスクが終了していません(タスク ID: {0})。 [対処] タスクの終了を確認してください。 0: タスク ID
KNAE00424-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [対処] 操作権限の設定が必要です。
KNAE00425-E	{0}の入力値が不正です。 [対処] 正規表現の文法を見直してください。 0: 項目名
KNAE00426-E	デフォルト値が不正です。 [対処] 入力文字制限内の文字列を入力してください。
KNAE00427-E	ステップが使用するコンポーネントが存在しません(ステップ名: {0})。 [対処] コンポーネントが削除されたおそれがあるので確認してください。 0: ステップ名(ルートからの絶対パス) <サービステンプレート名>/<ステップ名(階層フロー部品または繰り返し実行部品)>/.../<該当するステップのステップ名>
KNAE00428-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [対処] サービステンプレートがリリースされたおそれがあるので確認してください。
KNAE00429-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [原因] 他のユーザーによって、画面カスタムファイルが削除、またはファイル名が変更されたおそれがあります(ファイル名: {0})。 [対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。 0: ファイル名
KNAE00430-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [原因] 他のユーザーによって、アイコンファイルが削除されたおそれがあります。 [対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。
KNAE00431-E	ビルドできません。 [原因] タスクが終了していません(タスク ID: {0})。 [対処] タスクの終了を確認してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: タスク ID
KNAE00432-E	リリースできません。 [原因] タスクが終了していません(タスク ID : {0})。 [対処] タスクの終了を確認してください。 0: タスク ID
KNAE00433-E	サービステンプレートの操作に失敗しました。 [原因] 他のユーザーによって、プロパティグループの画面カスタムファイルが削除、または変更されたおそれがあります(プロパティグループ ID : {0})。 [対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。 0: プロパティグループ ID
KNAE00438-E	リリースできません。 [対処] サービステンプレートがすでにリリースされたおそれがあるので確認してください。
KNAE00439-E	ビルドできません。 [対処] サービステンプレートがすでにリリースされたおそれがあるので確認してください。
KNAE00440-E	デフォルト値が不正です。 [対処] {0}以上{1}以内の数値を入力してください。 0: 最小値 1: 最大値
KNAE00441-E	デフォルト値が不正です。 [対処] リスト表示値内の文字列を入力してください。
KNAE00442-E	{0}, {1}の入力値が不正です。 [対処] {0}に{1}より大きい値が入力されていないかを見直してください。 0: 最小長, または最小値 1: 最大長, または最大値
KNAE00443-Q	認証種別を変更すると予約部品プロパティ(プロパティ名 : {0})が削除されます。認証種別を変更しますか? 0: プロパティ名一覧
KNAE00444-E	認証種別を変更できません。 [対処] プロパティの数が{0}以下になるよう設定してください。 0: 97
KNAE00445-E	部品を保存できません。 [対処] リモートコマンドを1つ以上設定してください。
KNAE00446-E	デフォルト値が不正です。 [対処] {0}文字以上{1}文字以内の文字列を入力してください。 0: 最小長 1: 最大長
KNAE00447-Q	選択した{0}を削除しますか? ・入力プロパティの場合 0: 入力プロパティ ・出力プロパティの場合 0: 出力プロパティ

メッセージID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境変数の場合 0: 環境変数 ・プロパティグループの場合 0: プロパティグループ ・変数の場合 0: 変数
KNAE00448-Q	<p>選択した{0}を削除しますか？</p> <p>0: 画面カスタムファイル</p>
KNAE00449-E	<p>スクリプトの1行の文字列が最大長({0}文字)を超えています。</p> <p>[対処]</p> <p>1行の文字列が最大長を超えないよう設定してください。</p> <p>0: スクリプト1行の最大長</p>
KNAE00450-E	<p>ファイルをアップロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>アップロードするファイルが存在するか、ファイルにアクセス権限があるかを確認してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00451-E	<p>ファイルをアップロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>空のファイルを指定したか、ファイルサイズが最大ファイルサイズ({1}MB)を超えています。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイルを見直してください。</p> <p>0: ファイル名</p> <p>1: 最大ファイルサイズ</p>
KNAE00452-E	<p>ファイルをアップロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル名に使用しているサロゲートペア文字は指定できないので変更してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00453-E	<p>ファイルをダウンロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <p>(1) ファイルの保存先が存在しないか、アクセスできない。</p> <p>(2) ファイルの保存先のディスク容量が不足している。</p> <p>(3) ファイルが存在しないか、アクセスできない。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル、またはファイルの保存先を確認し要因を取り除いてください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00454-Q	<p>サービステンプレートのリソース設定を開きますか？リソース設定を開くと、サービステンプレートが上書き保存されます。</p>
KNAE00455-Q	<p>選択したファイルでリソースを更新しますか？</p>
KNAE00456-I	<p>リソースを更新しました。</p>
KNAE00457-E	<p>デフォルト値が不正です。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}以降{1}以前の日付を入力してください。</p> <p>0: 最小値</p> <p>1: 最大値</p>
KNAE00458-E	<p>ファイル名が不正です。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル名を{0}にしてください。</p> <p>0: リソースファイル名</p>
KNAE00459-Q	<p>選択したサービステンプレートをエクスポートしますか？</p>
KNAE00460-I	<p>部品を複製しました。続けて部品編集を行ってください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE00461-Q	サービステンプレートの編集を終了しますか？編集中のサービステンプレートが破棄されます。必要なら保存してください。
KNAE00462-I	部品を保存しました。
KNAE00463-E	アイコンファイルのファイルサイズが不正です(ファイル名：{0})。 [原因] 空のファイルを指定したか、ファイルサイズが最大ファイルサイズ({1}MB)を超えています。 [対処] アイコンファイルを見直してください。 0: ファイル名 1: 最大ファイルサイズ
KNAE00464-E	アイコンファイルを読み込めません(ファイル名：{0})。 [原因] 次の要因が考えられます。 (1) ファイルが存在しない。 (2) フォルダへのアクセス権限がない。 (3) フォルダまたはフォルダ配下のファイルがほかのプログラムで使用されている。 (4) 不正なアイコンファイルを指定している。 [対処] ファイル、またはフォルダを確認し要因を取り除いてください。 0: ファイル名
KNAE00465-E	同じキーのプロパティがすでに登録されています(プロパティキー：{0})。 [対処] 部品の入力プロパティ、または出力プロパティのプロパティキーを変更してください。 0: 重複するプロパティキー
KNAE00466-E	同じ名前前の環境変数がすでに登録されています(変数名：{0})。 [対処] 変数名を変更してください。 0: 重複する変数名
KNAE00467-Q	選択した部品を削除しますか？
KNAE00468-I	部品を削除しました。
KNAE00469-W	挿入できなかった入力プロパティがあります。 [原因] 挿入後のコマンドラインが最大長({0}文字)を超えています。 [対処] コマンドラインが最大長を超えないよう設定してください。 0: コマンドラインの最大長
KNAE00470-I	サービステンプレートを{0}しました。続けてサービステンプレート編集を行ってください。 ・作成の場合 0: 作成 ・複製の場合 0: 複製
KNAE00471-E	ステップを配置できません。 [対処] [フロー]ビューの最大サイズを超えないようステップを配置してください。
KNAE00472-E	同じキーのプロパティがすでに登録されています(プロパティキー：{0})。 [対処] サービステンプレートの入力プロパティ、出力プロパティ、または変数のプロパティキーを変更してください。 0: 重複するプロパティキー
KNAE00473-E	同じ ID のプロパティグループがすでに登録されています(プロパティグループ ID：{0})。

メッセージID	メッセージの内容
	[対処] プロパティグループ ID を変更してください。 0: 重複するプロパティグループ ID
KNAE00474-I	サービステンプレートを保存しました。
KNAE00475-Q	選択したサービステンプレートを削除しますか？ 削除すると次の処理を行います。 ・デバッグ版のサービステンプレートから追加されたサービスが削除され、そのサービスから実行されたタスクがアーカイブされます。 ・デバッグ版のサービステンプレートから実行されたデバッグタスクが削除されます。
KNAE00476-I	サービステンプレートを削除しました。
KNAE00479-I	保存時に、ファイル名が{0}に変更されます。 0: 変更後のファイル名
KNAE00480-E	ステップを配置できません。 [原因] 繰り返し実行部品の中に繰り返し実行部品は設定できません。
KNAE00481-E	ステップを配置できません。 [原因] サービステンプレート内に配置できるステップの最大数を超過しています(最大数: {0})。 [対処] 最大数を超えないようステップを配置してください。 0: 最大数
KNAE00482-E	ステップを配置できません。 [原因] フローが最大階層数を超過しています(最大階層数: {0})。 [対処] 最大階層数を超えないようフローを設定してください。 0: 最大階層数
KNAE00483-Q	選択したステップを削除しますか？
KNAE00484-E	同じ ID のステップがすでに登録されています(ステップ ID : {0})。 [対処] ステップ ID を変更してください。 0: 重複するステップ ID
KNAE00485-I	使用する部品のプロパティが変更されたため、プロパティ一覧を更新しました。
KNAE00486-E	警告値に判定値より大きい値を指定することはできません。 [対処] 警告値, 判定値を見直してください。
KNAE00488-E	ステップを配置できません。 [原因] 一つの階層に配置できるステップの最大数を超過しています(最大数: {0})。 [対処] 最大数を超えないようステップを配置してください。 0: 最大数
KNAE00489-E	スケジュール種別が選択されていません。 [対処] スケジュール種別を 1 つ以上選択してください。
KNAE00491-Q	サービステンプレートをリリースしますか？ リリースすると次の処理を行います。 ・デバッグ版のサービステンプレートから追加されたサービスが削除され、そのサービスから実行されたタスクがアーカイブされます。 ・デバッグ版のサービステンプレートから実行されたデバッグタスクが削除されます。 ・デバッグ版のサービステンプレートが削除されます。 ・リリース版のサービステンプレートがインポートされます。

メッセージID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> 開発中のサービステンプレートが削除されます。 <p>これ以降は、サービステンプレートの編集ができなくなります。</p>
KNAE00492-Q	<p>サービステンプレートをビルドしますか？</p> <p>ビルドすると次の処理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> デバッグ版のサービステンプレートから追加されたサービスが削除され、そのサービスから実行されたタスクがアーカイブされます。 デバッグ版のサービステンプレートから実行されたデバッグタスクが削除されます。 インポートされたデバッグ版のサービステンプレートが削除されたあと、新たにインポートされます。 <p>ビルドが正常終了すると、サービステンプレートをデバッグすることができます。</p>
KNAE00493-I	[サービスビルダー 編集]ビューを閉じて、[サービスビルダー ホーム]ビューに戻ります。
KNAE00494-E	<p>ファイルをアップロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>ファイル名にマルチバイト文字が使用されています。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル名を変更してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00495-E	<p>アイコンファイルの画像サイズが不正です(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>アイコンファイルの画像サイズを、{1}×{2}と一致するように変更してください。</p> <p>0: ファイル名</p> <p>1: アイコン縦サイズ</p> <p>2: アイコン横サイズ</p>
KNAE00496-E	<p>ファイル名が不正です。</p> <p>[原因]</p> <p>ファイル名にマルチバイト文字が使用されています(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル名を変更してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00499-E	<p>ファイルをアップロードできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>ファイル名の長さが最大長({1}文字)を超えています。</p> <p>[対処]</p> <p>ファイル名を変更してください。</p> <p>0: ファイル名</p> <p>1: 最大ファイル名長</p>
KNAE00500-Q	サービステンプレートの編集を終了しますか？編集中のサービステンプレートが破棄されます。必要なら保存してください。
KNAE00554-Q	<p>デバッグを終了しますか？</p> <p>デバッグタスクを強制停止します。</p>
KNAE00555-Q	<p>タスクを{0}しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行停止の場合 <p>0: 実行停止</p> <ul style="list-style-type: none"> 強制停止の場合 <p>0: 強制停止</p>
KNAE00558-Q	<p>サービスの設定が完了していません。</p> <p>このサービスをデバッグ実行すると失敗します。</p> <p>続行しますか？</p>
KNAE00559-I	<p>デバッグタスクが実行中です。</p> <p>[デバッグ]画面を閉じると、メッセージダイアログを自動的に閉じます。</p>
KNAE00560-Q	デバッグを終了しますか？
KNAE00561-E	デバッグ版のサービステンプレートが存在しません。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] 他のユーザーによって、デバッグ版のサービステンプレートが削除、または更新されたおそれがあります。</p> <p>[対処] [デバッグ]画面を閉じて、再度デバッグを実行してください。</p>
KNAE00562-Q	プロパティの値をデフォルトの状態に戻しますか？
KNAE00570-E	<p>ファイルをエクスポートできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因] 次の要因が考えられます。 (1) 選択したサービステンプレートがビルドされていない。 (2) ファイルの保存先が存在しないか、アクセスできない。 (3) ファイルの保存先のディスク容量が不足している。 (4) ファイルが存在しないか、アクセスできない。</p> <p>[対処] 開発中のサービステンプレートである場合は、ビルドしてから、再度エクスポートしてください。 それ以外の場合は、一旦サービステンプレート一覧ダイアログを閉じて、再度エクスポートしてください。 それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ファイル名</p>
KNAE00571-E	<p>ファイルをインポートできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因] 空のファイルを指定したか、ファイルサイズが最大ファイルサイズ({1}MB)を超えています。</p> <p>[対処] インポートするファイルのサイズを確認してください。 0: ファイル名 1: 最大ファイルサイズ</p>
KNAE00572-E	<p>ファイルをインポートできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因] ファイル名にマルチバイト文字が使用されています。</p> <p>[対処] ファイル名を変更してください。 0: ファイル名</p>
KNAE00573-E	<p>ファイルをインポートできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因] ファイル名の長さが最大長({1}文字)を超えています。</p> <p>[対処] ファイル名を変更してください。 0: ファイル名 1: 最大ファイル名長</p>
KNAE00574-E	<p>ファイルをインポートできません(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処] インポートするファイルが存在するか、ファイルにアクセス権限があるかを確認してください。 0: ファイル名</p>
KNAE00575-Q	<p>選択したファイル(ファイル名: {0})をインポートしますか？ 0: ファイル名</p>
KNAE00576-I	<p>サービステンプレートのインポートに成功しました (ファイル名: {0})。 0: ファイル名</p>
KNAE00577-W	<p>ファイルがすでにインポートされています(ファイル名: {0})。 0: ファイル名</p>
KNAE00578-E	<p>サービステンプレートのインポートに失敗しました(ファイル名: {0}, 詳細情報: {1})。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: ファイル名 1: 詳細情報
KNAE00579-E	部品種別を変更できません。 [対処] プロパティの数が{0}以下になるよう設定してください。 0: 最大量・増加量
KNAE00580-E	選択したバージョンのサービス部品は、配置できません。 [原因] サービス部品内に繰り返し実行部品が含まれています。繰り返し実行部品の中に繰り返し実行部品は設定できません。 [対処] 編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。
KNAE00581-E	選択したバージョンのサービス部品は、配置できません。 [原因] サービステンプレート内に配置できるステップの最大階層数を超過しています(サービス部品の階層数: {0},配置する場所の階層数: {1},最大階層数: {2})。 [対処] 編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: サービス部品の階層数 1: 配置する場所の階層数 2: 最大階層数
KNAE00582-E	選択したバージョンのサービス部品は、配置できません。 [原因] サービステンプレート内に配置できるステップの最大数を超過しています(サービス部品のステップ数: {0},現在のステップ数: {1},最大数: {2})。 [対処] 編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: サービス部品のステップ数 1: 現在のステップ数 2: 最大数
KNAE00583-E	部品を{0}できません。 [原因] タグ数が最大数を超過しています(最大数: {1})。設定されたタグを追加しようとして失敗しました。 [対処] 設定したタグの有無を確認し、タグを設定しなおしてください。 ・作成の場合 0: 作成 ・複製の場合 0: 複製 ・編集の場合 0: 編集 1: 最大数
KNAE00584-E	サービステンプレートを{0}できません。 [原因] タグ数が最大数を超過しています(最大数: {1})。設定されたタグを追加しようとして失敗しました。 [対処] 設定したタグの有無を確認し、タグを設定しなおしてください。 ・作成の場合 0: 作成 ・複製の場合 0: 複製 ・編集の場合 0: 編集

メッセージID	メッセージの内容
	1: 最大数
KNAE00585-I	サービステンプレートを複製しました。続けてコンポーネントを最新バージョンに更新してください。
KNAE00586-I	バージョンを変更できるコンポーネントが存在しません。
KNAE00587-Q	[コンポーネントバージョン管理]ダイアログを開きますか?[コンポーネントバージョン管理]ダイアログを開くと、サービステンプレートが上書き保存されます。
KNAE00588-Q	選択したステップに最新バージョンのコンポーネントを適用しますか?
KNAE00589-Q	選択したステップに、指定したバージョンのコンポーネントを適用しますか?
KNAE00590-I	コンポーネントの適用が完了しました。
KNAE00591-E	コンポーネント情報の取得に失敗しました(コンポーネント名 : {0}, ベンダー ID : {1}, コンポーネント ID : {2}, コンポーネントバージョン : {3}). [対処] コンポーネントが削除されたおそれがあるので、画面を開きなおすか、別のバージョンを選択してください。 0: 部品名 1: ベンダー ID 2: 部品 ID 3: 部品バージョン
KNAE00592-E	デバッグ版のサービステンプレートが存在しません。 [原因] 他のユーザーによって、デバッグ版のサービステンプレートが削除、または更新されたおそれがあります。 [対処] Editor 画面に戻り、再度デバッグを実行してください。
KNAE00593-E	入力文字制限の値が不正です(エラー内容 : {0}). [対処] 正規表現の文法を見直してください。 0: エラーメッセージ
KNAE00600-Q	サービステンプレートを削除しますか?
KNAE00601-I	サービステンプレートを削除しました。
KNAE00602-E	サービステンプレートを削除できませんでした。
KNAE00603-Q	更新されていないサービスがあります。ダイアログボックスを閉じますか?
KNAE00604-Q	サービスに最新バージョンのサービステンプレートを適用しますか? リリース状態のサービスは、メンテナンスに変更されます。
KNAE00605-I	サービスに最新バージョンのサービステンプレートを適用しました。サービスの設定を確認した後、サービスをリリースしてください。
KNAE00606-Q	サービスに指定したバージョンのサービステンプレートを適用しますか? リリース状態のサービスは、メンテナンスに変更されます。
KNAE00607-I	サービスに指定したバージョンのサービステンプレートを適用しました。サービスの設定を確認した後、サービスをリリースしてください。
KNAE00608-E	ファイルをインポートできません(ファイル名 : {0}). [原因] サービステンプレート以外のファイルが選択されています。 [対処] サービステンプレートを選択してください。 0: ファイル名
KNAE00609-E	ファイルをインポートできません(ファイル名 : {0}). [原因] デバッグ版のサービステンプレートが選択されています。 [対処] リリース済みのサービステンプレートを選択してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: ファイル名
KNAE00615-E	<p>プロパティ値を反映できませんでした。</p> <p>[原因] プロパティファイルが削除されたおそれがあります(ファイル名: {0})。</p> <p>[対処] 指定したプロパティファイルが存在することを確認してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE00616-E	<p>プロパティ値を反映できませんでした。</p> <p>[原因] プロパティファイルの内容が JSON 形式として不正です。</p> <p>[対処] プロパティファイルの内容を見直してください。</p>
KNAE00617-E	<p>プロパティ値を反映できませんでした。</p> <p>[原因] プロパティファイルに"properties"の配列が定義されていません。</p> <p>[対処] プロパティの定義をまとめた配列の名称が"properties"であることを確認してください。</p>
KNAE00618-E	<p>プロパティ値を反映できませんでした。</p> <p>[原因] プロパティファイルにプロパティキーが指定されていない定義があります。</p> <p>[対処] プロパティキーがすべての定義で指定されていることを確認してください。</p>
KNAE00619-E	<p>プロパティ値を反映できませんでした。</p> <p>[原因] プロパティファイルに"<プロパティキー>@FILE"の形式で定義されたプロパティがあります(プロパティキー: {0})。この形式は使用できません。</p> <p>[対処] プロパティファイルに"<プロパティキー>@FILE"の形式で定義したプロパティが存在していないことを確認してください。</p> <p>0: プロパティキー</p>
KNAE00700-E	<p>サービステンプレートの操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、プロパティグループのバリデーションファイルが削除、または変更されたおそれがあります(プロパティグループ ID: {0})。</p> <p>[対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。</p> <p>0: プロパティグループ ID</p>
KNAE00701-E	<p>サービステンプレートの操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、プロパティのバリデーションファイルが削除、または変更されたおそれがあります(プロパティキー: {0})。</p> <p>[対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。</p> <p>0: プロパティキー</p>
KNAE00702-E	<p>サービステンプレートの操作に失敗しました。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、プロパティのデフォルト値としてアップロードしたファイルが削除、または変更されたおそれがあります(プロパティキー: {0})。</p> <p>[対処] [サービスビルダー編集]ビューを開き直してください。</p> <p>0: プロパティキー</p>
KNAE00750-Q	<p>プレビューを開きますか?プレビューを開くと、サービステンプレートが上書き保存されます。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE00751-E	<p>ステップを配置できません。</p> <p>[原因] 繰り返し部品のネストの最大数を超過しています(ネストの最大数: {0})。</p> <p>[対処] 繰り返し部品のネストの最大数を超えないようフローを設定してください。 0: 繰り返し実行部品の最大ネスト数</p>
KNAE00752-E	<p>選択したバージョンのサービス部品は、配置できません。</p> <p>[原因] 繰り返し部品のネストの最大数を超過しています。 (サービス部品内の繰り返し部品のネスト数: {0}, 配置する場所の繰り返し部品のネスト数: {1}, 繰り返し部品のネストの最大数: {2})。</p> <p>[対処] 編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: サービス部品内の繰り返し実行部品のネスト数 1: 配置する場所の繰り返し実行部品のネスト数 2: 最大繰り返し実行部品のネスト数</p>
KNAE00753-W	<p>本部品は使用しないでください。本部品は製品組み込みサービステンプレート内で使用することを前提とした部品です。</p>
KNAE00754-W	<p>製品組み込みサービステンプレート内で使用することを前提とした部品が含まれています。次に示す部品は使用しないでください。(部品のベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2})</p> <p>0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン</p>
KNAE00755-I	<p>ステップのコピーはできません。</p>
KNAE00756-I	<p>ステップの切り取りはできません。</p>
KNAE00901-E	<p>データベースからデータを取得できませんでした。</p> <p>[原因] データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取した後、製品のサービスを再起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。</p> <p>0: 例外</p>
KNAE00903-E	<p>サーバとの通信ができませんでした。</p> <p>[原因] 次の要因が考えられます。 (1) セッションが無効である。 (2) サーバが停止している。 (3) サーバのリソースが不足している。 (4) ネットワークに何らかの問題がある。</p> <p>[対処] ログインし直してください。ログインできない場合は、サーバを再起動してからログインしてください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE00904-E	<p>サーバとの通信に失敗しました。</p> <p>[原因] 次の要因が考えられます。 (1) ネットワークに障害が発生している。 (2) 一時的にサーバの負荷が高くなっている。 (3) サーバが停止している。</p> <p>[対処] しばらくしてから、再度操作を実行してください。 同じエラーが何度も発生する場合、サーバが起動しているか確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE00905-E	サーバとの通信ができませんでした。 [原因] 次の要因が考えられます。 (1) セッションが無効である。 (2) サーバが停止している。 (3) サーバのリソースが不足している。 (4) ネットワークに何らかの問題がある。 [対処] ダイアログボックスを開き直してください。ダイアログボックスを開けない場合は、サーバを再起動してからダイアログボックスを開いてください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE00907-E	予期しないエラーが発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、しばらくしてから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE00910-E	ファイル入出力エラーが発生しました。 [対処] 再度操作しても同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE00950-I	HTML マニュアルが製品のインストール先にありません。 [対処] マニュアルの手順に従って取り込みを行ってください。
KNAE00951-Q	編集を終了しますか？編集中の内容が破棄されます。
KNAE00952-Q	画面の設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。設定に戻すには、ログアウトする必要があります。画面の設定をすべて戻しますか？

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE01009-W	サービステンプレート管理の起動時にファイルまたはフォルダの削除に失敗しました (パス: {0})。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダへのアクセス権限がない。 ・ファイルまたはフォルダが他のプログラムで使用されている。 [対処] 本製品のサービスを次回起動するときまでに、ファイルまたはフォルダの状態を見直してください。 なお、このメッセージの直前にエラーメッセージが出力されている場合は、そのメッセージに従って対処してください。 0: ファイルパスまたはフォルダパス
KNAE01010-E	サービステンプレート管理の起動時にデータベースへのアクセスエラーが発生しました。 [原因] データベースが正常に動作していません。 [対処] 次に示す対処を行ってください。 ・本製品のサービスを再起動してください。 ・再度エラーが発生する場合は、hcmds64getlogs コマンドを実行して資料を採取した後、システム管理者に連絡してください。
KNAE01011-W	サービステンプレート管理の起動時にファイル読み込みに失敗しました。 [原因]

メッセージID	メッセージの内容
	<p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダが存在しない。 ・ファイルまたはフォルダへのアクセス権限がない。 ・ファイルが破損している。 <p>[対処] このメッセージの直前に出力されているエラーメッセージに従って対処してください。</p>
KNAE01012-W	<p>メール通知定義ファイルの読み込みに失敗しました (パス: {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール通知定義ファイルの内容が不正。 ・メール通知定義ファイルのアクセス権限がない。 ・メール通知定義ファイルが他のプログラムで使用されている。 <p>[対処] 原因の内容を見直した後、製品のサービスを再起動してください。 0:ファイルパス</p>
KNAE01013-W	<p>サービステンプレートのインポートに失敗しました (ファイル名: {0}, 詳細情報: {1})。</p> <p>[対処] 詳細情報に出力されている内容を見直した後、サービステンプレートのインポートを実行してください。 0:ファイル名 1:詳細情報</p>
KNAE01101-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス追加時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 ・製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。 ・製品のサービスがすべて起動している場合は、サービスを再起動してから再実行してください。
KNAE01102-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] サービステンプレートが削除された可能性があります。</p> <p>[対処] サービステンプレートをインポートし直した後、再実行してください。</p>
KNAE01103-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス名がサービスグループ内で重複しています。</p> <p>[対処] サービスグループ内で重複しないサービス名を指定して再実行してください。</p>
KNAE01105-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] サービスの作成権限がありません。</p> <p>[対処] サービスが属するサービスグループに Modify 以上の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01106-E	<p>インポートできるサービステンプレート数の上限値を超えました。</p> <p>[対処] 不要なサービステンプレートを削除した後、再度インポートしてください。</p>
KNAE01107-E	<p>サービステンプレートまたはサービステンプレートセットの拡張子が不正です (ファイル名: {0})。</p> <p>[対処] 拡張子が st であるサービステンプレートまたは zip であるサービステンプレートセットを指定して再度実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:ファイル名
KNAE01108-E	<p>サービステンプレートまたはサービステンプレートセットの読み込みに失敗しました (パス: {0})。</p> <p>[対処] フォルダのアクセス権限を確認後、再度実行してください。</p> <p>0:ファイルパス</p>
KNAE01109-E	<p>サービステンプレートセット解凍のための一時フォルダ作成に失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01110-E	<p>サービステンプレートセットの解凍に失敗しました (サービステンプレートセット: {0}, 解凍先フォルダ: {1})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービステンプレートセットが正しい ZIP ファイルではない。 ・解凍先のフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービステンプレートセットが正しい ZIP ファイルであること ・解凍先のフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:ファイル名 1:フォルダパス</p>
KNAE01112-E	<p>一時フォルダへの書き込みに失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービステンプレートセット解凍のための一時フォルダの権限が不正です。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01113-E	<p>サービステンプレートセットに含まれるサービステンプレートのファイル名取得に失敗しました (ファイル名: {0})。</p> <p>[原因] ファイルまたはフォルダの権限が不正です。</p> <p>[対処] ファイルまたはフォルダのアクセス権限を確認後、再度実行してください。</p> <p>0:ファイル名</p>
KNAE01114-W	<p>サービステンプレートセット解凍のための一時フォルダの削除に失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] フォルダの権限が不正です。または、すでに削除されているおそれがあります。</p> <p>[対処] 対象のフォルダを削除してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE01115-E	<p>サービステンプレート解凍のための一時フォルダ作成に失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] フォルダへのアクセス権限がありません。</p> <p>[対処] フォルダのアクセス権限を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01116-E	<p>サービステンプレートの解凍に失敗しました (サービステンプレート: {0}, 解凍先フォルダ: {1})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスク空き容量が不足している。 ・ファイルが破損している。 <p>[対処] ディスクの空き容量を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:ファイル名 1:フォルダパス</p>
KNAE01117-E	<p>サービステンプレートの読み込みに失敗しました (パス: {0})。</p> <p>[原因] ファイルにアクセスできません。</p> <p>[対処] ファイルのアクセス権限を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:ファイルパス</p>
KNAE01118-E	<p>サービステンプレート解凍のための一時フォルダのアクセスに失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] 一時フォルダにアクセスできません。</p> <p>[対処] フォルダのアクセス権限を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01119-E	<p>サービステンプレートの内容が不正です (ファイル名: {0}, 詳細情報: {1})。</p> <p>[原因] サービステンプレートに誤りがあります。</p> <p>[対処] 詳細情報に出力されている内容に従ってサービステンプレートを修正した後、再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:詳細情報</p>
KNAE01120-W	<p>サービステンプレート解凍のための一時フォルダの削除に失敗しました (フォルダ: {0})。</p> <p>[原因] フォルダが他のプログラムで使用されています。</p> <p>[対処] 一時フォルダは、本製品のサービス起動時に自動的に削除されます。本製品のサービスを次回起動する時までには、フォルダの使用状態を見直してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01121-E	<p>部品定義ファイルの内容が不正です (ファイル: {0}, 詳細情報: {1})。</p> <p>[原因] 部品定義ファイルに誤りがあります。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>詳細情報に出力されている内容に従って部品定義ファイルを修正した後、再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。</p> <p>0:ファイルパス 1:詳細情報</p>
KNAE01123-E	<p>部品の読み込みに失敗しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, バージョン : {2})。</p> <p>[原因] 部品が破損しています。</p> <p>[対処] 再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:バージョン</p>
KNAE01124-E	<p>データベースへのアクセスエラーが発生したため、部品のインポートに失敗しました。</p> <p>[原因] データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本製品のサービスを再起動した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。 ・再度エラーが発生する場合は、<code>hcmds64getlogs</code> コマンドを実行して資料を採取した後、システム管理者に連絡してください。
KNAE01125-E	<p>以前にインポートした部品定義ファイルの削除に失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 <p>[対処] フォルダを削除した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01126-E	<p>部品定義ファイルのコピーに失敗しました (コピー先フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 ・ディスクの空き容量が不足している。 <p>[対処] 原因の内容を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01127-E	<p>部品定義ファイル格納フォルダのアクセスに失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 部品定義ファイル格納フォルダにアクセスできません。</p> <p>[対処] フォルダのアクセス権限を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01128-E	<p>サービス定義ファイルの内容が不正です (ファイル : {0}, 詳細情報 : {1})。</p> <p>[原因] サービス定義ファイルに誤りがあります。</p> <p>[対処] 詳細情報に出力されている内容に従ってサービス定義ファイルを修正した後、再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。</p> <p>0:ファイルパス 1:詳細情報</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE01130-E	<p>サービステンプレートの読み込みに失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2})。</p> <p>[原因] サービステンプレートが破損しています。</p> <p>[対処] 再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン</p>
KNAE01131-E	<p>データベースへのアクセスエラーが発生したため、サービステンプレートのインポートに失敗しました。</p> <p>[原因] データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。 ・本製品のサービスを再起動した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。 ・再度エラーが発生する場合は、hcmds64getlogs コマンドを実行して資料を採取した後、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE01132-E	<p>以前にインポートしたサービス定義ファイルの削除に失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。 ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。</p> <p>[対処] フォルダを削除した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01133-E	<p>サービス定義ファイルのコピーに失敗しました (コピー先フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。 ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 ・ディスクの空き容量が不足している。</p> <p>[対処] 原因の内容を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01134-E	<p>サービス定義ファイル格納フォルダのアクセスに失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] サービス定義ファイル格納フォルダにアクセスできません。</p> <p>[対処] フォルダのアクセス権限を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01135-E	<p>サービステンプレートの削除に失敗しました。</p> <p>[原因] 削除対象のサービステンプレートから作成されたサービスが存在します。</p> <p>[対処] 削除対象のサービステンプレートから作成されたサービスを削除してから、再実行してください。</p>
KNAE01136-E	<p>サービステンプレートの削除に失敗しました。</p> <p>[原因] サービステンプレート削除時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。 製品のサービスがすべて起動している場合は、サービスを再起動してから再実行してください。
KNAE01137-W	<p>サービステンプレートの削除に失敗しました (パス : {0})。</p> <p>[原因] サービステンプレート削除時にファイルアクセスエラーが発生しました。</p> <p>[対処] パス以下にファイル、またはフォルダが残っている場合は、手動で削除してください。 0:ファイルパス</p>
KNAE01138-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] 作成できるサービス数の上限値を超えています。</p> <p>[対処] 不要なサービスを削除した後、再度サービス追加を実行してください。</p>
KNAE01139-E	<p>サービスの編集に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス編集時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。 製品のサービスがすべて起動している場合は、サービスを再起動してから再実行してください。
KNAE01140-E	<p>サービスの編集に失敗しました。</p> <p>[原因] 別ブラウザで開いている管理画面からサービスが削除された可能性があります。</p> <p>[対処] 指定したサービスが削除されていないか確認してください。</p>
KNAE01141-E	<p>サービスの編集に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス名がサービスグループ内で重複しています。</p> <p>[対処] サービスグループ内で重複しないサービス名を指定してください。</p>
KNAE01143-E	<p>サービスの編集に失敗しました。</p> <p>[原因] サービスの編集権限がありません。</p> <p>[対処] サービスが属するサービスグループに Modify 以上の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01144-E	<p>サービスの削除に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス削除時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 次に示す対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。 製品のサービスがすべて起動している場合は、サービスを再起動してから再実行してください。
KNAE01145-E	<p>サービスの削除に失敗しました。</p> <p>[原因] 削除対象のサービスから作成されたタスクが存在します。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	削除対象のサービスから作成されたタスクをアーカイブしてから、再実行してください。
KNAE01146-E	<p>以前にインポートしたカスタム UI 格納フォルダの削除に失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 <p>[対処]</p> <p>フォルダを削除した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01147-E	<p>カスタム UI のコピーに失敗しました (コピー先フォルダ : {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 ・ディスクの空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>原因の内容を見直した後、再度サービステンプレートのインポートを実行してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01150-E	<p>スキーマ定義ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル : {0}, 詳細情報 : {1})。</p> <p>[原因]</p> <p>スキーマ定義ファイルが破損しています。</p> <p>[対処]</p> <p>本製品を再度インストールし直してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:ファイルパス</p> <p>1:詳細情報</p>
KNAE01151-E	<p>サービスの参照権限がないため、サービスの参照に失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>サービスの参照権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスが属するサービスグループに Submit 以上の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01152-E	<p>サービスの編集権限がないため、サービスの削除に失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>サービスの編集権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスが属するサービスグループに Modify 以上の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01154-E	<p>サービステンプレートのインポートに失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>同一のサービステンプレートがすでにインポートされています。</p> <p>[対処]</p> <p>サービステンプレートが正しく作成されているか見直した上で、再実行してください。</p>
KNAE01155-E	<p>部品のインポートに失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>同一の部品がすでにインポートされています。</p> <p>[対処]</p> <p>部品が正しく作成されているか見直した上で、再実行してください。</p>
KNAE01156-E	<p>サービステンプレートの上書きインポートに失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2})。</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	ベンダー ID, サービステンプレート ID, バージョンが同一のサービステンプレートがインポートされていません。 [対処] サービステンプレートが正しく作成されているか見直した上で, 再実行してください。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン
KNAE01157-E	部品の上書きインポートに失敗しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, バージョン : {2})。 [原因] ベンダー ID, 部品 ID, バージョンが同一の部品がインポートされていません。 [対処] 部品が正しく作成されているか見直した上で, 再実行してください。 0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:バージョン
KNAE01159-E	プロパティの範囲は変更できません (プロパティキー : {0})。 [原因] 範囲が異なる同キーのプロパティがすでにインポートされています。 [対処] サービステンプレートが正しく作成されているか見直した上で, 再実行してください。 0:プロパティキー
KNAE01160-I	部品を上書きインポートします (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, バージョン : {2})。 0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:バージョン
KNAE01161-I	サービステンプレートを上書きインポートします (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2})。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン
KNAE01162-E	プロパティのデータ型は変更できません (プロパティキー : {0})。 [原因] データ型が異なる同キーのプロパティがインポート済みです。 [対処] サービステンプレートが正しく作成されているか見直した上で, 再実行してください。 0:プロパティキー
KNAE01163-E	プリセットプロパティ定義ファイルの読み込みに失敗しました (ファイル : {0})。 [原因] ファイルにアクセスできません。 [対処] ファイルのアクセス権限を見直した後, 再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。 0:ファイルパス
KNAE01164-E	プリセットプロパティ定義ファイルの内容が不正です (ファイル : {0}, 詳細情報 : {1})。 [原因] プリセットプロパティ定義ファイルに誤りがあります。 [対処] 詳細情報に出力されている内容に従ってプリセットプロパティ定義ファイルを修正した後, 再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。 0:ファイルパス 1:詳細情報
KNAE01165-E	プロパティの定義が不正です (プロパティキー : {0}, 要素 : {1}, 現在の値 : {2}, 新しい値 : {3})。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] インポート済みのサービス共有プロパティと異なる定義のプロパティをインポートすることはできません。</p> <p>[対処] プロパティの定義を見直した上で、再度サービステンプレートを作成し、再実行してください。</p> <p>0:プロパティキー 1:要素名 2:現在の値 3:新しい値</p>
KNAE01166-E	<p>追加プリセットフォルダ内のプリセットプロパティ定義ファイルのファイルサイズが上限値を超えています (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2}, ファイル : {3}, 上限値 : {4}キロバイト)。</p> <p>[対処] ファイルサイズが上限値以内に収まるように定義を見直した後、再実行してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン 3:ファイル名 4:上限値</p>
KNAE01167-E	<p>追加プリセットフォルダ内のプリセットプロパティ定義ファイルの読み込みに失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2}, ファイル : {3})。</p> <p>[原因] ファイルにアクセスできません。</p> <p>[対処] ファイルのアクセス権限を見直した後、再実行してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン 3:ファイル名</p>
KNAE01168-E	<p>追加プリセットフォルダ内のプリセットプロパティ定義ファイルの内容が不正です (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2}, ファイル : {3}, 詳細情報 : {4})。</p> <p>[原因] プリセットプロパティ定義ファイルに誤りがあります。</p> <p>[対処] 詳細情報に出力されている内容に従ってプリセットプロパティ定義ファイルを修正した後、再実行してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン 3:ファイル名 4:詳細情報</p>
KNAE01169-E	<p>カスタム UI 格納フォルダの削除に失敗しました (フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 <p>[対処] フォルダを削除した後、製品を再起動してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>
KNAE01170-E	<p>カスタム UI のコピーに失敗しました (コピー先フォルダ : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルダへのアクセス権限がない。 ・フォルダまたはフォルダ配下のファイルが他のプログラムで使用されている。 ・ディスクの空き容量が不足している。 <p>[対処] 原因の内容を見直した後、製品を再起動してください。 0:フォルダパス</p>
KNAE01171-E	<p>サービステンプレートに含まれている基本部品は使用することはできません (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2})。</p> <p>[原因] 本バージョンではサポート対象外の基本部品です。</p> <p>[対処] 本バージョンでサポートされている基本部品を使用したサービステンプレートを使用してください。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン</p>
KNAE01172-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] サービス定義ファイルから参照されるサービスリソースファイルの設定値が最大文字数を超過しています。</p> <p>[対処] サービス定義ファイルの次に示す要素に指定された「?dna_プロパティキー?」のプロパティキーと合致するサービスリソースファイルの設定値が要素の最大文字数内になるように設定値を修正したあと、再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ displayName 要素 ・ shortDescription 要素
KNAE01173-E	<p>サービステンプレートのインポートに失敗しました。</p> <p>[原因] サービス定義ファイルから参照されるサービスリソースファイルの設定値が最大文字数を超過しています。</p> <p>[対処] サービス定義ファイルの次に示す要素に指定された「?dna_プロパティキー?」のプロパティキーと合致するサービスリソースファイルの設定値が要素の最大文字数内になるように設定値を修正したあと、再度サービステンプレートのパッケージングを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス共有プロパティの displayName 要素 ・ サービス共有プロパティの description 要素
KNAE01174-E	<p>基本部品の読み込みに失敗しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。</p> <p>[原因] 基本部品が破損しています。</p> <p>[対処] 本製品を再度インストールし直してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン</p>
KNAE01177-E	<p>インポートできる部品数の上限値を超えました。</p> <p>[対処] 不要な部品を削除してください。</p>
KNAE01178-E	<p>サービスの状態の変更に失敗しました。</p> <p>[原因] サービスの状態を変更中に、他の操作でサービスの状態を変更された可能性があります。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] サービスの状態を確認した上で、再度実行してください。</p>
KNAE01179-E	<p>サービスの追加に失敗しました。</p> <p>[原因] 設定が許可されていない All Service Groups サービスグループが指定されました。</p> <p>[対処] サービスグループに All Service Groups 以外を指定してください。</p>
KNAE01180-E	<p>サービスのサービステンプレート変更に失敗しました (サービス名 : {0})。</p> <p>[原因] 変更対象のサービスから作成されたタスクが存在します。</p> <p>[対処] 変更対象のサービスから作成されたタスクをアーカイブしてから、再度実行してください。</p> <p>0:サービス名</p>
KNAE01181-E	<p>サービスのサービステンプレート変更に失敗しました (サービス名 : {0}, 状態 : {1})。</p> <p>[原因] サービスがサービステンプレート変更可能な状態ではありません。</p> <p>[対処] サービスの状態がリリース, またはメンテナンスであることを確認してから再度実行してください。</p> <p>0:サービス名 1:状態</p>
KNAE01182-E	<p>サービスのサービステンプレート変更に失敗しました (サービス名 : {0}, ベンダー ID : {1}, サービステンプレート ID : {2}, バージョン : {3}, サービステンプレートの構成種別 : {4})。</p> <p>[原因] サービステンプレートの構成種別が不正です。</p> <p>[対処] サービステンプレートの構成種別がリリースであることを確認してから再度実行してください。</p> <p>0:サービス名 1:ベンダー ID 2:サービステンプレート ID 3:バージョン 4:構成種別</p>
KNAE01183-E	<p>サービスのサービステンプレート変更に失敗しました (サービス名 : {0}, 現在のベンダー ID : {1}, 現在のサービステンプレート ID : {2}, 新しいベンダー ID : {3}, 新しいサービステンプレート ID : {4})。</p> <p>[原因] ベンダー ID とサービステンプレート ID が異なるサービステンプレートには変更できません。</p> <p>[対処] 現在のベンダー ID, サービステンプレート ID と同じサービステンプレートを指定して再度実行してください。</p> <p>0:サービス名 1:ベンダー ID 2:サービステンプレート ID 3:新しいベンダー ID 4:新しいサービステンプレート ID</p>
KNAE01184-E	<p>サービスのサービステンプレート変更に失敗しました (サービス名 : {0}, ベンダー ID : {1}, サービステンプレート ID : {2}, バージョン : {3})。</p> <p>[原因] 指定したサービステンプレートのバージョンが現在と同じです。</p> <p>[対処] 異なるバージョンのサービステンプレートを指定して再度実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:サービス名 1:ベンダー ID 2:サービステンプレート ID 3:バージョン
KNAE01200-E	サービス実行に失敗しました。 [原因] 指定したサービスはすでに削除されています。 [対処] サービスを再度作成した後、サービスを実行してください。
KNAE01201-E	指定されたプロパティが不正なため、サービスの実行に失敗しました（プロパティキー：{0}）。 [原因] サービス設定時またはサービス実行時に指定したプロパティが誤っています。 [対処] プロパティの値を修正してください。 0:指定に誤りのあるプロパティキー
KNAE01202-E	サービスの実行に失敗しました。 [原因] サービスの実行権限がありません。 [対処] サービスの実行権限が付与されたユーザで再度実行してください。
KNAE01203-E	サービスの実行に失敗しました。 [原因] サービス実行時にデータベースエラーが発生しました。 [対処] 次の対処を実施してください。 ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。 ・データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 ・再実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01204-E	ファイルアクセスエラーのため、サービスの実行に失敗しました（パス：{0}）。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 0:ファイルパス
KNAE01205-W	サービス実行時にファイルの削除に失敗しました（パス：{0}）。 [原因] ファイルまたはフォルダの権限が不正です。 [対処] ファイルまたはフォルダのアクセス権限を確認してください。 0:ファイルパス
KNAE01207-E	サービスの実行に失敗しました。 [原因] 実行開始予定日時に過去の日時または有効範囲外の日時が指定されています。 [対処] 実行開始予定日時の値を修正して再実行してください。
KNAE01208-E	実行できるサービス数の上限値を超えました。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	不要なタスクをアーカイブした後、再度実行してください。
KNAE01209-E	サービスの実行に失敗しました。 [原因] サービスが無効になっています。 [対処] サービスを有効にした後に、再度実行してください。
KNAE01301-E	タスクの操作に失敗しました。 [原因] タスクの実行権限がありません。 [対処] タスクの実行権限が付与されたユーザで再度実行してください。
KNAE01302-E	タスクの操作に失敗しました。 [原因] タスク操作時にデータベースエラーが発生しました。 [対処] 次の対処を実施してください。 ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。 ・データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 ・再度実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01304-E	タスクのスケジュール一時停止に失敗しました。 [原因] タスクがスケジュール一時停止可能な状態ではありません。 [対処] タスクの状態が待機中であることを確認してから再度実行してください。
KNAE01305-E	タスクのスケジュール再開に失敗しました。 [原因] タスクがスケジュール再開可能な状態ではありません。 [対処] タスクの状態が保留中であることを確認してから再度実行してください。
KNAE01306-E	タスクのスケジュール停止に失敗しました。 [原因] タスクがスケジュール停止可能な状態ではありません。 [対処] タスクの状態が待機中、または保留中であることを確認してから再度実行してください。
KNAE01307-E	タスクの実行停止に失敗しました。 [原因] タスクが実行停止可能な状態ではありません。 [対処] タスクの状態が実行中、ログランニング、応答待ち中または異常検出であることを確認してから再度実行してください。
KNAE01308-E	タスクの詳細表示に失敗しました。 [原因] タスクの参照権限がありません。 [対処] タスクの参照権限が付与されたユーザで再度実行してください。
KNAE01309-E	タスクの詳細表示に失敗しました。 [原因] タスクの詳細表示時にデータベースエラーが発生しました。 [対処] ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。

メッセージID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01315-I	<p>タスクが正常に終了しました。(タスク名 : {0})</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01317-I	<p>タスクに応答待ちが発生しました。(タスク名 : {0})</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01318-E	<p>実行中のタスクが失敗しました。(タスク名 : {0})</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01321-E	<p>データベースでエラーが発生しました。(エラー詳細 : {0})</p> <p>0:エラーの詳細情報</p>
KNAE01322-I	<p>タスクがスケジュールキャンセルされました。(タスク名 : {0})</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01324-I	<p>タスクのアーカイブを実行します。</p>
KNAE01325-I	<p>タスクをアーカイブしました。(アーカイブしたタスク名 : {0}, アーカイブしたタスクID : {1})</p> <p>0:アーカイブしたタスク名</p> <p>1:アーカイブしたタスク ID</p>
KNAE01326-E	<p>タスクのアーカイブに失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>タスクアーカイブ時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> データベースのサービスが起動していることを確認してください。 データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 再実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01328-E	<p>タスクのアーカイブに失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>タスクがアーカイブ可能な状態ではありません。</p> <p>[対処]</p> <p>タスクの終了後か、タスクを実行停止後に再度実行してください。</p>
KNAE01329-I	<p>履歴の削除を実行します。</p>
KNAE01330-I	<p>履歴を削除しました。(削除した履歴名 : {0}, 削除した履歴のタスク ID : {1})</p> <p>0:削除した履歴名</p> <p>1:削除した履歴のタスク ID</p>
KNAE01331-E	<p>タスクのアーカイブに失敗しました (タスク名 : {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>タスクのアーカイブ権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>タスクのアーカイブ権限が付与されたユーザで再度実行してください。</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01332-E	<p>履歴の削除に失敗しました (タスク名 : {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>履歴削除時にデータベースエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> データベースのサービスが起動していることを確認してください。 データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>・再実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01333-E	<p>指定したタスクが存在しません。</p> <p>[原因] 指定されたタスクがすでに削除されています。</p> <p>[対処] タスクが存在するか確認してください。</p>
KNAE01334-E	<p>指定した履歴が存在しません。</p> <p>[原因] 指定された履歴がすでに削除されています。</p> <p>[対処] 履歴が存在するか確認してください。</p>
KNAE01335-E	<p>履歴の削除に失敗しました (タスク名: {0})。</p> <p>[原因] 履歴の削除権限がありません。</p> <p>[対処] 履歴の削除権限が付与されたユーザで再度実行してください。</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01336-I	タスクの自動アーカイブ、およびデバッグタスクの自動削除を開始します。
KNAE01337-I	タスクの自動アーカイブ、およびデバッグタスクの自動削除を終了しました。
KNAE01338-I	履歴の自動削除を開始します。
KNAE01339-I	履歴の自動削除を終了しました。
KNAE01340-E	<p>データベースへのアクセスエラーが発生しました。</p> <p>[原因] データベースへのアクセスに失敗しました。</p> <p>[対処] 次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。 ・データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01341-I	<p>タスクを実行停止しました (ユーザー ID: {0}, タスク ID: {1}, タスク名: {2})。</p> <p>0:操作を行ったユーザーのユーザー ID 1:タスク ID 2:タスク名</p>
KNAE01351-I	<p>ロングランニングタスクを検知しました。(タスク名: {0})</p> <p>0:タスク名</p>
KNAE01352-W	<p>ロングランニングタスクを検知しました。(ステップ ID: {0}, ステップ開始日時: {1}, 実行 ID: {2})</p> <p>0:ステップ ID 1:ステップ開始日時 2:実行 ID</p>
KNAE01353-E	<p>タスク処理エンジンの監視に失敗しました。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンが起動していない。 ・タスク処理エンジンのユーザー認証でエラーが発生している。 ・タスク数が処理能力の上限に達している。 <p>[対処] 次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンで使用するユーザーおよびパスワードが正しいことを確認してください。 ・不要なタスクをアーカイブしてください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01354-E	<p>サービスの実行に失敗しました (エラーコード: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンが起動していない。 ・タスク処理エンジンのユーザー認証でエラーが発生している。 <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品のサービスがすべて起動していることを確認して再実行してください。 ・タスク処理エンジンで使用するユーザーおよびパスワードが正しいことを確認して再実行してください。 ・再実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 <p>0:タスク処理エンジンからの戻り値</p>
KNAE01355-E	<p>タスクの操作に失敗しました (エラーコード: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンが起動していない。 ・タスク処理エンジンのユーザー認証でエラーが発生している。 <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品のサービスがすべて起動していることを確認して再実行してください。 ・タスク処理エンジンで使用するユーザーおよびパスワードが正しいことを確認して再実行してください。 ・再度実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 <p>0:タスク処理エンジンからの戻り値</p>
KNAE01356-E	<p>タスクの詳細表示に失敗しました (エラーコード: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンが起動していない。 ・タスク処理エンジンのユーザー認証でエラーが発生している。 <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品のサービスがすべて起動していることを確認して再実行してください。 ・タスク処理エンジンで使用するユーザーおよびパスワードが正しいことを確認して再実行してください。 ・再実行してもエラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 <p>0:タスク処理エンジンからの戻り値</p>
KNAE01357-E	<p>タスク処理エンジンでエラーが発生しました (フロー名: {0}, エラーコード: {1})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク処理エンジンが起動していない。 ・タスク処理エンジンのユーザー認証でエラーが発生している。 ・アーカイブ対象のタスクがほかのプログラムで使用されている。 <p>[対処]</p> <p>次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品のサービスがすべて起動していることを確認してください。 ・タスク処理エンジンで使用するユーザーおよびパスワードが正しいことを確認してください。 ・アーカイブ対象のタスクを使用しているほかのプログラムを終了してください。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:フロー名 1:エラーコード</p>
KNAE01358-E	<p>実行できない部品がサービステンプレートに含まれています (ステップ名:{0})。</p> <p>[原因] 実行できない部品がサービステンプレートに含まれています。</p> <p>[対処] 最新のサービステンプレートを使用してください。</p> <p>0:ステップ名</p>
KNAE01511-E	<p>メールの送信に失敗しました。</p> <p>[原因] データベースへのアクセスに失敗しました。</p> <p>[対処] 次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。 ・データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE01512-E	<p>メールの送信に失敗しました (タスク名 : {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでにタスクがアーカイブされている。 ・データベースへのアクセスに失敗した。 <p>0:タスク名</p>
KNAE01514-E	<p>メールの送信に失敗しました。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス共有プロパティの設定に誤りがある。 ・SMTP サーバとの接続に失敗した。 <p>[対処] 次に示す内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス共有プロパティのSMTP サーバの設定が正しいことを確認してください。 ・SMTP サーバが正しく起動していることを確認してください。
KNAE01601-E	<p>共通コンポーネントが見つかりませんでした。</p> <p>[原因] 共通コンポーネントのインストール先フォルダが取得できませんでした</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE01603-E	<p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0:保守情報</p>
KNAE01604-E	<p>データベースへのアクセスエラーが発生しました。</p> <p>[原因] データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] 次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースのサービスが起動していることを確認してください。 ・データベースのサービスが起動している場合は、データベースのサービスを再起動してから再実行してください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE01605-E	<p>コマンドの実行に失敗しました (パス : {0})。</p> <p>[原因] 実行対象のコマンドが存在しません。</p> <p>[対処] 次の対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー設定プロパティファイルのタスク処理エンジンのインストールパスが正しいことを確認してください。 ・パスのコマンドが存在することを確認してください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 <p>0:ファイルパス</p>
KNAE01606-E	<p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0:保守情報</p>
KNAE01607-E	<p>ファイルまたはフォルダへのアクセスに失敗しました。</p> <p>[対処] ファイルまたはフォルダのアクセス権を確認後、再実行してください。</p>
KNAE01608-E	<p>エージェントレス接続先定義の作成に失敗しました。</p> <p>[原因] 接続先の IP アドレス形式が不正です。</p> <p>[対処] 接続先の IP アドレス形式を見直してください。</p>
KNAE01609-E	<p>エージェントレス接続先定義の作成に失敗しました。</p> <p>[原因] エージェントレス接続先定義へのアクセス権限がありません。</p> <p>[対処] エージェントレス接続先定義が属するサービスグループに Admin の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01610-E	<p>サービスグループへのアクセスに失敗しました。</p> <p>[原因] サービスグループへのアクセス権限がありません。</p> <p>[対処] 実行ユーザーがサービスグループへアクセスできるか確認してください。</p>
KNAE01611-E	<p>エージェントレス接続先定義の削除に失敗しました。</p> <p>[原因] エージェントレス接続先定義へのアクセス権限がありません。</p> <p>[対処] エージェントレス接続先定義が属するサービスグループに Admin の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE01612-E	<p>エージェントレス接続先定義の作成に失敗しました。</p> <p>[原因] 作成できるエージェントレス接続先定義数の上限値を超えています。</p> <p>[対処] 不要なエージェントレス接続先定義を削除した後、再度エージェントレス接続先定義を作成してください。</p>
KNAE01614-E	<p>エージェントレス接続先定義の作成に失敗しました。</p> <p>[原因] ホスト名の正規表現形式が不正です。</p> <p>[対処] ホスト名の正規表現形式を見直してください。</p>
KNAE01615-E	<p>URL のクエリパラメータの反映に失敗しました (バンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, バージョン : {2}, 詳細情報 : {3})。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	URL のクエリパラメータに誤りがあります。 [対処] 詳細情報に出力されている内容に従って URL のクエリパラメータを修正した後、再実行してください。 0:バンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:バージョン 3:詳細情報
KNAE01616-E	タグの編集に失敗しました (タグ名 : {0})。 [原因] タグ名が重複しています。 [対処] タグ名が重複しないように見直してください。 0:タグ名
KNAE01617-E	タグの編集に失敗しました (タググループ名 : {0})。 [原因] タググループ名が重複しています。 [対処] タググループ名が重複しないように見直してください。 0:タググループ名
KNAE01618-E	タグの登録数が上限値を超えています (上限値 : {0})。 [対処] タグの数が上限値以内に収まるように見直してください。 0:上限値
KNAE01619-E	タググループの登録数が上限値を超えています (上限値 : {0})。 [対処] タググループの数が上限値以内に収まるように見直してください。 0:上限値
KNAE01620-E	タグの削除に失敗しました (タグ名 : {0}, タググループ名 : {1})。 [原因] タグが使用されています。 [対処] タグが使用されていないことを見直してください。 0:タグ名 1:タググループ名
KNAE01621-E	タググループの削除に失敗しました (タググループ名 : {0})。 [原因] タググループに所属しているタグが使用されています (タグ名 : {1})。 [対処] タググループに所属しているタグが使用されていないことを見直してください。 0:タググループ名 1:タグ名
KNAE01622-E	タグの編集に失敗しました。 [原因] タグの編集権限がありません。 [対処] Develop 以上の権限で再実行してください。
KNAE01631-E	指定されたタグが存在しません (タグ名 : {0})。 [原因] 指定されたタグが削除されています。 [対処] 存在するタグを指定した後、再度実行してください。 0: タグ名
KNAE01632-E	タグの編集に失敗しました (タググループ名 : {0}, instanceID : {1})。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] API に指定した instanceID が重複しています。</p> <p>[対処] API の指定内容を見直してください。 0: タググループ名 1: instanceID</p>
KNAE01634-E	<p>エージェントレス接続先定義の作成に失敗しました。</p> <p>[原因] 設定が許可されていない All Service Groups サービスグループが指定されました。</p> <p>[対処] サービスグループに All Service Groups 以外を指定してください。</p>
KNAE01635-E	<p>サーバが停止中のため処理を中断しました。</p> <p>[対処] サーバを起動してから、再度操作を実行してください。</p>
KNAE01639-E	<p>接続先設定を更新できません (接続先カテゴリ: {0}, 接続先名: {1})。</p> <p>[原因] 指定された接続先名は予約されています。</p> <p>[対処] 接続先名を変更して、再実行してください。 0: 接続先カテゴリ 1: 接続先名</p>
KNAE01640-I	<p>ライセンスステータスが変更されました (変更前: {0}, 変更後: {1})。 0: 変更前のライセンスステータス 1: 変更後のライセンスステータス</p>
KNAE01641-E	<p>ライセンスステータスの同期処理が失敗しました。</p> <p>[対処] 環境を見直してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE01701-E	<p>指定された部品が存在しません (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2})。</p> <p>[対処] 指定した部品が存在することを確認してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン</p>
KNAE01702-E	<p>部品の追加に失敗しました (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2})。</p> <p>[原因] 同一の部品がすでに存在しています。</p> <p>[対処] ベンダー ID, 部品 ID, 部品バージョンのどれかを変更した上で、再実行してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン</p>
KNAE01703-E	<p>部品の追加に失敗しました (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2})。</p> <p>[原因] 作成できる部品数の上限値を超えています。</p> <p>[対処] 不要な部品を削除してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン</p>
KNAE01704-E	<p>部品の削除に失敗しました (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2})。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] 指定された部品がすでに削除されています。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン</p>
KNAE01705-E	<p>サービステンプレートから参照されている部品のため削除できません (部品のベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, サービステンプレートのベンダー ID : {3}, サービステンプレート ID : {4}, サービステンプレートバージョン : {5})。</p> <p>[対処] 削除対象の部品がサービステンプレートで使用されていないことを確認してから、再実行してください。</p> <p>0:部品のベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン 3:サービステンプレートのベンダー ID 4:サービステンプレート ID 5:サービステンプレートバージョン</p>
KNAE01706-W	<p>エディタの画面に表示する部品名が最大文字数を超過しているため、切り捨てました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て前の値 : {6})。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン 3:言語コード 4:最大文字数 5:切り捨て前の文字数 6:切り捨て前の値</p>
KNAE01707-W	<p>エディタの画面に表示する部品のベンダー名が最大文字数を超過しているため、切り捨てました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て前の値 : {6})。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン 3:言語コード 4:最大文字数 5:切り捨て前の文字数 6:切り捨て前の値</p>
KNAE01708-W	<p>エディタの画面に表示する部品の説明が最大文字数を超過しているため、切り捨てました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て前の値 : {6})。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID 2:部品バージョン 3:言語コード 4:最大文字数 5:切り捨て前の文字数 6:切り捨て前の値</p>
KNAE01709-E	<p>部品の保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、スクリプトファイルが削除された、またはファイル名が変更されたおそれがあります(プラットフォーム : {3}, ファイル名 : {4})。</p> <p>[対処] スクリプトファイルの設定を確認してから、再度設定し直してください。</p> <p>0:ベンダー ID 1:部品 ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: ファイル名
KNAE01710-E	部品の保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。 [原因] 他のユーザーによって、アイコンファイルが削除されたおそれがあります(ファイル名 : {3})。 [対処] アイコンファイルの設定を確認してから、再度設定し直してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: ファイル名
KNAE01711-I	部品の追加に成功しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン
KNAE01712-I	部品の保存に成功しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン
KNAE01713-I	部品の複製に成功しました (複製元ベンダー ID : {0}, 複製元部品 ID : {1}, 複製元部品バージョン : {2}, 複製先ベンダー ID : {3}, 複製先部品 ID : {4}, 複製先部品バージョン : {5})。 0: 複製元ベンダー ID 1: 複製元部品 ID 2: 複製元部品バージョン 3: 複製先ベンダー ID 4: 複製先部品 ID 5: 複製先部品バージョン
KNAE01714-I	部品の削除に成功しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2})。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン
KNAE01715-I	部品リソースファイルの保存に成功しました (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, 言語 : {3})。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: 言語コード
KNAE01751-E	指定されたサービステンプレートが存在しません (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [対処] 指定したサービステンプレートが存在することを確認してください。再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン
KNAE01752-E	サービステンプレートの追加に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 同一のサービステンプレートがすでに存在しています。 [対処]

メッセージ ID	メッセージの内容
	ベンダー ID, サービステンプレート ID, サービステンプレートバージョンのどれかを 変更した上で, 再実行してください。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:サービステンプレートバージョン
KNAE01753-E	サービステンプレートの追加に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレ ート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 作成できるサービステンプレート数の上限値を超えています。 [対処] 不要なサービステンプレートを削除してください。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:サービステンプレートバージョン
KNAE01754-E	サービステンプレートの削除に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレ ート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 指定されたサービステンプレートがすでに削除されています。 0:ベンダー ID 1:サービステンプレート ID 2:サービステンプレートバージョン
KNAE01755-W	エディタの画面に表示するサービステンプレート名が最大文字数を超えているため, 切 り捨てました (言語 : {0}, 最大文字数 : {1}, 切り捨て前の文字数 : {2}, 切り捨て前の 値 : {3})。 0: 言語コード 1: 最大文字数 2: 切り捨て前の文字数 3: 切り捨て前の値
KNAE01756-W	エディタの画面に表示するサービステンプレートのベンダー名が最大文字数を超えて いるため, 切り捨てました (言語 : {0}, 最大文字数 : {1}, 切り捨て前の文字数 : {2}, 切り捨て前の値 : {3})。 0: 言語コード 1: 最大文字数 2: 切り捨て前の文字数 3: 切り捨て前の値
KNAE01757-W	エディタの画面に表示するサービステンプレートの説明が最大文字数を超えているた め, 切り捨てました (言語 : {0}, 最大文字数 : {1}, 切り捨て前の文字数 : {2}, 切り捨 て前の値 : {3})。 0: 言語コード 1: 最大文字数 2: 切り捨て前の文字数 3: 切り捨て前の値
KNAE01758-W	エディタの画面に表示するサービステンプレート名が最大文字数を超えているため, 切 り捨てました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレ ートバージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て 前の値 : {6})。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: 言語コード 4: 最大文字数 5: 切り捨て前の文字数 6: 切り捨て前の値
KNAE01759-W	エディタの画面に表示するサービステンプレートのベンダー名が最大文字数を超えて いるため, 切り捨てました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サー

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>ビステンプレートバージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て前の値 : {6}。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: 言語コード 4: 最大文字数 5: 切り捨て前の文字数 6: 切り捨て前の値</p>
KNAE01760-W	<p>エディタの画面に表示するサービステンプレートの説明が最大文字数を超えているため、切り捨てました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2}, 言語 : {3}, 最大文字数 : {4}, 切り捨て前の文字数 : {5}, 切り捨て前の値 : {6})。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: 言語コード 4: 最大文字数 5: 切り捨て前の文字数 6: 切り捨て前の値</p>
KNAE01761-E	<p>サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、画面カスタムファイルが削除された、またはファイル名が変更されたおそれがあります(ファイル名 : {3})。</p> <p>[対処] 画面カスタムファイルの設定を確認してから、再度設定し直してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: ファイル名</p>
KNAE01762-I	<p>サービステンプレートの追加に成功しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン</p>
KNAE01763-I	<p>サービステンプレートの保存に成功しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン</p>
KNAE01764-I	<p>サービステンプレートの複製に成功しました (複製元ベンダー ID : {0}, 複製元サービステンプレート ID : {1}, 複製元サービステンプレートバージョン : {2}, 複製先ベンダー ID : {3}, 複製先サービステンプレート ID : {4}, 複製先サービステンプレートバージョン : {5})。</p> <p>0: 複製元ベンダー ID 1: 複製元サービステンプレート ID 2: 複製元サービステンプレートバージョン 3: 複製先ベンダー ID 4: 複製先サービステンプレート ID 5: 複製先サービステンプレートバージョン</p>
KNAE01765-I	<p>サービステンプレートの削除に成功しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	2: サービステンプレートバージョン
KNAE01766-I	サービスリソースファイルの保存に成功しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2}, 言語 : {3})。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: 言語コード
KNAE01767-I	サービステンプレートのフローに変換できない設定が含まれています (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2}, ステップ ID : {3}, 項目 : {4}, 設定値 : {5})。この設定値はビルド, またはリリース時に引き継がれます。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: ステップ ID 4: 項目 5: 設定値
KNAE01768-I	サービステンプレートのフローに変換できない設定が含まれています (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2}, ステップ ID : {3}, 項目 : {4}, 設定値 : {5})。この設定値は無視されます。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: ステップ ID 4: 項目 5: 設定値
KNAE01770-E	サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 他のユーザーによって, アイコンファイルが削除されたおそれがあります(ファイル名 : {3})。 [対処] アイコンファイルの設定を確認してから, 再度設定し直してください。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: ファイル名
KNAE01771-E	サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 他のユーザーによって, 画面カスタムファイルが削除された, またはファイル名が変更されたおそれがあります(プロパティグループ ID : {3})。 [対処] 画面カスタムファイルの設定を確認してから, 再度設定し直してください。 0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: プロパティグループ ID
KNAE01772-E	サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。 [原因] 他のユーザーによって, バリデーションのアップロードファイルが削除された, またはファイル名が変更されたおそれがあります(プロパティグループ ID : {3})。 [対処] バリデーションの設定を確認してから, 再度設定し直してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: プロパティグループ ID</p>
KNAE01773-E	<p>サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、バリデーションのアップロードファイルが削除された、またはファイル名が変更されたおそれがあります(プロパティキー : {3})。</p> <p>[対処] バリデーションの設定を確認してから、再度設定し直してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: プロパティキー</p>
KNAE01774-E	<p>サービステンプレートの保存に失敗しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>[原因] 他のユーザーによって、デフォルト値のアップロードファイルが削除された、またはファイル名が変更されたおそれがあります(プロパティキー : {3})。</p> <p>[対処] デフォルト値の設定を確認してから、再度設定し直してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: プロパティキー</p>
KNAE01775-E	<p>他のサービステンプレートから参照されているサービステンプレートのため削除できません (サービステンプレートのベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2}, 参照しているサービステンプレートのベンダー ID : {3}, 参照しているサービステンプレート ID : {4}, 参照しているサービステンプレートバージョン : {5})。</p> <p>[対処] 削除対象のサービステンプレートが他のサービステンプレートで使用されていないことを確認してから、再実行してください。</p> <p>0: サービステンプレートのベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン 3: 参照しているサービステンプレートのベンダー ID 4: 参照しているサービステンプレート ID 5: 参照しているサービステンプレートバージョン</p>
KNAE01801-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名 : {0})。</p> <p>[原因] ステップのプロパティがコンポーネントのプロパティと一致していません。</p> <p>[対処] 設定を見直してください。</p> <p>0: ステップ名</p>
KNAE01804-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名 : {0})。</p> <p>[対処] 必須プロパティにマッピングパラメータを設定してください (ステップのプロパティ名 : {1})。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名</p>
KNAE01805-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名 : {0})。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>マッピングパラメータに設定されている予約プロパティとステップのプロパティで入出力種別を一致させてください（ステップのプロパティ名：{1}，マッピングパラメータ：{2}，予約プロパティ名：{3}，入出力種別：{4}）。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 予約プロパティ名 4: 予約プロパティの入出力種別</p>
KNAE01806-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です（ステップ名：{0}）。</p> <p>[対処] マッピングパラメータに設定されている予約プロパティは、繰り返し実行部品で実行するフロー配下のステップで使用してください（ステップのプロパティ名：{1}，マッピングパラメータ：{2}，予約プロパティ名：{3}）。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 予約プロパティ名</p>
KNAE01807-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です（ステップ名：{0}）。</p> <p>[対処] マッピングパラメータに設定されているサービスプロパティが存在しないので、設定を見直してください（ステップのプロパティ名：{1}，マッピングパラメータ：{2}，サービスプロパティキー：{3}）。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: サービスプロパティキー</p>
KNAE01808-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です（ステップ名：{0}）。</p> <p>[対処] マッピングパラメータに設定されているサービスプロパティとステップのプロパティで入出力種別を一致させてください（ステップのプロパティ名：{1}，マッピングパラメータ：{2}，サービスプロパティ名：{3}，入出力種別：{4}）。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: サービスプロパティ名 4: サービスプロパティの入出力種別</p>
KNAE01809-E	<p>画面カスタムファイルが不正です（ファイル名：{0}）。</p> <p>[対処] アーカイブファイルにサービス詳細説明画面のファイルが存在しないので、設定を見直してください（ファイルパス：{1}）。</p> <p>0: 画面カスタムファイルのファイル名 1: サービス詳細説明画面ファイルの相対パス</p>
KNAE01811-E	<p>サービスプロパティの定義が不正です（サービスプロパティキー：{0}）。</p> <p>[対処] 指定されたサービス共有プロパティのデータ型とすでに登録されているサービス共有プロパティのデータ型を一致させてください（指定されたデータ型：{1}，登録済みのデータ型：{2}）。</p> <p>0: サービスプロパティキー 1: データ型 2: 登録済みのデータ型</p>
KNAE01812-E	<p>サービスプロパティの定義が不正です（サービスプロパティキー：{0}）。</p> <p>[対処] 指定されたサービス共有プロパティの入出力種別とすでに登録されているサービス共有プロパティの入出力種別を一致させてください（指定された入出力種別：{1}，登録済みの入出力種別：{2}）。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: サービスプロパティキー 1: 入出力種別 2: 登録済みの入出力種別
KNAE01813-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの可視性とすでに登録されているサービス共有プロパティの可視性を一致させてください (指定された可視性: {1}, 登録済みの可視性: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 可視性 2: 登録済みの可視性
KNAE01814-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの必須区分とすでに登録されているサービス共有プロパティの必須区分を一致させてください (指定された必須区分: {1}, 登録済みの必須区分: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 必須区分 2: 登録済みの必須区分
KNAE01815-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの最小長とすでに登録されているサービス共有プロパティの最小長を一致させてください (指定された最小長: {1}, 登録済みの最小長: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 最小長 2: 登録済みの最小長
KNAE01816-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの最大長とすでに登録されているサービス共有プロパティの最大長を一致させてください (指定された最大長: {1}, 登録済みの最大長: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 最大長 2: 登録済みの最大長
KNAE01817-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの最小値とすでに登録されているサービス共有プロパティの最小値を一致させてください (指定された最小値: {1}, 登録済みの最小値: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 最小値 2: 登録済みの最小値
KNAE01818-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティの最大値とすでに登録されているサービス共有プロパティの最大値を一致させてください (指定された最大値: {1}, 登録済みの最大値: {2})。 0: サービスプロパティキー 1: 最大値 2: 登録済みの最大値
KNAE01819-E	サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	指定されたサービス共有プロパティの入力文字制限とすでに登録されているサービス共有プロパティの入力文字制限を一致させてください（指定された入力文字制限：{1}，登録済みの入力文字制限：{2}）。 0: サービスプロパティキー 1: 入力文字制限 2: 登録済みの入力文字制限
KNAE01820-E	サービスプロパティの定義が不正です（サービスプロパティキー：{0}）。 [対処] 指定されたサービス共有プロパティのリスト表示値とすでに登録されているサービス共有プロパティのリスト表示値を一致させてください（指定されたリスト表示値：{1}，登録済みのリスト表示値：{2}）。 0: サービスプロパティキー 1: リスト表示値 2: 登録済みのリスト表示値
KNAE01821-E	リリース結果のエラーメッセージ出力件数が上限値を超えたため処理を中断します（上限値：{0}）。 [対処] このメッセージよりも前に出力されているエラーメッセージに従って対処してください。 0: 上限値
KNAE01822-E	画面カスタムファイルが不正です（ファイル名：{0}）。 [対処] アーカイブファイルのフォーマットを変更するか，または再作成してください。 0: ファイル名
KNAE01823-E	スクリプトファイルが不正です（バンダー ID：{0}，部品 ID：{1}，部品バージョン：{2}，プラットフォーム：{3}，ファイル名：{4}）。 [対処] アーカイブファイルのフォーマットを変更するか，または再作成してください。 0: バンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: ファイル名
KNAE01824-I	サービステンプレートのビルドを開始します。
KNAE01825-I	サービステンプレートのビルドが正常終了しました（バンダー ID：{0}，サービステンプレート ID：{1}，サービステンプレートバージョン：{2}）。 0: バンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン
KNAE01826-E	サービステンプレートのビルドが異常終了しました（バンダー ID：{0}，サービステンプレート ID：{1}，サービステンプレートバージョン：{2}）。 [対処] このメッセージよりも前に出力されているエラーメッセージに従って対処してください。 0: バンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン
KNAE01827-I	サービステンプレートのリリースを開始します。
KNAE01828-I	サービステンプレートのリリースが正常終了しました（バンダー ID：{0}，サービステンプレート ID：{1}，サービステンプレートバージョン：{2}）。 0: バンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE01829-E	<p>サービステンプレートのリリースが異常終了しました (ベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, サービステンプレートバージョン : {2})。</p> <p>[対処] このメッセージよりも前に出力されているエラーメッセージに従って対処してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: サービステンプレートバージョン</p>
KNAE01830-I	<p>サービステンプレートパッケージを作成しました (ファイル名 : {0})。</p> <p>0: サービステンプレートのファイル名</p>
KNAE01831-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[原因] アーカイブファイル内のフォルダまたはファイルの名称にマルチバイト文字が含まれています (ファイルパス : {1})。</p> <p>[対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。</p> <p>0: 画面カスタムファイルのファイル名 1: アーカイブファイル内のファイルパス</p>
KNAE01832-E	<p>スクリプトファイルが不正です (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, プラットフォーム : {3}, ファイル名 : {4})。</p> <p>[原因] アーカイブファイル内のフォルダまたはファイルの名称にマルチバイト文字が含まれています (ファイルパス : {5})。</p> <p>[対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名 5: アーカイブファイル内のファイルパス</p>
KNAE01833-E	<p>サービスリソースファイルの内容が不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[原因] サービス定義から参照されるサービスリソースファイルの設定値に制御文字が含まれています (プロパティキー : {1})。</p> <p>[対処] 設定値を修正してください。</p> <p>0: サービスリソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01834-E	<p>サービスリソースファイルの内容が不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[原因] サービス定義から参照されるサービスリソースファイルの設定値にサロゲートペア文字が含まれています (プロパティキー : {1})。</p> <p>[対処] 設定値を修正してください。</p> <p>0: サービスリソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01835-E	<p>サービスリソースファイルの内容が不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[原因] サービス定義から参照されるサービスリソースファイルの設定値が最大文字数を超過しています (プロパティキー : {1}, 最大文字数 : {2}, 設定値の文字数 : {3}, 設定値 : {4})。</p> <p>[対処] 設定値を修正してください。</p> <p>0: サービスリソースファイル名</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>1: プロパティキー 2: 最大文字数 3: 設定値の文字数 4: 設定値</p>
KNAE01836-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ファイル名: {0})。 [原因] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値に制御文字が含まれています (プロパティキー: {1})。 [対処] 設定値を修正してください。 0: 部品リソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01837-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ファイル名: {0})。 [原因] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値にサロゲートペア文字が含まれています (プロパティキー: {1})。 [対処] 設定値を修正してください。 0: 部品リソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01838-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ファイル名: {0})。 [原因] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値が最大文字数を超過しています (プロパティキー: {1}, 最大文字数: {2}, 設定値の文字数: {3}, 設定値: {4})。 [対処] 設定値を修正してください。 0: 部品リソースファイル名 1: プロパティキー 2: 最大文字数 3: 設定値の文字数 4: 設定値</p>
KNAE01839-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2}, ファイル名: {3})。 [原因] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値に制御文字が含まれています (プロパティキー: {4})。 [対処] 設定値を修正してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: 部品リソースファイル名 4: プロパティキー</p>
KNAE01840-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2}, ファイル名: {3})。 [原因] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値にサロゲートペア文字が含まれています (プロパティキー: {4})。 [対処] 設定値を修正してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: 部品リソースファイル名 4: プロパティキー</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE01841-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, ファイル名 : {3})。</p> <p>[対処] 部品定義から参照される部品リソースファイルの設定値が最大文字数を超過しています (プロパティキー : {4}, 最大文字数 : {5}, 設定値の文字数 : {6}, 設定値 : {7})。</p> <p>[対処] 設定値を修正してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: 部品リソースファイル名 4: プロパティキー 5: 最大文字数 6: 設定値の文字数 7: 設定値</p>
KNAE01842-E	<p>サービスリソースファイルの内容が不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[対処] サービス定義で入力必須となる項目のプロパティキーおよびプロパティの設定値を定義してください (プロパティキー : {1})。</p> <p>0: サービスリソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01843-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[対処] 部品定義で入力必須となる項目のプロパティキーおよびプロパティの設定値を定義してください (プロパティキー : {1})。</p> <p>0: 部品リソースファイル名 1: プロパティキー</p>
KNAE01844-E	<p>部品リソースファイルの内容が不正です (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, ファイル名 : {3})。</p> <p>[対処] 部品定義で入力必須となる項目のプロパティキーおよびプロパティの設定値を定義してください (プロパティキー : {4})。</p> <p>0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: 部品リソースファイル名 4: プロパティキー</p>
KNAE01845-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名 : {0})。</p> <p>[対処] 判定条件として矛盾のない値を指定してください (判定条件 : {1}, 判定条件値 1 : {2}, 判定条件値 2 : {3})。</p> <p>0: ステップ名 1: 判定条件 2: 判定条件値 1 3: 判定条件値 2</p>
KNAE01846-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (ファイル名 : {0})。</p> <p>[対処] マルチバイト文字を含まないファイル名に変更してください。</p> <p>0: 画面カスタムファイルのファイル名</p>
KNAE01847-E	<p>スクリプトファイルが不正です (ベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, プラットフォーム : {3}, ファイル名 : {4})。</p> <p>[対処] マルチバイト文字を含まないファイル名に変更してください。</p> <p>0: ベンダー ID 1: 部品 ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名
KNAE01848-E	画面カスタムファイルが不正です (ファイル名: {0})。 [原因] ファイル名が最大文字数を超過しています (最大文字数: {1}, 現在の文字数: {2})。 [対処] ファイル名を変更してください。 0: 画面カスタムファイル名 1: 最大文字数 2: 現在の文字数
KNAE01849-E	スクリプトファイルが不正です (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2}, プラットフォーム: {3}, ファイル名: {4})。 [原因] ファイル名が最大文字数を超過しています (最大文字数: {5}, 現在の文字数: {6})。 [対処] ファイル名を変更してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名 5: 最大文字数 6: 現在の文字数
KNAE01850-E	画面カスタムファイルが不正です (ファイル名: {0})。 [原因] アーカイブファイル内のファイルパス長が最大文字数を超過しています (ファイルパス: {1}, 最大文字数: {2}, 現在の文字数: {3})。 [対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。 0: 画面カスタムファイル名 1: アーカイブファイル内のファイルパス 2: 最大文字数 3: 現在の文字数
KNAE01851-E	スクリプトファイルが不正です (ベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2}, プラットフォーム: {3}, ファイル名: {4})。 [原因] アーカイブファイル内のファイルパス長が最大文字数を超過しています (ファイルパス: {5}, 最大文字数: {6}, 現在の文字数: {7})。 [対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。 0: ベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名 5: アーカイブファイル内のファイルパス 6: 最大文字数 7: 現在の文字数
KNAE01852-E	部品のベンダー ID, 部品 ID, スクリプトファイルが不正です (部品のベンダー ID: {0}, 部品 ID: {1}, 部品バージョン: {2}, プラットフォーム: {3}, ファイル名: {4})。 [原因] 部品のベンダー ID と部品 ID とスクリプトファイル名の合計文字数が最大文字数を超過しています (最大文字数: {5}, 現在の合計文字数: {6})。 [対処]

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>スクリプトファイル名を変更するか、部品を複製してベンダー ID と部品 ID を変更してください。</p> <p>0: 部品のベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名 5: 最大文字数 6: 現在の合計文字数</p>
KNAE01853-E	<p>部品のベンダー ID、部品 ID、スクリプトファイルが不正です (部品のベンダー ID : {0}, 部品 ID : {1}, 部品バージョン : {2}, プラットフォーム : {3}, ファイル名 : {4}, ファイルパス : {5})。</p> <p>[原因] 部品のベンダー ID と部品 ID とアーカイブファイル内のスクリプトファイルパスの合計文字数が最大文字数を超過しています (最大文字数 : {6}, 現在の合計文字数 : {7})。</p> <p>[対処] アーカイブファイル内のフォルダ名またはスクリプトファイル名を変更するか、部品を複製してベンダー ID と部品 ID を変更してください。</p> <p>0: 部品のベンダー ID 1: 部品 ID 2: 部品バージョン 3: プラットフォーム 4: スクリプトファイル名 5: アーカイブファイル内のファイルパス 6: 最大文字数 7: 現在の合計文字数</p>
KNAE01854-E	<p>サービステンプレートのベンダー ID、サービステンプレート ID、画面カスタムファイルが不正です。</p> <p>[原因] サービステンプレートのベンダー ID とサービステンプレート ID と画面カスタムファイル名の合計文字数が最大文字数を超過しています (サービステンプレートのベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, ファイル名 : {2}, 最大文字数 : {3}, 現在の合計文字数 : {4})。</p> <p>[対処] 画面カスタムファイル名を変更するか、サービステンプレートを複製してベンダー ID とサービステンプレート ID を変更してください。</p> <p>0: サービステンプレートのベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: 画面カスタムファイル名 3: 最大文字数 4: 現在の合計文字数</p>
KNAE01855-E	<p>サービステンプレートのベンダー ID、サービステンプレート ID、画面カスタムファイルが不正です。</p> <p>[原因] サービステンプレートのベンダー ID とサービステンプレート ID とアーカイブファイル内の画面カスタムファイルパスの合計文字数が最大文字数を超過しています (サービステンプレートのベンダー ID : {0}, サービステンプレート ID : {1}, ファイル名 : {2}, ファイルパス : {3}, 最大文字数 : {4}, 現在の合計文字数 : {5})。</p> <p>[対処] アーカイブファイル内のフォルダ名または画面カスタムファイル名を変更するか、サービステンプレートを複製してベンダー ID とサービステンプレート ID を変更してください。</p> <p>0: サービステンプレートのベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: 画面カスタムファイル名 3: アーカイブファイル内のファイルパス</p>

メッセージID	メッセージの内容
	4: 最大文字数 5: 現在の合計文字数
KNAE01856-E	画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [対処] アーカイブファイルにサービス設定画面(View 領域)のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: プロパティグループ名 1: サービス設定画面(View 領域)の相対ファイルパス
KNAE01857-E	画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [対処] アーカイブファイルにサービス設定画面(Edit 領域)のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: プロパティグループ名 1: サービス設定画面(Edit 領域)の相対ファイルパス
KNAE01858-E	画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [対処] アーカイブファイルにサービス実行画面(View 領域)のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: プロパティグループ名 1: サービス実行画面(View 領域)の相対ファイルパス
KNAE01859-E	画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [対処] アーカイブファイルにサービス実行画面(Edit 領域)のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: プロパティグループ名 1: サービス実行画面(Edit 領域)の相対ファイルパス
KNAE01860-E	画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [対処] アーカイブファイルにタスク詳細画面のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: プロパティグループ名 1: タスク詳細画面の相対ファイルパス
KNAE01861-E	ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。 [対処] マッピングパラメータに設定されているプロパティは、可視性の制限によりマッピングできないため、設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のプロパティ名: {3})。 0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のプロパティ名
KNAE01862-E	ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。 [対処] マッピングパラメータに設定されているプロパティは、可視性の制限によりマッピングできないため、設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のステップ名: {3}, 参照先のプロパティ名: {4})。 0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のステップ名 4: 参照先のプロパティ名
KNAE01863-E	ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。 [対処]

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>マッピングパラメータに設定されているプロパティは、データ型の制限によりマッピングできないため、設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のプロパティ名: {3})。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のプロパティ名</p>
KNAE01864-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。</p> <p>[対処] マッピングパラメータに設定されているプロパティは、データ型の制限によりマッピングできないため、設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のステップ名: {3}, 参照先のプロパティ名: {4})。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のステップ名 4: 参照先のプロパティ名</p>
KNAE01865-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。</p> <p>[対処] マッピングパラメータに設定されているプロパティが循環参照されているため、設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のステップ名: {3}, 参照先のプロパティ名: {4})。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のステップ名 4: 参照先のプロパティ名</p>
KNAE01866-E	<p>サービスプロパティの定義が不正です (サービスプロパティキー: {0})。</p> <p>[対処] 同じキーのプロパティがステップで使用されているので、サービスプロパティキーを変更してください。</p> <p>0: サービスプロパティキー</p>
KNAE01867-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。</p> <p>[原因] マッピングパラメータに設定されている参照先の出力プロパティにマッピングパラメータが設定されています (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 参照先のステップ名: {3}, 参照先のプロパティ名: {4})。</p> <p>[対処] 参照先の出力プロパティに設定されているマッピングパラメータを削除してください。参照先の出力プロパティをタスク詳細画面に表示したい場合は、参照先の出力プロパティの可視性を「公開」に設定してください。</p> <p>0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 参照先のステップ名 4: 参照先のプロパティ名</p>
KNAE01868-E	<p>[サービスプロパティ]ビューに設定されているプロパティグループ数が最大プロパティグループ数を超過しています (最大プロパティグループ数: {0}, 現在のプロパティグループ数: {1})。</p> <p>[対処] 最大プロパティグループ数以下になるようにプロパティグループを設定してください。</p> <p>0: 最大プロパティグループ数 1: 現在のプロパティグループ数</p>
KNAE01869-E	<p>[サービスプロパティ]ビューに設定されているプロパティ数が最大プロパティ数を超過しています (最大プロパティ数: {0}, 現在のプロパティ数: {1})。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] 最大プロパティ数以下になるようにプロパティを設定してください。 0: 最大プロパティ数 1: 現在のプロパティ数</p>
KNAE01870-E	<p>サービステンプレートに設定されているプロパティの総数が最大プロパティ数を超過しています (最大プロパティ数: {0}, 現在のプロパティ数: {1})。 [対処] 最大プロパティ数以下になるようにプロパティを設定してください。 0: 最大プロパティ数 1: 現在のプロパティ数</p>
KNAE01871-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [原因] アーカイブファイル内のフォルダまたはファイルの名称にマルチバイト文字が含まれています (ファイルパス: {1})。 [対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。 0: プロパティグループ名 1: アーカイブファイル内のファイルパス</p>
KNAE01872-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (プロパティグループ名: {0})。 [原因] アーカイブファイル内のファイルパス長が最大文字数を超過しています (ファイルパス: {1}, 最大文字数: {2}, 現在の文字数: {3})。 [対処] フォルダ名またはファイル名を変更してください。 0: プロパティグループ名 1: アーカイブファイル内のファイルパス 2: 最大文字数 3: 現在の文字数</p>
KNAE01873-E	<p>サービステンプレートのベンダー ID, サービステンプレート ID, 画面カスタムファイルが不正です。 [原因] サービステンプレートのベンダー ID とサービステンプレート ID とアーカイブファイル内の画面カスタムファイルパスの合計文字数が最大文字数を超過しています (サービステンプレートのベンダー ID: {0}, サービステンプレート ID: {1}, プロパティグループ名: {2}, ファイルパス: {3}, 最大文字数: {4}, 現在の合計文字数: {5})。 [対処] アーカイブファイル内のフォルダ名または画面カスタムファイル名を変更するか, サービステンプレートを複製してベンダー ID とサービステンプレート ID を変更してください。 0: サービステンプレートのベンダー ID 1: サービステンプレート ID 2: プロパティグループ名 3: アーカイブファイル内のファイルパス 4: 最大文字数 5: 現在の合計文字数</p>
KNAE01874-E	<p>ステップのマッピング定義が不正です (ステップ名: {0})。 [対処] マッピングパラメータに設定されている値がプロパティ制約に反しているため, 設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2})。 0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ</p>
KNAE01875-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (ファイル名: {0})。 [原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>アーカイブファイル内の最上位のフォルダ名に予約されているフォルダ名が使用されています (フォルダ名: {1})。</p> <p>[対処] 最上位のフォルダ名を変更してください。 0: 画面カスタムファイルのファイル名 1: フォルダ名</p>
KNAE01876-E	<p>画面カスタムファイルが不正です (ファイル名: {0})。</p> <p>[対処] アーカイブファイルにサービス概要のファイルが存在しないので、設定を見直してください (ファイルパス: {1})。 0: 画面カスタムファイルのファイル名 1: サービス概要ファイルの相対パス</p>
KNAE01877-E	<p>ステップの配置が不正です (ステップ名: {0})。</p> <p>[原因] 繰り返し実行部品の中のサービス部品に繰り返し実行部品が含まれています。</p> <p>[対処] 編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: ステップ名</p>
KNAE01878-E	<p>ステップの配置が不正です (ステップ名: {0})。</p> <p>[原因] ステップの階層数とステップ配置先フローの階層数の合計が最大階層数を超過しています(ステップの階層数: {1}, ステップ配置先フローの階層数: {2}, 最大階層数: {3})。</p> <p>[対処] サービス部品の階層数を確認し、編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: ステップ名 1: ステップの階層数 2: ステップ配置先フローの階層数 3: 最大階層数</p>
KNAE01879-E	<p>サービステンプレートに設定されているステップの総数が最大ステップ数を超過しています (最大ステップ数: {0}, 現在のステップ数: {1})。</p> <p>[対処] サービス部品のステップ数を確認し、編集中のサービステンプレートの構成を見直してください。 0: 最大ステップ数 1: 現在のステップ数</p>
KNAE01880-E	<p>マッピングパラメータに設定されている予約プロパティは、そのステップで設定できません (ステップ名: {0})。</p> <p>[対処] 設定を見直してください (ステップのプロパティ名: {1}, マッピングパラメータ: {2}, 予約プロパティ名: {3})。 0: ステップ名 1: ステップのプロパティ名 2: マッピングパラメータ 3: 予約プロパティ名</p>
KNAE01881-E	<p>後続ステップのアロー条件式に設定されている予約プロパティが入力プロパティではありません。(ステップ名: {0})。</p> <p>[対処] 設定を見直してください (条件名: {1}, 条件式: {2}, 予約プロパティ名: {3})。 0: ステップ名 1: 条件名 2: 条件 3: 予約プロパティ名</p>
KNAE01882-E	<p>後続ステップのアロー条件式に設定されている予約プロパティは、そのステップで参照できません (ステップ名: {0})。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] 繰り返し実行部品の予約プロパティは、その繰り返し実行部品のフロー外のステップからは参照できません。</p> <p>[対処] 設定を見直してください（条件名：{1}、条件式：{2}、予約プロパティ名：{3}）。 0: ステップ名 1: 条件名 2: 条件 3: 予約プロパティ名</p>
KNAE01883-E	<p>後続ステップのアロー条件式が不正です（ステップ名：{0}）。</p> <p>[原因] 後続ステップのアロー条件式に設定されている参照先の出力プロパティにマッピングパラメータが設定されています（条件名：{1}、条件式：{2}、参照先のステップ名：{3}、参照先のプロパティ名：{4}）。</p> <p>[対処] 参照先の出力プロパティに設定されているマッピングパラメータを削除してください。参照先の出力プロパティをタスク詳細画面に表示したい場合は、参照先出力プロパティの[サービスプロパティ]のチェックボックスをオンにしてください。 0: ステップ名 1: 条件名 2: 条件 3: 参照ステップ名 4: 参照プロパティ名</p>
KNAE01884-E	<p>後続ステップのアロー条件式に設定されているサービスプロパティが出力プロパティです。（ステップ名：{0}）。</p> <p>[対処] 設定を見直してください（条件名：{1}、条件式：{2}、サービスプロパティ名：{3}）。 0: ステップ名 1: 条件名 2: 条件 3: サービスプロパティ名</p>
KNAE01885-E	<p>後続ステップのアロー条件式が不正です（ステップ名：{0}）。</p> <p>[原因] 後続ステップのアロー条件式に設定されているサービスプロパティが存在しません。</p> <p>[対処] 設定を見直してください（条件名：{1}、条件式：{2}、サービスプロパティキー：{3}）。 0: ステップ名 1: 条件名 2: 条件 3: サービスプロパティキー</p>
KNAE01886-E	<p>外部リソースプロバイダがタイムアウト時間内に実行終了しませんでした（タイムアウト時間：{0}秒）。</p> <p>[原因] 外部リソースプロバイダのコマンドまたはスクリプトの実行に時間がかかりすぎています。</p> <p>[対処] 外部リソースプロバイダのコマンドまたはスクリプトを見直してください。 0: タイムアウト時間</p>
KNAE01887-E	<p>繰り返し部品のネストの最大数を超過しています(ネストの最大数：{0})。</p> <p>[対処] 繰り返し部品のネストの最大数を超えないようフローを設定してください。 0: 繰り返し実行部品の最大ネスト数</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE02020-W	ユーザー設定プロパティファイルが見つかりません(ファイル名：{0})。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] ユーザー設定プロパティファイルが存在しません。</p> <p>[対処] 資料を採取したあとにユーザー設定プロパティファイルを再作成し、製品を再起動してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE02021-E	<p>システムプロパティの読み込みに失敗しました。</p> <p>[原因] システム環境が壊れているおそれがあります。</p> <p>[対処] 資料を採取したあとに製品を再インストールしてください。それでも問題が解決しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。</p>
KNAE02022-W	<p>プロパティキーの設定値の取得に失敗したため、デフォルトが設定されました(プロパティキー: {0})。</p> <p>[原因] プロパティキーの設定値が、設定可能な値ではありません。</p> <p>[対処] プロパティキーの設定値を見直してください。設定値を変更した場合には、製品を再起動してください。</p> <p>0: プロパティキー</p>
KNAE02023-E	<p>システムプロパティの取得に失敗しました。</p> <p>[原因] システム環境が壊れているおそれがあります。</p> <p>[対処] 資料を採取したあとに製品を再インストールしてください。それでも問題が解決しない場合は、システム管理者にお問い合わせください。</p>
KNAE02050-E	<p>環境の初期化に失敗しました。</p> <p>[対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE02101-E	<p>リクエストボディの変換に失敗しました。</p> <p>[対処] 引数を見直して、再実行してください。</p>
KNAE02102-E	<p>指定したリソースが存在しないか、アクセス権がありません。</p> <p>[対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リソースの有無 ・ リソースへのアクセス権限
KNAE02103-E	<p>許可されていないメソッド呼び出しです(メソッド名: {0})。</p> <p>[対処] メソッド名を確認してください。</p> <p>0:メソッド名</p>
KNAE02104-E	<p>クエリパラメータ指定不正です({0})。</p> <p>[対処] クエリパラメータの指定を確認してください。</p> <p>0:詳細情報</p>
KNAE02105-I	<p>サーバは起動途中です。</p> <p>[対処] しばらくお待ちください。</p>
KNAE02106-E	<p>操作の実行に失敗しました(詳細情報: {0})。</p> <p>0:詳細情報</p>
KNAE02107-E	<p>タスクの再実行に失敗しました。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>タスクの状態が正常終了、失敗、キャンセルのどれでもありません。</p> <p>[対処] タスクの状態を確認してください。</p>
KNAE02108-E	<p>指定したリソースは編集できません({0})。</p> <p>[原因] 編集できないリソースを指定しています。</p> <p>[対処] 別のリソースを指定してください。 0:リソース名</p>
KNAE02109-E	<p>指定したプロパティは編集できません({0})。</p> <p>[原因] 次の3点の原因が考えられます。 (1) タスクまたはスケジュールに関連するプロパティを指定している。 (2) 編集権限のないプロパティを指定している。 (3) 値の変更が禁止されているプロパティを指定している。</p> <p>[対処] 編集対象のプロパティを見直して、編集可能なプロパティを指定してください。 0:リソース名</p>
KNAE02110-E	<p>指定したプロパティの値が不正です (プロパティ: {0})。</p> <p>[原因] 次の4点の原因が考えられます。 (1) プロパティの値に指定不可能な文字が含まれている。 (2) プロパティの値の文字列長が指定可能な範囲外の長さである。 (3) プロパティの値が指定可能な範囲外の値である。 (4) プロパティの値の形式が、指定不可能な形式である。</p> <p>[対処] 指定したプロパティの値を確認し、原因に応じて正しいプロパティの値に修正してください。 0:プロパティ</p>
KNAE02111-E	<p>ログイン情報の解析に失敗しました (詳細情報 :{0})。</p> <p>[原因] 内部エラーの可能性がります。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0:詳細情報</p>
KNAE02112-E	<p>指定したプロパティが存在しないか、アクセス権がありません (プロパティキー : {0})。</p> <p>[対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・プロパティの有無 ・プロパティのアクセス権限 0:プロパティキー</p>
KNAE02113-E	<p>応答入力不正です。</p> <p>[原因] 次の3点の原因が考えられます。 ・応答入力の指定がない。 ・応答入力を複数指定している。 ・存在しないなど、指定不可能な応答入力を指定している。</p> <p>[対処] 指定した応答入力を確認し、原因に応じて正しい応答入力に修正してください。</p>
KNAE02114-E	<p>指定したサービスの構成種別を変更できません。</p> <p>[対処] サービスの構成種別を確認してください。</p>
KNAE02115-E	<p>指定したサービスを作成できません。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] 指定したサービスグループでサービスの作成権限がありません。</p> <p>[対処] サービスが属するサービスグループに Modify 以上の権限を付与してから再実行してください。</p>
KNAE02116-E	<p>指定したリソースは既にほかのインフラストラクチャグループに割り当てられているため設定できません。(インフラストラクチャグループ要素 ID : {0})</p> <p>[原因] 既に割り当て済みの storageResourceGroup を InfrastructureGroup に割り当てようとした。</p> <p>[対処] 割り当て済みのグループからリソースグループを解除してから再実行してください。 0: 定義済みの要素 ID</p>
KNAE02117-E	<p>同名のリソースが既に存在するため、更新に失敗しました。</p> <p>[原因] 同名のリソースが既に存在しています。</p> <p>[対処] 名称を変更して再実行してください。</p>
KNAE02118-W	<p>プロパティの編集をスキップしました (プロパティ : {0})。</p> <p>[原因] 指定されたプロパティは編集不可能なプロパティです。編集不可能なプロパティとして次の原因が考えられます。</p> <p>(1) Task または Schedule に関連するプロパティを指定している。 (2) 編集権限のないプロパティを指定している。 (3) 値の変更が禁止されているプロパティを指定している。</p> <p>0:プロパティ</p>
KNAE02119-E	<p>サービスグループ・ユーザーグループ関連の編集に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] 次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 編集できないユーザーグループを指定している ・ 存在しないユーザーグループを指定している。 ・ 同一のユーザーグループを複数指定している。 ・ 設定できないロールを指定している。 ・ 存在しないロールを指定している。 <p>[対処] 編集対象のユーザーグループ,ロールを見直して、再実行してください。 0:ユーザーグループ名</p>
KNAE02120-E	<p>サービスグループ・ユーザーグループ関連の編集に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー管理機能でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] いったん操作を終了したあと、ユーザーグループとサービスグループが存在することを確認し、再度操作してください。 それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報 : {1})。 0:ユーザーグループ名 1 : 保守情報</p>
KNAE02121-E	<p>指定したプロパティの値が不正です ({0})。</p> <p>[原因] 出力されたメッセージを参照してください。</p> <p>[対処] 指定したプロパティの値を確認し、原因に応じて正しいプロパティの値に修正してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	0:エラー原因
KNAE02122-E	<p>データベースからデータを取得できませんでした(保守情報：{0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定したリクエスト条件が多過ぎる、またはリクエスト条件が長過ぎます。 ・データベースへのアクセスが集中しています。 ・データベースが正常に動作していません。 <p>[対処]</p> <p>次に示す対処を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト条件を見直してください ・時間を置いて再実行してください。 ・本製品のサービスを再起動してください。 ・再度エラーが発生する場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 <p>0: 保守情報</p>
KNAE02123-E	<p>ファイルをエクスポートできません(ファイル名：{0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 選択したサービステンプレートがビルドされていない。 (2) ファイルの保存先が存在しないか、アクセスできない。 (3) ファイルの保存先のディスク容量が不足している。 (4) ファイルが存在しないか、アクセスできない。 <p>[対処]</p> <p>開発中のサービステンプレートである場合は、ビルドしてから、再度エクスポートしてください。</p> <p>それ以外の場合は、一旦サービステンプレート一覧ダイアログを閉じて、再度エクスポートしてください。</p> <p>それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0：ファイル名</p>
KNAE02124-E	<p>サービステンプレートのインポートに失敗しました(詳細情報：{0})。</p> <p>0: 詳細情報</p>
KNAE02125-I	<p>サービステンプレートのインポートに成功しました。(サービステンプレートID：{0}, ベンダーID：{1}, バージョン：{2})</p> <p>0:サービステンプレートID 1:サービステンプレートのベンダーID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE02126-I	<p>サービステンプレートのインポートをスキップしました。(サービステンプレートID：{0}, ベンダーID：{1}, バージョン：{2})</p> <p>0:サービステンプレートID 1:サービステンプレートのベンダーID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE02127-E	<p>一時フォルダへの書き込みに失敗しました (フォルダ：{0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時フォルダの権限が不正です。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:フォルダパス</p>
KNAE02128-E	<p>サービステンプレートの拡張子が不正です (ファイル名：{0})。</p> <p>[対処]</p> <p>拡張子が st であるサービステンプレートを指定して再度実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:ファイル名
KNAE02129-E	ファイル名が不正です。 [原因] ファイル名にマルチバイト文字が使用されています。 [対処] ファイル名を変更してください。
KNAE02130-E	ファイル名が不正です。 [原因] ファイル名の長さが最大長を超えています。 [対処] ファイル名を変更してください。
KNAE02131-E	リストアしたタスクであるため、リソースを取得できません。
KNAE02132-E	サービスの追加に失敗しました。 [原因] 指定したサービスグループが削除されたおそれがあります。 [対処] サービスグループが存在することを確認し、再度操作してください。
KNAE02135-E	ファイルの処理に失敗しました(ファイルパス: {0}, 詳細情報: {1}). [対処] ファイルを確認してください。 0:ファイルパス 1:詳細情報
KNAE02136-E	スクリプトのコンパイルに失敗しました(詳細情報: {0}). [原因] スクリプトファイルの内容が不正です。 [対処] ファイルの内容を見直してください。 0:詳細情報
KNAE02137-E	接続テストに失敗しました(詳細情報: {0}). 0:詳細情報
KNAE12000-E	ライセンス情報を取得できませんでした。 [対処] エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KNAE12001-I	ライセンスキーを登録してください。
KNAE12002-E	非常ライセンスのライセンス期限が満了しました。 [対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KNAE12003-W	非常ライセンスの有効期間は、あと{0}日間です。{1}に満了します。 [対処] 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。 0: 期限までの日数 1: 日付(YYYY-MM-DD 形式)
KNAE12004-I	非常ライセンスの有効期間は、あと{0}日間です。{1}に満了します。 0: 期限までの日数 1: 日付(YYYY-MM-DD 形式)
KNAE12005-E	一時ライセンスのライセンス期限が満了しました。 [対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KNAE12006-W	一時ライセンスの有効期間は、あと{0}日間です。{1}に満了します。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	<p>正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。</p> <p>0：期限までの日数 1：日付(YYYY-MM-DD 形式)</p>
KNAE12007-I	<p>一時ライセンスの有効期間は、あと{0}日間です。{1}に満了します。</p> <p>0：期限までの日数 1：日付(YYYY-MM-DD 形式)</p>
KNAE12008-I	<p>ライセンスは有効です。</p>
KNAE12009-W	<p>期間ライセンスの有効期間は、あと{0}日間です。{1}に満了します。</p> <p>[対処] 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。</p> <p>0：期限までの日数 1：日付(YYYY-MM-DD 形式)</p>
KNAE12010-W	<p>ライセンス期限が満了しているストレージシステム、ライセンス容量を超過しているストレージシステム、および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12011-W	<p>ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステム、ライセンス容量を超過しているストレージシステム、および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12012-W	<p>ライセンス容量を超過しているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12013-W	<p>ライセンス期限が満了しているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12014-W	<p>ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12015-W	<p>一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12016-W	<p>ライセンス期限が満了しているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12017-W	<p>ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと、ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12018-W	<p>一部ストレージシステムの容量がライセンス容量を超過しています。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>
KNAE12019-W	<p>ライセンス期限が満了しているストレージシステムがあります。</p> <p>[対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE12020-I	すべてのストレージシステムのライセンス期限が満了しています。 [対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KNAE12021-W	一部のストレージシステムで、ライセンス期限が満了に近づいています。 [対処] 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KNAE12022-I	ライセンスが登録されていません。 [対処] 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE03000-I	{0}を開始します。 0: コマンド名
KNAE03001-I	{0}が正常終了しました。 0: コマンド名
KNAE03002-E	{0}が異常終了しました(戻り値: {1})。 0: コマンド名 1: リターンコード
KNAE03003-E	引数の指定に誤りがあります。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。
KNAE03004-W	{0}が中断されました。 0: コマンド名
KNAE03005-E	{0}の実行権限がありません。 [対処] 実行権限のあるユーザーで、再実行してください。 0: コマンド名
KNAE03006-W	同時実行できないコマンドが実行中のため終了します。 [対処] 実行中のコマンドの終了を待って、再実行してください。
KNAE03007-E	指定したフォルダが存在しません(フォルダ名: {0})。 [対処] 存在するフォルダを指定して、再実行してください。 0: フォルダ名
KNAE03008-E	サーバに接続できませんでした(ホスト: {0}, ポート: {1}, プロトコル: {2})。 [対処] 接続しようとしたサーバが正しいか、通信経路に問題がないか、確認の上、再実行してください。 0: IP アドレスまたはホスト名 1: ポート 2: プロトコル
KNAE03009-E	パスワードファイルの読み込みが失敗しました(パス: {0})。 [対処] パスワードファイルを再作成するか、引数にパスワードを指定して再実行してください。 0: パス名
KNAE03010-E	ユーザーの認証に失敗しました。 [原因] ユーザー ID、パスワード、パスワードファイルのどれかが間違っているか、ユーザー権限が設定されていないおそれがあります。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	ユーザー ID、パスワード、パスワードファイルおよびユーザー権限を確認の上、再実行してください。
KNAE03011-E	指定したエンコーディングには対応していません。 [原因] 対応しているエンコーディング以外が指定されています。 [対処] 対応しているエンコーディングを確認の上、再実行してください。
KNAE03012-E	{0}が起動していません。または、起動が完了していません。 [対処] 指定されたサービスが停止状態の場合、サービスを起動してください。指定されたサービスが起動状態の場合、サービスを再起動してください。 0：サービス名
KNAE03013-E	{0}が停止していません。 [対処] 指定されたサービスを停止してください。 0：サービス名
KNAE03014-E	{0}の起動に失敗しました。 [対処] すでに操作要求を行っている場合は、しばらく待ってから再度実行してください。 0：サービス名
KNAE03015-E	{0}の停止に失敗しました。 [対処] すでに操作要求を行っている場合は、しばらく待ってから再度実行してください。 0：サービス名
KNAE03016-E	指定したフォルダが空ではありません(フォルダ名：{0})。 [原因] 指定したフォルダに、ファイルまたはフォルダが存在しています。 [対処] 空のフォルダを指定して、再実行してください。 0：フォルダ名
KNAE03017-E	指定したパスが存在しません(パス：{0})。 [対処] 存在するパスを指定して、再実行してください。 0：パス名
KNAE03018-E	メモリーまたはディスク容量が不足しています。 [対処] 負荷の低いときに再実行してください。または、不要なファイルを削除してから再実行してください。
KNAE03019-E	オプションに指定した値の文字列が長過ぎます(オプション名：{0})。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0：オプション名
KNAE03020-I	{0}を開始しました。 0：製品名
KNAE03021-I	{0}を終了しました。 0：製品名
KNAE03022-E	指定したサービスが存在しません(サービス名：{0})。 [原因] 正しくインストールが完了していないおそれがあります。 [対処] サービス一覧より、本プログラムのサービスが存在するか確認してください。存在しない場合、上書きインストールを行ってください。 0：サービス名

メッセージID	メッセージの内容
KNAE03023-E	{0}の起動がタイムアウトしました。 [対処] 環境を見直して再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0：サービス名
KNAE03024-E	{0}の停止がタイムアウトしました。 [対処] 環境を見直して再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0：サービス名
KNAE03025-E	{0}の状態を取得できませんでした。 [原因] 正しくインストールが完了していないおそれがあります。 [対処] サービス一覧より、本プログラムのサービスが存在するか確認してください。存在しない場合、上書きインストールを行ってください。 0：サービス名
KNAE03026-W	すでにサービスが起動しています。
KNAE03027-W	すでにサービスが停止しています。
KNAE03030-I	{0}のバックアップを開始します。 0：製品名
KNAE03031-I	{0}のバックアップの取得が完了しました。 0：製品名
KNAE03032-E	{0}のバックアップの取得に失敗しました。 0：製品名
KNAE03033-E	{0}のバックアップに失敗しました（コマンド：{1}，戻り値：{2}）。 0：製品名 1：実行したコマンド名 2：実行結果
KNAE03034-E	データベースへのアクセスエラーが発生しました。 [原因] データベースのファイルが破壊されているおそれがあります。 [対処] 資料を採取したあとにデータベースを再編成してください。再編成を行っても復旧できない場合は、データベースの再作成が必要です。
KNAE03035-E	バックアップ出力先にアクセスできません。 [原因] データベースの領域が不足しているか、データベースを作成したディスクの空き容量が不足しています。 [対処] データベースを格納してあるディスクの空き容量を確認し、不要なファイルは削除してください。
KNAE03036-W	バックアップデータの削除に失敗しました(ファイル名：{0})。 [対処] 指定されたファイルを、手動で削除してください。 0：ファイル名
KNAE03040-I	{0}のリストアを開始します。 0：製品名
KNAE03041-I	{0}のリストアを終了しました。 0：製品名
KNAE03042-E	{0}のリストアに失敗しました。 0：製品名

メッセージID	メッセージの内容
KNAE03043-E	{0}のリストアに失敗しました (コマンド: {1}, 戻り値: {2})。 0: 製品名 1: 実行したコマンド名 2: 実行結果
KNAE03044-E	指定したバックアップファイルに不足があります。 [原因] リストアに必要なファイルが存在しないか、内容に欠損がありました。 [対処] 正常なバックアップファイルを指定して、再実行してください。
KNAE03045-E	データベースへのアクセスエラーが発生しました。 [原因] データベースが閉塞しているか、データベースのファイルが破壊されているおそれがあります。 [対処] 資料を採取したあとにデータベースを再編成してください。再編成を行っても復旧できない場合は、データベースの再作成が必要です。
KNAE03046-E	データベースの領域が不足しています。 [原因] データベースの領域が不足しているか、データベースを作成したディスクの空き容量が不足しています。 [対処] 不要なデータを削除するか、データベース領域を拡張して空き容量を増やしてください。
KNAE03050-I	Automation システムの RAS ログ収集を開始します(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE03051-I	Automation システムの RAS ログ収集に成功しました(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE03052-E	Automation システムの RAS ログ収集に失敗しました(保守情報: {0}, {1})。 0: 保守情報 1: RAS_SCRIPT の戻り値
KNAE03053-W	一時フォルダの削除に失敗しました(フォルダ名: {0})。 [対処] メッセージが示すフォルダを削除してください。 0: フォルダパス
KNAE03054-W	フォルダの圧縮に失敗しました(フォルダ名: {0})。 [対処] 対象フォルダを個別に圧縮してください。 0: フォルダパス
KNAE03055-E	{0}が停止していません。 [対処] hcnds64srv に stop オプションを指定して実行してください。 0: サービス名
KNAE03056-E	{0}が停止していません。 [対処] hcnds64dsrv に stop オプションを指定して実行してください。 0: サービス名
KNAE03062-E	タスク一覧の取得に失敗しました。
KNAE03063-E	タスク履歴一覧の取得に失敗しました。
KNAE03064-E	期間の指定に誤りがあります。 [原因] 指定した期間が範囲外か、指定した期間に矛盾があります。 [対処]

メッセージ ID	メッセージの内容
	指定した期間が正しいか見直し、再実行してください。
KNAE03065-E	<p>ファイルを出力できませんでした(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの出力先のフォルダが存在しない。 ・同名のファイルが存在する。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力先フォルダや同名ファイルの存在 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0: ファイルパス</p>
KNAE03071-I	<p>タスクの実行開始に成功しました(タスク ID: {0})。</p> <p>0: タスク ID</p>
KNAE03073-E	<p>指定した key は存在しません(key: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスに指定できる key を指定して再実行してください。</p> <p>0: key 名</p>
KNAE03074-E	指定したサービスの実行に失敗しました。
KNAE03075-E	<p>同時に実行できるタスク数の上限に達しました。</p> <p>[対処]</p> <p>実行中のタスクの終了を待つか、ほかのタスクを実行停止してから再実行してください。</p>
KNAE03076-E	<p>同一のプロパティが複数回指定されました(キー: {0})。</p> <p>[対処]</p> <p>指定するプロパティを確認の上、再実行してください。</p> <p>0: key 名</p>
KNAE03077-W	<p>指定したサービスを実行する権限が無いか、サービスが無効になっています。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスを実行できるユーザーでログオンし、サービスの状態を確認の上、再実行してください。</p>
KNAE03079-W	<p>指定したサービス、またはサービスグループが存在しません(サービス名: {0}, サービスグループ名: {1})。</p> <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定したサービスグループにユーザが所属しており、該当するサービスが存在すること ・サービスグループを省略した場合は、ユーザが所属するサービスグループに該当するサービスが存在すること <p>0: サービス名</p> <p>1: サービスグループ名</p>
KNAE03080-E	<p>サービスはこれ以上実行できません。</p> <p>[原因]</p> <p>タスクの数が上限({0})を超えています。</p> <p>[対処]</p> <p>不要なタスクをアーカイブしてから再度実行してください。</p> <p>0: タスクの上限数</p>
KNAE03081-I	<p>タスクを実行停止しました(タスク ID: {0})。</p> <p>0: タスク ID</p>
KNAE03083-E	<p>指定したタスクの実行停止に失敗しました(タスク ID: {0})。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	タスクを停止できない状態です。 [対処] タスクの状態を確認の上、再実行してください。 0: タスク ID
KNAE03084-W	指定したタスクは存在しません(タスク ID : {0})。 [対処] 存在するタスクを確認の上、再度実行してください。 0: タスク ID
KNAE03094-E	サービステンプレート一覧の出力に失敗しました。
KNAE03095-E	サービス一覧の出力に失敗しました。
KNAE03102-E	サービステンプレートのパッケージングに失敗しました。
KNAE03103-E	サービステンプレートの内容に誤りがあるため、パッケージングに失敗しました。 [対処] サービステンプレートが正しく作成されているか見直した上で、再実行してください。
KNAE03104-E	フローの取得に失敗しました (フロー名 : {0})。 [原因] フローの指定に誤りがあります。 [対処] フロー名が正しいか見直した上で再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0: フロー名
KNAE03105-E	フローの解析に失敗しました (フロー名 : {0})。 [原因] フローの定義に誤りがあります。 [対処] フローの定義が正しいか見直した上で再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0: フロー名
KNAE03111-I	サービステンプレートのインポートに成功しました (サービステンプレートファイル名 : {0})。 0: サービステンプレートファイル名
KNAE03112-W	サービステンプレートのインポートをスキップしました。このサービステンプレートはすでにインポートされています (サービステンプレートファイル名 : {0})。 0: サービステンプレートファイル名
KNAE03113-E	サービステンプレートのインポートに失敗しました (サービステンプレートファイル名 : {0})。 0: サービステンプレートファイル名
KNAE03115-E	サービステンプレートパッケージのインポートに失敗しました。
KNAE03132-E	クラスタセットアップに失敗しました。
KNAE03134-E	クラスタ設定ファイルを読み込めません(ファイル名 : {0})。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・クラスタ設定ファイルが存在しない。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・クラスタ設定ファイルが存在する ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 0: ファイル名
KNAE03135-E	クラスタ設定ファイルの内容に誤りがあります(ファイル名 : {0}, プロパティ名 : {1})。 [対処] プロパティに指定した値を見直して、再実行してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	0 : ファイル名 1 : プロパティ名
KNAE03136-E	AJS 共存構成ではクラスタセットアップできません。 [対処] AJS 共存構成ではない環境でクラスタセットアップしてください。
KNAE03143-E	オプションに指定した値に指定できない文字が含まれています(オプション名 : {0})。 [対処] オプションに指定した値を見直して、実行してください。 0 : オプション名
KNAE03144-E	オプションに指定したパスにアクセスできません。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量
KNAE03145-E	ファイルに出力できません。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量
KNAE03147-E	オプションに指定したファイルはすでに存在します(ファイル名 : {0})。 [対処] 存在しないファイルを指定して、実行してください。 0 : ファイル名
KNAE03148-E	処理中にエラーが発生しました。 [原因] 製品のサービスが停止している可能性があります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから、再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。
KNAE03150-E	リクエストされた URI は存在しません(URI : {0})。 [対処] URI を見直して再実行してください。 0 : URI
KNAE03151-E	XML の形式がスキーマと異なります。 [対処] XML を見直して、再実行してください。
KNAE03152-E	必要な HTTP ヘッダーがありません(HTTP ヘッダー : {0})。 [対処] API 実行に必要なリクエストヘッダーを設定し、再実行してください。 0 : http ヘッダー
KNAE03153-E	トークンの認証に失敗しました。 [対処] 認証トークンが書き換えられていないか、有効期限が切れていないかを確認し、認証トークンを再取得して再実行してください。
KNAE03160-E	サービステンプレートに必要なファイルまたはフォルダが存在しません (名称 : {0})。

メッセージID	メッセージの内容
	[対処] サービステンプレートの構成を見直してください。 0: ファイル名またはフォルダ名
KNAE03171-E	パスワードファイルの形式が正しくありません。 [対処] パスワードファイルを再作成してください。
KNAE03172-E	サービステンプレートセットにサービステンプレートが含まれていないため、インポートが実行できませんでした。 [対処] サービステンプレートを含むサービステンプレートセットを指定し、再実行してください。
KNAE03174-E	ファイルのコピーに失敗しました(ファイル名: {0})。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 0: ファイル名
KNAE03175-E	フォルダの作成に失敗しました(フォルダ名: {0})。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・フォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・フォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 0: フォルダ名
KNAE03176-E	サーバとの接続がタイムアウトしました。 [対処] 時間をおいて、再実行してください。
KNAE03177-E	認証サーバに接続できませんでした。 [対処] 認証サーバと通信できることを確認の上、再実行してください。
KNAE03178-E	認証サーバでエラーが発生しました。 [対処] 認証サーバの状態を確認の上、再実行してください。
KNAE03179-E	{0}はファイルではありません。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0: 指定されたファイル名
KNAE03180-E	{0}はフォルダではありません。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0: 指定されたフォルダ名
KNAE03181-E	指定したファイルはすでに存在します(ファイル名: {0})。 [対処] 指定したパスを見直して、再実行してください。 0: ファイルパス
KNAE03182-E	ファイルの作成に失敗しました(ファイル名: {0})。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:ファイルパス</p>
KNAE03183-I	ファイルの作成に成功しました。
KNAE03184-E	<p>ファイルの読み込みに失敗しました(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルがない。 ・ファイルへのアクセス権限がない。 <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルがあること ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 <p>0:ファイルパス</p>
KNAE03185-E	<p>バスの取得に失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>バスが指定されていないおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>引数を見直して、再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。</p>
KNAE03186-E	<p>指定したサービステンプレートは存在しません。</p> <p>[原因]</p> <p>指定したサービステンプレートが誤っているか、すでに削除されているおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>存在するサービステンプレートを指定してください。</p>
KNAE03187-E	<p>クラスタ構成の取得に失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE03188-E	<p>製品が正しくインストールされていません。</p> <p>[対処]</p> <p>本製品をインストールし直したあと、再度実行してください。</p>
KNAE03190-E	<p>設定ファイルのエクスポートに失敗しました(出力先: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次に示す内容を確認した後、再実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 <p>0:出力先ファイル名</p>
KNAE03191-E	<p>設定ファイルの読み込みに失敗しました(ファイル名: {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次に示す原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルがない。 ・ファイルへのアクセス権限がない。 <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	次に示す内容を確認した後、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルがあること ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 0:ファイルパス
KNAE03192-E	内部コンポーネントのセットアップに失敗しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE03193-E	サービスの停止に失敗しました(サービス名: {0})。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:サービス名
KNAE03194-E	サービスの起動設定変更に失敗しました(サービス名: {0})。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:サービス名
KNAE03195-E	製品の設定変更に失敗しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE03196-E	ファイルのコピーに失敗しました(コピー元: {0}, コピー先: {1})。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 0:コピー元ファイル名 1:コピー先フォルダ名
KNAE03197-W	フォルダの削除に失敗しました(フォルダ名: {0})。 [対処] メッセージが示すフォルダを削除し、再実行してください。 0:フォルダパス
KNAE03198-E	サービスグループを特定できません。 [原因] サービスに登録されているサービスグループが複数存在し、サービスグループを特定できません。 [対処] サービスグループを指定して、再実行してください。
KNAE03199-E	サービスで使用するプロパティに誤りがあります(キー: {0})。 [原因] サービスで使用するプロパティに誤りがあります。 [対処] プロパティを見直して、再実行してください。 0:key 名
KNAE03200-E	プロパティのキーが指定されていません。 [原因] プロパティのキーを1文字未満と判定しました。 [対処] プロパティを見直して、再実行してください。
KNAE03201-E	指定したパスと同名のフォルダが存在します(パス: {0})。 [原因] 拡張子のないファイルを指定した場合、指定したファイル名と同名のフォルダが存在しているおそれがあります。

メッセージ ID	メッセージの内容
	[対処] 指定したパスを見直して、再実行してください。 0:ファイルパス
KNAE03202-I	サービスを起動しています。
KNAE03203-I	サービスを停止しています。
KNAE03204-I	{0}のバックアップは成功しました。 0:バックアップ情報
KNAE03205-E	{0}のバックアップは失敗しました。 [原因] 指定したパスがローカルディスクのディレクトリ以外、または環境が不正な可能性があります。 [対処] 指定したパス、または環境を見直して実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0:バックアップ情報
KNAE03208-I	{0}のリストアは成功しました。 0:リストア対象
KNAE03209-E	{0}のリストアは失敗しました。 [原因] 指定したパスがローカルディスクのディレクトリ以外、または環境が不正な可能性があります。 [対処] 指定したパス、または環境を見直して実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0:リストア対象
KNAE03210-W	{0}のリストアは警告終了しました。 [原因] リストア対象が存在しません。 [対処] リストア対象が存在しているにも関わらず失敗する場合には、時間をおいて、再実行してください。 0:リストア対象
KNAE03212-E	指定したパスは不正です(パス: {0})。 [原因] 指定したパスに不正なファイル名、またはフォルダ名が含まれています。 [対処] OS で予約されている名前を指定していないか見直して、再度実行してください。 0:ファイルパス
KNAE03213-E	サービスの起動に失敗しました(サービス名: {0})。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:サービス名
KNAE03214-E	指定したフォルダ配下に次のパスが存在するため、セットアップが実行できません(パス: {0})。 [対処] フォルダ配下の構成を見直して、再実行してください。 0:フォルダパス
KNAE03215-E	JP1/Base の論理ホストがセットアップされていません(論理ホスト名: {0})。 [対処] JP1/Base の論理ホストをセットアップして、再実行してください。 0:論理ホスト名
KNAE03219-I	内部コンポーネントのセットアップを開始します。
KNAE03220-I	内部コンポーネントのセットアップが終了しました。

メッセージID	メッセージの内容
KNAE03221-I	内部コンポーネントはすでにセットアップされています。
KNAE03222-I	製品の設定変更を開始します。
KNAE03223-I	製品の設定変更が終了しました。
KNAE03224-I	製品はすでにクラスタ構成にセットアップされています。
KNAE03226-E	The user does not have permission to execute the command.
KNAE03229-E	引数の指定に誤りがあります(オプション名: {0})。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0:オプション名
KNAE03230-E	バージョンの形式が正しくありません(オプション名: {0})。 [対処] サービステンプレートのバージョンの形式を見直し、再実行してください。 0:オプション名
KNAE03231-E	指定したプロパティは存在しません(キー: {0})。 [対処] 存在するプロパティを指定して、再実行してください。 0:key 名
KNAE03232-E	指定したプロパティの文字列が長過ぎます(キー: {0})。 [対処] プロパティを見直して、再実行してください。 0:key 名
KNAE03233-E	指定したプロパティに指定できない文字が含まれています(キー: {0})。 [対処] プロパティを見直して、再実行してください。 0:key 名
KNAE03236-E	コマンドの同時実行数を超えました。 [対処] 実行中のコマンドの終了を待って、再実行してください。
KNAE03237-I	タスクが正常に終了しました(タスク ID: {0})。 0: タスク ID
KNAE03238-E	タスクが失敗しました(タスク ID: {0})。 0: タスク ID
KNAE03240-I	タスクの終了を待っています。タスクの状態は[タスク]画面から確認してください。
KNAE03241-E	タスクの状態取得に失敗しました(タスク ID: {0})。 [原因] タスクがアーカイブされているおそれがあります。 [対処] タスクの状態は[タスク]画面から確認してください。 0: タスク ID
KNAE03300-E	引数に指定した値の文字列が長過ぎます(引数名: {0})。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0: 引数名
KNAE03301-E	引数の指定に誤りがあります(引数名: {0})。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0: 引数名
KNAE03302-E	引数に指定した値に指定できない文字が含まれています(引数名: {0})。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0: 引数名

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE03303-E	指定したパスが存在しません(パス：{0})。 [対処] 存在するパスを指定して、再実行してください。 0：パス
KNAE03304-E	指定したフォルダが空ではありません(フォルダ名：{0})。 [原因] 指定したフォルダに、ファイルまたはフォルダが存在しています。 [対処] 空のフォルダを指定して、再実行してください。 0：フォルダ名
KNAE03305-E	引数に指定したファイルはすでに存在します(ファイル名：{0})。 [対処] 存在しないファイルを指定して、実行してください。 0：ファイル名
KNAE03306-E	指定したパスと同名のフォルダが存在します(パス：{0})。 [原因] 拡張子のないファイルを指定した場合、指定したファイル名と同名のフォルダが存在しているおそれがあります。 [対処] 指定したパスを見直して、再実行してください。 0：パス
KNAE03307-E	指定したパスは不正です(パス：{0})。 [原因] 指定したパスに不正なファイル名、またはフォルダ名が含まれています。 [対処] OS で予約されている名前を指定していないか見直して、再度実行してください。 0：パス
KNAE03308-E	引数に指定したパスにアクセスできません。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量
KNAE03309-E	{0}はファイルではありません。 [対処] 引数を見直して、再実行してください。 0：指定されたファイル名
KNAE03310-E	submittask が失敗しました。 [原因] 実行開始予定日時に過去の日時または有効範囲外の日時が指定されています。 [対処] 実行開始予定日時の値を修正して再実行してください。
KNAE03311-I	指定日時にタスクを実行します(タスク ID：{0}、指定日：{1}、指定時刻：{2})。 0：タスク ID 1：タスク実行指定日 2：タスク実行指定時刻
KNAE03312-I	定期的にタスクを実行します(タスク ID：{0}、定期実行周期：{1}、定期実行時刻：{2}、定期実行適用開始日：{3})。 0：タスク ID 1：定期実行周期 2：定期実行時刻

メッセージID	メッセージの内容
	3：定期実行適用開始日
KNAE03313-E	submittask が失敗しました。 [原因] 定期実行適用開始日に有効範囲外の日時が指定されています。 [対処] 定期実行適用開始日の値を修正して再実行してください。
KNAE03314-I	タスクの一括再登録を開始します(タスク詳細情報格納フォルダ：{0}，再登録対象タスク数：{1})。 0：タスク詳細情報格納フォルダのパス 1：再登録対象タスクの数
KNAE03315-I	指定日時実行タスク(タスク ID：{0})を次の設定で再登録しました。(タスク ID：{1}，指定日：{2}，指定時刻：{3}，実行者：{4}，状態：{5})。 0：元のタスク ID 1：再登録後のタスク ID 2：タスク実行指定日 3：タスク実行指定時刻 4：タスクの実行者(submittask コマンドに setoriginalsubmitter オプションを指定した場合：元のタスクの実行者，submittask コマンドに setoriginalsubmitter オプションを指定しなかった場合：user オプションに指定したユーザー ID) 5：タスクの状態
KNAE03316-I	定期実行タスク(タスク ID：{0})を次の設定で再登録しました。(タスク ID：{1}，定期実行周期：{2}，定期実行時刻：{3}，定期実行適用開始日：{4}，実行者：{5}，状態：{6})。 0：元のタスク ID 1：再登録後のタスク ID 2：定期実行周期 3：定期実行時刻 4：定期実行適用開始日 5：タスクの実行者(submittask コマンドに setoriginalsubmitter オプションを指定した場合：元のタスクの実行者，submittask コマンドに setoriginalsubmitter オプションを指定しなかった場合：user オプションに指定したユーザー ID) 6：タスクの状態
KNAE03317-I	タスクの一括再登録が完了しました(成功：{0}，失敗：{1})。 0：再登録に成功したタスクの数 1：再登録に失敗したタスクの数
KNAE03318-E	指定日時実行タスク(タスク ID：{0})の再登録に失敗しました。 [原因] 現在日時がタスクの開始予定日時を過ぎているか，タスク定義情報ファイルの内容が編集されているおそれがあります。 [対処] タスク詳細情報格納フォルダ内のタスク一覧ファイルおよび入力プロパティファイルを参照して，再登録に失敗したタスクの設定を確認してください。登録の必要があるタスクの場合は，サービス実行画面または submittask コマンドで有効範囲内かつ現在日時以降の開始予定日時を指定し，個別にサービスを実行してください。 0：元のタスク ID
KNAE03319-E	定期実行タスク(タスク ID：{0})の再登録に失敗しました。 [原因] タスク定義情報ファイルの内容が編集されているおそれがあります。 [対処] タスク詳細情報格納フォルダ内のタスク一覧ファイルおよび入力プロパティファイルを参照して，再登録に失敗したタスクの設定を確認し，サービス実行画面または submittask コマンドで個別にサービスを実行してください。 0：元のタスク ID
KNAE03320-E	タスク(タスク ID：{0})の再登録に失敗しました。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>タスク詳細情報格納フォルダから、再登録に失敗したタスク ID のフォルダ以外を回避したあと、再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。</p> <p>0：元のタスク ID</p>
KNAE03321-E	<p>引数に指定したユーザーにタスク詳細情報の出力権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Admin ロールが設定されているユーザーを指定して再実行してください。</p>
KNAE03322-E	<p>引数に指定したユーザーにタスク一括再登録の実行権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Admin ロールが設定されているユーザーを指定して再実行してください。</p>
KNAE03323-E	<p>タスク詳細情報格納フォルダのデータ形式が不正です。</p> <p>[対処]</p> <p>taskdetaildir オプションで指定したタスク詳細情報格納フォルダの構成がマニュアルに記載されたとおりにになっていることを確認した上で、再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。</p>
KNAE03324-W	<p>submittask が終了しましたが、一部のタスクの再登録でエラーが発生しています。</p> <p>[対処]</p> <p>発生したエラーの内容を確認し、その対処に従ってください。</p>
KNAE03325-E	<p>submittask が終了しましたが、すべてのタスクの再登録でエラーが発生しています。</p> <p>[対処]</p> <p>発生したエラーの内容を確認し、その対処に従ってください。</p>
KNAE03326-E	<p>タスクの一括再登録に失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>現在インストールされている製品と異なるバージョンまたはリビジョンの製品で出力されたタスク詳細情報格納フォルダが指定されています。</p> <p>[対処]</p> <p>現在インストールされている製品と同一のバージョンおよびリビジョンの製品で出力したタスク詳細情報格納フォルダを指定して、再実行してください。</p>
KNAE03328-E	<p>指定したサービスの実行に失敗しました。指定された実行契機種別をサービスがサポートしていません(実行契機種別：{0})。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスがサポートする実行契機種別を指定してサービスを実行してください。</p> <p>0：実行契機種別</p>
KNAE03329-I	<p>{0}の処理は、成功しました。</p> <p>0：製品名</p>
KNAE03330-E	<p>{0}の処理は、失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>0：製品名</p>
KNAE03331-E	<p>データ形式が不正です(行番号：{0})。</p> <p>[対処]</p> <p>データ形式を見直して、再実行してください。</p> <p>0：行番号</p>
KNAE03332-E	<p>パラメタの指定に誤りがあります(パラメタ名：{0}、行番号：{1})。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメタを見直して、再実行してください。</p> <p>0：パラメタ名 1：行番号</p>
KNAE03333-E	<p>必要なパラメタが指定されていません(パラメタ名：{0}、行番号：{1})。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	パラメタを指定して、再実行してください。 0: パラメタ名 1: 行番号
KNAE03334-E	不要なパラメタが指定されています(パラメタ名: {0}, 行番号: {1})。 [対処] パラメタを削除して、再実行してください。 0: パラメタ名 1: 行番号
KNAE03335-I	エージェントレス接続先定義を登録しました(定義ID: {0}, 行番号: {1})。 0: 定義ID 1: 行番号
KNAE03336-E	エージェントレス接続先定義の登録に失敗しました(行番号: {0})。 [対処] 発生したエラーの内容を確認し、その対処に従ってください。 0: 行番号
KNAE03337-I	エージェントレス接続先定義の登録が完了しました(成功: {0}, 失敗: {1})。 0: 登録に成功した定義の数 1: 登録に失敗した定義の数
KNAE03338-W	setremotecomnection が終了しましたが、一部のエージェントレス接続先定義の登録でエラーが発生しています。 [対処] 発生したエラーの内容を確認し、その対処に従ってください。
KNAE03339-E	setremotecomnection が終了しましたが、すべてのエージェントレス接続先定義の登録でエラーが発生しています。 [対処] 発生したエラーの内容を確認し、その対処に従ってください。
KNAE03340-E	指定したエージェントレス接続先定義は存在しません(定義ID: {0})。 [原因] 指定したエージェントレス接続先定義が誤っているか、すでに削除されているおそれがあります。 [対処] 存在するエージェントレス接続先定義を確認の上、再度実行してください。 0: 定義ID
KNAE03341-E	指定したプロパティファイルの内容に誤りがあります(ファイル名: {0})。 [対処] プロパティファイルの内容を見直して、再実行してください。 0: ファイル名
KNAE03342-E	認証サーバへのリクエストが失敗しました(ステータス: {0}, レスポンスボディ: {1})。 [対処] 設定ファイルの内容、および認証サーバの状態を見直して、再実行してください。 0: ステータス 1: レスポンスボディ
KNAE03343-E	認証サーバへのアクセスでエラーが発生しました。(例外名: {0}, 詳細情報: {1})。 [対処] 設定ファイルの内容、および認証サーバの状態を見直して、再実行してください。 0: 例外名 1: 詳細情報
KNAE03344-E	認証サーバからのレスポンスデータの解析に失敗しました(例外名: {0}, 詳細情報: {1})。 [対処] 設定ファイルの内容、および認証サーバの状態を見直して、再実行してください。 0: 例外名 1: 詳細情報
KNAE03345-E	一度も共通サービスをセットアップしていません。

メッセージ ID	メッセージの内容
	[対処] setupcommonservice コマンドに csUri および csUsername オプションを指定して、共通サービスをセットアップしてください。
KNAE03347-E	ファイルの出力に失敗しました(例外名: {0}, 詳細情報: {1}). [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・ファイルの出力先のフォルダが存在しない。 ・ファイルまたはフォルダの権限が不正。 ・ディスク空き容量が不足している。 [対処] 次に示す内容を確認した後、再実行してください。 ・出力先フォルダの存在 ・ファイルまたはフォルダのアクセス権限 ・ディスク空き容量 0: 例外名 1: 詳細情報
KNAE03349-E	{0}が停止していません。 [対処] hcnds64srv に stop オプションおよび server AutomationWebService オプションを指定して再実行してください。 0: サービス名
KNAE03350-E	{0}が起動していません。または、起動が完了していません。 [対処] hcnds64dsrv に start オプションを指定して実行してください。 0: サービス名
KNAE03351-E	SSL 接続が有効になっていないか、hcnds64chgurl コマンドで URL の変更をしていません(URL: {0}). [対処] SSL 接続を有効にして、hcnds64churl コマンド (URL: {0}) を実行してください。 0: URL
KNAE03352-E	サービスの停止に失敗しました(サービス名: {0}). [対処] 時間をおいて、再実行してください。それでもなおエラーが発生する場合、資料を採取したあとにシステム管理者に連絡してください。 0: サービス名
KNAE03353-E	引数に指定したユーザーにタスク一覧の出力権限がありません。 [対処] 必要な権限を持つユーザーを指定してください。
KNAE03354-E	引数に指定したユーザーに履歴一覧の出力権限がありません。 [対処] 必要な権限を持つユーザーを指定してください。
KNAE03355-E	引数に指定したユーザーにサービス一覧の出力権限がありません。 [対処] 必要な権限を持つユーザーを指定してください。
KNAE03356-E	引数に指定したユーザーにサービスプレート一覧の出力権限がありません。 [対処] Admin, Develop, または Modify ロールが設定されているユーザーを指定して再実行してください。
KNAE03357-E	認証サーバに接続できませんでした。 [原因] 次に示す原因が考えられます。 ・認証サーバが停止している。 ・認証サーバの証明書が登録されていない。 ・認証サーバの証明書の有効期限が切れている。

メッセージID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・認証サーバのホスト名が変更された。 [対処] 認証サーバと通信できることを確認の上、再実行してください。
KNAE03501-I	設定状況およびデータベース情報をバックアップします。
KNAE03502-I	オプションの説明： dir バックアップデータを出力するディレクトリの絶対パスまたは相対パスを指定します。 auto 本製品のサービスとデータベースの起動/停止を自動で行います。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03503-I	設定情報およびデータベース情報をリストアします。
KNAE03504-I	オプションの説明： dir バックアップデータが格納されているディレクトリの絶対パスまたは相対パスを指定します。 auto 本製品のサービスとデータベースの起動/停止を自動で行います。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03505-I	クラスタ環境を構築します。
KNAE03506-I	オプションの説明： exportpath 共有ディスク上でデータベースおよびデータを格納するディレクトリの絶対パスまたは相対パスを指定します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03507-I	サービスを実行します。
KNAE03508-I	オプションの説明： servicename サービスの名称を指定します。 servicegroup サービスが属するサービスグループを指定します。 taskname タスクの名称を指定します。 taskdescription タスクの説明を指定します。 property プロパティをキーと値のペアで指定します。 propertyfile プロパティファイルの絶対パスまたは相対パスを指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルの絶対パスまたは相対パスを指定します。 wait タスクの終了を待ちます。 scheduledate 指定日時実行の日付を指定します。 scheduletime 指定日時実行の時刻を指定します。 recurrencepattern サービスを定期実行する周期を指定します。 recurrencetime サービスを定期実行する際の実行時刻を指定します。 recurrencestart サービスを定期実行する際の定期実行適用開始日を指定します。 reregister スケジュールされたタスクの一括再登録を行う場合に指定します。 taskdetaildir タスク詳細情報格納フォルダの絶対パスまたは相対パスを指定します。 setoriginalsubmitter タスク詳細情報出力時点のユーザでタスクを再登録する場合に指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03509-I	タスクを実行停止します。
KNAE03510-I	オプションの説明： taskid タスクの ID を指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルの絶対パスまたは相対パスを指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE03511-I	タスクの一覧を CSV ファイルとして出力します。
KNAE03512-I	<p>オプションの説明 :</p> <p>startrange タスク開始日の絞り込み条件を指定します。</p> <p>タスク詳細情報を出力する場合、本オプションは指定できません。</p> <p>output 出力する一覧情報の種類を指定します。</p> <p>tasks: タスクの一覧を出力します。</p> <p>histories: 履歴の一覧を出力します。</p> <p>taskdetails: タスク詳細情報を出力します。</p> <p>file output オプションに task、または histories を指定した場合に、出力先のファイルパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>taskdetaildir output オプションに taskdetails を指定した場合に、タスク詳細情報格納フォルダのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>encoding 出力ファイルのエンコーディングを指定します。UTF-8, Shift_JIS のいずれかを指定できます。</p> <p>user ユーザー ID を指定します。</p> <p>passwordfile パスワードファイルの絶対パスまたは相対パスを指定します。</p> <p>authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。</p> <p>local: HCS 認証を利用します。</p> <p>external: 外部認証を利用します。</p> <p>help コマンドの使用法を表示します。</p>
KNAE03513-I	サービスまたはサービステンプレートの一覧を CSV ファイルとして出力します。
KNAE03514-I	<p>オプションの説明 :</p> <p>output 出力する一覧情報の種類を指定します。</p> <p>services: サービスの一覧を出力します。</p> <p>servicetemplates: サービステンプレートの一覧を出力します。</p> <p>file 出力先のファイルパスを指定します。</p> <p>encoding 出力ファイルのエンコーディングを指定します。</p> <p>UTF-8, Shift_JIS のいずれかを指定できます。</p> <p>user ユーザー ID を指定します。</p> <p>passwordfile パスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。</p> <p>local: HCS 認証を利用します。</p> <p>external: 外部認証を利用します。</p> <p>help コマンドの使用法を表示します。</p>
KNAE03515-I	サービステンプレートパッケージを作成します。
KNAE03516-I	<p>オプションの説明 :</p> <p>jobnet ジョブネット名を完全名で指定します。</p> <p>servicetemplatedir サービステンプレートが格納されているパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>dir サービステンプレートパッケージを出力するディレクトリのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>help コマンドの使用法を表示します。</p>
KNAE03517-I	サービステンプレートパッケージをインポートします。
KNAE03518-I	<p>オプションの説明 :</p> <p>file サービステンプレートパッケージまたはサービステンプレートセットのファイルパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。</p> <p>user ユーザー ID を指定します。</p> <p>passwordfile パスワードファイルの絶対パスまたは相対パスを指定します。</p> <p>authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。</p> <p>local: HCS 認証を利用します。</p> <p>external: 外部認証を利用します。</p> <p>help コマンドの使用法を表示します。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE03519-I	サービステンプレートを削除します。
KNAE03520-I	オプションの説明： name サービステンプレート ID を指定します。 vendor サービステンプレートのベンダー ID を指定します。 version サービステンプレートのバージョン番号を指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03521-I	パスワードファイルを作成します。
KNAE03522-I	オプションの説明： user ユーザー ID を指定します。 passwordfile 作成するパスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03523-I	サービスの停止の準備を開始します。
KNAE03524-I	オプションの説明： prepare サービスの停止の準備を開始します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03525-I	エージェントレス接続先定義を追加・更新します。
KNAE03526-I	オプションの説明： file 追加・更新するエージェントレス接続先定義情報が記述されたファイルのパスを指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03527-I	エージェントレス接続先定義の一覧を CSV ファイルとして出力します。
KNAE03528-I	オプションの説明： file 出力先のファイルパスを指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03529-I	エージェントレス接続先定義を削除します。
KNAE03530-I	オプションの説明： id 削除するエージェントレス接続先定義の ID を指定します。 user ユーザー ID を指定します。 passwordfile パスワードファイルのパスを絶対パスまたは相対パスで指定します。 authmode 実行するユーザアカウントの認証方式を指定します。 local : HCS 認証を利用します。 external : 外部認証を利用します。 help コマンドの使用法を表示します。
KNAE03531-I	共通サービスの環境を構築します。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE03532-I	<p>オプションの説明：</p> <p>csUri 共通サービスの URL を指定します。</p> <p>csUsername ユーザー名を指定します。</p> <p>appName 本製品の名称を指定します。</p> <p>appDescription 本製品の説明を指定します。</p> <p>auto 本製品のサービスとデータベースの起動/停止を自動で行います。</p> <p>help コマンドの使用法を表示します。</p>
KNAE03533-W	<p>Common Service との通信において未検証の HTTPS 要求が行われています。</p> <p>[対処]</p> <p>config_user.properties ファイルの sso.https.certification プロパティを true に設定して、証明書を検証してください。</p>
KNAE03534-I	<p>コマンドを実行するために、認証情報を入力してください。</p>
KNAE03535-I	<p>アプリケーションを登録するために、共通サービスの認証情報を入力してください。</p>
KNAE03536-I	<p>{0}が対話形式で入力されました。</p> <p>0：キー</p>
KNAE03537-E	<p>指定した{0}に指定できない文字が含まれています。</p> <p>[対処]</p> <p>値を見直して、再実行してください。</p> <p>0：キー</p>
KNAE03538-E	<p>指定した{0}の文字列が長過ぎます。</p> <p>[対処]</p> <p>値を見直して、再実行してください。</p> <p>0：キー</p>
KNAE03539-E	<p>指定した{0}に誤りがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>値を見直して、再実行してください。</p> <p>0：キー</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE04100-I	<p>インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>インストールを継続すると Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因]</p> <p>インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>[対処]</p> <p>Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。</p>
KNAE04101-I	<p>管理サーバで、Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>アンインストールを継続すると Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因]</p> <p>管理サーバで、Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>[対処]</p> <p>Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE04113-I	<p>インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>インストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] インストール対象のサーバマシンで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>[対処] Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。</p>
KNAE04114-I	<p>管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>アンインストールを継続すると Hitachi Command Suite 製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] 管理サーバで、Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。</p> <p>[対処] Hitachi Command Suite 製品のサービスが停止されても問題ない場合は、[OK] ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。</p>
KNAE04301-W	<p>インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保するか、インストール先を変更してください。インストール先にディスク容量が十分にある場合でも、環境によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>ディスク：{0}、必要な容量：{1}MB、空き容量：{2}MB</p> <p>[原因] インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>[対処] 容量を確保するか、十分な空き容量があるほかのディスクにインストールしてください。</p> <p>0:ディスク 1:必要な容量 2:空き容量</p>
KNAE04302-W	<p>インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保してください。インストール先にディスク容量が十分にある場合でも、環境によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>ディスク：{0}、必要な容量：{1}MB、空き容量：{2}MB</p> <p>[原因] インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>[対処] 容量を確保してください。確保できない場合は、いったんアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。</p> <p>0:ディスク 1:必要な容量 2:空き容量</p>
KNAE04304-W	<p>バックアップファイルの格納先として指定したフォルダはすでに存在するため、次のフォルダは一度削除されます。よろしいですか？</p> <p>{0}</p> <p>ほかのフォルダを指定する場合は、バックアップファイルの格納先を指定し直してください。継続する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] バックアップファイルの格納先として指定したフォルダは、すでに存在します。</p> <p>[対処] 存在するフォルダを一度削除してください。またはほかのフォルダを指定してください。</p> <p>0:バックアップ先ディレクトリパス</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE04305-W	<p>仮想メモリーの容量が不足しています。 現在の仮想メモリーの空き容量は{0}MB です。 {1}が動作するには、少なくとも{2}MBの仮想メモリーが必要です。仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。 仮想メモリーが不足していると、プログラムが起動できなかつたり、動作が不安定になつたりするおそれがあります。 インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] 仮想メモリーの容量が不足しています。</p> <p>[対処] 仮想メモリーの設定を見直して、必要な容量を確保してください。</p> <p>0:空き容量 1:製品名 2:必要な容量</p>
KNAE04307-W	<p>ローカルホストへの通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 {0}は、ローカルループバックアドレス(localhost および 127.0.0.1)やホスト名をあて先として通信します。その際、通信エラーとなるおそれがあります。 ローカルループバックアドレスや、ホスト名の設定を確認してください。 ローカルループバックアドレスや、ホスト名が正しく設定されている場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。 インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] ローカル・ネットワークの疎通確認を行いました。が、応答がありませんでした。</p> <p>[対処] ローカル・ループバック・アドレスや、IPアドレスの設定を確認してください。</p> <p>0:製品名</p>
KNAE04308-W	<p>{0}に対して、通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。 {1}は、{0}をあて先として通信します。その際に通信エラーとなるおそれがあります。 指定した値を確認してください。 指定した値に問題がない場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。 その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。 インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は[はい]ボタンを、再入力する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] 指定した値に対して、ネットワークの疎通確認を行いました。が、応答がありませんでした。</p> <p>[対処] 指定した値を確認してください。</p> <p>0:ホスト名または、IPアドレス 1:製品名</p>
KNAE04309-W	<p>Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 [再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因] Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバが稼働中であり、サービスの停止が遅延している。 <p>[対処]</p> <p>[再試行] ボタンをクリックして再度 Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。</p>
KNAE04310-W	<p>Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しましたが、インストールは正常に完了しました。</p> <p>サービスの停止が遅延しているか、Tuning Manager と連携しているおそれがあります。しばらく待ってからサービスを停止してください。</p> <p>Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してからサービスを停止してください。</p> <p>サービスが停止できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバが稼働中であり、サービスの停止が遅延している。 ・ほかのサーバマシンにインストールされている Tuning Manager と連携しているため、Hitachi Command Suite 製品のサービスが使用されている。 <p>[対処]</p> <p>再度 Hitachi Automation Director および Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してから実施してください。</p> <p>サービスが停止できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04311-W	<p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品をインストールしない場合は問題ありません。</p> <p>インストールする場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。</p> <p>障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを前提とする製品をインストールしない場合は問題ありません。</p> <p>インストールする場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04312-W	<p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>Hitachi Command Suite 製品を再インストールしない場合は問題ありません。</p> <p>再インストールする場合、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。</p> <p>障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Hitachi Command Suite を再インストールしない場合は問題ありません。</p> <p>再インストールする場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04313-W	<p>OS を再起動するまでは、{0}は正しく動作しません。</p> <p>[原因]</p> <p>OS を再起動するまで、{0}に対する設定変更は有効になりません。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}をインストールしたマシンのリポートを行ってください。</p> <p>0:製品名</p>
KNAE04314-W	<p>{0}サーバは起動途中です。</p> <p>数分待ってから、{1}を使用してください。</p> <p>[原因]</p> <p>管理サーバは起動中のため、{1}は現在使用できません。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>数分待ってから、{1}を使用してください。使用できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:サーバ名 1:製品名</p>
KNAE04315-W	<p>{0}サーバが処理中のため、{1}製品のサービスを停止できません。</p> <p>数分待ってから、再度サービスを停止してください。</p> <p>[原因] 管理サーバが処理中のため、{1}のサービスを停止できません。</p> <p>[対処] 数分待ってから、再度サービスを停止してください。サービスが停止できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:サーバ名 1:製品名</p>
KNAE04316-W	<p>Hitachi Device Manager がインストールされているホスト({0})への通信状態を確認しましたが、応答がありませんでした。</p> <p>{1}は、Hitachi Device Manager がインストールされているホストと通信します。その際、通信エラーとなるおそれがあります。</p> <p>IP アドレスやホスト名、ポート番号の設定を確認してください。</p> <p>正しく設定されている場合でも、ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は[はい]ボタンを、再入力する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] 指定した値に対して、ネットワークの疎通確認を行いました。が、応答がありませんでした。</p> <p>[対処] 指定した値を確認してください。</p> <p>0:ホスト名または、IP アドレス 1:製品名</p>
KNAE04319-W	<p>{0}は、この OS をサポートしていません。{0}がサポートする OS を確認してください。</p> <p>インストールを続行しますか？ 無視して続行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] インストールを実行した OS はサポート対象外です。</p> <p>[対処] {0}がサポートする OS を確認してください。</p> <p>0:製品名</p>
KNAE04320-W	<p>内部コンポーネントがすでにインストールされています。</p> <p>インストールを続行しますか？インストールを続行すると、内部コンポーネントは上書きインストールされます。</p> <p>続行する場合は[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。</p> <p>[原因] 内部コンポーネントが既にインストールされています。</p> <p>[対処] 自身で内部コンポーネントをインストールした場合は内部コンポーネントのアンインストールを行ったあと、再度、インストールを実行してください。 内部コンポーネントのインストールに心当たりのない場合は内部コンポーネントの上書きを許可してください。</p>
KNAE04322-W	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[再試行] ボタンをクリックして、Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してください。</p> <p>サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバが稼働中であり、サービスの停止が遅延している。 <p>[対処]</p> <p>[再試行] ボタンをクリックして再度、Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。</p>
KNAE04323-W	<p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しましたが、インストールは正常に完了しました。サービスの停止が遅延しているか、Tuning Manager と連携しているおそれがあります。</p> <p>しばらく待ってからサービスを停止してください。Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してからサービスを停止してください。</p> <p>サービスが停止できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバが稼働中であり、サービスの停止が遅延している。 ・ほかのサーバマシンにインストールされている Tuning Manager と連携しているため、Hitachi Command Suite 製品のサービスが使用されている。 <p>[対処]</p> <p>再度、Hitachi Command Suite 製品のサービスの停止を実行してください。Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してから実施してください。</p> <p>サービスが停止できない場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04327-W	<p>設定ファイル ({0}) の更新に失敗しました。</p> <p>ファイルの状態を確認し、再度インストールしてください。</p> <p>[原因]</p> <p>設定ファイルの更新に失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>更新に失敗したファイルの状態を確認し、再度インストールしてください。</p> <p>0:ファイル名</p>
KNAE04328-W	<p>インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保してください。インストール先にディスク容量が十分にある場合でも、環境によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は、このメッセージを無視して、インストールを続行してください。</p> <p>ディスク : {0}, 必要な容量 : {1}MB, 空き容量 : {2}MB</p> <p>[原因]</p> <p>インストール先のディスク容量が足りません。</p> <p>[対処]</p> <p>容量を確保してください。確保できない場合は、いったんアンインストールしたあと、別の場所に再度インストールし直してください。</p> <p>0:ディスク 1:必要な容量 2:空き容量</p>
KNAE04329-W	<p>アンインストールを実行すると、アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されます。よろしいですか？</p> <p>[原因]</p> <p>Hitachi Automation Director のアンインストールに対する事前確認です。</p> <p>[対処]</p> <p>アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル、フォルダがすべて削除されても問題ない場合は、アンインストールを続行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE04330-W	<p>ユーザーアカウントを管理するサーバの接続設定に失敗しました。 インストール後、hcmds64prmset コマンドを実行してください。</p> <p>[原因] ユーザーアカウントを管理するサーバの接続設定に失敗しました。</p> <p>[対処] インストール後、hcmds64prmset コマンドを実行してください。</p>
KNAE04331-W	<p>次の製品をご使用の場合、すべて v8 以降にする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - Device Manager - Tiered Storage Manager - Replication Manager - Tuning Manager - Global Link Manager - Compute Systems Manager <p>インストールを続行しますか？</p> <p>[原因] -</p> <p>[対処] -</p>
KNAE04501-E	<p>{0}グループのユーザーでインストールしてください。 インストールを中止します。 0:グループ名</p>
KNAE04502-E	<p>{0}グループのユーザーでアンインストールしてください。 アンインストールを中止します。</p> <p>[原因] Administrators グループの権限を持たないユーザーはアンインストールできません。</p> <p>[対処] Administrators グループの権限を持つユーザーがアンインストールしてください。 0:グループ名</p>
KNAE04503-E	<p>この OS には、{0}をインストールできません。{0}がサポートする OS を確認してください。</p> <p>[原因] インストールを実行した OS は未サポートであり、インストールできません。</p> <p>[対処] {0}がサポートする OS を確認してください。 0:製品名</p>
KNAE04504-E	<p>Server Core 環境には、{0}をインストールできません。 インストールを中止します。</p> <p>[原因] インストールを実行した Server Core 環境は未サポートであり、インストールできません。</p> <p>[対処] {0}製品のサポート環境を確認してください。 0:製品名</p>
KNAE04505-E	<p>新しいバージョンの{0}がインストールされているため、ダウングレードできません。インストールを中止します。</p> <p>[原因] ダウングレードインストールはできません。</p> <p>[対処] インストールする{0}のバージョンを確認してください。 0:製品名</p>
KNAE04506-E	<p>現在インストールされている{0}のバージョンから、アップグレードインストールできません。インストールを中止します。</p> <p>[原因] 現在インストールされている{0}のバージョンからのアップグレードインストールはできません。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] リリースノートを参照し、アップグレードインストールの対象となっているバージョンを確認してください。 0:製品名</p>
KNAE04507-E	<p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していないため、インストールできません。インストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度インストールしてください。 [原因] HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していません。 [対処] HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスを起動してからインストールしてください。</p>
KNAE04509-E	<p>HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していないため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。 [原因] HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 のサービスが起動していません。 [対処] HiRDB/EmbeddedEdition_HD0 または HiRDB/EmbeddedEdition_HD1 サービスを起動してから再度アンインストールしてください。</p>
KNAE04510-E	<p>HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しているため、インストールできません。 インストールを中止します。HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度インストールしてください。 [原因] HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しています。 [対処] HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度インストールしてください。</p>
KNAE04511-E	<p>HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しているため、アンインストールできません。アンインストールを中止します。 HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度アンインストールしてください。 [原因] HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 のサービスが起動しています。 [対処] HiRDB/ClusterService_HD0 または HiRDB/ClusterService_HD1 サービスを停止してから再度アンインストールしてください。</p>
KNAE04512-E	<p>{0}が使用する JDK が見つかりません。 hcmds64chgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。 {0}に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmds64chgjdk コマンドを実行してください。 [原因] {0}が使用する JDK の設定が壊れています。 [対処] hcmds64chgjdk コマンドを実行して、JDK を設定してください。 {0}に同梱されていない JDK を使用する場合は、JDK を別途インストールしたあと、hcmds64chgjdk コマンドを実行してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	0:製品名
KNAE04513-E	<p>インストールを中止します。setup.exe を実行してください。</p> <p>[原因] setup.exe 以外のファイルからインストーラーが起動されました。</p> <p>[対処] setup.exe を実行してください。</p>
KNAE04514-E	<p>インストールに必要なファイル({0})を読み込みません。 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外の文字が使用されている。 <p>上記に該当する場合、その問題を解決してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因] インストールに必要なファイルを読み込みません。 次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合インストールメディアから Windows 上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルが Windows 上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外が使用されている。 <p>[対処] 要因に応じて、問題を解決してください。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:ファイル名</p>
KNAE04515-E	<p>ファイル({0})の読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因] 予期しないエラーのため、ファイルの読み込みに失敗しました。</p> <p>[対処] 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:ファイル名</p>
KNAE04516-E	<p>{0}のプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。 Tuning Manager サーバが管理サーバのデータベースにアクセスしている可能性が高いので、{0}上の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p> <p>[原因] リモート接続先のプログラムが、管理サーバのデータベースに接続しています。</p> <p>[対処] リモート接続先の Tuning Manager サーバのサービスを停止してください。</p> <p>0:IP アドレス</p>
KNAE04517-E	<p>インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ () 半角スペース</p> <p>[原因] インストール先として指定したパスに、使用できない文字が含まれています。</p> <p>[対処] インストール先のパスは、次の文字で指定してください。 A~Z a~z 0~9 . _ () 半角スペース</p>
KNAE04519-E	<p>インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。</p> <p>[原因] インストール先として指定したパスが長過ぎます。</p> <p>[対処] インストール先として指定するパスは、64 バイト以内で指定してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE04520-E	データベースファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース [原因] データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 [対処] データベースファイルの格納先として指定するパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース
KNAE04522-E	データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。 [原因] データベースファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 [対処] データベースファイルの格納先として指定するパスは、90 バイト以内で指定してください。
KNAE04523-E	指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。IPv4 アドレスまたはホスト名は、128 バイト以内で指定してください。 [原因] 指定した IPv4 アドレスまたはホスト名が長過ぎます。 [対処] IPv4 アドレスまたはホスト名は、128 バイト以内で指定してください。
KNAE04524-E	バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース [原因] バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 [対処] ファイルの格納先のパスは、次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ () 半角スペース
KNAE04525-E	バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。 [原因] バックアップファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 [対処] バックアップファイルの格納先として指定するパスは、150 バイト以内で指定してください。
KNAE04526-E	予期しないエラーが発生しました。{0}のインストールを中止します。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 [原因] 予期しないエラーが発生しました。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0:製品名
KNAE04527-E	ポート番号に無効な値が指定されました。ポート番号には 1～65535 の数字を指定してください。 [原因] ポート番号に無効な値が指定された。 [対処] ポート番号に 1～65535 の数字を指定する。
KNAE04528-E	Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 [原因] Hitachi Command Suite 共通コンポーネントのエラーが発生しました。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。
KNAE04530-E	<p>データベースのバックアップ取得に失敗しました({0})。インストールを中止します。バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。バックアップ先のフォルダの容量を確保するか、別のフォルダを指定して再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>[原因] バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。</p> <p>[対処] バックアップ先のフォルダの容量を追加し、再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>0:要因</p>
KNAE04531-E	<p>データベースのバックアップ取得に失敗しました。インストールを中止します。サービスの停止が遅延しているか、Tuning Manager と連携しているおそれがあります。</p> <p>Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してから実施してください。</p> <p>同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p> <p>[原因] データベースのバックアップまたはエクスポート処理中に HiRDB のサービス起動または停止に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理サーバが稼働中であり、サービスの起動または停止が遅延している。 ・ほかのサーバマシンにインストールされている Tuning Manager と連携しているため、HiRDB のサービスが使用されている。 <p>[対処] 時間をおいてから再度インストールしてください。Tuning Manager と連携している場合は、リモート接続先の Hitachi Command Suite 製品のサービスを停止してから実施してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口にご連絡してください。</p>
KNAE04532-E	<p>アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>インストールされている Hitachi Command Suite 共通コンポーネントを使用する製品に影響が出るおそれがあります。</p> <p>原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。</p> <p>障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>[原因] アンインストールが不完全な状態で終了しました。</p> <p>[対処] 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。</p> <p>障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KNAE04533-E	<p>{0}サーバの初期化に失敗しました。</p> <p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {1} で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されていないか。 ・ 仮想メモリの容量が十分確保されているか。 ・ hcmds64chgurl {2} コマンドを実行すると、URL に {3} が表示されるか。 ・ 管理サーバ上でホスト名が名前解決できるか。 <p>[原因] 次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {1} で使用するポート番号が、管理サーバ上のほかのプログラムで使用されている。 ・ 管理サーバの仮想メモリの容量が不足している。 ・ {1} の URL の設定が誤っている。 ・ 管理サーバの名前解決の設定に問題がある。 <p>[対処] 要因に応じて、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ {1} で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されている場合 ポート番号が重複しているプログラムを同時に使用しないでください。または、ポート番号を変更してください。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>ポート番号によっては、{1}の設定を変更することで解決できます。{1}が使用するポート番号については、マニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮想メモリの容量が不足している場合 <p>仮想メモリの容量を確保してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・URLの設定が誤っている場合 <p>hcnds64chgurl コマンドに print オプションを指定すると表示される URL に、管理サーバのホスト名 (IP アドレス) が設定されていることを確認してください。</p> <p>設定されていない場合は、hcnds64chgurl コマンドに change オプションを指定して、URL を変更してください。hcnds64chgurl コマンドについては、マニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前解決の設定に問題がある場合 <p>管理サーバのホストとローカルホストが、管理サーバ上で正しく名前解決できることを確認してください。クラスタ運用している場合は、論理ホスト名についても確認してください。</p> <p>0:<サーバ名>(共通コンポーネント)</p> <p>1:製品名</p> <p>2:<コマンドオプション>(print)</p> <p>3:<ホスト名 (IP アドレス) のタイプ>(非クラスタ運用の場合:管理サーバのホスト名 (IP アドレス),クラスタ運用の場合:論理ホスト名)</p>
KNAE04534-E	<p>{0}がインストールされていません。</p> <p>{0}をインストールしてから再実行してください。</p> <p>[原因]</p> <p>{0}がインストールされていません。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}をインストールしてから、再度、インストールを実行してください。</p> <p>{0}がインストールされているにも関わらず、同じメッセージが表示される場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:製品名</p>
KNAE04537-E	<p>予期しないエラーが発生しました。{0}のインストールを中止します。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因]</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0:製品名</p>
KNAE04539-E	<p>サービス名変更に失敗しました。</p> <p>マニュアルを参照し、サービスの有無を確認して再インストールしてください。</p> <p>[原因]</p> <p>サービス名変更に失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>サービスの有無を確認して再度インストールしてください。</p>
KNAE04540-E	<p>ファイアウォール例外登録に失敗しました。</p> <p>マニュアルを参照し、例外登録されているか確認してください。登録されていない場合、登録してください。</p> <p>[原因]</p> <p>ファイアウォール例外登録に失敗しました。</p> <p>次の要因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイアウォールのサービスが起動していなかった。 <p>[対処]</p> <p>ファイアウォールを有効にする際は、マニュアルを参照し、必要なプログラムが例外登録されているか確認してください。登録されていない場合、登録してください。</p>
KNAE04542-E	<p>ファイルの操作に失敗しました。</p> <p>インストール先のアクセス権限を確認し、再度インストールしてください。</p> <p>[原因]</p> <p>ファイルの操作に失敗しました。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	[対処] インストール先のアクセス権限を確認し、再度インストールしてください。
KNAE04543-E	{0}評価版の使用期限({1}年{2}月{3}日)が過ぎました。 [原因] {0}評価版の使用期限が過ぎました。 0:製品名 1:年 2:月 3:日
KNAE04544-E	体験版もしくは異なるバージョンの評価版が既にインストールされているため製品版はインストールできません。 [原因] 体験版もしくは異なるバージョンの評価版が既にインストールされているため製品版はインストールできません。
KNAE04545-E	評価版は新規インストール、もしくは同じバージョンの評価版への上書きインストールでのみご使用になれます。 [原因] 評価版は新規インストール、もしくは同じバージョンの評価版への上書きインストールでのみご使用になれます。
KNAE04546-E	インストール対象のサーバマシンで Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。このサーバマシンにインストールされている Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされており、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってサービスを停止する必要があります。 [原因] すでにインストールされている Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品が、クラスタ環境でセットアップされています。 [対処] マニュアルを参照し、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。
KNAE04547-E	このサーバマシンにインストールされている Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされているため、サービスを停止できません。マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。 [原因] Hitachi Automation Director または Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされてこのサーバマシンにインストールされているため、サービスを停止できません。 [対処] マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。
KNAE04548-E	ファイルの操作に失敗しました。 インストール先のアクセス権限を確認し、手動で削除してください。 [原因] ファイルの操作に失敗しました。 [対処] インストール先のアクセス権限を確認し、手動で削除してください。
KNAE04549-E	未入力の項目があります。 入力してください。 [原因] 入力がされていない項目があります。 [対処] 入力してください。
KNAE04550-E	ファイアウォール例外登録解除に失敗しました。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>マニュアルを参照し、例外登録されているか確認してください。登録されている場合、登録を解除してください。</p> <p>[原因] ファイアウォール例外登録解除に失敗しました。</p> <p>[対処] マニュアルを参照し、例外登録されているか確認してください。登録されている場合、登録を解除してください。</p>
KNAE04551-E	<p>内部コンポーネントのインストールに失敗しました。 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因] 内部コンポーネントのインストールに失敗しました。</p> <p>[対処] 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04552-E	<p>内部コンポーネントのアンインストールに失敗しました。 再度、アンインストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>[原因] 内部コンポーネントのアンインストールに失敗しました。</p> <p>[対処] 再度、アンインストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KNAE04553-E	<p>内部コンポーネントがすでにインストールされているため、{0}をインストールすることはできません。</p> <p>[原因] 内部コンポーネントが既にインストールされています。</p> <p>[対処] 内部コンポーネントのアンインストールを行ったあと、再度{0}のインストールを実行してください。 0:製品名</p>
KNAE04554-E	<p>インストールされているバージョンの Hitachi Device Manager はサポートしていません。 サポートしているバージョンの Hitachi Device Manager をインストールし直し、再度、{0}のインストールを実行してください。</p> <p>[原因] インストールされている Hitachi Device Manager は未サポートのバージョンです。</p> <p>[対処] サポートしているバージョンの Hitachi Device Manager をインストールし直し、再度、{0}のインストールを実行します。 0:製品名</p>
KNAE04557-E	<p>{0}と排他する製品がインストールされています。 次の製品をアンインストールしてから再実行してください。 ・JP1/Automatic Operation</p> <p>[原因] 排他する製品がインストールされています。</p> <p>[対処] 排他する製品をアンインストールしてから、再度{0}のインストールを実行してください。 排他する製品がインストールされていないにも関わらず、同じメッセージが表示される場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0:製品名</p>
KNAE04558-E	<p>インストール対象のサーバマシンで Hitachi Command Suite 製品のサービスが起動しています。このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>は、クラスタ環境でセットアップされており、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってサービスを停止する必要があります。</p> <p>[原因] すでにインストールされている Hitachi Command Suite 製品が、クラスタ環境でセットアップされています。</p> <p>[対処] マニュアルを参照し、クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。</p>
KNAE04559-E	<p>このサーバマシンにインストールされている Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされているため、サービスを停止できません。マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。</p> <p>[原因] Hitachi Command Suite 製品は、クラスタ環境でセットアップされてこのサーバマシンにインストールされているため、サービスを停止できません。</p> <p>[対処] マニュアルを参照し、クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。</p>
KNAE04565-E	<p>インストール先にネットワークドライブは指定できません。ローカルディスクを指定してください。</p> <p>[原因] インストール先にネットワークドライブは指定できません。</p> <p>[対処] ローカルディスクを指定してください。</p>
KNAE04566-E	<p>データベースファイルの格納先にネットワークドライブは指定できません。ローカルディスクを指定してください。</p> <p>[原因] データベースファイルの格納先にネットワークドライブは指定できません。</p> <p>[対処] ローカルディスクを指定してください。</p>
KNAE04567-E	<p>データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブは指定できません。ローカルディスクを指定してください。</p> <p>[原因] データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブは指定できません。</p> <p>[対処] ローカルディスクを指定してください。</p>
KNAE04568-E	<p>指定した IPv6 アドレスに使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。 A~F a~f 0~9 . :</p> <p>[原因] 指定した IPv6 アドレスが不正です。</p> <p>[対処] IPv6 アドレスは、次の文字で指定してください。 A-F a-f 0-9 . :</p>
KNAE04569-E	<p>指定した IPv6 アドレスが長過ぎます。IPv6 アドレスは、47 バイト以内で指定してください。</p> <p>[原因] 指定した IPv6 アドレスが長過ぎます。</p> <p>[対処] IPv6 アドレスは、47 バイト以内で指定してください。</p>
KNAE04572-E	<p>データベースフォルダのパスの取得に失敗しました。データベースフォルダが参照できるか確認し、インストールを再実行してください。</p> <p>[原因] データベースフォルダのパスの取得に失敗しました。</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	データベースフォルダが参照できるか確認し、インストールを再実行してください。
KNAE04573-E	内部コンポーネントがアンインストールされています。{0}をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。 [原因] 内部コンポーネントがアンインストールされています。 [対処] {0}をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。 0:製品名
KNAE04574-E	認証データの削除に失敗しました。 hcmds64intg コマンドを実行して認証データを削除してください。 [原因] 認証サーバが停止している、または認証サーバとの接続に失敗しました。 [対処] アンインストール処理が終了したあと、hcmds64intg コマンドを使用して手動で認証データを削除してください。
KNAE04577-E	32ビットアプリケーション用、システム用、またはストアアプリ用のフォルダ({0})にはインストールできません。 ほかのフォルダを指定してください。 [原因] — [対処] ほかのフォルダを指定してください。 0:ディレクトリパス
KNAE04578-E	データ移行処理でエラーが発生しました。 次のことを確認してから再度{0}をインストールしてください。 ・ディスク容量が十分でない。 ・指定したフォルダが空でない。 ・指定したフォルダが読み書きできない。 それでも解決しない場合、原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 [原因] 次のどれかの要因が考えられます。 ・ディスク容量が十分でない。 ・指定したフォルダが空でない。 ・指定したフォルダが読み書きできない。 [対処] 指定したディレクトリが空になっていて読み書きできることを確認してから、インストールを再実行してください。 0:製品名
KNAE04579-E	データ移行処理でエラーが発生しました。 原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。 [原因] — [対処] 原因の究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。
KNAE04584-E	内部コンポーネントの設定に失敗しました。 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 [原因] 内部コンポーネントの設定に失敗しました。 [対処] 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE04585-E	限定評価版の{0}がインストールされているため、インストールを中止します。限定評価版と一緒に使用することはできません。{0}限定評価版をアンインストールしたあと、再度インストールしてください。 0:product name
KNAE04701-I	There is {0}MB of free virtual memory for the management server. {1} requires {2}MB of virtual memory. 0:available virtual memory 1:product name 2:required virtual memory
KNAE04702-I	The specified location has enough free capacity for installation.
KNAE04703-I	The OS version of this system: {0} 0:OS version
KNAE04704-I	Hitachi Command Suite Common Common Component is not installed.
KNAE04705-I	Hitachi Command Suite Common Common Component is installed. Location: @@@1 0:installed directory
KNAE04706-I	{0} is not installed. 0:product name
KNAE04707-I	{0} is installed. Location: {1} 0:product name 1:installed directory
KNAE04708-I	{0} is running. 0:host name(IP address)
KNAE04709-W	If a following product is used, it must be upgraded to version 8 or later: - Device Manager - Tiered Storage Manager - Replication Manager - Tuning Manager - Global Link Manager Do you want to continue? (y/n)
KNAE04710-I	The prerequisites check has finished. If a checked item does not have a Pass status, resolve the problem. [原因] The prerequisites check has finished. [対処] If a checked item does not have a Pass status, resolve the problem.
KNAE04711-E	This location does not have enough space for the installation. Add more space. [原因] There is not enough space for the installation. [対処] This location does not have enough space for the installation. Add more space or change the location.
KNAE04712-E	Virtual memory free space for the management server is {0}MB. {1} requires {2} of virtual memory, so you must add more. Lack of free space may lead to unstable system and unable to run program. [原因] Not enough virtual memory free space for the management server. [対処] Add more virtual memory. 0:available virtual memory 1:product name

メッセージID	メッセージの内容
	2:required virtual memory
KNAE04713-W	<p>There is not enough virtual memory. The available free space is currently {0}MB. {1} requires at least {2}MB of free space. Modify the virtual memory setting to ensure the system has the required space. Insufficient free space may cause the system to become unstable and programs may not run properly.</p> <p>[原因] There may not be enough virtual memory.</p> <p>[対処] Modify the virtual memory setting to ensure the system has the required space.</p> <p>0:free-virtual-memory 1:product name 2:required-capacity</p>
KNAE04714-E	<p>A connectivity check was performed for the local host, but there was no response. A communication error may have occurred because {0} perform communications using the local loopback address (localhost and 127.0.0.1) or the host name as the destination. Verify the local loopback address and the host name settings.</p> <p>[原因] A communication error may have occurred because {0} perform communications using the local loopback address (localhost and 127.0.0.1) or the host name as the destination.</p> <p>[対処] Verify the local loopback address and the host name settings.</p> <p>0:product name</p>
KNAE04715-W	<p>A connectivity check was performed for {0}, but there was no response. A communication error may have occurred because {1} perform communications using {0} as the destination. Verify the value. Depending on network settings, this message may appear even if there is no problem with the specified value. If this is the case, ignore this message and continue the installation.</p> <p>[原因] A communication error may have occurred because {1} perform communications using {0} as the destination.</p> <p>[対処] Verify the value. Depending on network settings, this message may appear even if there is no problem with the specified value. If this is the case, ignore this message and continue the installation.</p> <p>0:host address 1:product name</p>
KNAE04716-W	<p>{0} cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the {0}.</p> <p>[原因] {0} cannot be installed in the OS version.</p> <p>[対処] Verify the supported OS versions for the {0}.</p> <p>0:product name</p>
KNAE04718-W	<p>The program was not completely removed. A {0} program may be running. To re-install, ensure there are no {0} programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>If you do not want to install Hitachi Command Suite Common Component, there is no problem.</p> <p>[原因] A product program may be running.</p> <p>[対処] To re-install, ensure there are no {0} programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>If you do not want to install Hitachi Command Suite products, there is no problem. 0:product name</p>
KNAE04719-W	<p>The program was not completely removed.</p> <p>A {0} program may be running.</p> <p>To re-install, ensure there are no {0} programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>If you do not want to install Hitachi Command Suite products, there is no problem.</p> <p>[原因] A product program may be running.</p> <p>[対処] To re-install, ensure there are no {0} programs running. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>If you do not want to install Hitachi Command Suite products, there is no problem. 0:product name</p>
KNAE04720-W	<p>{0} Server is starting.</p> <p>Wait a few minutes before using the {1}.</p> <p>If you cannot use the {1}, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.</p> <p>Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因] The management server is starting.</p> <p>[対処] Wait a few minutes before using the {1}. You can check whether the {1} service is started by confirming whether the {1} login window is displayed.</p> <p>If you cannot use the {1} even after waiting for several minutes, you must determine the cause by completing a more detailed investigation. Contact the Support Center for information about additional data that you can collect to help resolve the problem.</p> <p>0:server name 1:product name</p>
KNAE04721-W	<p>{0} Server is processing and the service cannot be stopped.</p> <p>Wait a few minutes before manually stopping the services.</p> <p>If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.</p> <p>Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因] The management server is starting.</p> <p>[対処] Wait a few minutes before manually stopping the services. If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required.</p> <p>Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. 0:server name</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE04722-W	If a following product is used, upgrade it to version 8 or later, and then start operations: <ul style="list-style-type: none"> - Device Manager - Tiered Storage Manager - Replication Manager - Tuning Manager - Global Link Manager
KNAE04723-E	{0} cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the {0}. [原因] The OS version you are using is not supported. [対処] Verify the supported OS versions for the {0}. 0:product name
KNAE04724-E	You cannot downgrade. A more recent version of {0} is installed. The downgrade will stop. [原因] You cannot downgrade. [対処] Verify the product version you are installing. 0:product name
KNAE04726-E	An internal error occurred. The installation will stop. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information. [原因] An internal error occurred. [対処] Contact the customer support.
KNAE04727-E	Hitachi Automation Director or Hitachi Command Suite products on this server are set up in a cluster environment. You must remove them following the cluster environment removal procedure. [原因] Hitachi Automation Director or Hitachi Command Suite products are set up in a cluster environment. [対処] You must remove them following the cluster environment removal procedure.
KNAE04728-E	The JDK was not found. Use the hcnds64chgjdk command to set the JDK. If you do not use the JDK that comes with the {0}, you must install it separately. [原因] The JDK is not set appropriately. [対処] Use the hcnds64chgjdk command to set the JDK. If you do not use the JDK that comes with the {0}, you must install it separately. 0:product name
KNAE04729-E	Unable to read file "{0}". To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information. [原因] Unable to read file. [対処] To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. 0:filename
KNAE04730-E	Specify up to 64 bytes for the installation path. [原因]

メッセージ ID	メッセージの内容
	The installation path is too long. [対処] Specify up to 64 bytes for the installation path.
KNAE04731-E	Specify up to 90 bytes for the database file path. [原因] The path specified for storing database files is too long. [対処] Specify up to 90 bytes for the database file path.
KNAE04732-E	The IP address or host name is too long. Specify up to 128 bytes for the IP address or host name. [原因] The IP address or host name is too long. [対処] Up to 128 bytes are allowed for the IP address or host name.
KNAE04733-E	An invalid character is included in the IPv6 address. Valid characters are: A-F a-f 0-9 . : [原因] The IPv6 address is invalid. [対処] Valid characters for the IPv6 address are: A-F a-f 0-9 . :
KNAE04734-E	The IPv6 address is too long. Specify up to 47 bytes for the IPv6 address. [原因] The IPv6 address is too long. [対処] Up to 47 bytes are allowed for the IPv6 address.
KNAE04735-E	Specify up to 150 bytes for the backup file path. [原因] The path for backup files is too long. [対処] Specify up to 150 bytes for the backup file path.
KNAE04736-E	An error occurred. {0} installation will stop. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information. [原因] An error occurred. [対処] To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information. 0:product name
KNAE04737-E	The property({0}) is invalid. Specify TRUE or FALSE. [原因] A value other than TRUE or FALSE is specified. [対処] Specify TRUE or FALSE. 0:property name
KNAE04738-E	The property({0}) is invalid. Specify SMALL, MEDIUM, or LARGE. [原因] A value other than SMALL, MEDIUM, or LARGE is specified. [対処] Specify SMALL, MEDIUM, or LARGE. 0:property name
KNAE04739-E	A data migration error occurred. The cause might be one of the following: - The specified folder is not empty.

メッセージID	メッセージの内容
	<p>- The specified folder is not readable or writable. Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then start the installer again.</p> <p>[原因] The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The specified folder is not empty. - The specified folder is not readable or writable. <p>[対処] Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then start the installer again.</p>
KNAE04740-E	<p>A data migration error occurred. The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The destination drive has insufficient free space. - The specified folder is not empty. - The specified folder is not readable or writable. <p>Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then start the installer again.</p> <p>[原因] The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The destination drive has insufficient free space. - The specified folder is not empty. - The specified folder is not readable or writable. <p>[対処] Verify that the folder is empty, readable, and writable, and then start the installer again.</p>
KNAE04741-E	<p>A data migration error occurred. To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[対処] To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>
KNAE04742-E	<p>An error for Hitachi Command Suite Common Components occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因] An error for Hitachi Command Suite Common Components occurred.</p> <p>[対処] To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>
KNAE04744-E	<p>Unable to backup the database({0}). The installation will stop. Add space to the backup location and try again. If this error happens again, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因] The backup folder does not have enough space.</p> <p>[対処] Add space to the backup location and try again. If this error happens again, contact Support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0:cause</p>
KNAE04745-E	<p>Unable to remove completely. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Unable to remove completely.</p> <p>[対処]</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p>
KNAE04746-E	<p>Unable to extract files.</p> <p>Causes:</p> <ul style="list-style-type: none"> - A {0} program is running. - The install location does not have enough space. - There is a problem with the installation media. <p>If any of the above apply, resolve the problem and re-install the product. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>[原因]</p> <p>Causes:</p> <ul style="list-style-type: none"> - A {0} program is running. - The install location does not have enough space. - There is a problem with the installation media. <p>[対処]</p> <p>If any of the above apply, resolve the problem and re-install the product. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0:product name</p>
KNAE04747-E	<p>Unable to initialize {0} server.</p> <p>Verify that:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The {1} port is not used by management server programs. - There is sufficient virtual memory. - The URL displayed by the "hcnds64chgurl -print" command corresponds to {2}. - The host name of the management server can be resolved correctly. - The host name displayed by the "hcnds64prmset -print" command corresponds to the host name of the server managing the user account. - The service for managing the user account is running. <p>[原因]</p> <p>Causes:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The {1} port is used by management server programs. - The management server lacks sufficient free virtual memory. - The URL for is incorrect. - Name resolution is not working correctly on the management server. - The destination setting of the server managing the user account is incorrect. - The service for managing the user account is not running. <p>[対処]</p> <p>Wait for a while until you can log in to the {1}.</p> <p>If you cannot log in, confirm and resolve the following items:</p> <ul style="list-style-type: none"> -Port conflicts. <p>Verify that the {1} port is not used by management server programs. If there is a conflicting port, close the program that uses that port or modify {1} settings. For more information, see the Installation and Configuration Guide.</p> <ul style="list-style-type: none"> -Virtual Memory. <p>Verify that the management server has sufficient free virtual memory.</p> <ul style="list-style-type: none"> -Host name and IP address settings. <p>Verify that the management server host name or IP address is specified in the URL. Verify the host-name or IP address by using the "hcnds64chgurl -print" command. To modify the URL setting, use the "hcnds64chgurl -change" command. For more information, see the Installation and Configuration Guide.</p> <ul style="list-style-type: none"> -Name Resolution.

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Verify that the management server host name and 'localhost' are correctly resolved to the address on the management server. In a cluster environment, also confirm the logical host name.</p> <p>-Server managing the user account settings.</p> <p>Verify that the server managing the user account settings by using the "hcnds64prmset -print" command. To modify the settings, use the "hcnds64prmset" command with -host, -port or -sslport option.</p> <p>-Service status for managing the user account.</p> <p>Verify that the service for managing the user account is running on the server managing the user account by using the "hcnds64srv -check" command. If the service is not running, run the "hcnds64srv -start" command.</p> <p>If you cannot resolve the problem, contact the Support Center to obtain additional information on the data that you must collect to determine the cause and resolve the problem.</p> <p>0:server name 1:product name 2:host name(IP address)</p>
KNAE04748-E	<p>An error occurred during the installation process.</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因]</p> <p>An error occurred during the installation process.</p> <p>[対処]</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>
KNAE04749-I	You can run the program on the installation media.
KNAE04750-I	The SUNWj5rt package is installed.
KNAE04751-I	All required libraries are installed.
KNAE04752-I	The Perl language package is installed.
KNAE04753-I	The kernel parameters are set.
KNAE04754-I	<p>{0} and {1} services must stop during the installation.</p> <p>Continue? (y/n)</p> <p>0:product name 1:product name</p>
KNAE04755-I	<p>{0} and {1} services must stop during the removal.</p> <p>0:product name 1:product name</p>
KNAE04756-I	Installation was canceled.
KNAE04757-I	Removal was canceled.
KNAE04758-I	Run the Kill command.
KNAE04759-W	<p>An attempt to stop the {0} services and the {1} services failed. Stopping the services may be delayed.</p> <p>Type y to retry stopping the services, or n to cancel.</p> <p>(y/n):</p> <p>[原因]</p> <p>Stopping the services may be delayed.</p> <p>[対処]</p> <p>Type y to retry stopping the services, or n to cancel.</p> <p>0:product name 1:product name</p>
KNAE04761-W	The entered port number is invalid. Enter a value between 1 and 65535:

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] The entered port number is invalid.</p> <p>[対処] Enter a value between 1 and 65535.</p>
KNAE04762-W	<p>The entered value is invalid. Type y to continue or n to cancel. (y/n):</p> <p>[原因] The entered value is invalid.</p> <p>[対処] Type y to reenter or n to cancel.</p>
KNAE04763-W	<p>The entered value is invalid. Type y to continue ,n to cancel, or e to edit. (y/n/e):</p> <p>[原因] The entered value is invalid.</p> <p>[対処] Type y to reenter ,n to cancel, or e to edit.</p>
KNAE04764-W	<p>The entered value is invalid. Return to the setting information screen.</p> <p>[原因] The entered value is invalid.</p> <p>[対処] —</p>
KNAE04765-W	<p>An Invalid value was entered 3 times in row. Return to the setting information screen.</p> <p>[原因] An Invalid value was entered 3 times in row.</p> <p>[対処] —</p>
KNAE04767-E	<p>The specified directory cannot be used as the installation directory. Specify another directory. Note that any of the following directories cannot be specified:</p> <ul style="list-style-type: none"> - /usr - /usr/local - /var - The root directory (/) <p>[原因] The specified directory cannot be used as the installation directory.</p> <p>[対処] Specify another directory. Note that any of the following directories cannot be specified:</p> <ul style="list-style-type: none"> - /usr - /usr/local - /var - The root directory (/)
KNAE04768-W	<p>The entered value is invalid. Type i to ignore or c to cancel. (i/c):</p> <p>[原因] The entered value is invalid.</p> <p>[対処] Type i to ignore or c to edit.</p>
KNAE04769-E	<p>The database file path contains an invalid character. Specify a database file path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /</p> <p>[原因] The database file path contains an invalid character.</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	Specify a database file path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /
KNAE04770-W	The entered value is invalid. Type r to re-check, i to ignore, or c to cancel. (r/i/c): [原因] The entered value is invalid. [対処] Type r to re-check, i to ignore, or c to cancel.
KNAE04771-E	The installation path contains an invalid character. Specify an installation path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ / [原因] The installation path contains an invalid character. [対処] Specify an installation path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /
KNAE04775-E	The backup file path contains an invalid character. Specify a backup file path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ / [原因] The backup file path contains an invalid character. [対処] Specify a backup file path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /
KNAE04776-E	{0} cannot be installed on this OS version. Refer to the Release Note to verify the supported OS versions for the {0}. [原因] {0} cannot be installed on this OS version. [対処] Refer to the Release Note to verify the supported OS versions for the {0}. 0:product name
KNAE04777-E	This installer is dedicated to {0}. The OS or architecture of the installation target is not supported. Refer to the Release Note to verify the supported OS and architecture for the {1}. [原因] The OS or architecture of the installation target is not supported by this installer. [対処] Refer to the Release Note to verify the supported OS and architecture for the {1}. 0:OS name or architecture name 1:product name
KNAE04779-E	There is no installed JDK that meets the software requirement of the {0}. Install the required JDK version. [原因] There is no installed JDK that meets the software requirement of the {0}. [対処] Refer to the Release Note to install the required JDK version. 0:product name
KNAE04780-E	A file in the installation media cannot run. The media might have been mounted with the mount command noexec option. Mount the media again without using the noexec option. [原因] The media might have been mounted with the mount command noexec option. [対処] Mount the media again without using the noexec option.

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE04781-E	<p>A file in the installation media cannot run. The installation media may be damaged.</p> <p>To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因] The installation media may be damaged.</p> <p>[対処] To determine the cause and resolve the problem, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>
KNAE04782-E	<p>File ({0}), required for installation, cannot be read.</p> <p>The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The files on the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". <p>Verify that the mount point does not contain invalid characters. If the problem still persists, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因] The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The files on the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". <p>[対処] Verify that the mount point does not contain invalid characters. If the problem still persists, a detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>0:file name</p>
KNAE04784-E	<p>/usr/bin/perl is not found. You must install the Perl package.</p> <p>[原因] /usr/bin/perl is not found.</p> <p>[対処] Install the Perl package.</p>
KNAE04788-E	<p>The HiRDB service cannot be started.</p> <p>A detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因] The HiRDB service cannot be started.</p> <p>[対処] A detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>
KNAE04790-E	<p>An attempt to execute the {0} command failed.</p> <p>A detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因] An attempt to execute the command failed.</p> <p>[対処] To detailed investigation is required. Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>0:command-name</p>
KNAE04791-E	<p>Cannot continue the installation because Hitachi Automation Director or Hitachi Command Suite services are running. Stop the services, and then try again.</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Hitachi Automation Director or Hitachi Command Suite services are running on the management server.</p> <p>[対処]</p> <p>If no problems occur when the Hitachi Automation Director and Hitachi Command Suite services stop, try again.</p>
KNAE04792-E	<p>A non-root user cannot perform an installation. Log in as root, and then start the installer.</p> <p>[原因]</p> <p>A non-root user cannot perform an installation.</p> <p>[対処]</p> <p>Log in as root, and then start the installation program.</p>
KNAE04793-E	<p>Installation cannot run because a removal of {0} is already running. Complete the removal, and then perform installation again.</p> <p>[原因]</p> <p>A removal of {0} is already running.</p> <p>[対処]</p> <p>Complete the removal, and then perform installation again.</p> <p>0:product name</p>
KNAE04794-E	<p>Another instance of {0} installer is already running. Complete the current installation, and then run the installation again.</p> <p>[原因]</p> <p>Another instance of {0} installer is already running.</p> <p>[対処]</p> <p>Complete the current installation, and then run the installation again.</p> <p>0:product name</p>
KNAE04795-E	<p>The backup file path contains an invalid character. Specify a mount path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /</p> <p>[原因]</p> <p>The backup file path contains an invalid character.</p> <p>[対処]</p> <p>Specify a mount path using the following characters: A-Z a-z 0-9 _ /</p>
KNAE04796-E	<p>File "hinstsetup.tar", required for installation, cannot be read. The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The files in the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". <p>Verify that the mount point contains invalid characters. If the problem persists, a detailed investigation is required.</p> <p>Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p> <p>[原因]</p> <p>The cause might be one of the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The files in the installation media are damaged. - The mount point contains a invalid character other than one-byte alphanumeric characters or "_". <p>[対処]</p> <p>Verify that the mount point contains invalid characters. If the problem persists, a detailed investigation is required.</p> <p>Collect the relevant maintenance information, and then contact customer support.</p>
KNAE04797-E	<p>{0} cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the {0}.</p> <p>[原因]</p> <p>The OS version you are using is not supported.</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	Verify the supported OS versions for the {0}. 0:product name
KNAE04798-E	Installation will be canceled because the /tmp directory is not found. Create the /tmp directory, and then start the installation again. [原因] /tmp directory is not found. [対処] Create the /tmp directory, and then start the installation again.
KNAE04799-E	The installer cannot start because there is not enough temporary space. Ensure that the system meets the free space requirement. Directory: {0}, Available: {1}MB [原因] There is not enough temporary space. [対処] Refer to the Release Note to ensure your system meets the free space requirements. 0:directory 1:free-space
KNAE04800-E	A non-root user cannot perform a removal. Log in as root, and then restart the removal program. [原因] A non-root user cannot perform removal. [対処] Log in as root, and then start the removal program.
KNAE04801-E	Another removal of {0} installer is already running. [原因] Another removal of {0} installer is already running. [対処] — 0:product name
KNAE04802-E	Removal cannot run because an installation of {0} is already running. Complete the installation, and then run the removal again. [原因] Removal cannot run because an installation of {0} is already running. [対処] Complete the installation, and then run the removal again. 0:product name
KNAE04803-E	A removal cannot run in the current directory {0}. Change the current directory to /root, and then start the removal again. [原因] The current directory is not /root. [対処] Change the current directory to /root, and then start the removal again. 0:Current directory
KNAE04804-E	Removal will be canceled because the /tmp directory is not found. Create the /tmp directory, and then start the removal again. [原因] /tmp directory is not found. [対処] Create the /tmp directory, and then start the removal again.
KNAE04805-E	The removal cannot start because there is not enough temporary space. Directory: {0}, Available: {1}MB [原因] There is not enough temporary space. [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	Refer to the Release Note to ensure your system meets the free space requirements. 0:directory 1:free-space
KNAE04806-E	The following shell limits are smaller than the minimum requirement (Parameter) (Current) (Minimum) {0} {1} {2} [原因] The shell limits are smaller than the minimum value. [対処] Set adequate shell limits referring to the procedure described in the message. 0:parameter 1:current value 2:minimum value
KNAE04807-E	The following kernel parameters are smaller than the minimum requirement. (Parameter) (Current) (Minimum) {0} {1} {2} [原因] The kernel parameters are smaller than the minimum requirement. [対処] Set adequate kernel parameters referring to the procedure described in the message. 0:parameter 1:current value 2:minimum value
KNAE04808-E	{0} is not installed. Install {0}, and then try again. [原因] {0} is not installed. [対処] Install {0}, and then try the installation again. If the same message appears although {0} has been installed, contact the Support Center. 0: Product name
KNAE04809-E	The installed JP1/Base version does not meet the prerequisites for {0}. Install JP1/Base version {1} or higher, and then try to install {0} again. [原因] The installed JP1/Base version does not meet the prerequisites for {0}. [対処] Install JP1/Base version {1} or higher, and then try to install {0} again. 0: Product name 1: Required version
KNAE04810-E	{0} cannot be removed because JP1/Base is not installed. Contact the Support Center. [原因] JP1/Base is not installed. [対処] Contact the support center. 0: Product name
KNAE04811-E	Products that conflict with {0} are installed. Remove the following products, and then retry the operation: - Hitachi Automation Director [原因] Conflicting products are installed. [対処] Remove the conflicting products, and then try installing {0} again.

メッセージ ID	メッセージの内容
	If the same message appears even when no conflicting products are installed, contact the Support Center. 0: Product name
KNAE04812-E	内部コンポーネントのインストールに失敗しました。 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 [原因] 内部コンポーネントのインストールに失敗しました。 [対処] 再度、インストールを実行してください。 同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KNAE04814-E	A required item was not specified. Enter a value. [原因] A required item was not specified. [対処] Enter a value.
KNAE04815-W	An attempt to set up the connection to the server that manages user accounts has failed. After installation finishes, execute the hcnds64prmset command. [原因] An attempt to set up the connection to the server that manages user accounts has failed. [対処] After installation finishes, execute the hcnds64prmset command.
KNAE04816-E	An error occurred. {0} installation will stop. Contact the Support Center. [原因] An error occurred. [対処] Contact the Support Center. 0: Product name
KNAE04817-E	The specified port number is invalid. Specify a port number between 1 and 65535. [原因] The specified port number is invalid. [対処] Specify a port number between 1 and 65535.
KNAE04818-W	A connectivity check was performed for the local host, but there was no response. A communication error may have occurred because {0} products perform communications using the local loopback address (localhost and 127.0.0.1) or the host name as the destination. Verify the local loopback address and the host name settings. [原因] A communication error may have occurred because {0} perform communications using the local loopback address (localhost and 127.0.0.1) or the host name as the destination. [対処] Verify the local loopback address and the host name settings. 0:product name
KNAE04819-E	Products that conflict with {0} are installed. Remove the following products, and then retry the operation: - JP1/Automatic Operation [原因] Conflicting products are installed. [対処] Remove the conflicting products, and then try installing {0} again.

メッセージID	メッセージの内容
	If the same message appears even when no conflicting products are installed, contact the Support Center. 0: Product name
KNAE04820-E	Removal of an internal component failed. Perform the removal again. If the problem persists, contact the Support Center. [原因] Removal of an internal component failed. [対処] Perform the removal again. If the problem persists, contact the Support Center.
KNAE04821-W	Virtual memory free space for the management server is {0}MB. {1} requires {2} of virtual memory, so you must add more. Lack of free space may lead to unstable system and unable to run program. [原因] Not enough virtual memory free space for the management server. [対処] Add more virtual memory. 0:available virtual memory 1:product name 2:required virtual memory
KNAE04822-W	The installer cannot start because there is not enough temporary space. Ensure that the system meets the free space requirement. Directory: {0}, Available: {1}MB [原因] There is not enough temporary space. [対処] Refer to the Release Note to ensure your system meets the free space requirements. 0:directory 1:free-space
KNAE04823-W	The removal cannot start because there is not enough temporary space. Directory: {0}, Available: {1}MB [原因] There is not enough temporary space. [対処] Refer to the Release Note to ensure your system meets the free space requirements. 0:directory 1:free-space
KNAE04824-W	This location does not have enough space for the installation. Add more space. [原因] There is not enough space for the installation. [対処] This location does not have enough space for the installation. Add more space or change the location.
KNAE04825-E	An attempt to delete certification data has failed. Use the hcnds64intg command to delete certification data. [原因] The authentication server stopped or failed in connection with an authentication server. [対処] After Removal is completed, please delete authentication data manually using the hcnds64intg command.
KNAE04826-E	他製品が root 権限以外のユーザーで実行できるように設定されているため、{0}をインストールできません。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 [原因]

メッセージ ID	メッセージの内容
	他製品が root 権限以外のユーザーで実行できるように設定されています。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0: Product name
KNAE04832-E	Setting of an internal component failed. Perform the removal again. If the problem persists, contact the Support Center. [原因] Setting of an internal component failed. [対処] Perform the installation again. If the problem persists, contact the Support Center.

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE05003-E	データベースにアクセスするユーザー情報が取得できませんでした。 [原因] 共通コンポーネントが起動していない可能性があります。 [対処] 共通コンポーネントが起動していることを確認してください。起動している場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KNAE05100-I	データベースのメンテナンスを開始します。
KNAE05101-I	データベースのメンテナンスを終了しました。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06501-E	The value specified for the volume capacity is invalid. [Action] Specify an integer value. 指定した容量の値が不正です。 [対処] 整数値を指定してください。
KNAE06502-E	The value specified for the volume capacity is outside the valid range. [Action] Specify a value in the range from {0} through {1}. 0: Minimum capacity (unit of measure) 1: Maximum capacity (unit of measure) 指定したボリューム容量の値が範囲外です。 [対処] {0}から{1}の範囲で指定してください。 0: 最小値("KB"と単位付き) 1: 最大値("KB"と単位付き)
KNAE06503-E	The value specified for the volume capacity is not one of the values set for the service. [Action] Specify one of the following values: {0} 0: Discrete value(comma separated string. with unit of measure of "KB") ボリューム容量の値がサービスで設定された値のいずれでもありません。 [対処] {0}のいずれかの値を指定してください。 0: 離散値(コンマ区切りの数値からなる文字列。"KB"単位付き)
KNAE06504-E	The value specified for the number of volumes is invalid. [Action] Specify an integer value. 指定したボリューム数の値が不正です。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	整数値を指定してください。
KNAE06505-E	<p>The value specified for the number of volumes is outside the valid range.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value in the range from {0} through {1}.</p> <p>0: Min value</p> <p>1: Max value</p> <p>指定したボリューム数の値が範囲外です。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}から{1}の範囲で指定してください。</p> <p>0: 最小値</p> <p>1: 最大値</p>
KNAE06506-E	<p>The value specified for the volume capacity unit is invalid.(value = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify Block, MB, GB, or TB.</p> <p>0: Volume Capacity Unit For Submit</p> <p>指定したボリューム容量の単位が不正です。(値 : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>Block, MB, GB, TB のいずれかを指定してください。</p> <p>0: サービス実行で指定されたボリューム容量単位</p>
KNAE06507-E	<p>Host name is missing.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a host name.</p> <p>ホスト名が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ホスト名を指定してください。</p>
KNAE06508-E	<p>The specified host name format is invalid.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the host name.</p> <p>ホスト名の指定形式が間違っています。</p> <p>[対処]</p> <p>ホスト名を見直してください。</p>
KNAE06509-E	<p>A task cannot run.</p> <p>[Cause]</p> <p>An error occurred during communication with the External Server. (destination host name = {0}, protocol = {1}, port number = {2}, maintenance information = {3})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the network status and verify that the External Server is running correctly.</p> <p>0: host name</p> <p>1: protocol</p> <p>2: port no.</p> <p>3: information</p> <p>タスクを実行できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>外部サーバとの通信中にエラーが発生しました。(接続先ホスト名 : {0}, プロトコル : {1}, ポート番号 : {2}, 保守情報 : {3})</p> <p>[対処]</p> <p>ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先外部サーバが正しく起動していることを確認してください。</p> <p>0: ホスト名</p> <p>1: プロトコル</p> <p>2: ポート番号.</p> <p>3: 情報</p>
KNAE06512-E	<p>A polling error occurred while executing an Automation Director task.</p> <p>[Cause]</p> <p>The execution time for the task has exceeded the polling limit time. (set time = {0})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If the problem persists, check the status of the network, or check the value set for the displayed name "Upper Limit of the Task Status Polling Duration".</p> <p>0: Duration of keeping status table 実行中の Automation Director タスクのポーリングでエラーが発生しました。</p> <p>[原因] タスクの実行時間がポーリングを行う上限時間を超えました。(設定時間 : {0})</p> <p>[対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。それでも解決しない場合はネットワークの状態を確認してください。あるいは、表示名「Upper Limit of the Task Status Polling Duration」の設定値を確認してください。</p> <p>0: 設定時間</p>
KNAE06513-E	<p>Unable to obtain data from the database.</p> <p>[Cause] The Automation Director database is not operating properly.</p> <p>[Action] On the Automation Director server, use the hcmds64srv command to stop the Automation Director service. Restart the service and retry the operation. (maintenance information = {0})</p> <p>0: maintenance information データベースからデータを取得できませんでした。</p> <p>[原因] Automation Director のデータベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] Automation Director サーバ上で hcmds64srv コマンドを使用して Automation Director のサービスを終了させ、その後、起動し直してから再度操作してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: 保守情報</p>
KNAE06515-E	<p>The specified number of volume capacities does not match the number for the volume usage.</p> <p>[Action] Specify the following number of volume capacities: {0}</p> <p>0: No. of Volume Usage 指定した容量の数がボリューム用途の数と一致しません。</p> <p>[対処] 容量を{0}個指定してください。</p> <p>0: ボリューム用途数</p>
KNAE06516-E	<p>The specified number of volumes does not match the number for the volume usage.</p> <p>[Action] Specify the following number of volumes: {0}</p> <p>0: No. of volume usage 指定したボリューム数がボリューム用途の数と一致しません。</p> <p>[対処] ボリューム数を{0}個指定してください。</p> <p>0: ボリューム用途数</p>
KNAE06517-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action] From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06518-E	<p>JSON decode failed.</p> <p>[Cause]</p> <p>JSON may have been inaccurate.(JSON={0}, encoder={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Try the operation again. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0: JSON</p> <p>1: encoder</p> <p>JSON がデコードできませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>JSON が不正であったおそれがあります。(JSON : {0}, エンコーダー : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: JSON</p> <p>1: エンコーダー</p>
KNAE06520-E	<p>An error occurred while executing an Automation Director task. Cannot obtain task detail information.</p> <p>[Cause]</p> <p>Possible reasons are as follows:-Automation Director server may be restarted.·Automation Director server is fail over.·Automation Director task is force-quitted.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then try the operation again. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。タスク詳細の情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>次の原因が考えられます。·Automation Director サーバが再起動した可能性があります。·Automation Director サーバがフェイルオーバーした可能性があります。·Automation Director タスクが強制終了されたおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KNAE06521-E	<p>An error occurred while polling the Automation Director task.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the network status and make sure the Automation Director server is running correctly. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (Destination host name={0}, protocol={1}, port no.={2}, task status={3})</p> <p>0: host name</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1: protocol 2: port no. 3: task status 実行中の Automation Director タスクのポーリングでエラーが発生しました。</p> <p>[対処] ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Automation Director サーバが正しく起動していることを確認してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(接続先ホスト名: {0}, プロトコル: {1}, ポート番号: {2}, タスク状態: {3})</p> <p>0: ホスト名 1: プロトコル 2: ポート番号 3: タスク状態</p>
KNAE06522-E	<p>The Auto Volume Label Configuration is incorrect.(service name:{0},volume usage: {1})</p> <p>[Action] Check the Auto Volume Label Configuration on the Edit Service window using an account with Modify permission on Automation Director.</p> <p>0: service name 1: volume usage ボリュームラベルの設定に誤りがあります。(サービス名: {0}, ボリューム用途: {1})</p> <p>[対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でボリュームラベルの設定を見直してください。</p> <p>0: サービス名 1: ボリューム用途</p>
KNAE06523-E	<p>The specified host name contains invalid characters.</p> <p>[Action] Specify the host name using the following valid characters: A-Z, a-z, 0-9, and the following characters: '-', '_', '!', '@'.</p> <p>ホスト名に使用できない文字が含まれています。</p> <p>[対処] 次の有効な文字を使用してホスト名を指定してください。・A-Z, a-z, 0-9, および次の文字: '-', '_', '!', '@'</p>
KNAE06524-E	<p>The host name is too long.</p> <p>[Action] Enter a host name (maximum 50 characters).</p> <p>ホスト名が長すぎます。</p> <p>[対処] ホスト名 (最大 50 文字) を入力してください。</p>
KNAE06525-E	<p>User account for Storage Resource ACL is invalid.</p> <p>[Action] Enter the user account for Storage Resource ACL in the Edit Service window using an account with Modify permission on Automation Director.</p> <p>使用するストレージリソースの権限を持つユーザーアカウントの設定に誤りがあります。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集画面で、使用するストレージリソースの権限を持つユーザーアカウントを入力してください。</p>
KNAE06530-E	<p>No resource groups of Device Manager are assigned to this service.</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Confirm followings in Administration tab. Then revise or add items, and submit the service again.(1)In "Service Group", the Infrastructure Group is registered in Service Group which contains the service that you submitted.(2)In "Infrastructure Group", the Resource Group of Device Manager is registered in the Infrastructure Group confirmed in (1).(3)The name of Device Manager that consists your specified host is included in the column of "Device Manager" of the Resource Group of Device Manager you confirmed in (2). (Device Manager Name:{0})</p> <p>0: Device Manager Name</p> <p>サービスに割り当てられた Device Manger のリソースグループがありません。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブで次の項目について確認し、必要に応じて項目の修正、追加を行い、サービスを再度実行してください。(1)「サービスグループ」で実行するサービスが含まれるサービスグループにインフラストラクチャーグループが登録されている。(2)「インフラストラクチャーグループ」で(1)で確認したインフラストラクチャーグループに Device Manager のリソースグループが登録されている。(3)(2)で確認した Device Manager のリソースグループの Device Manager 欄に指定したホストが登録されている Device Manager 名が存在する。(Device Manager 名 : {0})</p> <p>0: Device Manager 名</p>
KNAE06531-E	<p>There is no connection information of Device Manager which you specified.</p> <p>[Action]</p> <p>In Administration tab, confirm the connect information of Device Manager that consists your specified host. Then add or configure the settings as necessary. (Device Manager Name:{0})</p> <p>0: Device Manager Name</p> <p>指定した Device Manger の接続情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブで指定したホストが属する Device Manager の接続情報を確認し、必要に応じて設定の追加および修正を行ってください。(Device Manager 名 : {0})</p> <p>0: Device Manager 名</p>
KNAE06532-E	<p>There are no Pair Management Server settings.</p> <p>[Action]</p> <p>In the Administration tab, confirm the connection information for the Pair Management Server of Device Manager that includes your specified host. Then add or configure the settings as necessary.</p> <p>ペア管理サーバの設定情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブで指定したホストが属する Device Manager のペア管理サーバの接続情報を確認し、必要に応じて設定の追加および修正を行ってください。</p>
KNAE06533-E	<p>The connection information for Device Manager is invalid.</p> <p>[Cause]</p> <p>There are invalid items or items that have not been set in the connection information.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the connection information of the Device Manager that belongs to the host specified in the Administration tab, and reconfigure the settings if necessary. The, execute the task. (Device Manager Name:{0})</p> <p>0: Device Manager Name</p> <p>Device Manager の接続情報に誤りがあります。</p> <p>[原因]</p> <p>接続情報に設定の誤りがある、または未設定の項目があります。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブで指定したホストが属する Device Manager の接続情報を確認後、必要に応じて再度設定してください。その後、再度タスクを実行してください。(Device Manager 名 : {0})</p> <p>0: Device Manager 名</p>
KNAE06534-I	<p>Device Manager output this message.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] See the following Device Manager message: {0} 0: message Device Manager で出力されたメッセージです。 [対処] 次の Device Manager のメッセージを参照してください。{0} 0: メッセージ</p>
KNAE06535-W	<p>Device Manager output this warning. [Action] See the following Device Manager message: {0} 0: message Device Manager で出力された警告メッセージです。 [対処] 次の Device Manager のメッセージを参照してください。{0} 0: メッセージ</p>
KNAE06536-E	<p>An error occurred during task execution in Device Manager. [Action] See the following Device Manager message: {0} 0: message Device Manager でエラーが発生しました。 [対処] 次の Device Manager のメッセージを参照してください。{0} 0: メッセージ</p>
KNAE06537-E	<p>There are no Device Manager with Replication Manager running. [Action] Confirm that Replication Manager has started, and confirm that setting of RMI communication is true. And pushing the refresh button in Replication Settings of the Administrator Tab. Then try again. 起動している Replication Manager を持つ Device Manager が存在しません。 [対処] Replication Manager が起動していることを確認し、RMI の設定が有効になっていることを確認してください。その後、管理タブのレプリケーション設定で更新ボタンを押してからタスクを再実行してください。</p>
KNAE06602-E	<p>No Resource Group is specified. [Action] Specify one or more Resource Groups. リソースグループが指定されていません。 [対処] 一つ以上のリソースグループを指定してください。</p>
KNAE06603-E	<p>Settings of specified Device Manager does not exist. (Device Manager Name:{0}) [Action] Confirm Device Manager settings again. 0: Device Manager Name 指定した Device Manager の設定がありません。(Device Manager 名 : {0}) [対処] Device Manager の設定を再度確認してください。 0: Device Manager 名</p>
KNAE06604-E	<p>No Storage Profile is specified. [Action] Check the Storage Profile Setting on Edit Service window by user with Modify permission on Automation Director. ストレージプロファイルが指定されていません。 [対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集画面でストレージプロファイルの設定を見直してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06605-E	<p>No Device Manager is specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a Device Manager.</p> <p>Device Manager が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager を指定してください。</p>
KNAE06607-E	<p>The Device Manager you specified when submit task or setting of the specified Device Manager in Administration tab has either of following mistake. Device Manager setting: {0} (1)Specified Device Manager is not correct. (2)The form of specification is different between in submit task and in Administration tab.</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm following and check the connection setting of Device Manager on Administration tab by user with Admin permission on Automation Director, or submit task again. (1)The IP address and server name of Device Manager. (2)The Device Manager specified when you submit task and the settings of Device Manager in Administration tab.</p> <p>0: Device Manager setting</p> <p>タスク投入時に指定した Device Manager, もしくは管理タブで指定した Device Manager の設定に次のいずれかの誤りがあります。Device Manager 設定: {0} (1)指定した Device Manager が正しくない。(2)指定方法がタスク投入時と管理タブで異なる。</p> <p>[対処]</p> <p>次の情報を確認し, Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが, 管理タブの Device Manager 接続設定を見直すか, タスクを再度実行してください。</p> <p>(1)Device Manager の IP アドレスとサーバー名 (2)タスク投入時に指定した Device Manager と管理タブの Device Manager の設定</p> <p>0: Device Manager 設定</p>
KNAE06608-E	<p>The value specified for the number of volumes is not one of the values set for the service.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify one of the following values: {0}</p> <p>0: Discrete value(comma separated string.)</p> <p>指定したボリューム数はサービスで設定された値と一致しません。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}のいずれかの値を指定してください。</p> <p>0: 離散値(コンマ区切りの数値からなる文字列。)</p>
KNAE06609-E	<p>The specified volume capacity unit does not match the value for the service.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the following values: {0}</p> <p>0: Volume Capacity Unit For The Service</p> <p>指定したボリューム容量の単位はサービスで設定された値と一致しません。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}の値を指定してください。</p> <p>0: サービスで設定されたボリューム容量単位</p>
KNAE06614-E	<p>No Device Manager is specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a Device Manager.</p> <p>0:Property Key</p> <p>Device Manager が指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager を指定してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06615-E	<p>No VMware vCenter server is specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a VMware vCenter server.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0:Property Key VMware vCenter server が指定されていません。(プロパティキー : {0}) [対処] VMware vCenter server を指定してください。 0:プロパティキー</p>
KNAE06616-E	<p>No datastore name is specified. (property key:{0}) [Action] Specify a datastore name. 0:Property Key データストア名が指定されていません。(プロパティキー : {0}) [対処] データストア名を指定してください。 0:プロパティキー</p>
KNAE06617-E	<p>No extent is specified. (property key:{0}) [Action] Specify an extent. 0:Property Key エクステン트가指定されていません。(プロパティキー : {0}) [対処] エクステン트를指定してください。 0:プロパティキー</p>
KNAE06622-E	<p>The settings of specified VMware vCenter server does not exist. (VMware vCenter server:{0}) [Action] Revise the settings of VMware vCenter server. 0: vCenter Server 指定した VMware vCenter サーバの設定がありません。(VMware vCenter サーバ : {0}) [対処] VMware vCenter サーバの設定を見直してください。 0: vCenter サーバ</p>
KNAE06623-E	<p>The specified datastore name does not exist. (Datastore name:{0}) [Action] Verify the datastore name. 0: Datastore name 指定したデータストア名が存在しません。(データストア名:{0}) [対処] データストア名を確認してください。 0: データストア名</p>
KNAE06624-E	<p>The specified extent does not exist. (Extent:{0}) [Action] Verify the extent. 0: Extent 指定したエクステン트가存在しません。(エクステント : {0}) [対処] エクステン트를確認してください。 0: エクステント</p>
KNAE06625-E	<p>Cannot obtain the information from the VMware vCenter server. (VMware vCenter server:{0}) [Action] Make sure the VMware vCenter server is running correctly. If the error occurs repeatedly, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information. 0: vCenter Server</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>VMware vCenter サーバから情報を取得できませんでした。(VMware vCenter サーバ: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバのサービスが起動していることを確認してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: vCenter サーバ</p>
KNAE06626-E	<p>The input property value of the service is not specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the input property value, and then try again.</p> <p>0:Property Key</p> <p>サービスの入力プロパティの値が未設定です。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>入力プロパティの値を見直し、再度、サービスを実行してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06627-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報: {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06628-E	<p>The settings of specified VMware vCenter server is invalid. (VMware vCenter server:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the settings of VMware vCenter server.</p> <p>0: vCenter Server</p> <p>指定した VMware vCenter server の設定に誤りがあります。(vCenter サーバ: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバの設定を見直してください。</p> <p>0: vCenter サーバ</p>
KNAE06629-E	<p>No host port is specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a host port.</p> <p>0:Property Key</p> <p>ホストのポートが指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>ホストのポートを指定してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06630-E	<p>No storage system port is specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a storage system port.</p> <p>0:Property Key</p> <p>ストレージシステムのポートが指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージシステムのポートを指定してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06631-E	<p>The LUN of a referenced volume is not specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the LUN of the referenced volume.</p> <p>0:Property Key</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>参考ボリュームの LUN が指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>参考ボリュームの LUN を指定してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06632-E	<p>No host name is specified. (property key:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a host name.</p> <p>0:Property Key</p> <p>ホスト名が指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>ホスト名を指定してください。</p> <p>0:プロパティキー</p>
KNAE06633-E	<p>Cannot identify Device Manager by using the specified host. (host={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the specified host.</p> <p>0:host</p> <p>Device Manager を特定できません。(ホスト名: {0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定したホストを確認してください。</p> <p>0:ホスト名</p>
KNAE06661-E	<p>The specified volume usage overlaps.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the unique volume usage.</p> <p>指定したボリューム用途は重複しています。</p> <p>[対処]</p> <p>重複しないボリューム用途を指定してください。</p>
KNAE06662-E	<p>No copy pair setting is specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a copy pair setting.</p> <p>コピーペアの設定が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>コピーペアの設定を指定してください。</p>
KNAE06663-E	<p>The specified prefix of copy group name contains characters that cannot be specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the prefix of copy group name.</p> <p>コピーグループ名のプレフィックスに使用できない文字が含まれています。</p> <p>[対処]</p> <p>コピーグループ名のプレフィックスを見直してください。</p>
KNAE06664-E	<p>The value specified for the number of generations is outside the valid range.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value in the range from {0} through {1}.</p> <p>0: Minimum generation</p> <p>1: Maximum generation</p> <p>指定した世代数の値が範囲外です。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}から{1}の範囲で指定してください。</p> <p>0: 最小世代数</p> <p>1: 最大世代数</p>
KNAE06665-E	<p>No number of path is specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a number of path.</p> <p>パス数が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>パス数を指定してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06666-E	<p>The value specified for the number of paths is outside the valid range.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value in the range from {0} through {1}.</p> <p>0: Minimum number of paths 1: Maximum number of paths</p> <p>指定したパス数の値が範囲外です。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}から{1}の範囲で指定してください。</p> <p>0: 最小パス数 1: 最大パス数</p>
KNAE06667-E	<p>The value specified for the number of volume usages is outside the valid range.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value in the range from {0} through {1}.</p> <p>0: Minimum number of volume usages 1: Maximum number of volume usages</p> <p>指定したボリューム用途の数が範囲外です。</p> <p>[対処]</p> <p>{0}から{1}の範囲で指定してください。</p> <p>0: 最小ボリューム用途数 1: 最大ボリューム用途数</p>
KNAE06711-E	<p>Cannot log in to the VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Cause]</p> <p>The authentication settings for the VMware vCenter server are incorrect, or the connection cannot be established.</p> <p>[Action]</p> <p>On the Administration tab, under Connection Settings > Web Service Connections, make sure the server setting exists and is correct.</p> <p>0:vCenter 1: message</p> <p>VMware vCenter サーバへログインできませんでした。(サーバ: {0}, メッセージ: {1})</p> <p>[原因]</p> <p>VMware vCenter サーバの認証情報の設定に誤りがあります。もしくは接続が確立できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブの接続設定>Web サービス接続先定義で、サーバの設定が存在し、正しいことを確認してください。</p> <p>0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06712-E	<p>Cannot perform the action on the VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Cause]</p> <p>The user does not have permission to modify the VMware vCenter configuration, or cannot establish a connection to the server.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the account specified in the authentication information of vCenter has an Administrator role, or make sure that vCenter is operating correctly. (vCenter name = {0})</p> <p>0:vCenter 1: message</p> <p>vCenter サーバに対する操作ができませんでした。(サーバ: {0}, メッセージ: {1})</p> <p>[原因]</p> <p>ユーザーに VMware vCenter の構成を変更する権限がありません。もしくはサーバへの接続が確立できません。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>vCenter の認証情報に指定したアカウントにシステム管理者権限があるか確認してください。もしくは vCenter が正常に動作していることを確認してください。(vCenter 名 : {0})</p> <p>0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06713-E	<p>Cannot acquire a list of ESX and ESXi servers from the VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0:vCenter 1: message</p> <p>VMware vCenter サーバからの ESX サーバおよび ESXi サーバの一覧取得ができませんでした。(サーバ : {0}, メッセージ : {1})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06714-E	<p>Cannot acquire a list of ESX clusters from the VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0:vCenter 1: message</p> <p>VMware vCenter サーバから ESX クラスタの一覧取得ができませんでした。(サーバ : {0}, メッセージ : {1})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06715-E	<p>An option for the VMware vCenter datastore is not specified. (server = {0}, host = {1}, datastore = {2})</p> <p>[Action] Specify the options for the datastore.</p> <p>0:vCenter 1:host 2: datastore</p> <p>VMware vCenter のデータストアのオプションが指定されていません。(サーバ : {0}, ホスト : {1}, データストア : {2})</p> <p>[対処] データストアのオプションを指定してください。</p> <p>0:vCenter 1:ホスト 2: データストア</p>
KNAE06716-E	<p>Information for a VMware vCenter cluster was not found. (cluster = {0})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0:cluster</p> <p>VMware vCenter クラスタの情報が見つかりません。(クラスタ : {0})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバサーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:クラスタ</p>
KNAE06717-E	<p>Information for the host used to configure a VMware vCenter cluster was not found. (cluster = {0})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0:cluster</p> <p>VMware vCenter クラスタを構成するために使用されるホストの情報が見つかりません。(クラスタ : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバサーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:クラスタ</p>
KNAE06718-E	<p>Cannot acquire a list of VMware vCenter datastores (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0:vCenter</p> <p>1: message</p> <p>VMware vCenter のデータストアのリストが取得できませんでした。(サーバ:{0}, メッセージ : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:vCenter</p> <p>1: メッセージ</p>
KNAE06719-E	<p>Cannot acquire a list of VMware vCenter datastores allocated to a host. (server = {0}, host = {1}, message = {2})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0:vCenter</p> <p>1:host</p> <p>2: message</p> <p>ホストに割り当てられた VMware vCenter のデータストアのリストが取得できませんでした。(サーバ : {0}, ホスト : {1}, メッセージ : {2})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:vCenter</p> <p>1:ホスト</p> <p>2: メッセージ</p>
KNAE06720-E	<p>The datastore name contains an invalid character.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the datastore name using only alphanumeric characters and the following characters: = - _ . , ` `</p> <p>データストア名に使用できない文字が含まれています。</p> <p>[対処]</p> <p>データストア名は、英数字および次の文字だけを使って指定してください: '=', '-', '.', ',', '`'。</p>
KNAE06721-E	<p>An input parameter is invalid. (property key = {0}, message = {1})</p> <p>[Cause]</p> <p>The settings for the parameter are invalid, or a service template is invalid.</p> <p>[Action]</p> <p>Contact customer support if the error occurs again.</p> <p>0:key</p> <p>1: message</p> <p>入力パラメータが不正です。(プロパティキー : {0}, メッセージ : {1})</p> <p>[原因]</p> <p>パラメータの指定に誤りがあります。もしくはサービス テンプレートに誤りがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0:キー名</p> <p>1: メッセージ</p>
KNAE06722-E	<p>No host or cluster is specified for the VMware vCenter server. (host = {0})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Cause] The specified host or cluster might have been deleted from the VMware vCenter server.</p> <p>[Action] Make sure that the specified host or cluster exists on the VMware vCenter server. 0: host VMware vCenter サーバに指定されたホストもしくはクラスタが存在しません。(ホスト : {0})</p> <p>[原因] 指定したホストまたはクラスタは VMware vCenter サーバから削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] 指定したホストもしくはクラスタが VMware vCenter サーバに存在するか確認してください。 0: ホスト</p>
KNAE06723-E	<p>The volume does not exist. (volume = {0})</p> <p>[Cause] The volume might have been deleted from the cluster or host. Alternatively, the volume might not be recognized as the volume added to the datastore.</p> <p>[Action] Make sure the volume exists in the host or cluster. Alternatively, check and, if necessary, revise the volume capacity. 0: volume ボリュームが存在しません。(ボリューム : {0})</p> <p>[原因] ホストもしくはクラスタからボリュームが削除されたおそれがあります。もしくは、ボリュームがデータストア追加のボリュームとして、認識されていないおそれがあります。</p> <p>[対処] ボリュームがホストまたはクラスタに存在するか確認してください。もしくは、ボリューム容量を見直してください。 0: ボリューム</p>
KNAE06724-E	<p>Cannot create a datastore. (message = {0})</p> <p>[Cause] The host does not recognize the volume, or the volume is not allocated.</p> <p>[Action] Make sure that the volume is recognized on the host, and the volume is valid on Device Manager. Check the status of the path between the storage system and the host. 0:vCenter 1: host 2:volume 3: message データストアが作成できませんでした。(メッセージ : {0})</p> <p>[原因] ホストがボリュームを認識していません。もしくはボリュームが割り当てられていません。</p> <p>[対処] ボリュームがホスト上で認識されていて、Device Manager 上で有効な状態となっていることを確認してください。ストレージシステムとホスト間のパスの状態を確認してください。 0:vCenter 1: ホスト 2:ボリューム 3: メッセージ</p>
KNAE06725-E	The connection setting for the VMware vCenter server was not found.

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action]</p> <p>On the Administration tab, under Connection Settings > Web Service Connections, make sure the server setting exists and is correct.</p> <p>VMware vCenter サーバの接続設定がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>管理タブの接続設定>Web サービス接続先定義で、サーバの設定が存在し、正しいことを確認してください。</p>
KNAE06726-E	<p>Cannot acquire a property from the VMware vCenter server. (message = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0: message</p> <p>VMware vCenter サーバからプロパティを取得できませんでした。(メッセージ : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06727-E	<p>Cannot acquire the VMFS information. (message = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p> <p>0: message</p> <p>VMFS の情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06728-E	<p>A volume does not exist. (volume = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>The volume might have been deleted from the host or cluster.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the volume exists in the host or cluster.</p> <p>0: volume</p> <p>ボリュームが存在しません。(ボリューム : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>ホストもしくはクラスタからボリュームが削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>ボリュームがホストもしくはクラスタに存在するか確認してください。</p> <p>0: ボリューム</p>
KNAE06730-E	<p>Path information is invalid.</p> <p>[Cause]</p> <p>The volume is not recognized by the host.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the volume on the storage system can be recognized by the host, or check the path settings. If the path settings are valid, restart the host or perform processing to make the host recognize the volume. (model = {0}, path = {1})</p> <p>0:model</p> <p>1:Path Info</p> <p>パス情報が不正です。</p> <p>[原因]</p> <p>ボリュームはホストに認識されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージシステム上のボリュームがホストで認識できる状態であるか確認するか、パスの設定を確認してください。パスの設定が有効である場合、ホストを再起動するか、ホストにボリュームを認識させる処理を実行してください。(モデル : {0}, パス : {1})</p> <p>0:モデル</p> <p>1:パス情報</p>
KNAE06731-E	<p>Path information is not specified.</p> <p>[Cause]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>The settings for the parameter are invalid, or a service template is invalid.</p> <p>[Action] Contact customer support if the error occurs again. パス情報が指定されていません。</p> <p>[原因] パラメータの指定に誤りがあります。もしくはサービス テンプレートに誤りがあります。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、 障害対応窓口に連絡してください。</p>
KNAE06732-E	<p>The datastore information for the VMware vCenter server was not found. (server = {0})</p> <p>[Action] Make sure that the datastore exists on the VMware vCenter server. 0:vCenter VMware vCenter サーバのデータストア情報がありません。(サーバ : {0})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバにデータストアが存在するか確認してください。 0:vCenter</p>
KNAE06733-E	<p>The connections settings for the VMware vCenter server was not found.</p> <p>[Action] On the Administration tab, under Connection Settings > Web Service Connections, make sure the server setting exists and is correct. 0:vCenter VMware vCenter サーバの接続設定が見つかりません。</p> <p>[対処] 管理タブの接続設定>Web サービス接続先定義で、サーバの設定が存在し、正しいことを確認してください。 0:vCenter</p>
KNAE06734-E	<p>Path information was not found.</p> <p>[Cause] The settings for the parameter are invalid, or a service template is invalid.</p> <p>[Action] Contact customer support if the error occurs again. パス情報が見つかりません。</p> <p>[原因] パラメータの指定に誤りがあります。もしくはサービス テンプレートに誤りがあります。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、 障害対応窓口に連絡してください。</p>
KNAE06735-E	<p>Cannot acquire a management object on a VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly. 0:vCenter 1: message VMware vCenter サーバ上の管理オブジェクトを取得できませんでした。(サーバ : {0}, メッセージ : {1})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。 0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06736-E	<p>Cannot acquire a property of a management object on a VMware vCenter server. (server = {0}, message = {1})</p> <p>[Action] Make sure the VMware vCenter server is operating correctly.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0:vCenter 1: message VMware vCenter サーバ上の管理オブジェクトのプロパティを取得できませんでした。(サーバ: {0}, メッセージ: {1})</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバが正常に動作していることを確認してください。</p> <p>0:vCenter 1: メッセージ</p>
KNAE06737-E	<p>An attempt to decode JSON data failed. [Cause] The JSON data might be invalid. (JSON = {0}, encoder = {1}) [Action] Contact customer support if the error occurs again.</p> <p>0: JSON 1: encoder JSON データをデコードできませんでした。</p> <p>[原因] JSON データが不正であったおそれがあります。(JSON : {0}, エンコーダー : {1})</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: JSON 1: エンコーダー</p>
KNAE06738-E	<p>An unexpected error occurred. [Action] Contact customer support if the error occurs again.</p> <p>0: message 予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06739-E	<p>An input parameter to create a datastore is invalid. [Action] Check the host name, datastore name, and other datastore input parameters. データストア作成の入力パラメータが不正です。</p> <p>[対処] ホスト名、データストア名、およびそのほかのデータストアの入力パラメータを確認してください。</p>
KNAE06740-E	<p>An input parameter for vCenter access is invalid. [Action] Check the vCenter input parameters again. vCenter アクセスの入力パラメータが不正です。</p> <p>[対処] vCenter の入力パラメータ情報を再度確認してください。</p>
KNAE06741-E	<p>An initial load error occurred. (details = {0}) [Action] Contact customer support if the error occurs again.</p> <p>0: message 初期ロードエラーが発生しました。(詳細: {0})</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06742-E	<p>An unsupported version of VMFS was specified. (host name = {0}, VMFS version = {1}) [Action] Check the VMFS version.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0: hostname 1: VMFS version サポートされていない VMFS バージョンが指定されました。(ホスト名 : {0}, VMFS バージョン : {1}) [対処] VMFS バージョンを確認してください。 0: ホスト名 1: VMFS バージョン</p>
KNAE06743-W	<p>Datstore name exceeds the maximum character limit. [Action] A datstore will not be created if the name exceeds the maximum character limit. Edit the prefix settings and then try again. If necessary, check another datstore's prefix settings to use as an example. データストア名の最大文字数の上限を超えています。 [対処] 最大文字数の上限を超えたデータストアは作成されません。プレフィックスの設定を編集して、再度実行してください。必要に応じて、例として使用する別のデータストアのプレフィックスの設定を確認してください。</p>
KNAE06744-E	<p>Information could not be acquired from the VMware vCenter server. (vCenter = {0}, details = {1}) [Cause] A problem might have occurred on the VMware vCenter server. [Action] Check whether any problems exist on the VMware vCenter server. 0:vCenter 1:detail VMware vCenter サーバから情報が取得できませんでした。(vCenter : {0}, 詳細 : {1}) [原因] VMware vCenter サーバで問題が発生しているおそれがあります。 [対処] VMware vCenter サーバで問題が発生していないか確認してください。 0:vCenter 1:詳細</p>
KNAE06745-E	<p>Failed to refresh the storage information. (vCenter = {0}, host = {1}, details = {2}) [Cause] The access user might not have permission, or a problem might have occurred on the VMware vCenter server. [Action] Check the permissions of the access user, or whether any problems exist on the VMware vCenter server. 0:vCenter 1:host 2:detail ストレージ情報を更新できませんでした。(vCenter : {0}, ホスト : {1}, 詳細 : {2}) [原因] アクセスユーザーに権限がないか、VMware vCenter サーバで問題が発生しているおそれがあります。 [対処] アクセスユーザーの権限、もしくは VMware vCenter サーバで問題が発生していないか確認してください。 0:vCenter 1:ホスト 2:詳細</p>
KNAE06746-E	<p>Failed to create a datstore. (vCenter = {0}, host = {1}, details = {2}) [Cause] A problem might have occurred on the VMware vCenter server.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Check whether any problems exist on the VMware vCenter server. 0:vCenter 1:host 2:detail データストアが作成できませんでした。(vCenter : {0}, ホスト : {1}, 詳細 : {2})</p> <p>[原因] VMware vCenter サーバで問題が発生している可能性があります。</p> <p>[対処] VMware vCenter サーバで問題が発生していないか確認してください。</p> <p>0:vCenter 1:ホスト 2:詳細</p>
KNAE06762-E	<p>An error occurred during the EFI format processing of the device. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the EFI format command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Check the disk status by executing a subcommand of the format command. If there is a disk with the status drive type unknown, restart the host, then re-execute the task. If the same error occurs again, contact the server administrator or the storage administrator.</p> <p>0: Device Name デバイスの EFI フォーマット処理中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因] EFI フォーマットコマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] format コマンドのサブコマンドを実行することにより、ディスクの状態を確認してください。drive type が unknown であるディスクがある場合には、ホストを再起動した上で、サービスを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合には、サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡してください。</p> <p>0: デバイス名</p>
KNAE06763-E	<p>The path between the storage system and the Oracle server is invalid.</p> <p>[Cause] The FC that forms a multi-path configuration might have failed over, or one or more paths are in the enable state.</p> <p>[Action] Contact the server administrator, and check the states of the paths between the hosts and storage system. Also, check whether the Oracle server has failed over, and whether it has become a multipath configuration. ストレージシステムと Oracle サーバ間のパスが不正です。</p> <p>[原因] マルチパス構成を形成する FC がフェイルオーバーしているおそれがあります。または一つ以上のパスが有効な状態になっています。</p> <p>[対処] サーバ管理者に連絡し、ホストとストレージシステム間のパスの状態を確認してください。また、Oracle サーバがフェイルオーバーしたかどうか、およびマルチパス構成になっているかどうかを確認してください。</p>
KNAE06764-E	<p>An error occurred during the changing of the device attributes. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the chdev command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: Device Name デバイスの属性変更中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因] chdev コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。 0: デバイス名</p>
KNAE06765-E	<p>An error occurred during the changing of the device ownership. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the chown command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: Device Name デバイスの所有者変更中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因] chown コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。 0: デバイス名</p>
KNAE06766-E	<p>An error occurred during the changing of the device permissions. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the chmod command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: Device Name デバイスの権限変更中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因] chmod コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。 0: デバイス名</p>
KNAE06767-E	<p>A specified parameter is invalid. (parameter = {0})</p> <p>[Cause] A specified parameter is invalid.</p> <p>[Action] The specified parameter value is invalid. (1) If the specified permission is not a three-digit number, specify a correct permission. (2) If the format of the specified directory name is invalid, specify a correct path. (3) If an existing file has the same name as the destination directory name, delete the file or specify a directory with a different name. (4) If the LDEV number is not a numeric value, specify a numeric value. (The serial number might contain a character that is not an alphanumeric character or colon. Only specify alphanumeric characters or colons.)</p> <p>0: Parameter 指定したパラメータは無効です。(パラメータ : {0})</p> <p>[原因] 無効なパラメータが指定されました。</p> <p>[対処] 指定されたパラメータの値が無効です。(1)指定したアクセス権が3ケタの数字でない場合には、正しいアクセス権を指定してください。(2)指定したディレクトリ名の形式が無効である場合には、正しいパスを指定してください。(3)既存のファイルが宛先ディレクトリ名と同じ名前を持つ場合には、ファイルを削除するか、別の名前のディレクトリを指定してください。(4)LDEV 番号が数値でない場合には、数値を指定してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>(シリアル番号に英数字またはコロンでない文字が含まれているおそれがあります。英数字またはコロンのみを指定してください。)</p> <p>0: パラメータ</p>
KNAE06768-E	<p>An error occurred during acquisition of the path state. [Cause] Execution of the lspath command failed. Execution of the mpathadm command failed. A disk failure might have occurred. [Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status. パスの状態の取得中にエラーが発生しました。 [原因] lspath コマンドが実行できませんでした。mpathadm コマンドが実行できませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。 [対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p>
KNAE06769-E	<p>The multipathd daemon is not running. [Cause] The multipathd daemon is not running. [Action] Make sure that the dm-multipath driver is installed, and the multipathd daemon is running. multipathd デーモンが起動していません。 [原因] multipathd デーモンが起動していません。 [対処] dm-multipath ドライバがインストールされていて、multipathd デーモンが起動していることを確認してください。</p>
KNAE06770-E	<p>An error occurred during acquisition of device information. [Cause] Execution of the ls command failed. A disk failure might have occurred. [Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status. デバイス情報の取得中にエラーが発生しました。 [原因] ls コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。 [対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p>
KNAE06771-E	<p>A device corresponding to the specified serial number and LDEV ID was not found. [Cause] No device matches the LDEV ID and serial number of the specified volume. [Action] Make sure that the serial number and LDEV ID are correct, and the storage system contains a volume corresponding to the serial number and LDEV ID. If you specified the correct serial number and LDEV ID, contact the server administrator or the storage administrator. 指定したシリアル番号および LDEV ID に対応するデバイスは見つかりませんでした。 [原因] 指定したボリュームの LDEV ID およびシリアル番号と合致するデバイスが存在しません。 [対処] シリアル番号と LDEV ID が正しいこと、およびストレージシステムにシリアル番号と LDEV ID に対応するボリュームが含まれていることを確認してください。正しいシリ</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	アル番号と LDEV ID を指定した場合には、サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡してください。
KNAE06772-E	<p>An error occurred during acquisition of device attributes. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the lsattr -EO command failed. The task might not have finished successfully, possibly because of a temporary failover of a disk.</p> <p>[Action] Re-execute the task. If the same error occurs again, contact the server administrator or the storage administrator.</p> <p>0: Device Name デバイスの属性の取得中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因] "lsattr -EO"コマンドの実行ができませんでした。おそらくディスクの一時的なフェイルオーバーのため、タスクが正常終了していないおそれがあります。</p> <p>[対処] タスクを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: デバイス名</p>
KNAE06773-E	<p>An error occurred during creation of the specified directory. (path = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the mkdir command failed. The specified directory name does not have the UNIX path format.</p> <p>[Action] Make sure that the directory name is correct. If the directory name is correct, a disk failure might have occurred. Contact the server administrator or the storage administrator.</p> <p>0: Directory path 指定されたディレクトリの作成中にエラーが発生しました。(パス : {0})</p> <p>[原因] mkdir コマンドの実行ができませんでした。指定されたディレクトリ名が UNIX のパス形式ではありません。</p> <p>[対処] ディレクトリ名が正しいことを確認してください。ディレクトリ名が正しい場合は、ディスク障害が発生しているおそれがあります。サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡してください。</p> <p>0: ディレクトリパス</p>
KNAE06774-E	<p>An error occurred during acquisition of device permissions. (device = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the ls -l command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: Device Name デバイスの権限の取得中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因] "ls -l"コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p> <p>0: デバイス名</p>
KNAE06775-E	<p>An error occurred during the device recognition process.</p> <p>[Cause] Execution of the cfgmgr command failed. Execution of the cfgadm command failed. Execution of the devfsadm command failed. A disk failure or FC path failure might have occurred.</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>デバイスが見つかりませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>cfgmgr コマンドの実行ができませんでした。cfgadm コマンドの実行ができませんでした。devfsadm コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害または FC パス障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p>
KNAE06776-E	<p>A parameter is not specified. (property key = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>A parameter is not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>The value of a specified parameter is not specified. Set a parameter value.</p> <p>0: property key</p> <p>パラメータが指定されていません。(プロパティキー : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>パラメータが指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>指定パラメータの値が指定されていません。パラメータの値を設定してください。</p> <p>0: プロパティキー</p>
KNAE06777-E	<p>No valid path exists between the Oracle server and the storage system. (WWID = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>No valid path exists between the Oracle server and the storage system.</p> <p>[Action]</p> <p>Contact the server administrator, and check the path status.</p> <p>0: WWID</p> <p>Oracle サーバとストレージシステム間に有効なパスが存在していません。(WWID : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>Oracle サーバとストレージシステム間に有効なパスが存在していません。</p> <p>[対処]</p> <p>サーバ管理者に連絡し、パスの状態を確認してください。</p> <p>0: WWID</p>
KNAE06778-E	<p>The number of LDEV numbers does not match the number of serial numbers.</p> <p>[Cause]</p> <p>The same number of serial numbers and LDEV IDs was not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the same number of serial numbers and LDEV numbers. Specify the storage device serial numbers and LDEV IDs in pairs.</p> <p>LDEV 番号の数が、シリアル番号の数と一致しません。</p> <p>[原因]</p> <p>シリアル番号と LDEV ID が同じ数だけ指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>シリアル番号と LDEV 番号は同じ数だけ指定してください。ストレージシステムのシリアル番号と LDEV ID は対で指定してください。</p>
KNAE06779-E	<p>An Oracle SQL execution error occurred.</p> <p>[Cause]</p> <p>Execution of the sqlplus command failed.</p> <p>[Action]</p> <p>(1) Make sure that the AMS_SID, GRID_USER, GRID_HOME, and the disk group name, which you set in parameters, are correct. (2) Execute the command crsctl stat res -t as a Grid user, and make sure the Oracle Cluster Service is running. (3) Contact the Oracle administrator and provide him or her with the Oracle error message (ORAXXX).</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Oracle SQL の実行エラーが発生しました。</p> <p>[原因] sqlplus コマンドの実行ができませんでした。</p> <p>[対処] (1)パラメータに設定した AMS_SID, GRID_USER, GRID_HOME, およびディスクグループ名が正しいことを確認してください。(2)Grid ユーザーとして,"crsctl stat res -t"コマンドを実行して, Oracle のクラスタサービスが起動していることを確認してください。(3)Oracle 管理者に連絡して, Oracle のエラーメッセージ (ORAXXX) を提供してください。</p>
KNAE06780-E	<p>The multipath.conf file could not be found. (multipath directory path = {0})</p> <p>[Cause] dm-multipath is not correctly installed, or multipath.conf does not exist in the directory specified in the parameter.</p> <p>[Action] Make sure that dm-multipath is correctly installed. If it is not correctly installed, specify the correct directory where multipath exists. 0: multipath directory path multipath.conf ファイルが見つかりませんでした。(マルチパスディレクトリパス : {0})</p> <p>[原因] dm-multipath が正しくインストールされていません, もしくは multipath.conf がパラメータに指定されたディレクトリに存在しません。</p> <p>[対処] dm-multipath が正しくインストールされていることを確認してください。正しくインストールされていない場合には, マルチパスが存在する正しいディレクトリを指定してください。 0: マルチパスディレクトリパス</p>
KNAE06781-E	<p>A time out error occurred during editing process of multi-path file and the mapping process of RAW device.</p> <p>[Cause] The processing for the multipath editing and RAW device mapping is being executed by another task.</p> <p>[Action] Wait until the other task finishes, and then try again. マルチパスファイルの編集処理および RAW デバイスのマッピング処理中にタイムアウトエラーが発生しました。</p> <p>[原因] マルチパス編集および RAW デバイスのマッピングの処理が別のタスクによって実行されています。</p> <p>[対処] 別のタスクが終了するまで待つから, 再度実行してください。</p>
KNAE06783-E	<p>The number of parameters to be specified for the plug-in is incorrect.</p> <p>[Cause] An internal error might have occurred.</p> <p>[Action] Re-execute the task. If the same error occurs again, contact the customer support center. 部品に指定されたパラメータ数に誤りがあります。</p> <p>[原因] 内部エラーが発生したおそれがあります。</p> <p>[対処] タスクを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合には, 障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KNAE06784-E	<p>An error occurred during the processing to map devices to RAW devices.</p> <p>[Cause] The maximum number of RAW device mappings has been exceeded.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Organize the registration of RAW devices, and then re-execute the task. デバイスの RAW デバイスへのマッピング処理中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] RAW デバイスマッピングの最大数を超えました。</p> <p>[対処] RAW デバイスの登録を整理した上で、タスクを再実行してください。</p>
KNAE06785-E	<p>A disk exists that cannot be added to the ASM disk group.</p> <p>[Cause] The disk might already be a member of an ASM disk group.</p> <p>[Action] Make sure that the disk is not a member of an existing ASM disk group. ASM ディスクグループに追加できないディスクが存在します。</p> <p>[原因] ディスクがすでに ASM ディスクグループのメンバーであるおそれがあります。</p> <p>[対処] ディスクが既存の ASM ディスクグループのメンバーでないことを確認してください。</p>
KNAE06786-E	<p>No device has the CANDIDATE, FORMER or PROVISIONED status.</p> <p>[Cause] A disk having the CANDIDATE, FORMER, or PROVISIONED status was not found in the disk group. A permission change error might have occurred because of a disk access error, or an Oracle internal error might have occurred.</p> <p>[Action] If there is a message beginning with ORA- in the task log, contact the Oracle administrator. If there is no such message, contact the server administrator or the storage administrator. CANDIDATE, FORMER, または PROVISIONED 状態のデバイスが存在しません。</p> <p>[原因] CANDIDATE, FORMER, または PROVISIONED 状態のディスクがディスクグループで見つかりませんでした。ディスクアクセスエラーによる権限変更エラー、または Oracle の内部エラーが発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] タスクログ内に"ORA-"で始まるメッセージがある場合には、Oracle 管理者に連絡してください。そのようなメッセージがない場合には、サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡してください。</p>
KNAE06788-E	<p>The specified server is not an Oracle Server. (server name = {0})</p> <p>[Cause] The specified server might not be an Oracle server, or the node of the specified Oracle server might be down.</p> <p>[Action] (1) Make sure that the specified server name is correct. (2) Make sure that the Oracle server is running. (3) Execute the command crsctl stat res -t as a Grid user, and make sure the Oracle Cluster Service is running. 0: Server Name 指定したサーバは Oracle サーバではありません。(サーバ名 : {0})</p> <p>[原因] 指定したサーバが Oracle サーバでない、または Oracle サーバのノードがダウンしているおそれがあります。</p> <p>[対処] (1)指定したサーバ名が正しいことを確認してください。(2)Oracle サーバが起動していることを確認してください。(3)Grid ユーザーとして、"crsctl stat res -t"コマンドを実行して、Oracle のクラスタサービスが起動していることを確認してください。 0: サーバ名</p>
KNAE06789-E	<p>The specified Oracle server is down.</p> <p>[Cause] The node of the specified Oracle server is down, or the Oracle process is down.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] (1) Make sure that the node of the Oracle server is running. (2) Execute the command <code>crsctl stat res -t</code> as a Grid user, and make sure the Oracle Cluster Service is running. 指定した Oracle サーバがダウンしています。 [原因] 指定した Oracle サーバのノードがダウンしています, または Oracle のプロセスがダウンしています。 [対処] (1)Oracle サーバが起動していることを確認してください。(2)Grid ユーザーとして, "crsctl stat res -t"コマンドを実行して, Oracle のクラスタサービスが起動していることを確認してください。</p>
KNAE06790-E	<p>The number of Oracle servers in the system differs from the specified number of Oracle servers. [Cause] The number of Oracle servers in the system differs from the specified number of Oracle servers. [Action] Check the number of Oracle servers to be specified, and then re-execute the task. システム内の Oracle サーバの数と指定した Oracle サーバの数に違いがあります。 [原因] システム内の Oracle サーバの数と指定した Oracle サーバの数に違いがあります。 [対処] 指定する Oracle サーバの数を確認して, タスクを再実行してください。</p>
KNAE06791-E	<p>There is an error in the specified path. (path = {0}) [Cause] The correct path is not specified. [Action] Set the correct path value. 0: path 指定されたパスに誤りがあります。(パス : {0}) [原因] 正しいパスが指定されていません。 [対処] 正しいパスの値を設定してください。 0: パス</p>
KNAE06792-E	<p>The command does not exist. (command = {0}) [Cause] A server failure might have occurred. [Action] Contact the server administrator, and check the state of the server. 0: command コマンドが存在しません。(コマンド : {0}) [原因] サーバ障害が発生しているおそれがあります。 [対処] サーバ管理者に連絡して, サーバの状態を確認してください。 0: コマンド</p>
KNAE06793-E	<p>No parameter is specified.(parameter:{0}) [Action] Specify a parameter. 0: parameter パラメータが指定されていません。(パラメータ : {0}) [対処] パラメータを指定してください。 0: パラメータ</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06794-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。(保守情報：{0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06795-E	<p>An internal property is not set, or the property value is invalid. (property name = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An internal error might have occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>Re-execute the task. If the same error occurs again, contact the customer support center.</p> <p>0: property name</p> <p>内部プロパティが設定されていません、もしくはプロパティの値が無効です。(プロパティ名：{0})</p> <p>[原因]</p> <p>内部エラーが発生したおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>タスクを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合には、障害対応窓口にご連絡してください。</p> <p>0: プロパティ名</p>
KNAE06796-E	<p>The file storing the list of disks in the ASM disk group could not be created. The user does not have write permission for the directory, or the directory is in an error state.</p> <p>[Cause]</p> <p>The user does not have write permission for the directory.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the user has write permission for the specified directory, and make sure there is no problem with the directory state.</p> <p>ASM ディスクグループ内のディスク一覧を格納したファイルを作成できませんでした。ユーザーがディレクトリの書き込み権限を持っていない、またはディレクトリがエラー状態にあります。</p> <p>[原因]</p> <p>ユーザーがディレクトリの書き込み権限を持っていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ユーザーが指定したディレクトリの書き込み権限を持っていることを確認して、ディレクトリの状態に問題がないことを確認してください。</p>
KNAE06797-E	<p>Another process is using the specified file. (file name = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Another process is using the specified file.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that other processes have stopped using the file, and then re-execute the task.</p> <p>0: file name</p> <p>別のプロセスが指定されたファイルを使用しています。(ファイル名：{0})</p> <p>[原因]</p> <p>別のプロセスが指定されたファイルを使用しています。</p> <p>[対処]</p> <p>ほかのプロセスがファイルを使用するのをやめていることを確認した上で、タスクを再実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: ファイル名
KNAE06798-E	<p>The path to the UDEV rules file was not found. (UDEV directory path = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>The directory path to the UDEV rules file could not be found.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the directory <code>/etc/udev/rules.d/</code> exists.</p> <p>0: UDEV directory path</p> <p>UDEV ルールファイルへのパスが見つかりませんでした。(UDEV ディレクトリパス : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>UDEV ルールファイルへのパスが見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p><code>"/etc/udev/rules.d/"</code>のディレクトリが存在していることを確認してください。</p> <p>0: UDEV ディレクトリパス</p>
KNAE06799-E	<p>An error occurred during the changing of the device slice number. (device = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Execution of the sed command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: device</p> <p>デバイスのスライス番号の変更中にエラーが発生しました。(デバイス : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>sed コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p> <p>0: デバイス</p>
KNAE06800-E	<p>Volume check failed.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: Maintenance information</p> <p>ボリュームチェックの実行ができませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: 保守情報</p>
KNAE06801-E	<p>An error occurred during acquisition of disk information from the Oracle server.</p> <p>[Cause]</p> <p>Acquisition of disk information failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>Contact the Oracle server administrator, and make sure the status of Oracle processes can be acquired correctly.</p> <p>Oracle サーバからディスク情報を取得中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>ディスク情報の取得ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>Oracle サーバの管理者に連絡して、Oracle プロセスの状態が正しく取得できることを確認してください。</p>
KNAE06802-E	<p>An error occurred during allocation of the disk to the disk group.</p> <p>[Cause]</p> <p>The disk group name might be incorrect.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Make sure that the disk group name is correct. Re-execute the task. ディスクグループに対するディスクの割り当て中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] ディスクグループ名が不正であるおそれがあります。</p> <p>[対処] ディスクグループ名が正しいことを確認してください。タスクを再実行してください。</p>
KNAE06803-E	<p>An error occurred during the changing of the directory permissions. (path = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the chmod command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: path ディレクトリの権限の変更中にエラーが発生しました。(パス : {0})</p> <p>[原因] chmod コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p> <p>0: パス</p>
KNAE06804-E	<p>An error occurred during creation of the specified folder. (folder path = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the mkdir command failed. A correct folder name might not be specified, or a disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Make sure that the directory name is correct. If the specified directory name is correct, a disk failure might have occurred. Contact the server administrator or the storage administrator.</p> <p>0: path 指定したフォルダの作成中にエラーが発生しました。(フォルダパス : {0})</p> <p>[原因] mkdir コマンドの実行ができませんでした。正しいフォルダ名が指定されていない、またはディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] ディレクトリ名が正しいことを確認してください。もし指定したディレクトリ名が正しい場合には、ディスク障害が発生しているおそれがあります。サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡してください。</p> <p>0: パス</p>
KNAE06805-E	<p>An error occurred during the changing of the folder permissions. (folder path = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the cacls command failed. A correct path might not be specified, or a disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and check the disk status.</p> <p>0: path フォルダの権限の変更中にエラーが発生しました。(フォルダパス : {0})</p> <p>[原因] cacls コマンドの実行ができませんでした。正しいパスが指定されていない、またはディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p> <p>0: パス</p>
KNAE06806-W	<p>The number of parameters to be specified for the plug-in is incorrect.</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Modify the Prefix of Group Name so that it does not exceed the maximum length. (Maximum length = {0}) 0: maximum length 部品に指定したパラメータの数が不正です。 [対処] グループ名のプレフィックスが最大長を超えないように修正してください。(最大長 : {0}) 0: 最大長</p>
KNAE06807-W	<p>The specified path contains an error. (path = {0}) [Cause] A correct path has not been specified. [Action] Manually delete the directory. 0: path 指定したパスに誤りがあります。(パス : {0}) [原因] 正しいパスが指定されていません。 [対処] 手動でディレクトリを削除してください。 0: パス</p>
KNAE06808-W	<p>The command does not exist. (command = {0}) [Cause] A server failure might have occurred. [Action] Manually delete the directory. Contact the server administrator, and check the state of the server. 0: command コマンドが存在しません。(コマンド : {0}) [原因] サーバ障害が発生しているおそれがあります。 [対処] 手動でディレクトリを削除してください。サーバ管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。 0: コマンド</p>
KNAE06809-W	<p>An error occurred during deletion of the specified directory. (path = {0}) [Cause] Execution of the rm command failed. A correct path might not be specified, or a disk failure might have occurred. [Action] Manually delete the directory. Contact the server administrator, and check the state of the server. 0: path 指定したディレクトリの削除中にエラーが発生しました。(パス : {0}) [原因] rm コマンドの実行ができませんでした。正しいパスが指定されていない、またはディスク障害が発生しているおそれがあります。 [対処] 手動でディレクトリを削除してください。サーバ管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。 0: パス</p>
KNAE06810-W	<p>An error occurred during deletion of the specified folder. (path = {0}) [Cause] Execution of the rmdir command failed. A correct path might not be specified, or a disk failure might have occurred. [Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Manually delete the folder. Contact the server administrator, and check the state of the server.</p> <p>0: path 指定したフォルダの削除中にエラーが発生しました。(パス : {0})</p> <p>[原因] rmdir コマンドの実行ができませんでした。正しいパスが指定されていない、またはディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] 手動でフォルダを削除してください。サーバ管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</p> <p>0: パス</p>
KNAE06811-E	<p>An error occurred during execution of an OS command. (command = {0})</p> <p>[Cause] An error occurred during execution of an OS command.</p> <p>[Action] Contact the server administrator, and make sure the OS command can be issued.</p> <p>0: command OS コマンドの実行中にエラーが発生しました。(コマンド : {0})</p> <p>[原因] OS コマンドの実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] サーバ管理者に連絡して、OS コマンドを実行できることを確認してください。</p> <p>0: コマンド</p>
KNAE06813-E	<p>An error occurred during execution of diskpart command.</p> <p>[Cause] Execution of the diskpart command failed.</p> <p>[Action] Make sure that the diskpart command can be executed.</p> <p>diskpart コマンドの実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] diskpart コマンドの実行ができませんでした。</p> <p>[対処] diskpart コマンドが実行できることを確認してください。</p>
KNAE06814-E	<p>An error occurred during acquisition disk automount status from Oracle server.</p> <p>[Cause] Execution of the diskpart automount command failed.</p> <p>[Action] Contact a server administrator, and then check the OS settings.</p> <p>ディスクの automount ステータスの Oracle サーバからの取得中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] diskpart automount コマンドの実行ができませんでした。</p> <p>[対処] サーバ管理者に連絡した上で、OS の設定を確認してください。</p>
KNAE06815-E	<p>The automount function for new volumes is disabled.</p> <p>[Cause] The automount function for Windows is disabled.</p> <p>[Action] Enable the automount function.</p> <p>新規ボリューム用の automount 機能が無効です。</p> <p>[原因] Windows 用の automount 機能が無効です。</p> <p>[対処] automount 機能を有効にしてください。</p>
KNAE06816-E	<p>An error occurred during creation process of disk partition.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Cause] Failed to execute one of the following diskpart commands: · select disk · online disk · attributes disk clear readonly · create partition extended · create partition logical · select partition · select volume · attributes volume set nodefaultdriveletter</p> <p>[Action] Contact the server administrator or the storage administrator, and then check the disk status. ディスクパーティションの作成処理中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 次の diskpart コマンドのいずれかを実行できませんでした。 · select disk · online disk · attributes disk clear readonly · create partition extended · create partition logical · select partition · select volume · attributes volume set nodefaultdriveletter</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p>
KNAE06817-E	<p>An error occurred during execution of Oracle asmttool.</p> <p>[Cause] Execution of the Oracle asmttool command failed.</p> <p>[Action] Make sure that the asmttool command can be executed. Oracle の asmttool の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] Oracle の asmttool コマンドの実行ができませんでした。</p> <p>[対処] asmttool コマンドが実行できることを確認してください。</p>
KNAE06818-E	<p>An error occurred during marking process of disk partition.</p> <p>[Cause] Execution of the asmttool -list command failed. Execution of the asmttool -add command failed. Execution of the asmttool -addprefix command failed. The ASM link name attached to the partition cannot be acquired.</p> <p>[Action] Make sure that the prefix of the ASM link name is correct. ディスクパーティションのマーク処理中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因] asmttool -list コマンドの実行ができませんでした。 asmttool -add コマンドの実行ができませんでした。 asmttool -addprefix コマンドの実行ができませんでした。パーティションに添付された ASM リンク名を取得できません。</p> <p>[対処] ASM リンク名のプレフィックスが正しいことを確認してください。</p>
KNAE06819-E	<p>The number of disks is different from the number of labels.</p> <p>[Cause] The number of specified disks is not the same as the number of specified label names.</p> <p>[Action] Specify the same number of disk numbers and label names. Specify the disk number and label names in pairs. ディスクの数がラベルの数と異なります。</p> <p>[原因] 指定したディスクの数が、指定したラベル名の数と同じではありません。</p> <p>[対処] ディスク数の数とラベル名の数を同じだけ指定してください。ディスク数とラベル名を対で指定して k づあさい。</p>
KNAE06820-E	<p>An error occurred during deletion of the specified file. (path = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the rm command failed. The correct path might not be specified, or a disk failure might have occurred.</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Manually delete the file. Contact the server administrator, and then check the server status.</p> <p>0: path 指定したファイルの削除中にエラーが発生しました。(パス: {0})</p> <p>[原因] rm コマンドの実行ができませんでした。正しいパスが指定されていない、またはディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] 手動でファイルを削除してください。サーバ管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</p> <p>0: パス</p>
KNAE06821-E	<p>An error occurred during the changing of the file permissions. (file = {0})</p> <p>[Cause] Execution of the chmod command failed. A disk failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator or storage administrator, and then check the server status.</p> <p>0: file name ファイルの権限の変更中にエラーが発生しました。(ファイル: {0})</p> <p>[原因] chmod コマンドの実行ができませんでした。ディスク障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者またはストレージ管理者に連絡し、ディスクの状態を確認してください。</p> <p>0: ファイル名</p>
KNAE06822-E	<p>The primary server name or the member server name to be specified is invalid. (server name = {0})</p> <p>[Cause] In the specified primary server or member server, a duplicate server name exists.</p> <p>[Action] Specify a server name that is not a duplicate of the primary server or member server name to be specified.</p> <p>0: server name 指定したプライマリサーバ名またはメンバーサーバ名が無効です。(サーバ名: {0})</p> <p>[原因] 指定したプライマリサーバまたはメンバーサーバには、重複したサーバ名が存在しません。</p> <p>[対処] 指定したプライマリサーバまたはメンバーサーバと重複しないサーバ名を指定してください。</p> <p>0: サーバ名</p>
KNAE06823-E	<p>The command cannot be executed by using sudo. (command = {0})</p> <p>[Cause] The configuration of sudo might not be complete, or a server failure might have occurred.</p> <p>[Action] Contact the server administrator, and check the server status.</p> <p>0: command sudo を使用してコマンドが実行できませんでした。(コマンド: {0})</p> <p>[原因] sudo の設定が完了していない、またはサーバ障害が発生しているおそれがあります。</p> <p>[対処] サーバ管理者に連絡して、サーバの状態を確認してください。</p> <p>0: コマンド</p>
KNAE06825-W	<p>A property value exceeds the maximum limit of 1024 characters. Characters after the maximum limit will not be output.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Cause] The character string is too long to output.</p> <p>[Action] Adjust the output value by changing the values specified for the input properties "Index" and "Output specification key". プロパティ値が 1024 文字を超えています。上限より後の文字は出力されません。</p> <p>[原因] 出力する文字列が長過ぎます。</p> <p>[対処] 入力プロパティのインデックスや出力指定キーの指定値を変更して、出力する値を調整してください。</p>
KNAE06826-E	<p>The value specified for the volumeResult is invalid.</p> <p>[Action] Revise the volumeResult.({0}) 0: volumeResult 指定したボリューム結果が不正です。</p> <p>[対処] volumeResult を見直してください。({0}) 0: ボリューム結果</p>
KNAE06827-E	<p>The Prefix of Group Name value exceeds the maximum length.</p> <p>[Action] Modify the Prefix of Group Name so that it does not exceed the maximum length (Maximum length:{0}). 0: Maximum length 指定したグループ名プリフィクスの値が範囲外です。</p> <p>[対処] グループ名プリフィクスの指定を見直してください。(最大文字列長 : {0}) 0: 最大文字列長</p>
KNAE06828-E	<p>The specified parameters is incorrect.</p> <p>[Action] Please specify the correct parameters(Parameter Name:{0}). 0: Parameter Name 指定したパラメータの設定に誤りがあります。</p> <p>[対処] 正しいパラメータを指定してください。(パラメータ名 : {0}) 0: パラメータ名</p>
KNAE06829-E	<p>Restriction settings that you specify is contrary to the setting of Definition.</p> <p>[Action] Revise the Restriction(Parameter Name:{0}). 0: Parameter Name 指定した Restriction の設定が Definition の設定に反しています。</p> <p>[対処] Restriction の設定を見直してください。(パラメータ名 : {0}) 0: パラメータ名</p>
KNAE06830-E	<p>Restriction values that you specify is contrary to the setting of Restriction.</p> <p>[Action] Revise the values(Parameter Name:{0}). 0: Parameter Name 指定した Restriction の値が Restriction の設定に反しています。</p> <p>[対処] 値の設定を見直してください。(パラメータ名 : {0}) 0: パラメータ名</p>
KNAE06831-E	<p>File type property is not specified.</p> <p>[Action] Specify a file type property.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>ファイル型プロパティが指定されていません。 [対処] ファイル型プロパティを指定してください。</p>
KNAE06832-E	<p>Input key name is not specified. [Action] Specify an input key name. 入力キー名が指定されていません。 [対処] 入力キー名を指定してください。</p>
KNAE06833-E	<p>The specified value for index is invalid. (value = {0}) [Action] Specify an integer zero and over for index. 0: index インデックスに指定した値が不正です。(値 : {0}) [原因] インデックスに指定した値が数値ではありません。 [対処] インデックスには 0 以上の整数を指定してください。 0: インデックス</p>
KNAE06834-E	<p>The specified value for index is less than zero. (value = {0}) [Action] Specify an integer of zero and over for index. 0: index インデックスに指定した値が 0 より小さいです。(値 : {0}) [対処] インデックスには 0 以上の整数を指定してください。 0: インデックス</p>
KNAE06835-E	<p>Output key name is not specified. [Action] Specify an output key name. 出力キー名が指定されていません。 [対処] 出力キー名を指定してください。</p>
KNAE06836-E	<p>The number of output keys exceeds the upper limit. [Action] Specify key name(s) up to {0} for output keys. 0: Maximum number of output keys 出力キーの数が上限値を超えています。 [対処] 出力キーには{0}個までのキー名を指定してください。 0: 最大出力キー数</p>
KNAE06837-E	<p>The content of the file type property is not JSON format. [Action] Specify a file type property of the JSON format. ファイル型プロパティの内容が JSON 形式ではありません。 [対処] JSON 形式のファイル型プロパティを指定してください。</p>
KNAE06838-E	<p>Cannot find the specified key. (key = {0}) [Action] Confirm whether the specified input key exists in the file type property. 0: key name 指定したキーが見つかりません。(キー : {0}) [対処] 指定した入力キーがファイル型プロパティ内に存在するか確認してください。 0: キー名</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06839-E	<p>Cannot find a element of array. (index = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm whether a number of element of array for the processing is bigger than {0}.</p> <p>0: index</p> <p>配列の要素が見つかりません。(インデックス : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>処理対象の配列の要素数が{0}より大きいか確認してください。</p> <p>0: インデックス</p>
KNAE06840-E	<p>Cannot find the specified key. (key = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm whether the specified output key exists in the file type property.</p> <p>0: key name</p> <p>指定したキーが見つかりません。(キー : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定した出力キーがファイル型プロパティ内に存在するか確認してください。</p> <p>0: キー名</p>
KNAE06841-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06842-E	<p>A multi-byte code is included in volume usage.(volume usage: {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the volume usage on the Edit Service window using an account with Modify permission on Automation Director.</p> <p>0: volume usage</p> <p>ボリューム用途にマルチバイト文字が含まれています。(ボリューム用途 : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でボリューム用途の設定を見直してください。</p> <p>0: ボリューム用途</p>
KNAE06843-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06844-E	<p>An unexpected error occurred.</p> <p>[Action]</p> <p>If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報：{0}) 0: メッセージ</p>
KNAE06845-E	<p>The value specified for the pathResult is invalid. [Action] Revise the pathResult.({0}) 0: pathResult 指定したパスリザルトの値が不正です。 [対処] パスリザルトを見直してください。({0}) 0: パスリザルト</p>
KNAE06846-E	<p>The value specified for the ldevs is invalid. [Action] The storage devices associated with the specified volume are not in the supported range. Update the ldev values. (ldevs:{0}) 0: ldevs 指定した ldevs の値が不正です。 [対処] 指定されたボリュームに関連付けられたストレージシステムはサポート範囲外です。ldev の値を見直してください。(ldevs : {0}) 0: ldevs</p>
KNAE06847-E	<p>The specified infrastructure group criteria are invalid. (volume usage = {0}) [Action] Update the specified infrastructure group criteria. 0: volumeUsage インフラストラクチャグループの指定条件に誤りがあります。(ボリューム用途：{0}) [対処] インフラストラクチャグループの指定を見直してください。 0: ボリューム用途</p>
KNAE06848-E	<p>The specified resource group criteria are invalid. (volume usage = {0}) [Action] Update the specified resource group criteria. 0: volumeUsage リソースグループの指定条件に誤りがあります。(ボリューム用途：{0}) [対処] リソースグループの指定を見直してください。 0: ボリューム用途</p>
KNAE06849-E	<p>The specified pool criteria are invalid. (volume usage = {0}) [Action] Update the specified pool criteria. 0: volumeUsage プールの指定条件に誤りがあります。(ボリューム用途：{0}) [対処] プールの指定を見直してください。 0: ボリューム用途</p>
KNAE06850-E	<p>The specified port criteria are invalid. (volume usage = {0}) [Action] Update the specified port criteria. 0: volumeUsage ポートの指定条件に誤りがあります。(ボリューム用途：{0}) [対処] ポートの指定を見直してください。 0: ボリューム用途</p>
KNAE06851-E	<p>The specified storage system is invalid.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Update the specified storage system. ストレージシステムの指定条件に誤りがあります。</p> <p>[対処] ストレージシステムの指定を見直してください。</p>
KNAE06852-E	<p>No available infrastructure group was found. (volume usage = {0})</p> <p>[Cause] Possible causes are as follows:- No infrastructure groups match the criteria.- There are no resource groups assigned to the infrastructure groups that match the criteria.- The infrastructure groups that match the criteria are not included in the infrastructure groups to which the service is assigned.</p> <p>[Action] Verify the following and then retry the task:- Update the specified infrastructure group criteria if needed.- Log in with Admin permissions, access the Administration screen, and verify that infrastructure groups exist that match the criteria.- Verify that the infrastructure groups that match the criteria are included in the infrastructure groups to which the services are assigned. (join type = {1}, specified criteria = {2})</p> <p>0: volumeUsage 1: joinType 2: criteria</p> <p>利用できるインフラストラクチャーグループが見つかりませんでした。(ボリューム用途 : {0})</p> <p>[原因] 次の原因が考えられます。・指定条件を満たすインフラストラクチャーグループがありません。・条件を満たすインフラストラクチャーグループにリソースグループが登録されていません。・条件を満たすインフラストラクチャーグループが、サービスに割り当てられたインフラストラクチャーグループに含まれていません。</p> <p>[対処] 次の確認をして、再度タスクを実行してください。・インフラストラクチャーグループの指定条件を必要に応じて見直してください。・Admin 権限を持つユーザーが管理画面で、指定条件を満たすインフラストラクチャーグループが存在し、リソースグループが割り当てられていることを確認してください。・サービスが割り当てられたインフラストラクチャーグループに、条件を満たすインフラストラクチャーグループが含まれていることを確認してください。(結合種別 : {1}, 指定条件 : {2})</p> <p>0: ボリューム用途 1: 結合種別 2: 条件</p>
KNAE06854-E	<p>Add Host/Get Storage Information request failed.</p> <p>[Action] Check the network status and make sure Device Manager is running correctly. (Device Manager name = {0}, maintenance information = {1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: Maintenance information</p> <p>Add Host/Get Storage Information のリクエストができませんでした。</p> <p>[対処] ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Device Manager が正しく起動していることを確認してください。(Device Manager 名 : {0}, 保守情報 : {1})</p> <p>0: Device Manager 名 1: 保守情報</p>
KNAE06855-E	<p>A host cannot be added.</p> <p>[Cause] The specified host is already managed by Device Manager. However, the specified host port is not the same as the port of the existing host on Device Manager.</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>From Device Manager, check the host settings. (Device Manager name = {0}, host name = {1}, host port = {2})</p> <p>0: Device Manager Name 1: host name 2: host port</p> <p>ホストを追加できませんでした。</p> <p>[原因] 指定されたホストはすでに Device Manager 上で管理されています。しかし、指定されたホストポートが、Device Manager 上のホストのポートと一致しません。</p> <p>[対処] Device Manager の画面でホストの設定を確認してください。(Device Manager 名 : {0}, ホスト名 : {1}, ホストポート : {2})</p> <p>0: Device Manager 名 1: ホスト名 2: ポート</p>
KNAE06856-E	<p>The specified host is not managed by Device Manager.</p> <p>[Action] Check, and if necessary, revise the host settings. (Device Manager name = {0}, host name = {1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: host name</p> <p>指定されたホストは Device Manager で管理されていません。</p> <p>[対処] 必要に応じて、ホストの設定を見直してください。(Device Manager 名 : {0}, ホスト名 : {1})</p> <p>0: Device Manager 名 1: ホスト名</p>
KNAE06857-E	<p>No available storage system can be found.</p> <p>[Cause] No storage system matches the specified criteria. ((model = {0}, serial number = {1}), (model = {2}, serial number = {3}))</p> <p>[Action] Verify the following and update the settings as required: - The specified storage system is registered in Device Manager. - The the Device Manager instance connection information for the specified storage system is registered in the Administration tab. - Check the network status, and make sure that the Device Manager instance on the connection destination is running correctly. In the Administration tab, check the setting information of the Device Manager instance that belongs to the specified host, and then add or configure the settings as necessary. If using SSL communication, check, and if necessary, revise the Automation Director security settings.</p> <p>0: model 1: serialNumber 2: model 3: serialNumber</p> <p>利用できるストレージシステムが見つかりませんでした。</p> <p>[原因] 指定条件を満たすストレージシステムがありません。(指定モデル : {0}, シリアル番号 : {1}), (指定モデル : {2}, シリアル番号 : {3}))</p> <p>[対処] 次の確認をして、必要に応じて設定を更新してください。・指定したストレージシステムが Device Manager に登録されていること。・管理タブで、指定したストレージシステムが属する Device Manager の接続情報が登録されていること。・ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Device Manager が正しく起動していること。管理タブで指定したホストが属する Device Manger の設定情報を確認し、必要に応じて設</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>定の追加または修正を行ってください。SSL 通信を使用する場合には、Automation Director のセキュリティ設定を見直してください。</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号 2: モデル 3: シリアル番号</p>
KNAE06858-E	<p>An error occurred during communication with Device Manager. (maintenance information = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the network status, and make sure that the Device Manager instance on the connection destination is running correctly. In the Administration tab, check the setting information of the Device Manager instance that belongs to the specified host, and then add or configure the settings as necessary. If using SSL communication, check, and if necessary, revise the Automation Director security settings.</p> <p>0: information</p> <p>Device Manager との通信中にエラーが発生しました。(保守情報 : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Device Manager が正しく起動していることを確認してください。管理タブで指定したホストが属する Device Manger の設定情報を確認し、必要に応じて設定の追加または修正を行ってください。SSL 通信を使用する場合には、Automation Director のセキュリティ設定を見直してください。</p> <p>0: 保守情報</p>
KNAE06859-E	<p>A host cannot be added. (Device Manager name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Device Manager error message. Then, try again.</p> <p>0: Device Manager Name 1: Device Manager message</p> <p>ホストを追加できませんでした。(Device Manager 名 : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、サービスを再度実行してください。</p> <p>0: Device Manager 名 1: Device Manager メッセージ</p>
KNAE06860-E	<p>The host name, host port, storage port, and LDEV ID have not been specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value for at least one of the following: host name, host port, storage port, or LDEV ID.</p> <p>ホスト名、ホストポート、ストレージポート、LDEV ID の値が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ホスト名、ホストポート、ストレージポート、LDEV ID の少なくとも一つの値を指定してください。</p>
KNAE06861-E	<p>The storage model has not been specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a storage model.</p> <p>ストレージモデルが指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージモデルを指定してください。</p>
KNAE06862-E	<p>The storage serial number has not been specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a storage serial number.</p> <p>ストレージシリアル番号が指定されていません。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	[対処] ストレージシリアル番号を指定してください。
KNAE06863-E	The Device manager name has not been specified. [Action] Specify a Device Manager name. Device Manager 名が指定されていません。 [対処] Device Manager 名を指定してください。
KNAE06865-E	The specified LDEV ID is invalid. [Action] Specify a decimal number. LDEV ID の指定に誤りがあります。 [対処] LDEV ID は 10 進数で指定してください。
KNAE06866-E	The specified initial LDEV ID is invalid. [Action] Check, and if necessary, revise the initial LDEV ID. 開始 LDEV ID の指定に誤りがあります。 [対処] 開始 LDEV ID を確認し、必要に応じて修正してください。
KNAE06867-E	Device Manager connection information cannot be found. [Action] In the Administration tab, check the settings for the Device Manager instance that belongs to the specified host, and then add or correct the settings as necessary. Device Manager の接続情報がありません。 [対処] 管理タブで指定したホストが属する Device Manager の設定情報を確認し、必要に応じて設定の追加または修正を行ってください。
KNAE06869-E	No available file system was found. [Action] Check the cause for each Device Manager instance in the KNAE06887-I message in the task log, and then correct the problem. 利用できるファイルシステムが見つかりませんでした。 [対処] Device Manager ごとの原因をタスクログの KNAE06887-I メッセージで確認し、問題を解決してください。
KNAE06870-E	No connection information exists for the specified Device Manager instance. [Action] In the Administration tab, confirm the Device Manager connection information. Then, add or configure the settings as necessary. 0: Device Manager Name 指定した Device Manager の接続情報がありません。 [対処] 管理タブで指定した Device Manager の接続情報を確認し、必要に応じて設定の追加および修正を行ってください。(Device Manager 名: {0}) 0: Device Manager 名
KNAE06872-I	Start calling Add Host/Get Storage Information. Add Host/Get Storage Information の呼び出しを開始しました。
KNAE06873-I	Finish calling Add Host/Get Storage Information. Add Host/Get Storage Information の呼び出しを終了しました。
KNAE06874-I	Start polling the response status. 応答状態のポーリングを開始しました。
KNAE06875-I	Finish polling the response status. 応答状態のポーリングを終了しました。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06876-I	Start fetching the response status. ({0}) 0: information 応答状態の取得を開始しました。({0}) 0: 情報
KNAE06877-I	Finish fetching the response status. ({0}) 0: information 応答状態の取得を終了しました。({0}) 0: 情報
KNAE06878-I	Start fetching the Device Manager Server port number. Device Manager サーバのポート番号の取得を開始しました。
KNAE06879-I	Finish fetching the Device Manager Server port number. ({0}) 0: information Device Manager サーバのポート番号の取得を終了しました。({0}) 0: 情報
KNAE06880-E	{0} contains one or more invalid characters. (invalid characters = {1}) [Action] Specify {0} again. 0: item name 1: characters {0}に使用できない文字が含まれています。(使用できない文字 : {1}) [対処] {0}を指定し直してください。 0: 項目名 1: 文字列
KNAE06881-E	The maximum number of characters for {0} was exceeded. (maximum number of characters = {1}) [Action] Specify {0} again so that it does not exceed {1} characters. 0: item name 1: max length {0}に使用できる文字数を超過しています。(最大文字数 : {1}) [対処] {0}の長さが{1}文字で収まるように再度設定してください。 0: 項目名 1: 最大長
KNAE06882-E	The value specified in {0} is outside the valid range. [Action] Specify a value in the range from {1} to {2}. 0: item name 1: MinValue 2: MaxValue {0}に指定された値が範囲外です。 [対処] {1}から{2}の範囲で指定してください。 0: 項目名 1: 最小値 2: 最大値
KNAE06883-E	The format of the path is invalid. [Cause] There is no separator character at the beginning of the path, or consecutive separator characters are used. [Action] Specify the path again. 0: characters パスのフォーマットが不正です。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] パスの先頭がセパレータ文字で始まっていないか、セパレータ文字が連続して使用されています。</p> <p>[対処] パスを再度設定してください。</p> <p>0: 文字列</p>
KNAE06885-E	<p>Multiple users or groups with the same name are specified in the permissions. ({0})</p> <p>[Action] Specify the users or groups again.</p> <p>0: User/Group 権限に同名のユーザーまたはグループが複数設定されています。({0})</p> <p>[対処] ユーザーまたはグループを再度設定してください。</p> <p>0: ユーザー/グループ</p>
KNAE06886-E	<p>A number must be specified for {0}.</p> <p>[Action] Specify a number.</p> <p>0: item name {0}は数字を指定する必要があります。</p> <p>[対処] 数字を指定してください。</p> <p>0: 項目名</p>
KNAE06887-I	<p>The file server managed by Device Manager ({0}) will be excluded, and operations will continue. (cause = {1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: Message Device Manager ({0}) が管理するファイルサーバは除外して操作を続行します。(理由 : {1})</p> <p>0: Device Manager 名 1: メッセージ</p>
KNAE06888-I	<p>A file system (server/cluster = {1}, file server = {2}, EVS = {3}, file system = {4}) was selected as a candidate from Device Manager ({0}).</p> <p>0: Device Manager Name 1: server or cluster name 2: file server 3: EVS 4: file system name Device Manager ({0}) からファイルシステム (サーバ/クラスタ : {1}, ファイルサーバ : {2}, EVS : {3}, ファイルシステム : {4}) が候補として選ばれました。</p> <p>0: Device Manager 名 1: サーバまたはクラスタ名 2: ファイルサーバ 3: EVS 4: ファイルシステム名</p>
KNAE06889-I	<p>The specified host is already managed by Device Manager. (Device Manager name = {0}, host name = {1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: host name 指定されたホストはすでに Device Manager 上で管理されています。(Device Manager 名:{0}, ホスト名 : {1})</p> <p>0: Device Manager 名 1: ホスト名</p>
KNAE06890-E	<p>The specified parameter is incorrect.</p> <p>[Action] Specify the correct parameter(Parameter Name:{0}).</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0: Parameter Name 指定したパラメータに誤りがあります。 [対処] 正しいパラメータを指定して下さい。(パラメータ名: {0}) 0: パラメータ名</p>
KNAE06891-E	<p>Both Allocate CIFS File Storage and Allocate NFS File Storage steps have failed. [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message in the task log. Then, try again. CIFS 共有と NFS 共有の作成ができませんでした。 [対処] タスクログに記載されている Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、サービスを再度実行してください。</p>
KNAE06892-E	<p>The specified topology does not include the available resources. [Action] Check the topology of the configuration. (message:{0}). 0: Message 指定したトポロジーには利用できるリソースが含まれていません。 [対処] トポロジーの構成を確認してください。(メッセージ: {0}) 0: メッセージ</p>
KNAE06893-E	<p>An error occurred while running a task. [Cause] The specified volume is not registered in Device Manager. (Device Manager={0}, model={1}, serial number={2}, LDEV ID={3}) [Action] Make sure the specified volume is registered in Device Manager, and then try again. 0: hdvmName 1: model 2: serialNumber 3: LDEV ID タスク実行中にエラーが発生しました。 [原因] 指定したボリュームは Device Manager に登録されていません。(Device Manager : {0}, モデル : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3}) [対処] 指定したボリュームが Device Manager に登録されているか見直し、サービスを再実行してください。 0: HDvM 名 1: モデル 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KNAE06894-E	<p>The specified topology is incorrect. [Action] Check the topology of the configuration. (message:{0}). 0: Message 指定したトポロジーは不正です。 [対処] トポロジーの構成を確認してください。(メッセージ: {0}) 0: メッセージ</p>
KNAE06895-E	<p>Failed to get the copy group information. [Action] Check the contents of the parameter. コピーグループの情報を取得できませんでした。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	[対処] パラメータの内容を確認してください。
KNAE06896-E	Failed to get the path information. [Action] Check the contents of the parameter. パス情報を取得できませんでした。 [対処] パラメータの内容を確認してください。
KNAE06897-E	The specified copy topology was not found. [Cause] The specified copy topology might have been deleted. [Action] Check the specified copy topology status, specify a different copy topology if necessary, and then submit the service again. 指定したコピートポロジーがありません。 [原因] コピートポロジーがすでに削除されているおそれがあります。 [対処] 指定したコピートポロジーの状態を確認し、必要に応じて別のコピートポロジーを指定して、サービスを再度実行してください。
KNAE06898-E	The Device Manager instance that is managing the storage system ({0}), which is part of the copy topology, was not found. [Action] Check the connection status of the Device Manager instance that is managing the storage system, which is part of the copy topology. 0: display name of storage systems コピートポロジーを構成するストレージシステム ({0}) を管理している Device Manager がありません。 [対処] コピートポロジーを構成するストレージシステムを管理している Device Manager との接続状態を確認してください。 0: ストレージシステムの表示名
KNAE06899-E	The specified storage system is not found. [Action] Specify another storage system. (model={0}, serial number={1}) 0: model 1: serialNumber 指定されたストレージシステムは見つかりませんでした。 [対処] 別のストレージシステムを指定してください。(モデル: {0}, シリアル番号: {1}) 0: モデル 1: シリアル番号
KNAE06901-E	The specified TI pool is not found. [Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, Pool ID={2}) 0: model 1: serialNumber 2: poolID 指定された TI プールが見つかりませんでした。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル: {0}, シリアル番号: {1}, プール ID: {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: プール ID

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06902-E	<p>JNLG is not specified.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}) 0: model 1: serialNumber ジャーナルグループが指定されていません。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}) 0: モデル 1: シリアル番号</p>
KNAE06903-E	<p>The specified JNLG is invalid.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, JNLG={2}) 0: model 1: serialNumber 2: jnlG 指定されたジャーナルグループが不正です。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, ジャーナルグループ : {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: ジャーナルグループ</p>
KNAE06904-E	<p>The specified JNLG is not available.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, JNLG={2}) 0: model 1: serialNumber 2: jnlG 指定されたジャーナルグループは使用できません。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, ジャーナルグループ : {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: ジャーナルグループ</p>
KNAE06905-E	<p>When using 3DC Multi Target with Delta Resync, you must specify the same value in the secondary JNLG of both Universal Replicators.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, JNLG={2}) 0: model 1: serialNumber 2: jnlG 3DC Multi Target with Delta Resync の場合、二つの Universal Replicator の副ジャーナルグループには同じ値を指定する必要があります。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, ジャーナルグループ : {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: ジャーナルグループ</p>
KNAE06906-E	<p>The specified Path Group is invalid.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, path group={2}) 0: model 1: serialNumber</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>2: pathGroup 指定されたパスグループが不正です。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル: {0}, シリアル番号: {1}, パスグループ: {2})</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号 2: パスグループ</p>
KNAE06907-E	<p>The specified Path Group is not available.</p> <p>[Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, path group={2})</p> <p>0: model 1: serialNumber 2: pathGroup</p> <p>指定されたパスグループは使用できません。</p> <p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル: {0}, シリアル番号: {1}, パスグループ: {2})</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号 2: パスグループ</p>
KNAE06908-E	<p>The remote path is not set between the specified storage systems.</p> <p>[Action] Verify the storage system remote path settings. (model1={0}, serial number1={1}, model2={2}, serial number2={3})</p> <p>0: model1 1: serialNumber1 2: model2 3: serialNumber2</p> <p>指定されたストレージシステム間にリモートパスが設定されていません。</p> <p>[対処] ストレージシステムのリモートパスの設定を確認してください。(モデル 1: {0}, シリアル番号 1: {1}, モデル 2: {2}, シリアル番号 2: {3})</p> <p>0: モデル 1 1: シリアル番号 1 2: モデル 2 3: シリアル番号 2</p>
KNAE06909-E	<p>The specified CTG ID is not available.</p> <p>[Action] Verify the storage system remote path settings. (model1={0}, serial number1={1}, model2={2}, serial number2={3}, copy type={4}, CTG ID={5})</p> <p>0: model1 1: serialNumber1 2: model2 3: serialNumber2 4: copyType 5: ctgid</p> <p>指定された CTG ID は使用できません。</p> <p>[対処] ストレージシステムのリモートパスの設定を確認してください。(モデル 1: {0}, シリアル番号 1: {1}, モデル 2: {2}, シリアル番号: {3}, コピータイプ: {4}, CTG ID: {5})</p> <p>0: モデル 1 1: シリアル番号 1 2: モデル 2 3: シリアル番号 2</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	4: コピータイプ 5: CTG ID
KNAE06910-E	The specified CTG ID is already being used in same copy topology. [Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, CTG ID={2}) 0: model 1: serialNumber 2: ctgid 指定されている CTG ID は、同じトポロジーですでに使われています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, CTG ID : {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: CTG ID
KNAE06911-E	The specified CTG ID is invalid. [Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, CTG ID={2}) 0: model 1: serialNumber 2: ctgid 指定された CTG ID が不正です。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, CTG ID : {2}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: CTG ID
KNAE06912-E	The specified CTG ID is not available. [Action] Verify the parameter values. (model={0}, serial number={1}, copy type={2}, CTG ID={3}) 0: model 1: serialNumber 2: copyType 3: ctgid 指定された CTG ID は使用できません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, コピータイプ : {2}, CTG ID : {3}) 0: モデル 1: シリアル番号 2: コピータイプ 3: CTG ID
KNAE06913-E	The Pair Management Server for the Snapshot Groups has not been set for the specified storage system. [Action] In the Storage Systems view of Replication Manager, specify the Pair Management Server for the Snapshot Groups, and then try the operation again. (model={0}, serial number={1}) 0: model 1: serialNumber 指定されたストレージシステムに、スナップショットグループのためのペア管理サーバが設定されていません。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Replication Manager のストレージシステム画面で、スナップショットグループ用ペア管理サーバを指定し、再実行してください。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1})</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号</p>
KNAE06914-E	<p>The specified instance number or port number is invalid.</p> <p>[Cause]</p> <p>Possible reasons are as follows: -The specified instance number is already being used in the same copy topology. -The specified UDP port number is already being used in the same copy topology.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (pair management server={0}, instance number={1}, port number={2})</p> <p>0: pms 1: instanceNumber 2: port</p> <p>指定されたインスタンス番号またはポート番号が不正です。</p> <p>[原因]</p> <p>次の原因が考えられます。・指定されたインスタンス番号は同じトポロジーですでに使われています。・指定された UDP ポート番号は同じトポロジーですでに使われています。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ : {0}, インスタンス番号 : {1}, ポート番号 : {2})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: インスタンス番号 2: ポート</p>
KNAE06915-E	<p>Copy group name is not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values.</p> <p>コピーグループ名が指定されいません。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。</p>
KNAE06916-E	<p>The specified copy group name overlaps.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (copy group name={0}, pair management server name={1}, instance number={2})</p> <p>0: copyGroupName 1: pms 2: instanceNumber</p> <p>指定されたコピーグループ名が重複しています。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 ; {0}, ペア管理サーバ名 : {1}, インスタンス番号 : {2})</p> <p>0: コピーグループ名 1: ペア管理サーバ 2: インスタンス番号</p>
KNAE06917-E	<p>The specified copy group name overlaps.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (copy group name={0}, model={1}, serial number={2})</p> <p>0: copyGroupName 1: model 2: serial</p> <p>指定されたコピーグループ名が重複しています。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 ; {0}, モデル : {1}, シリアル番号 : {2})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: コピーグループ名 1: モデル 2: シリアル番号
KNAE06918-E	The Pair Management Server is not specified. [Action] Verify the parameter values. (copy group name={0}) 0: copyGroupName ペア管理サーバが指定されていません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 : {0}) 0: コピーグループ名
KNAE06919-E	The specified pair management server is not found. [Action] Verify the parameter values and confirm that the specified storage system command device is assigned to the pair management server. (pair management server name={0}, model={1}, serial number={2}) 0: pms 1: model 2: serialNumber 指定されたペア管理サーバが見つかりませんでした。 [対処] パラメータの内容を確認してください。ペア管理サーバに、指定されたストレージシステムのコマンドデバイスが割り当てられていることを確認してください。(ペア管理サーバ名 : {0}, モデル : {1}, シリアル番号 : {2}) 0: ペア管理サーバ 2: モデル 2: シリアル番号
KNAE06920-E	The combination of specified IP Types is invalid. [Action] Verify the parameter values. (copy group name={0}, primary ip type={1}, secondary ip type={2}) 0: copyGroupName 1: ipType1 2: ipType2 指定された IP 種別の組み合わせが不正です。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 : {0}, プライマリ IP 種別 : {1}, セカンダリ IP 種別 : {2}) 0: コピーグループ名 1: IP 種別 1 2: IP 種別 2
KNAE06921-E	The specified IP Type is not the same as the IP Type of the existing instance. [Action] Verify the parameter values. (pair management server name={0}, instance number={1}, specified ip type={2}, existing ip type of existing instance={3}) 0: pms 1: instanceNumber 2: ipType1 3: ipType2 指定された IP 種別が既存のインスタンスの IP 種別と一致しません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ名 : {0}, インスタンス番号 : {1}, 指定された IP 種別 : {2}, 既存のインスタンスの既存の IP 種別 : {3}) 0: ペア管理サーバ 1: インスタンス番号 2: IP 種別 1

メッセージID	メッセージの内容
	3: IP 種別 2
KNAE06922-E	<p>The specified IP Type is not same as the IP address type of the Pair Management Server.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (pair management server name={0}, ip type={1})</p> <p>0: pms 1: ipType</p> <p>指定された IP タイプがペア管理サーバの IP アドレス種別と一致しません。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ名 : {0}, IP 種別 : {1})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: IP 種別</p>
KNAE06923-E	<p>The Instance Number is not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (copy group name={0})</p> <p>0: copyGroupName</p> <p>インスタンス番号が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 : {0})</p> <p>0: コピーグループ名</p>
KNAE06924-E	<p>The specified instance number is already being used.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (pair management server={0}, instance number={1}, specified port number={2}, port number of existing instance={3})</p> <p>0: pms 1: instanceNumber 2: specifiedPort 3: existingPort</p> <p>指定されたインスタンス番号はすでに使用されています。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ : {0}, インスタンス番号 : {1}, 指定したポート番号 : {2}, 既存インスタンスのポート番号 : {3})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: インスタンス番号 2: 指定したポート 3: 既存のポート</p>
KNAE06925-E	<p>The specified instance uses the VLDEV ID.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify another instance number. (pair management server={0}, instance number={1})</p> <p>0: pms 1: instanceNumber</p> <p>指定されたインスタンスは仮想 LDEV ID を使用しています。</p> <p>[対処]</p> <p>他のインスタンス番号を指定してください。(ペア管理サーバ : {0}, インスタンス番号 : {1})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: インスタンス番号</p>
KNAE06926-E	<p>The specified port number is already being used.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (pair management server={0}, port number={1})</p> <p>0: pms 1: port</p> <p>指定されたポート番号はすでに使用されています。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ : {0}, ポート番号 : {1})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: ポート</p>
KNAE06927-E	<p>The primary CCI instance and secondary CCI instance are the same.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (copy group name={0}, pair management server={1}, instance number={2})</p> <p>0: copyGroupName 1: pms 2: instanceNumber</p> <p>プライマリ RAID Manager インスタンスとセカンダリ RAID Manager インスタンスが同じです。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 : {0}, ペア管理サーバ : {1}, インスタンス番号 : {2})</p> <p>0: コピーグループ名 1: ペア管理サーバ 2: インスタンス番号</p>
KNAE06928-E	<p>The specified CCI instance is not found.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (pair management server={0}, instance number={1})</p> <p>0: pms 1: instanceNumber</p> <p>指定された RAID Manager インスタンスが見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。(ペア管理サーバ : {0}, インスタンス番号 : {1})</p> <p>0: ペア管理サーバ 1: インスタンス番号</p>
KNAE06929-E	<p>The value specified for deviceManagerName is different from the value specified for deviceManagerName in the hostSettingValue (deviceManagerName specified for hostSettingValue: {0}, deviceManagerName: {1}).</p> <p>[Action]</p> <p>Check the value specified for the parameter.</p> <p>0:hostSettingValueDeviceManagerName 1:deviceManagerName</p> <p>hostSettingValue の deviceManagerName に指定された値と、 deviceManagerName に指定された値が異なります。(hostSettingValue に指定された deviceManagerName : {0}, deviceManagerName : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータに指定した値を確認してください。</p> <p>0: hostSettingValue に指定された deviceManagerName 1: deviceManagerName</p>
KNAE06930-E	<p>Assign CTG For At-Time-Split and Auto Split cannot be specified at the same time(CopyGroup={0}).</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values.</p> <p>0:copyGroup</p> <p>Assign CTG For At-Time-Split と Auto Split は同時に指定することはできません。(コピーグループ : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>パラメータの内容を確認してください。</p> <p>0:コピーグループ</p>
KNAE06931-E	<p>The 3DC topology requires that you create a remote copy of both UR and TCS.</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Verify the parameter values. 3DC のトポロジーには UR と TCS のリモートコピーを作成する必要があります。 [対処] パラメータの内容を確認してください。</p>
KNAE06932-E	<p>The local copy generation has exceeded the maximum value(node={0}). [Action] Verify the parameter values. 0:node ローカルコピーの世代数が最大値を超えています。(ノード : {0}) [対処] パラメータの内容を確認してください。 0:ノード</p>
KNAE06933-E	<p>More than one copygroup has been set for remote copy({0}). [Action] Verify the parameter values. 0:remoteCopy 複数のコピーグループがリモートコピーに設定されています。({0}) [対処] パラメータの内容を確認してください。 0:リモートコピー</p>
KNAE06934-E	<p>This topology refers to an unsupported configuration. [Cause] This configuration includes storage that does not support the specified topology. [Action] Refer to the Automation Director manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] この構成には指定したトポロジーにサポートしていないストレージシステムが含まれています。 [対処] 詳細については Automation Director のマニュアルを確認してください。</p>
KNAE06935-E	<p>This topology refers to an unsupported configuration. [Cause] This configuration includes a storage device that remote copy does not support. [Action] Refer to the Replication Manager manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] この構成はリモートコピーがサポートしていないストレージシステムです。 [対処] 詳細については Replication Manager のマニュアルを確認してください。</p>
KNAE06936-E	<p>Port Number is not specified. [Action] Verify the parameter values. (copy group name={0}) 0: copyGroupName ポート番号が指定されていません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(コピーグループ名 : {0}) 0: コピーグループ名</p>
KNAE06937-W	<p>Because specified topology fence level was not available, the fence level was set to "never". [Action] Change created copy pair fence level as necessary. 指定したトポロジーの Fence Level を取得できなかったため, "never"を設定しました。 [対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	必要に応じて作成されたコピーペアの Fence Level を変更してください。
KNAE06938-E	Specified copy group name is invalid.(Copy group name={0}, message={1}) [Action] Revise the copy group name. 0: copyGroupName 1: message 指定したコピーグループ名が不正です。(コピーグループ名 : {0}, メッセージ : {1}) [対処] コピーグループ名を見直してください。 0: コピーグループ名 1: メッセージ
KNAE06939-E	There is no connection information. [Action] Using an account with Automation Director Modify permission, confirm the Web Service Connections on the Infrastructure Groups in the Resource of the Service Group. (Name:{1}, Category:{0}) 0: name 1: category 指定した接続情報がありません。 [対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービスグループのリソースにあるインフラストラクチャーグループに使用する Web サービス接続が割り当てられていることを確認してください。(接続名 : {1}, カテゴリ : {0}) 0: 名前 1: カテゴリ
KNAE06940-E	Path information for the specified host was not found. [Action] To resolve this issue, try the following:(1) Check the Fabric Settings Configuration on the Edit Service window using an account with Modify permission on Automation Director.(2) Review the configuration of the switch management server zone. (3)Review the configuration of the resource group on the switch management server.(4) Check the connection status of the specified hosts. 指定したホストに対するパス情報がみつかりませんでした。 [対処] エラーを解決するために、次の確認をしてください。(1)Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集で Fabric Settings の設定を見直してください。(2)スイッチ管理サーバでゾーニングの設定を見直してください(3)スイッチ管理サーバでリソースグループの設定を見直してください(4)ホストの接続状態を確認してください。
KNAE06941-E	Fabric name was not found. (fabric key = {0}) [Action] Verify that the switch management server is running correctly. 0: fabric key ファブリック名が見つかりません。(ファブリックキー : {0}) [対処] スイッチ管理サーバが正しく起動していることを確認してください。 0: ファブリックキー
KNAE06942-E	Switch name was not found. (switch key = {0}) [Action] Verify that the switch management server is running correctly. 0:switch key スイッチ名が見つかりません。(スイッチキー : {0}) [対処] スイッチ管理サーバが正しく起動していることを確認してください。 0: スイッチキー

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06943-E	<p>A communication error occurred with the switch management server.</p> <p>[Action]</p> <p>To resolve this issue, try the following: (1) In Web Service Connections under the Administration tab, confirm the settings and update as needed. (Name:{0}, Category:{1})(2)Verify that the switch management server is running correctly.(3) Confirm the network status between the Automation Director server and the switch management server.(4) On the Web Service Connections, confirm the user ID is a Zone Administrator and the valid password set. (Detail Information:{2})</p> <p>0: name 1: category 2: detail info</p> <p>スイッチ管理サーバとの接続中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーを解決するために、次の確認をしてください。(1)管理タブの Web サービス接続先定義で指定した設定情報を確認し、必要に応じて設定の修正を行ってください。(接続名 : {0}, カテゴリ : {1}) (2)スイッチ管理サーバが正しく起動していることを確認してください。(3)Automation Director サーバとスイッチ管理サーバの間のネットワーク設定を確認してください。(4)Web サービス接続先定義で指定したユーザー ID が Zone Administrator であり、正しいパスワードが設定されていることを確認してください。(詳細情報 : {2})</p> <p>0: 名前 1: カテゴリ 2: 詳細情報</p>
KNAE06944-E	<p>Fabric information for the specified paths was not found.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the switch management server for information about the port used by the paths. (Host Name: {0} Host Port: {1} Storage Port: {2})</p> <p>0: Host Name 1: Host Port 2: Storage Port</p> <p>指定したパスに対するファブリック情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>スイッチ管理サーバの情報にパスで使用しているポートの情報が含まれるか確認してください。(ホスト名 : {0}, ホストポート : {1}, ストレージポート : {2})</p> <p>0:ホスト名 1:ホストポート 2:ストレージポート</p>
KNAE06945-E	<p>An error occurred with the naming script for {0}.</p> <p>[Action]</p> <p>Update the naming script. (Value: {1})</p> <p>0: Type 1: Value</p> <p>{0}の命名スクリプトでエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>命名スクリプトの記述を見直してください。(値 : {1})</p> <p>0: タイプ 1: 値</p>
KNAE06946-E	<p>The naming script of {0} returned a non-string value.</p> <p>[Action]</p> <p>Update the naming script. (Value: {1})</p> <p>0: Type 1: Value</p> <p>{0}の命名スクリプトが文字列以外を返却しました。</p> <p>[対処]</p> <p>命名スクリプトの記述を見直してください。(値 : {1})</p> <p>0: タイプ</p>

メッセージID	メッセージの内容
	1: 値
KNAE06947-E	<p>The name of {0} that was returned by the naming script does not start with an alphabetical character.</p> <p>[Action] Update the naming script. (Value: {1})</p> <p>0: Type 1: Value</p> <p>命名スクリプトが返却した{0}名が英字で始まっていません。</p> <p>[対処] 命名スクリプトの記述を見直してください。(値 : {1})</p> <p>0: タイプ 1: 値</p>
KNAE06948-E	<p>The name {0} is not used for normal zone name.</p> <p>[Cause] Zone names that start with LSAN_, TI_, QOSHn_, QOSMn_ and QOSLn_ are used for special functions by the switches.</p> <p>[Action] Update the naming script to avoid these prefixes.</p> <p>0: Zone Name 名前{0}は通常のゾーン名として使用できません。</p> <p>[原因] LSAN_, TI_, QOSHn_, QOSMn_, QOSLn_で始まるゾーン名はスイッチで特別な意味で解釈されます。</p> <p>[対処] これらの接頭辞を含まないよう命名スクリプトの記述を見直してください。</p> <p>0: ゾーン名</p>
KNAE06949-W	<p>There is no active zone configuration for the fabric {0}.</p> <p>[Action] Check fabric status by using the switch management server. Then update the zone configurations to add the missing zones to the zone configurations.</p> <p>0: Fabric Name ファブリック {0} に Active Zone Configuration が設定されていません。</p> <p>[対処] スイッチ管理サーバでファブリックの状態を確認し、ゾーン構成に欠落しているゾーンを追加して、ゾーン構成を更新してください。</p> <p>0: ファブリック名</p>
KNAE06950-W	<p>The name "{0}" is not a valid zone configuration name.</p> <p>[Cause] Zone Configuration Names must start with an alphabetical character and all characters must be alphabetical, numerical, or an underscore.</p> <p>[Action] Check fabric status by using the switch management server. Then update the zone configurations to add the missing zones to the zone configurations.</p> <p>0: Zone Configuration Name 名前"{0}"はゾーン構成名として使用できません。</p> <p>[原因] ゾーン構成名は英字で始まり、英数字とアンダーバーのみ使用できます。</p> <p>[対処] スイッチ管理サーバでファブリックの状態を確認し、ゾーン構成に欠落しているゾーンを追加して、ゾーン構成を更新してください。</p> <p>0: ゾーン構成名</p>
KNAE06951-E	<p>A syntax error occurred in the Script for Naming input in the script for {0}.</p> <p>[Action] Verify that the syntax of the naming script is based on the definition of the ECMAScript 5.function. (Value: {1})</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0: Type 1: Value {0}の命名スクリプトで構文エラーが発生しました。 [対処] 命名スクリプトの構文が ECMAScript 5 の function 定義となっているか見直してください。(値: {1}) 0: タイプ 1: 値</p>
KNAE06952-E	<p>Unable to obtain data from Device Manager. [Cause] An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. Then retry the operation. (Device Manager message={0}) 0: message Device Manager から情報が取得できませんでした。 [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Device Manager メッセージ: {0}) 0: メッセージ</p>
KNAE06953-E	<p>A VLDEV ID is empty. [Action] Make sure that there are enough free LDEV IDs in the resource group. Register additional LDEV IDs to the resource group or virtual storage machine, or refresh the storage system from the Device Manager window, and then try the action again. 仮想 LDEV ID の空きがありません。 [対処] リソースグループ内に LDEV ID の空きが十分にあることを確認してください。リソースグループまたは仮想ストレージマシンに LDEV ID を登録するか、Device Manager の画面からストレージシステムを更新した上で、再度実行してください。</p>
KNAE06954-E	<p>An unsupported combination of Virtual Storage Machines was specified. [Cause] The specified Secondary Storage System is not virtualized. [Action] Verify the parameter values. サポートされていない仮想ストレージマシンの組み合わせが指定されました。 [原因] 指定した副ストレージシステムが仮想化されていません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。</p>
KNAE06955-E	<p>A Virtual Storage Machine is missing. [Action] Specify a Virtual Storage Machine. 仮想ストレージマシンが指定されていません。 [対処] 仮想ストレージマシンを指定してください。</p>
KNAE06956-E	<p>The specified Virtual Storage Machine does not exist. [Action] Update the specified Virtual Storage Machine. 指定された仮想ストレージマシンは存在しません。 [対処] 指定した仮想ストレージマシンを見直してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06957-E	<p>The Quorum Disk ID is missing.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a Quorum Disk ID.</p> <p>Quorum Disk ID が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>Quorum Disk ID を指定してください。</p>
KNAE06958-E	<p>The specified Quorum Disk ID does not exist or is not available.</p> <p>[Action]</p> <p>Update the specified Quorum Disk ID.</p> <p>指定された Quorum Disk ID は存在しないかまたは使用できません。</p> <p>[対処]</p> <p>指定した Quorum Disk ID を見直してください。</p>
KNAE06959-E	<p>You do not have the permission required to complete the task on the specified resource.</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, check the resource group settings.</p> <p>指定されたリソースの操作に必要な権限がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 上で、リソースグループの設定を見直してください。</p>
KNAE06960-E	<p>All pool volumes associated with the specified pool do not belong to the same single resource group.</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, verify the pool volume resource group settings.</p> <p>指定された Pool を構成するすべてのプールボリュームが同一のリソースグループに属していません。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 上で、プールボリュームのリソースグループ設定を見直してください。</p>
KNAE06961-E	<p>More LDEV IDs are required to the operation.</p> <p>[Action]</p> <p>Try smaller "start LDEV ID from" specification or regist additional ldev ids in the resource group {0} on the virtual storages {1} ({2}).</p> <p>0: resource group 1: model 2: serialNumber</p> <p>使用できる LDEV ID が不足しています。</p> <p>[対処]</p> <p>"start LDEV ID from"でより小さな値を指定するか、LDEV ID を仮想ストレージ {1} ({2})のリソースグループ {0} に追加してください。</p> <p>0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー</p>
KNAE06962-E	<p>An error occurred in the API interaction with Device Manager.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the network status and ensure that Device Manager is running correctly. (Device Manager name = {0}, maintenance information = {1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: message</p> <p>Device Manager の API 実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Device Manager が正しく起動していることを確認してください。(Device Manager 名:{0}, 保守情報={1})</p> <p>0: Device Manager Name 1: message</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE06963-E	<p>An error occurred in the API interaction with Device Manager. (Device Manager error message = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: message</p> <p>Device Manager の API 実行でエラーが発生しました。(Device Manager エラーメッセージ={0})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに紐づく Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、Service を再実行してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KNAE06964-E	<p>The specified parity group does not exist or is not available. (parity group = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the specified parity group name.</p> <p>0: Parity Group Name</p> <p>指定されたパリティグループは存在しないかまたは使用できません。(パリティグループ={0})</p> <p>[対処]</p> <p>パリティグループ名を確認してください。</p> <p>0: パリティグループ名</p>
KNAE06965-E	<p>You do not have the permission required to complete the task on the specified parity group. (parity group = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the following in Administration tab, revise or add items as needed, and the submit the service again. 1. In "Service Group", the Infrastructure Group is registered in the Service Group that contains the service that you submitted. 2. In "Infrastructure Group", the Device Manager Resource Group is registered in the Infrastructure Group confirmed in step 1.</p> <p>0: Parity Group Name</p> <p>指定されたパリティグループの操作に必要な権限がありません。(パリティグループ={0})</p> <p>[対処]</p> <p>Administration タブで下記の項目について確認し、必要に応じて項目の修正、追加を行い、サービスを再度実行してください。(1)「サービスグループ」で実行するサービスが属するサービスグループにインフラストラクチャーグループが登録されている。(2)「インフラストラクチャーグループ」で(1)で確認したインフラストラクチャーグループに Device Manager のリソースグループが登録されている。</p> <p>0: パリティグループ名</p>
KNAE06966-E	<p>The parity group has already been used in the pool. (parity group = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the specified parity group name.</p> <p>0: Parity Group Name</p> <p>指定されたパリティグループはすでにプールで利用されています。(パリティグループ={0})</p> <p>[対処]</p> <p>パリティグループ名を確認してください。</p> <p>0: パリティグループ名</p>
KNAE06967-E	<p>All specified parity groups do not belong to the same single resource group.</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, verify the parity group resource group settings.</p> <p>指定されたすべてのパリティグループが同一のリソースグループに属していません。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>Device Manager 上で、パリティグループのリソースグループ設定を見直してください。</p>
KNAE06968-E	<p>The FMC parity group has not been specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the FMC parity group.</p> <p>FMC のパリティグループが指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>FMC のパリティグループを指定する必要があります。</p>
KNAE06969-E	<p>You do not have the permission required to complete the task on the specified pool. (storage system= {0}, pool id={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the following in Administration tab, revise or add items as needed, and then submit the service again. 1. In "Service Group", the Infrastructure Group is registered in the Service Group that contains the service that you submitted. 2. In "Infrastructure Group", the Device Manager Resource Group is registered in the Infrastructure Group confirmed in step 1.</p> <p>0: Storage System 1: Pool ID</p> <p>指定されたプールの操作に必要な権限がありません。(ストレージ装置={0}, プール ID={1})</p> <p>[対処]</p> <p>Administration タブで下記の項目について確認し、必要に応じて項目の修正、追加を行い、サービスを再度実行してください。(1)「サービスグループ」で実行するサービスが属するサービスグループにインフラストラクチャーグループが登録されている。(2)「インフラストラクチャーグループ」で(1)で確認したインフラストラクチャーグループに Device Manager のリソースグループが登録されている。</p> <p>0: ストレージ名 1: プール ID</p>
KNAE06970-E	<p>The specified storage system is not found.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the following and update the settings as required: - The specified storage system is registered in Device Manager. - The Device Manager instance connection information for the specified storage system is registered in the Administration tab. - Check the network status, and make sure that the Device Manager instance on the connection destination is running correctly. In the Administration tab, check the setting information of the Device Manager instance that belongs to the specified host, and then add or configure the settings as necessary. If using SSL communication, check, and if necessary, revise the Automation Director security settings. (serial number={0})</p> <p>0: serialNumber</p> <p>指定されたストレージ装置は見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>次の確認をして、必要に応じて設定を更新してください。・指定したストレージシステムが Device Manager に登録されていること。・管理タブで、指定したストレージシステムが属する Device Manager の接続情報が登録されていること。・ネットワークの状態に問題がないこと、および接続先 Device Manager が正しく起動していること。管理タブで指定したホストが属する Device Manger の設定情報を確認し、必要に応じて設定の追加または修正を行ってください。SSL 通信を使用する場合には、Automation Director のセキュリティ設定を見直してください。(シリアル番号={0})</p> <p>0: シリアル番号</p>
KNAE06971-E	<p>The specified pool ID is incorrect. (Pool Name={0}, Pool ID={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the pool ID.</p> <p>0 : Pool Name 1: Pool ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>指定されたプールの ID が間違っています。(プール名={0}, プール ID={1})</p> <p>[対処]</p> <p>プール ID を見直してください。</p> <p>0: プール名</p> <p>1: プール ID</p>
KNAE06972-E	<p>The specified pool ID is already in use. (Pool ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the pool ID.</p> <p>0: Pool ID</p> <p>指定されたプール ID は既に使用されています。(プール ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>プール ID を見直してください。</p> <p>0: プール ID</p>
KNAE06973-E	<p>Failed to get the specified pool.(Pool Name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Review the pool configuration and permissions.</p> <p>0: Pool Name</p> <p>指定されたプールの情報取得に失敗しました。(プール={0})</p> <p>[対処]</p> <p>プールの構成及び権限を見直してください。</p> <p>0: プール名</p>
KNAE06974-E	<p>The expansion rate has not been calculated by the script. (storage system= {0}, pool id={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the naming script.</p> <p>0: Storage System</p> <p>1: Pool ID</p> <p>指定したプールの拡張率がスクリプトで計算されていません。(ストレージ装置={0}, プール ID={1})</p> <p>[対処]</p> <p>スクリプトの記述を見直してください。</p> <p>0: ストレージ名</p> <p>1: プール ID</p>
KNAE06975-E	<p>The parity group and the volume belong to a different resource group. (parity group = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, check the resource group settings.</p> <p>0: Parity Group Name</p> <p>パリティグループとボリュームのリソースグループが一致していません。(パリティグループ={0})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 上で、リソースグループの設定を見直してください。</p> <p>0: パリティグループ名</p>
KNAE06976-E	<p>Failed to add the volume. (parity group = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>There is no free space to add volumes in parity groups.</p> <p>[Action]</p> <p>Review the parity group configuration and update as needed.</p> <p>0: Parity Group Name</p> <p>ボリューム作成に失敗しました。(パリティグループ={0})</p> <p>[原因]</p> <p>ボリュームを作成できるフリースペースがありません。</p> <p>[対処]</p> <p>パリティグループの構成を見直してください。</p> <p>0: パリティグループ名</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06977-E	<p>There are no Device Manager.</p> <p>[Action]</p> <p>On the Administration tab, under Connection Settings > Web Service Connections, make sure the server setting exists and is correct.</p> <p>Device Manager の接続情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Administration タブで Device Manager 接続情報を追加してください。</p>
KNAE06978-E	<p>Failed to get all specified pools.</p> <p>[Action]</p> <p>Review all specified pools configuration and permissions.</p> <p>指定されたすべてプールの情報取得に失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>プールの構成及び権限を見直してください。</p>
KNAE06979-E	<p>Because the both infrastructures of BNA ({0}) and DCNM ({1}) are assigned to the service, it is vague which you manage the switch in.</p> <p>[Action]</p> <p>Using an account with Automation Director Modify permission, remove unused Web Service Connection from the Infrastructure Group in the Resource of the Service Group. Or create a Service Group that is assigned only one of the infrastructures and specify it for the service.</p> <p>0: BNA names 1: DCNM names</p> <p>サービスに BNA ({0}) と DCNM ({1}) 両方のインフラストラクチャが割り当てられているため、どちらでスイッチを管理するか曖昧です。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービスグループのリソースにあるインフラストラクチャーグループから不要な Web Service Connection を削除してください。あるいはどちらか一方のスイッチ管理インフラストラクチャだけが割り当てられたサービスグループを作成し、サービスに指定してください。</p> <p>0: BNA 名 1: DCNM 名</p>
KNAE06980-E	<p>Unable to update the zoning information.</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Check fabric status by using the switch management server, and confirm the settings and update as needed. Resolve the problem according to the switch management server error message. Then retry the operation. (Name:{0}, Category: {1}, Fabric Name:{2}, VSAN Name:{3}, Switch management server message={4})</p> <p>0: Connection Name 1: category 2: Fabric Name 3: VSAN Name 4: message</p> <p>Zone 情報を設定できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>スイッチ管理サーバでファブリックの状態を確認し、必要に応じて設定の修正を行ってください。スイッチ管理サーバのメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(接続名: {0}, カテゴリ: {1}, ファブリック名: {2}, VSAN 名: {3}, スイッチ管理サーバメッセージ: {4})</p> <p>0: Connection 名 1: category 2: ファブリック名 3: VSAN 名</p>

メッセージID	メッセージの内容
	4: メッセージ
KNAE06981-E	<p>Web Service Connection for BNA and DCNM is assigned to the infrastructure group. [Cause] It cannot be used together. [Action] Delete either assignment. インフラグループに BNA と DCNM の Web Service Connection が割り当てられています。 [原因] 一緒に利用することはできません。 [対処] どちらかの割り当てを解除してください。</p>
KNAE06982-E	<p>The specified Storage System is not managed by Configuration Manager. (Storage System:{0}) [Action] Revise the input property value, and then try again. 0: Storage System 指定されたストレージ装置が ConfigurationManager に登録されていません。(ストレージシステム:{0}) [対処] 入力プロパティの値を見直し、再度、サービスを実行してください。 0: Storage System</p>
KNAE06983-E	<p>Cannot obtain the information from the Configuration Manager. [Cause] An error has occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: Configuration Manager Message Configuration Manager から情報を取得できませんでした。 [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {0}) 0: Configuration Manager Message</p>
KNAE06984-E	<p>Cannot allocate the S-VOL. (LDEV ID:{0}) [Cause] The S-VOL LDEV ID is already assigned to another volume. [Action] Revise the LDEV ID assignment, and then try again. 0: LDEV ID S-VOL を割り当てることができません。(LDEV ID:{0}) [原因] S-VOL の LDEV ID がすでに割り当て済みです。 [対処] ボリュームの割り当て状況を見直し、再度、サービスを実行してください。 0: LDEV ID</p>
KNAE06985-E	<p>Cannot allocate the S-VOL. (LDEV ID:{0}) [Cause] The reservation attribute is not set on the S-VOL. [Action] Set the reservation attribute on the S-VOL, and then try again. 0: LDEV ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>S-VOL を割り当てるできません。(LDEV ID:{0})</p> <p>[原因]</p> <p>S-VOL が予約属性になっていません。</p> <p>[対処]</p> <p>S-VOL に予約属性を設定し、再度、サービスを実行してください。</p> <p>0: LDEV ID</p>
KNAE06986-E	<p>There is no connection information for the specified Configuration Manager.</p> <p>[Action]</p> <p>On the Administration tab, confirm the Configuration Manager connection information, and then add or modify the settings as necessary. (Configuration Manager Name:{0})</p> <p>0: Configuration Manager Name</p> <p>指定された Configuration Manger の接続情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manger の接続情報を確認し、必要に応じて設定の追加および修正を行ってください。(Configuration Manager 名 : {0})</p> <p>0: Configuration Manager Name</p>
KNAE06987-E	<p>Cannot create a copy pair.</p> <p>[Cause]</p> <p>An error occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified Path Group ID, Quorum Disk ID, Consistency Group ID and MU Number. Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then retry the operation. (Configuration Manager message={0})</p> <p>0: Configuration Manager Message</p> <p>コピーペアの作成に失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>指定した, Path Group ID, Quorum Disk ID, Consistency Group ID, MU Number を見直してください。Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {0})</p> <p>0: Configuration Manager Message</p>
KNAE06988-E	<p>The specified Copy Group already exists. (Copy Group Name:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified Copy Group Name, and then try again.</p> <p>0: Copy Group Name</p> <p>指定された Copy Group はすでに存在しています。(Copy Group Name:{0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定した Copy Group 名を見直し、再度、サービスを実行してください。</p> <p>0: Copy Group Name</p>
KNAE06989-E	<p>The specified Copy Group does not exist. (Copy Group Name:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified Copy Group Name, and then try again.</p> <p>0: Copy Group Name</p> <p>指定された Copy Group が存在しません。(Copy Group Name :{0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定した Copy Group 名を見直し、再度、サービスを実行してください。</p> <p>0: Copy Group Name</p>
KNAE06990-E	<p>The specified Copy Pair already exists. (Copy Pair Name:{0})</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified Copy Pair Name, and then try again.</p> <p>0: Copy Pair Name</p> <p>指定された Copy pair はすでに存在しています。(Copy Pair Name:{0})</p> <p>[対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	指定した Copy Pair 名を見直し、再度、サービスを実行してください。 0: Copy Pair Name
KNAE06991-E	Cannot change the ALUA config. [Cause] An error occurred while running the API. [Action] Revise the Resource Group of the specified volume, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: Configuration Manager Message ALUA 設定の変更に失敗しました。 [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {0}) 0: Configuration Manager Message
KNAE06992-E	Cannot change the ALUA config. [Cause] A time out error occurred while running the API. [Action] Revise the Configuration Manager and Storage System, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: Configuration Manager Message ALUA 設定の変更に失敗しました。 [原因] API の実行がタイムアウトしました。 [対処] Configuration Manager およびストレージ装置の状態を確認し、再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {0}) 0: Configuration Manager Message
KNAE06993-E	An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: Configuration Manager Message API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {0}) 0: Configuration Manager Message
KNAE06994-E	The resource group name assigned to the P-VOL is not same as the resource group name assigned to the S-VOL. [Action] Revise the Resource Group of the specified volume, and then try again. P-VOL と S-VOL が属するのリソースグループの名前が一致しません。 [対処] 指定したボリュームが属するリソースグループを見直し、再度、サービスを実行してください。
KNAE06995-E	All the resource groups assigned to the specified volumes are not same. [Action] Revise the Resource Group of the specified volumes, and then try again. 指定したボリュームのリソースグループが一致しません。 [対処] 指定したボリュームが属するリソースグループを見直し、再度、サービスを実行してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE06996-E	<p>The storage system connection failed. This means that the information obtained can be incomplete.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the Configuration Manager and Storage System settings. (destination name={0})</p> <p>0:Destination name</p> <p>接続できないストレージ装置が存在します。取得した情報は不完全である可能性があります。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manager およびストレージ装置の状態を確認してください。(接続先名 : {0})</p> <p>0:接続先</p>
KNAE06997-E	<p>No path is assigned to the specified Source Volume.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the state of Source Volume. (LDEV ID: {0})</p> <p>0: LDEV ID</p> <p>指定された Source Volume にパスが割り当てられていません。</p> <p>[対処]</p> <p>Source Volume の状態を確認してください。(LDEV ID: {0})</p> <p>0: LDEV ID</p>
KNAE06998-E	<p>There is no information on target pair.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the setting of the specified volume or group.</p> <p>対象のペアの情報が見つかりません。</p> <p>[対処]</p> <p>指定したボリュームもしくはグループの設定を確認してください。</p>
KNAE06999-E	<p>Unsupported type is included in pair information.(type={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the setting of the specified volume or group.</p> <p>0:type</p> <p>対象にサポートしていないコピー種別が含まれています。({0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定したボリュームもしくはグループの設定を確認してください。</p> <p>0:コピー種別</p>
KNAE07200-E	<p>Remote storage is not registered.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the storage settings.</p> <p>リモートストレージが登録されていない。</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージの設定を確認してください。</p>
KNAE07201-E	<p>Cannot delete a lun.(LDEV ID={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager Message</p> <p>LUN の削除に失敗しました。(LDEV ID={0})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:LDEV ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: Configuration Manager メッセージ
KNAE07202-E	<p>Cannot delete a hostgroup/iscsi target.(LDEV ID={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager Message</p> <p>ホストグループ/iSCSI ターゲットの削除に失敗しました。(LDEV ID={0})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07203-E	<p>Cannot delete a volume.(LDEV ID={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager Message</p> <p>ボリュームの削除に失敗しました。(LDEV ID={0})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07204-E	<p>Cannot assing virtual ldev id to a volume.(LDEV ID={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager Message</p> <p>仮想 LDEV ID の設定に失敗しました。(LDEV ID={0})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:LDEV ID</p> <p>1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07205-E	<p>Cannot split copy pair or copy group (name={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error has occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:name</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1: Configuration Manager Message コピーペアもしくはコピーグループの分割に失敗しました。(名前={0})</p> <p>[原因] API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:名前 1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07206-E	<p>Cannot delete copy pair or copy group (name={0})</p> <p>[Cause] An error occurred while running the API.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1})</p> <p>0:name 1: Configuration Manager Message</p> <p>コピーペアもしくはコピーグループの削除に失敗しました。(名前={0})</p> <p>[原因] API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {1})</p> <p>0:名前 1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07207-E	<p>Path is not assigned to the Pair Volumes.</p> <p>[Action] Revise the state of Pair Volume. If the data of the Configuration Manager is old, refresh the storage system.</p> <p>ペア ボリュームにパスが割り当てられていません。</p> <p>[対処] ペア ボリュームの状態を確認してください。Configuration Manager の情報が古い場合は装置の情報をリフレッシュしてください。</p>
KNAE07208-E	<p>A communication error occurred with the Configuration Manager server.</p> <p>[Action] To resolve this issue, try the following: (1) In Web Service Connections under the Administration tab, confirm the settings and update as needed. (Name:{0}, Category:{1})(2)Verify that the Configuration Manager server is running correctly. (3) Confirm the network status between the Automation Director server and the Configuration Manager server.(4) On the Web Service Connections, confirm the user ID and password are registered to the storage subsystem as Security Administrator (View & Modify) role. (Detail Information:{2})</p> <p>0: name 1: category 2: detail info</p> <p>Configuration Manager サーバとの接続中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] エラーを解決するために、次の確認をしてください。(1)管理タブの Web サービス接続先定義で指定した設定情報を確認し、必要に応じて設定の修正を行ってください。(接続名 : {0}, カテゴリ : {1}) (2)スイッチ管理サーバが正しく起動していることを確認してください。(3)Automation Director サーバとスイッチ管理サーバの間のネットワーク設定を確認してください。(4)Web サービス接続先定義で指定したユーザー ID が使用するストレージに Security Administrator (View & Modify)権限で登録されており、正しいパスワードが設定されていることを確認してください。(詳細情報 : {2})</p> <p>0: 名前 1: カテゴリ</p>

メッセージID	メッセージの内容
	2: 詳細情報
KNAE07209-E	<p>The resource group {0} on storage {1} ({2}) is locked by user {3} from {4}.</p> <p>0: resource group 1: model 2: serialNumber 3: user 4: host</p> <p>ストレージ {1}({2}) のリソースグループ {0} はユーザ {3} によって {4} からロックされています。</p> <p>0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー 3: ユーザ 4: ホスト</p>
KNAE07210-E	<p>Unexpected data has found in response. (name='{0}' value='{1}')</p> <p>[Action] Make sure the version of the Configuration Manager server.</p> <p>0: name 1: value</p> <p>予期しないデータが応答されました。(name='{0}' value='{1}')</p> <p>[対処] 使用している Configuration Manager サーバのバージョンを見直してください。</p> <p>0: 名前 1: 値</p>
KNAE07211-E	<p>Available ports and host group ids are lacked to the operation.</p> <p>[Action] Regist additional ports and host group ids in the resource group {0} on the virtual storages {1} ({2}).</p> <p>0: resource group 1: model 2: serialNumber</p> <p>使用できるポートやホストグループ番号が不足しています。</p> <p>[対処] ポートやホストグループ番号を仮想ストレージ {1} ({2}) のリソースグループ {0} に追加してください。</p> <p>0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー</p>
KNAE07212-E	<p>The storage are assigned twice.</p> <p>[Action] Revise storage specifications of {0} ({1}).</p> <p>0: model 1: serialNumber</p> <p>ストレージが重複して指定されました。</p> <p>[対処] ストレージ {0}({1}) の指定を見直してください。</p> <p>0: モデル 1: シリアルナンバー</p>
KNAE07213-E	<p>The specified resource group {0} does not exist on {1}({2}).</p> <p>[Action] Check the Infrastructure Group Setting on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation.</p> <p>0: resource group 1: model 2: serialNumber</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>指定したリソースグループ {0} が {1}({2}) にはありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director の Admin 権限で Infrastructure Group 設定を見直してください。</p> <p>0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー</p>
KNAE07214-E	<p>The specified {0} named {1} cannot be found.</p> <p>[Action]</p> <p>The {0} might been deleted or changed. Make sure that the {0} exists on storage.</p> <p>0: type 1: name</p> <p>{1} という名前の {0} が見つかりません。</p> <p>[原因]</p> <p>[対処]</p> <p>{0} はすでに削除された可能性があります。ストレージに {0} があるか確認してください。</p> <p>0: 種類 1: 名前</p>
KNAE07215-W	<p>Specified port {3} is not in the resource group {0} in the storage {1}({2}).</p> <p>0: resource group 1: model 2: serialNumber 3: port</p> <p>指定したポート {3} がストレージ {1}({2}) のリソースグループ {0} にはありません。</p> <p>0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー 3: ポート</p>
KNAE07216-E	<p>Specified port {0} is duplicated.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise specification.</p> <p>0: port</p> <p>ポート {0} が重複しています。</p> <p>[対処]</p> <p>指定を見直してください。</p> <p>0: ポート</p>
KNAE07217-E	<p>The virtual serial number is not included in the specified resource group name '{0}'.</p> <p>[Action]</p> <p>Rename the specified resource group so that the name contains the virtual serial number. For example, MODEL1(70001), MODEL_2@70002 or MODEL_3@70003.</p> <p>0: resource group</p> <p>リソースグループ名 {0} に仮想シリアルナンバーが含まれていません。</p> <p>[対処]</p> <p>仮想シリアルナンバーを含む名前に変更してください。例) 例) "MODEL1(70001)", "MODEL_2@70002" もしくは "MODEL_3@70003"</p> <p>0: リソースグループ</p>
KNAE07218-E	<p>Specified WWNs {0} to create are already used by host group {2} on port {1}.</p> <p>[Action]</p> <p>Select host group on the existing ones if they are available.</p> <p>0: WWNs 1: port 2: host group</p> <p>新規作成するホストグループに指定した WWN {0} はポート {1} のホストグループ {2} で既に使用されています。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] 既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。 0: WWN 1: ポート 2: ホストグループ</p>
KNAE07219-E	<p>The specified host group names {0} to create are already used in the port {1}. [Action] Select host group on the existing ones if they are available. 0: host group 1: port 新規作成で指定したホストグループ名 {0} はポート {1} ですすでに使用されています。 [対処] 既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。 0: ホストグループ 1: ポート</p>
KNAE07220-E	<p>More LUNs on port {0} are required to the operation. [Cause] The maximum available LUN value is {1}. [Action] Try smaller "start LUN from" specification or specify another ports. 0: port 1: max LUN (hex) ポート {0} で使用できる LUN が不足しています。 [原因] 使用できる LUN の最大値は{1}です。 [対処] "start LUN from"でより小さな値を指定するか、ほかのポートを使用してください。 0: ポート 1: LUN の最大値(16 進)</p>
KNAE07221-E	<p>Specified port {0} on {1}{(2)} can not be used on volume allocations to hosts. [Action] Specify target and LUN security enabled ports. 0: port 1: model 2: serialNumber ストレージ {1}{(2)}の指定したポート {0} はホストへのボリューム割り当てに使用できません。 [対処] ターゲットでかつ LUN セキュリティ有効なポートを指定してください。 0: ポート 1: モデル 2: シリアルナンバー</p>
KNAE07222-E	<p>Specified ports {0} on {1}{(2)} are inconsistent. [Action] Specify ports that type are same. 0: port 1: model 2: serialNumber ストレージ {1}{(2)}で指定したポート {0} のタイプが一貫していません。 [対処] 同じポートタイプのポートを指定してください。 0: ポート 1: モデル 2: シリアルナンバー</p>
KNAE07223-E	<p>Specified host groups {3} is not in the resource group {0} in the storage {1}{(2)}.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Specify host groups or iSCSI Targets in the resource group. 0: resource group 1: model 2: serialNumber 3: host groups 指定したホストグループ {3} がストレージ {1}{2} のリソースグループ {0} にありません。 [対処] リソースグループ内のホストグループあるいは iSCSI ターゲットを指定してください。 0: リソースグループ 1: モデル 2: シリアルナンバー 3: ホストグループ</p>
KNAE07224-E	<p>The specified host group name has already been used. [Action] Verify the parameter values. (host group name={0}, port={1}) 0: hostGroupName 1: port 指定されたホストグループ名が重複しています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(ホストグループ名={0}, ポート={1}) 0: hostGroupName 1: port</p>
KNAE07225-E	<p>The specified WWN has already been used. [Action] Verify the parameter values. (WWN={0}, port={1}) 0: wwn 1: port 指定された WWN が重複しています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(WWN={0}, ポート={1}) 0: wwn 1: port</p>
KNAE07226-E	<p>The specified iSCSI target name has already been used. [Action] Verify the parameter values. (iSCSI target name={0}, port={1}) 0: iscsiTargetName 1: port 指定された iSCSI ターゲット名が重複しています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(iSCSI ターゲット名={0}, ポート={1}) 0: iscsiTargetName 1: port</p>
KNAE07227-E	<p>The specified port type of the port does not match the actual port type. [Action] Verify the parameter values. (port={0}) 0: port 指定されたポートのポート種別が指定されたポート種別と異なります。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(ポート={0}) 0: port</p>
KNAE07228-E	<p>The specified iSCSI target name {0} to create is already used by the host group on port {1}. [Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Select a different existing host group if available.</p> <p>0: iscsiTargetName 1: port</p> <p>新規作成で指定した iSCSI ターゲット名 {0} はポート {1} ですすでに使用されています。 [対処]</p> <p>既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。</p> <p>0: iscsiTargetName 1: port</p>
KNAE07229-E	<p>The specified WWN Nickname {0} to create is already used by the host group {2} on port {1}.</p> <p>[Action]</p> <p>Select a different existing host group if available.</p> <p>0: wwnNickname 1: port 2: hostGroup</p> <p>新規作成するホストグループに指定した WWN Nickname {0} はポート {1} のホストグループ {2} で既に使用されています。 [対処]</p> <p>既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。</p> <p>0: wwnNickname 1: port 2: hostGroup</p>
KNAE07230-E	<p>The specified iSCSI Name {0} to create is already used by the host group {2} on port {1}.</p> <p>[Action]</p> <p>Select a different existing host group if available.</p> <p>0: iscsiName 1: port 2: hostGroup</p> <p>新規作成するホストグループに指定した iSCSI Name {0} はポート {1} のホストグループ {2} で既に使用されています。 [対処]</p> <p>既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。</p> <p>0: iscsiName 1: port 2: hostGroup</p>
KNAE07231-E	<p>The specified iSCSI Nickname {0} to create is already used by the host group {2} on port {1}.</p> <p>[Action]</p> <p>Select a different existing host group if available.</p> <p>0: iscsiNickname 1: port 2: hostGroup</p> <p>新規作成するホストグループに指定した iSCSI Nickname {0} はポート {1} のホストグループ {2} で既に使用されています。 [対処]</p> <p>既存のホストグループが使用できる場合はそれを選択してください。</p> <p>0: iscsiNickname 1: port 2: hostGroup</p>
KNAE07232-E	<p>The specified WWN Nickname has already been used.</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the parameter values. (WWN Nickname={0}, port={1})</p> <p>0: wwnNickname 1: port</p> <p>指定された WWN Nickname が重複しています。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] パラメータの内容を確認してください。(WWN Nickname={0}, ポート={1}) 0: wwn 1: port</p>
KNAE07233-E	<p>The specified iSCSI Name has already been used. [Action] Verify the parameter values. (iSCSI Name={0}, port={1}) 0: iscsiName 1: port 指定された iSCSI Name が重複しています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(iSCSI Name={0}, ポート={1}) 0: iscsiName 1: port</p>
KNAE07234-E	<p>The specified iSCSI Nickname has already been used. [Action] Verify the parameter values. (iSCSI Nickname={0}, port={1}) 0: iscsiNickname 1: port 指定された iSCSI Nickname が重複しています。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(iSCSI Nickname={0}, ポート={1}) 0: iscsiNickname 1: port</p>
KNAE07235-E	<p>The operation could not complete during the monitoring time period. (operation={0}). [Action] Check the status of the remote copy pair and wait until the remote copy pair creation/split is successful. 0: operation 監視時間内にコピーペアの操作が完了しませんでした。(操作={0}) [対処] コピーペアの状態を確認し、コピーペア作成/分割が終わるまでお待ちください。 0: 操作</p>
KNAE07236-E	<p>An error occurred during the operation (operation={0}). [Cause] The status of P-vol or S-vol changed to be invalid. (Copy Pair Name={1}, P-vol Status={2}, S-vol Status={3}) [Action] A detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. 0: operation 1: Copy Pair Name 2: P-vol Status 3: S-vol Status 操作中にエラーが発生しました。(操作={0}) [原因] P-vol もしくは S-vol のペア状態が不正です。(コピーペア名={1}, P-vol のペア状態={2}, S-vol のペア状態={3}) [対処] 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口 に連絡してください。 0: 操作 1: コピーペア名 2: P-vol のペア状態</p>

メッセージID	メッセージの内容
	3: S-vol のペア状態
KNAE07237-E	Additional Virtual LDEV IDs are required for this task.(Resource Group={0}) [Action] Try using a smaller value for the "Virtual LDEV ID Starts From" parameter. 0: resource group 使用できる仮想 LDEV ID が不足しています。(リソースグループ={0}) [対処] "Virtual LDEV ID Starts From"でより小さな値を指定してください。 0: リソースグループ
KNAE07238-E	The specified pool has insufficient free space.(pool id={0}). [Action] Specify a pool with more free space or reduce the capacity of the volume to create. 0:pool id 指定されたプールの空き容量が足りません。(プール ID={0}) [対処] 空き容量の大きいプールを指定してください。もしくは作成するボリュームの容量を小さくしてください。 0: プール ID
KNAE07239-E	More LDEV IDs are required to the operation. [Action] Try smaller "start LDEV ID from" specification or regist additional ldev ids in the resource group {0}. 0: resource group 使用できる LDEV ID が不足しています。 [対処] "start LDEV ID from"でより小さな値を指定するか、LDEV ID をリソースグループ {0} に追加してください。 0: リソースグループ
KNAE07240-E	Host {0} has no usable storage port. [Action] To use one of the following paths, resolve the specified issue. Also, review the specified resource criteria. 0: host ホスト{0}に使用可能なストレージポートがありません。 [対処] 次のパスのいずれかを使用するには、その原因を取り除いてください。もし指定している場合はリソースの指定条件を見直してください。 0: host
KNAE07241-W	Cannot create a part of the path. [Action] To use the following path, resolve the specified issue. パスの一部を作成できません。 [対処] 次のパスのいずれかを使用するには、その原因を取り除いてください。
KNAE07242-I	The following resources are already in use and will be changed from the specified name: 以下のリソースは既に使用されているため、指定された名前から変更されます。
KNAE07243-W	Port {0} does not match the specified criteria '{1}'. 0: port ポート {0} は条件 {1} に合いません。 0: port
KNAE07244-W	Port {0} is a {1}. 0: port 1: port type

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>ポート {0} は {1} です。</p> <p>0: port 1: port type</p>
KNAE07245-W	<p>Port {0} is for {1}.</p> <p>[Cause] It cannot be used as a target port.</p> <p>0: port 1: port tattributes ポート {0} は {1} 用です。</p> <p>[原因] ターゲットポートとして使用することはできません。</p> <p>0: port 1: port tattributes</p>
KNAE07246-W	<p>Port {0} is not LUN security-enabled.</p> <p>0: port ポート {0} はセキュリティで保護されていません。</p> <p>0: port</p>
KNAE07247-W	<p>Resource group {0} requires free host group numbers on port {1}.</p> <p>0: resource group 1: port リソースグループ {0} にポート {1} の空きホストグループ番号が必要です。</p> <p>0: resource group 1: port</p>
KNAE07248-W	<p>The storage port {0} cannot connect to host port {1} because it is already selected to connect to another host port.</p> <p>0: port 1: port ストレージポート {0} に接続できるホストポート {1} は、すでに他のホストポートとの接続で選択されています。</p> <p>0: port 1: port</p>
KNAE07249-W	<p>The host mode '{1}' of the existing Host Group/iSCSI Target on port {0} is enabled instead of the specified '{2}'.</p> <p>0:port 1: host mode 2: host mode ポート {0} の既存のホストグループ/iSCSI ターゲットのホストモード「{1}」が、指定された「{2}」の代わりに有効になります。</p> <p>0:port 1: host mode 2: host mode</p>
KNAE07250-W	<p>The host mode options '{1}' of the existing Host Group/iSCSI Target on port {0} is enabled instead of the specified '{2}'.</p> <p>0:port 1: host mode options 2: host mode options ポート {0} の既存のホストグループ/iSCSI ターゲットのホストモードオプション「{1}」が、指定された「{2}」の代わりに有効になります。</p> <p>0:port 1: host mode options 2: host mode options</p>
KNAE07251-I	<p>On port {1}, the existing Host Group/iSCSI target named '{2}' is used for host {0}.</p> <p>0: host 1: port 2: host group</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>ポート{1}で'{2}'という名前の既存ホストグループ/iSCSI ターゲットをホスト{0}に使用します。</p> <p>0: host 1: port 2: host group</p>
KNAE07252-I	<p>Because the Host Group/iSCSI target named '{1}' is already in use on port {0}, "{2}" was created instead.</p> <p>0: port 1: host group 2: host group</p> <p>「{1}」というホストグループ/iSCSI ターゲットはポート{0}ですすでにほかの目的で使用するため、代わりに「{2}」を作成します。</p> <p>0: port 1: host group 2: host group</p>
KNAE07253-I	<p>Because the WWN Nickname '{1}' is already in use on port {0}, it was set to "{2}" instead.</p> <p>0: port 1: iSCSI Name 2: iSCSI Name</p> <p>「{1}」という WWN Nickname はポート{0}ですすでにほかの目的で使用するため、代わりに「{2}」を設定します。</p> <p>0: port 1: iSCSI Name 2: iSCSI Name</p>
KNAE07254-I	<p>Because the iSCSI Nickname '{1}' is already in use on port {0}, it was set to '{2}' instead.</p> <p>0: port 1: iSCSI Nickname 2: iSCSI Nickname</p> <p>「{1}」という iSCSI Nickname はポート{0}ですすでにほかの目的で使用するため、代わりに「{2}」を設定します。</p> <p>0: port 1: iSCSI Nickname 2: iSCSI Nickname</p>
KNAE07255-I	<p>Because the iSCSI Target Name '{1}' is already in use on port {0} , it was set to "{2}" instead.</p> <p>0: port 1: iSCSI Name 2: iSCSI Name</p> <p>「{1}」という iSCSI Target Name はポート{0}ですすでにほかの目的で使用するため、代わりに「{2}」を設定します。</p> <p>0: port 1: iSCSI Name 2: iSCSI Name</p>
KNAE07256-W	<p>The port {0} and the host port(s) {1} cannot establish a connection using the fibre switches or are not registered by the switch management server.</p> <p>0: port 1: ports</p> <p>ポート{0}とホストポート{1}はスイッチ間接続が確立できていないか、スイッチ管理サーバによって認識されていません。</p> <p>0: port 1: ports</p>
KNAE07257-I	<p>The ranking for storage ports: ストレージポートのランキング :</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07258-I	Top of the ranking of the paths: パスのランキング上位 :
KNAE07259-I	If you want to use other ports, check the ranking information in the Task Log for stepID ".../SelectPortPaths/GenerateStoragePortChoices" and ".../SelectPortPaths/SelectPortCombinations" to eliminate the cause. ほかのポートを使用するには、タスクログ stepID ".../SelectPortPaths/GenerateStoragePortChoices" and ".../SelectPortPaths/SelectPortCombinations" のランキングを確認して、原因を取り除いてください。
KNAE07260-W	There is a combination in which there is no registration between remote storage systems {0} that comprise the VSM. [Action] Register all combinations between the storage systems that comprise a VSM in Configuration Manager. 0: comma-separated storage names 指定した VSM を構成するストレージ {0} 間でリモートストレージシステムの情報が登録されていない組み合わせがあります。 [対処] VSM を構成するストレージ間のすべての組み合わせに対し Configuration Manager でリモートストレージシステムの登録を行う必要があります。 0: ストレージ名 (カンマ区切り)
KNAE07261-E	Internal Error: Web Service Connection not specified Internal Error: Web Service Connection not specified
KNAE07262-E	ESX Cluster not specified. ESX Cluster が指定されていません。
KNAE07263-E	Datastore Cluster not found. Datastore Cluster が指定されていません。
KNAE07264-E	vCenter connection failed vCenter との接続に失敗しました。
KNAE07265-E	Failed to move the Datastore to Datastore Cluster: {0} 0: status Failed to move the Datastore to Datastore Cluster: {0} 0: 状態
KNAE07266-E	The specified Target ESX Hosts {0} does not have Datastore on the specified Target Storage {1}. [Cause] Possible causes are as follows:- Specification of Target ESX Hosts or Target Storage is incorrect.- Datastore was deleted from the Target ESX Cluster. [Action] Make sure the Datastore of the specified ESX cluster is created in the specified storage, and then try again. 0: ESX Hosts 1: Storage system 指定されたターゲット ESX ホスト{0}は、指定されたターゲットストレージ{1}にデータストアを持っていません。 [原因] 考えられる原因は次のとおりです。 - ターゲット ESX ホストまたはターゲットストレージの指定が間違っています。 - データストアがターゲット ESX クラスタから削除されました。 [対処] 指定された ESX クラスタのデータストアが指定されたストレージに作成されていることを確認してから、再試行してください。 0: ESX Hosts 1: Storage system
KNAE07267-E	There is no need additional paths to the specified Target ESX Hosts {0}.

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Cause] An already added ESX host has been specified.</p> <p>[Action] Make sure the specified Target ESX Host, and then try again. 0: ESX Hosts 指定したターゲット ESX ホスト{0}への追加パスは必要ありません。</p> <p>[原因] すでに追加されている ESX ホストが指定されています。</p> <p>[対処] 指定したターゲット ESX ホストを確認してから、もう一度試してください。 0: ESX Hosts</p>
KNAE07268-W	<p>Storage port {0} is connected to host port {1} in a different resource group than specified.</p> <p>[Action] Delete the existing host group to use with {2}.</p> <p>0: Storage Port 1: Host Port 2: Resource Group</p> <p>ストレージポート {0} は指定と異なるリソースグループでホストポート {1} に接続されています。</p> <p>[対処] {2} で使用するには既存のホストグループを削除してください。 0: Storage Port 1: Host Port 2: Resource Group</p>
KNAE07269-E	<p>The user name for {3} is invalid.</p> <p>[Action] Check the connection information of the {3} in the Administration tab, and reconfigure the settings if necessary. Then, execute the task. (Connection Name:{0}, Category:{1}, User Name:{2})</p> <p>0: Connection Name 1: Category 2: User Name 3: Product Name</p> <p>Data Instance Director のユーザ名が不正です。</p> <p>[対処] 管理タブで指定した Data Instance Director の接続情報を確認後、必要に応じて再度設定してください。その後、再度タスクを実行してください。(Connection Name:{0}, Category:{1}, User Name:{2})</p> <p>0: Connection Name 1: Category 2: User Name 3: Product Name</p>
KNAE07270-E	<p>An error occurred while running the API.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the {1} error message, and then try again. ({1} message={0})</p> <p>0: message 1: Product Name</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Data Instance Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Data Instance Director メッセージ : {0})</p> <p>0: message 1: Product Name</p>
KNAE07271-E	<p>This template data flow refers to an unsupported configuration.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Refer to the Service Details for additional information.(Data Flow name:{0}, ID:{1}) 0: Data Flow Name 1: ID サポートしていない構成のテンプレートデータフローです。</p> <p>[対処] 詳細についてはサービス詳細説明表示を確認してください。(Data Flow name:{0}, ID:{1}) 0: Data Flow Name 1: ID</p>
KNAE07272-E	<p>Cannot enable the dedupe and compression function.</p> <p>[Action] Check the free space of the pool. Check the status of the volume, restart the service, and retry the operation. (Status:{0}, LDEV ID:{1}) 0: Status 1: LDEV ID ボリュームの容量削減機能を有効にできませんでした。</p> <p>[対処] プールの空き容量を確認してください。ボリュームの状態を確認し、再度実行してください。(Status:{0}, LDEV ID:{1}) 0: Status 1: LDEV ID</p>
KNAE07273-E	<p>The specified type of the source storage port does not match the target storage port type.</p> <p>[Action] Specify ports of the same type. (source storage port:{0}, port type:{1}, Target Storage Port:{2}, Port Type:{3}) 0: source storage port 1: source storage port type 2: target storage port 3: target storage port type 指定された Source Storage Port と Target Storage Port のポート種別が異なります。</p> <p>[対処] 同じポートタイプのポートを指定してください。(Source Storage Port:{0}, Port Type:{1}, Target Storage Port:{2}, Port Type:{3}) 0: source storage port 1: source storage port type 2: target storage port 3: target storage port type</p>
KNAE07274-E	<p>The specified target storage port was not found.</p> <p>[Action] Review the Storage Port Mappings. (Target Storage Port:{0}) 0: target port 指定された Target Storage Port が見つかりませんでした。</p> <p>[対処] Storage Port Mappings を見直してください。(Target Storage Port:{0}) 0: target port</p>
KNAE07275-E	<p>The required port is not specified.</p> <p>[Action] Review the Storage Port Mappings.(Source Storage Port:{0}) 0: source port 必要なポートが指定されていません。</p> <p>[対処] Storage Port Mappings を見直してください。(Source Storage Port:{0}) 0: source port</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE07276-E	<p>The port type does not match the port assigned to the specified volume. [Cause] This configuration is not supported. [Action] Check the port assigned to the specified volume. 指定されたボリュームに割り当てられているポートのポート種別が混在しています。 [原因] サポート外の構成です。 [対処] 指定されたボリュームに割り当てられているポートを確認してください。</p>
KNAE07277-E	<p>The port type assigned to the specified volume is not supported. [Action] Check the port assigned to the specified volume. (Source Storage Port:{0}, Port Type:{1}) 0: source storage port 1: source storage port type 指定されたボリュームに割り当てられているポートのポート種別がサポート外です。 [対処] 指定されたボリュームに割り当てられているポートを確認してください。 (Source Storage Port:{0}, Port Type:{1}) 0: source storage port 1: source storage port type</p>
KNAE07278-E	<p>The specified host group IDs are unavailable. [Action] Specify another port. (Target Storage Port:{0}) 0: target port 使用できるホストグループ番号が不足しています。 [対処] 別のポートを指定してください。 (Target Storage Port:{0}) 0: target port</p>
KNAE07279-E	<p>The existing host group belongs to another Virtual Storage Machine. [Action] Specify another port. (Target Storage Port:{0}, Host Group ID:{1}) 0: target port 1: host group id 既存のホストグループが異なる仮想マシンに属しています。 [対処] 別のポートを指定してください。 (Target Storage Port:{0}, Host Group ID:{1}) 0: target port 1: host group id</p>
KNAE07280-E	<p>Additional LUNs on port {0} are required to complete the operation. [Cause] The maximum value of LUNs that can be used with the specified storage combination is {2}. [Action] Specify another port. (Host Group ID:{1}) 0: target port 1: host group id 1: max LUN (hex) ポート {0} で使用できる LUN が不足しています。 [原因] 指定したストレージ組み合わせで使用できる LUN の最大値は{2}です。 [対処] 別のポートを指定してください。 (Host Group ID:{1}) 0: target port 1: host group id</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: LUN の最大値(16 進)
KNAE07281-E	<p>Fabric information for the specified paths was not found.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the switch management server for information about the port used by the paths. (Host Port: {0}, Storage Port: {1})</p> <p>0: Host Port 1: Storage Port</p> <p>指定したパスに対するファブリック情報がありません。</p> <p>[対処]</p> <p>スイッチ管理サーバの情報にパスで使用しているポートの情報が含まれるか確認してください。(ホストポート: {0}, ストレージポート: {1})</p> <p>0: Host Port 1: Storage Port</p>
KNAE07282-E	<p>An error occurred while running the Job.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the {4} error message, and then try again. ({4} message={0}, Job ID:{1}, Operation:{2}, Node:{3})</p> <p>0: message 1: Job ID 2: operatoin 3: node 4: Product Name</p> <p>Job の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Data Instance Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Data Instance Director message={0}, Job ID:{1}, Operation:{2}, Node:{3})</p> <p>0: message 1: Job ID 2: operatoin 3: node 4: Product Name</p>
KNAE07283-E	<p>Failed to get the copy pair information.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the {2} log information, and then try again. (Data Flow Name:{0}, Policy Name:{1})</p> <p>0: Data Flow Name 1: Policy Name 2: Product Name</p> <p>コピーペアの情報を取得できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>Data Instance Director のログ情報を確認して障害の原因を取り除き再度実行してください。(Data Flow Name:{0}, Policy Name:{1})</p> <p>0: Data Flow Name 1: Policy Name 2: Product Name</p>
KNAE07284-E	<p>ESX Host is not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the ESX Host.</p> <p>ESX Host が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>ESX ホストを指定してください。</p>
KNAE07285-E	<p>The specified ESX Host is not found (ESX Host={0}).</p> <p>[Action]</p> <p>Verify the ESX Host is managed by the specified vCenter Server (vCenter Server={1}).</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0: ESX Host 1: vCenter Server 指定した ESX ホストが見つかりません (ESX ホスト={0})。 [対処] ESX ホストが指定した vCenter に登録されているか確認してください (vCenter サーバ={1})。 0: ESX ホスト 1: vCenter サーバ</p>
KNAE07286-I	<p>The specified ESX Host is already in Maintenance Mode (ESX Host={0}). 0: ESX Host 指定した ESX ホストは既にメンテナンスモードに切り替わっています (ESX ホスト={0})。 0: ESX ホスト</p>
KNAE07287-I	<p>The specified ESX Host state was changed to Maintenance Mode successfully (ESX Host={0}). 0: ESX Host 指定した ESX ホストをメンテナンスモードに切り替えました (ESX ホスト={0})。 0: ESX ホスト</p>
KNAE07288-E	<p>Failed to enter Maintenance Mode. [Action] Resolve the problem according to the vCenter Server error message, and then try again. (vCenter Server message={0}) 0: vCenter message メンテナンスモードの切り替えに失敗しました。 [対処] vCenter Server のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (vCenter Server メッセージ={0}) 0: vCenter メッセージ</p>
KNAE07289-E	<p>There is a powered-off VM on the specified ESX Host though the input parameter for moving powered-off ESX Host is set (ESX Host={0}). [Action] Verify the settings on vCenter Server. 0: ESX Host パワーオフ VM の移動オプションを設定しているにもかかわらず、指定した ESX ホストにパワーオフ VM があります (ESX ホスト={0})。 [対処] vCenter での設定を確認してください。 0: ESX ホスト</p>
KNAE07290-I	<p>No datastore is registered on the specified ESX Host (ESX Host={0}). 0: ESX Host 指定した ESX ホストにデータストアが登録されていません (ESX ホスト={0})。 0: ESX ホスト</p>
KNAE07291-I	<p>The datastore has already been unmounted (Datastore Name={0}). 0: Datastore Name データストアは既にアンマウントされています (データストア名={0})。 0: データストア名</p>
KNAE07292-I	<p>The unmount datastore operation was skipped because the datastore is registered on the local device (Datastore Name={0}). 0: Datastore Name ローカルデバイスにより作成されたデータストアのため、アンマウント操作をスキップしました (データストア名={0})。 0: データストア名</p>
KNAE07293-I	<p>Unmounted the datastore successfully (Datastore Name={0}). 0: Datastore Name</p>

メッセージID	メッセージの内容
	データストアのアンマウントに成功しました (データストア名={0})。 0: データストア名
KNAE07294-E	Failed to unmount the datastore (Datastore Name={0}). [Action] Resolve the problem according to the vCenter Server error message, and then try again. (vCenter Server message={1}) 0: Datastore Name 1: vCenter message データストアのアンマウントに失敗しました (データストア名={0})。 [対処] vCenter Server のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (vCenter Server メッセージ={1}) 0: データストア名 1: vCenter メッセージ
KNAE07295-I	The unmount datastore operation was skipped because the datastore type is not "VMFS" (Datastore Name={0}, Datastore Type={1}). 0: Datastore Name 1: Datastore Type データストアタイプが"VMFS"でないため、データストアのアンマウント操作がスキップされました (データストア名={0}, データストアタイプ={1})。 0: データストア名 1: データストアタイプ
KNAE07296-I	No storage device is registered on the specified ESX Host (ESX Host={0}). 0: ESX Host 指定した ESX ホストにストレージデバイスが登録されていません (ESX Host={0})。 0: ESX ホスト
KNAE07297-I	The storage device has already been detached (Storage Device Name={0}). 0: Storage Device Name ストレージデバイスは既に切断されています(ストレージデバイス名={0})。 0: ストレージデバイス名
KNAE07298-I	Detached the storage device successfully (Storage Device Name={0}). 0: Storage Device Name ストレージデバイスの切断に成功しました (ストレージデバイス名={0})。 0: ストレージデバイス名
KNAE07299-E	Failed to detach the storage device (Storage Device Name={0}). [Action] Resolve the problem according to the vCenter Server error message, and then try again. (vCenter Server Message={1}) 0: Storage Device Name 1: vCenter Message ストレージデバイスの切断に失敗しました (ストレージデバイス名={0})。 [対処] vCenter Server のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (vCenter Server メッセージ={1}) 0: ストレージデバイス名 1: vCenter メッセージ
KNAE07300-I	The storage device detachment operation was skipped because the device is local (Storage Device Name={0}). 0: Storage Device Name ローカルデバイスのため、ストレージデバイスの切り離し操作がスキップされました (ストレージデバイス名={0})。 0: ストレージデバイス名
KNAE07301-I	The storage device detachment operation was skipped because the storage device type is not "disk" (Storage Device Name={0}, Storage Device Type={1}).

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0: Storage Device Name 1: Storage Device Type デバイスタイプが"disk"でないため、ストレージデバイスの切り離し操作がスキップされました (ストレージデバイス名={0})。 0: ストレージデバイス名 1: ストレージデバイスタイプ</p>
KNAE07302-E	<p>Can not reflect the full volume allocation attribute. [Action] Check the free space of the pool. Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: message ページ予約の設定を反映できませんでした。 [対処] プールの空き容量を確認してください。Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ: {0}) 0: message</p>
KNAE07303-E	<p>Path information for the specified host port was not found. (host port={0}). 0: Host Port 指定したホストポートに対するパス情報が見つかりませんでした。 0: Host Port</p>
KNAE07304-E	<p>The specified WWN is not in the host group. [Action] Verify the parameter values. (WWN={0}, port={1}, host group number={2}) 0: WWN 1: Port 2: Host Group Number 指定された WWN がホストグループにありません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(WWN={0}, port={1}, host group number={2}) 0: WWN 1: Port 2: Host Group Number</p>
KNAE07305-E	<p>The specified iSCSI name is not in the iSCSI target. [Action] Verify the parameter values. (iSCSI name={0}, port={1}, host group number={2}) 0: iSCSI Name 1: Port 2: Host Group Number 指定された SCSI ネーム が iSCSI ターゲットにありません。 [対処] パラメータの内容を確認してください。(iSCSI name={0}, port={1}, host group number={2}) 0: iSCSI Name 1: Port 2: Host Group Number</p>
KNAE07306-E	<p>Cannot delete the host group or iSCSI target because the WWN or iSCSI name of another host is registered to the host group or iSCSI target. (port={0}, host group number={1}) 0: Port 1: Host Group Number 別のホストの WWN または iSCSI ネームがあるため、ホストグループ/iSCSI ターゲットが削除できませんでした。(port={0}, host group number={1})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: Port 1: Host Group Number
KNAE07307-E	The BNA connection setting was not found. [Action] On the Administration tab, under Connection Settings > Web Service Connections, make sure the switch management server setting exists and is correct. BNA の接続情報がありません。 [対処] Administration タブで BNA 接続情報を追加してください。
KNAE07308-E	Web Service Connection setting was not found. Web Service Connection の接続情報が見つかりませんでした。
KNAE07309-E	There is no accessible Storage Systems. 接続可能なストレージシステムがありません。
KNAE07310-I	The specified host group (host group id={0}) is already deleted. 0: Host Group ID 指定されたホストグループ(host group id={0})は既に削除されています。 0: Host Group ID
KNAE07311-E	This configuration is not supported. [Action] Check the attributes of the specified volume. (LDEV ID={0}, invalid attribute={1}) 0: LDEV ID 1: Attributes サポート外の構成です。 [対処] 指定されたボリュームの属性を確認してください。(LDEV ID={0}, invalid attribute={1}) 0: LDEV ID 1: Attributes
KNAE07312-I	A character that is not supported in Configuration Manager was replaced with an underscore. [Action] Rename the entry as necessary.({0}) 0: value Configuration Manager でサポートされていない文字をアンダースコアに置換しました。 [対処] 必要に応じてそれらをリネームしてください。({0}) 0: value
KNAE07313-I	The specified value: {0}={1} 0: parameter 1: value 指定値: {0}={1} 0: parameter 1: value
KNAE07314-I	The task for the service request started successfully. (serviceInstanceId={0}, taskId={1}) 0: serviceInstanceId 1: taskId サービスリクエストのタスクが正常に開始されました。(serviceInstanceId={0}, taskId={1}) 0: serviceInstanceId 1: taskId
KNAE07315-E	The task for the service request did not start. (serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId

メッセージID	メッセージの内容
	サービスリクエストのタスクが開始されませんでした。(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId
KNAE07316-E	An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Automation Director error message, and then try again. (Automation Director message={0}) 0: message API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Automation Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Automation Directorr メッセージ : {0}) 0: message
KNAE07317-I	The task for the service request completed. (taskId={0}) 0: taskId サービスリクエストのタスクが完了しました。(taskId={0}) 0: taskId
KNAE07318-E	The task for the service request failed. (taskId={0}) [Action] Resolve the problem according to the Automation Director error message, and then try again. (Automation Director message={1}) 0: taskId 1: message サービスリクエストのタスクが失敗しました。(taskId={0}) [対処] Automation Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Automation Directorr メッセージ : {1}) 0: taskId 1: message
KNAE07319-I	Getting parameters for submitting service request. (serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId サービスリクエストの submit パラメータを取得します。(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId
KNAE07320-E	Invalid format. [Action] Please verify the parameter. (parameter={0}) 0: parameter 無効なフォーマットです。 [対処] パラメータを見直してください。(parameter={0}) 0: parameter
KNAE07321-I	Setting specified values for parameters.(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId 指定された値をパラメータに設定します。(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId
KNAE07322-I	Sending service request.(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId サービスリクエストを送信します。(serviceInstanceId={0}) 0: serviceInstanceId
KNAE07323-I	Task is created.(taskId={0}, url={1}) 0: taskId 1: url タスクが生成されました。(taskId={0}, url={1}) 0: taskId 1: url

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07324-I	Getting task status for task. (taskId={0}) 0: taskId タスクステータスを取得します。(taskId={0}) 0: taskId
KNAE07325-I	Task status={0} 0: taskStatus タスクステータス={0} 0: taskStatus
KNAE07326-I	The task for the service request canceled. (taskId={0}) 0: taskId サービスリクエストのタスクがキャンセルされました。(taskId={0}) 0: taskId
KNAE07327-E	The task cannot run because the selected remote connection already exists.(remote path={0}) [Action] Change either the source port, target port, or path group ID, and try again. 0:remote path 同じ設定のリモートパスがすでに存在しています。(リモートパス={0}) [対処] ソースポート, ターゲットポート もしくはパスグループ ID を変更して再度実行してください。 0:リモートパス
KNAE07328-E	The port attribute is incorrect.(port={0}) [Action] Set Fabric to OFF and Connection Type to FC - AL. 0:port id ポートの属性に誤りがあります。(ポート={0}) [対処] Fabric を OFF, Connection Type を FC-AL に設定してください。 0:ポート ID
KNAE07329-E	Failed to add remote path. [Action] Resolve the problem based on the Automation Director error message, and then try again. (Automation Director message={0}) 0: message リモートパスの追加に失敗しました。 [対処] Automation Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Automation Directorr メッセージ : {0}) 0: message
KNAE07330-E	The remote action on {0} fails with exit code: {1}, Output: {2} 0: host 1: exit code 2: remote output {0}でのリモート実行はエラーになりました。終了コード : {1} リモート出力 : {2} 0: host 1: exit code 2: remote output
KNAE07331-I	The specified volume {0} on storage {2}({3}) is already set as quorum disk ID: {1}. Therefore, configuring the quorum disk on {0} will be skipped. 0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number

メッセージID	メッセージの内容
	<p>ストレージ{2}{3}の指定した Volume {0} は既に指定した番号の QuorumDiskId={1}として設定されています。設定処理をスキップします。</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number</p>
KNAE07332-E	<p>The specified volume {0} on storage {2}{3} is already used as quorum disk ID: {1}.</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number</p> <p>ストレージ{2}{3}の指定した Volume {0} は既に QuorumDisk Id={1} として使用されています。</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number</p>
KNAE07333-E	<p>The specified quorum disk ID {1} is already used for volume {0} on the specified storage {2}{3}.</p> <p>[Action] Specify a quorum disk ID that is not used by another volume.</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number</p> <p>指定した QuorumDiskId {1} は既にストレージ{2}{3}のボリューム {0} で使用されています。</p> <p>[対処] どのボリュームにも設定されていない QuorumDiskId を選択してください。</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: model 3: serial number</p>
KNAE07334-E	<p>The virtual storage (model={0} serialNumber={1}) already exists on storages {2}.</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: storages</p> <p>仮想ストレージ (model={0} serialNumber={1}) は既にストレージ {2} 上に作成されています。</p> <p>0: LDEV 1: quorum disk id 2: storages</p>
KNAE07335-E	<p>The resource group named {0} already exists on storage {1}.</p> <p>[Action] Specify an unused name.</p> <p>0: resource group name 1: storage(s)</p> <p>{0} という名のリソースグループがストレージ {1} に既に作成されています。</p> <p>[対処] 使用されていない名前を指定してください。</p> <p>0: resource group name 1: storage(s)</p>
KNAE07336-E	<p>The specified virtual storage machine cannot be added on storage {0}.</p> <p>[Cause]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>The number of virtual storage machines on storage system {0} has reached the maximum limit.</p> <p>[Action] Change the storage system on which to add the virtual storage machine. You must specify a storage system that is wired for the specified virtual storage machine.</p> <p>0: storage(s) ストレージシステム {0} に新しい仮想ストレージマシンを追加できません。</p> <p>[原因] ストレージシステム {0} 上の仮想ストレージマシンの数が上限に達しています。</p> <p>[対処] 仮想ストレージマシンを追加するストレージシステムを変更してください。ただし、指定した VSM 用に適切に配線されているストレージシステムである必要があります。</p> <p>0: storage(s)</p>
KNAE07337-E	<p>The remote login to {0} fails.</p> <p>[Cause] The remotely log in to the host registered in the Agentless Remote Connections fails.</p> <p>[Action] In the case of Windows, make sure that the administrative shares are set. Exit code: {1}</p> <p>0: host {0}へのリモートログインに失敗しました。</p> <p>[原因] Agentless Remote Connections に設定しているホストにリモートログインできません。</p> <p>[対処] Windows の場合、管理共有が設定されていることを確認してください。終了コード {1}</p> <p>0: host</p>
KNAE07338-E	<p>Stops waiting for the completion of Configuration Manager job action.</p> <p>[Cause] The execution of the API did not complete within the time envisaged.</p> <p>[Action] Check the status of the Configuration Manager job and the storage system, remove the time-consuming cause, and try again. (Job URL : http://<userId>:<password>@<host>:<port>{0})</p> <p>0: Configuration Manager Job URL Configuration Manager ジョブ実行の終了待ちを停止します。</p> <p>[原因] API の実行が想定する時間内で終了しませんでした。</p> <p>[対処] Configuration Manager およびストレージシステムの状態を確認し時間のかかる原因を取り除き再度実行してください。(Job URL : http://<userId>:<password>@<host>:<port>{0})</p> <p>0: Configuration Manager Job URL</p>
KNAE07339-E	<p>The HORCM instance required for execution can not be started.</p> <p>[Cause] Any horcm instances of range {1}-{2} on {0} fail to start.</p> <p>[Action] Make sure any operations are not running, and delete all lock files (ex. {3}.lock) and shutdown these instances (ex. hormshutdown {2}). Set instance ranges on Raid Manager Settings to avoiding range of other applications.</p> <p>0: host 1: minumim instance number 2: maximim instance number 3: configuration file path 実行に必要な HORCM インスタンスが起動できません。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] {0}の範囲 {1}-{2} の HORCM インスタンスの起動に失敗しました。</p> <p>[対処] 操作が行われていないことを確認してからロックファイルを削除してください (ex. {3}.lock)。それからインスタンスを停止してください (ex. hormshutdown {2})。 Raid Manager Settings の設定をほかのアプリケーションで使用しているものを避けて設定してください。</p> <p>0: host 1: minumim instance number 2: maximim instance number 3: configuration file path</p>
KNAE07340-E	<p>The format of the data obtained from {3} is invalid.</p> <p>[Action] Make sure you are running the required versions of {3} and Configuration Manager. Line: {0} Problem: {1} Acquired data: {2}</p> <p>0: line number 1: problem 2: obtained data 3: Product Name</p> <p>RAID Manager から取得したデータの書式が不正です。</p> <p>[対処] RAID Manager および Configuration Manager のバージョンが要件にあっているか確認してください。行 : {0} 問題 : {1} 取得したデータ : {2}</p> <p>0: line number 1: problem 2: obtained data 3: Product Name</p>
KNAE07341-E	<p>The specified parity group has insufficient free space.(parity group id={0}).</p> <p>[Action] Specify a parity group with more free space or reduce the capacity of the volume to create.</p> <p>0:parity group id 指定されたパリティ g ループの空き容量が足りません。(パリティ g ループ ID={0})</p> <p>[対処] 空き容量の大きいパリティ g ループを指定してください。もしくは作成するボリュームの容量を小さくしてください。</p> <p>0: パリティ g ループ D</p>
KNAE07342-E	<p>Storage system {0} is locked by another process.</p> <p>[Action] Wait until the current process that is locking the storage system finishes and try again. Exit code: {1} Output: {2}</p> <p>0: storage 1: exit code 2: remote output</p> <p>ストレージシステム {0} は他の処理で長時間ロックされています。</p> <p>[対処] ストレージシステムのロックを取得している処理を終了後再度実行してください。終了コード {1} リモート出力 : {2}</p> <p>0: storage 1: exit code 2: remote output</p>
KNAE07343-E	<p>The external connection destination of the secondary storage system volume does not match the external connection destination of the primary storage system volume.</p> <p>[Action] Specify a volume with a matching destination volume.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Primary: {0}:¥t {1} Secondary: {2}:¥t {3}</p> <p>0: primary volume 1: external volume ID or primary volume 0: secondary volume 1: external volume ID or secondary volume</p> <p>ストレージシステム {0} は他の処理で長時間ロックされています。 [対処] ストレージシステムのロックを取得している処理を終了後再度実行してください。 終了コード {1} リモート出力: {2}</p> <p>0: モデル 1: シリアルナンバー</p>
KNAE07344-E	<p>No session available. 利用できるセッションはありません。</p>
KNAE07345-E	<p>Basic volume is not supported. [Action] Check parameters and try again. 基本ボリュームはサポートされていません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07346-E	<p>LDEV ID of source volume is not specified. [Action] Check parameters and try again. ソースボリュームの LDEV ID が指定されていません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07347-E	<p>Number of volumes should be more than 0. ボリュームの数は 0 より大きくする必要があります。</p>
KNAE07348-E	<p>Specified source volume "{0}" not found. [Action] Check parameters and try again. 0: LDEV ID 指定されたソースボリューム "{0}" が見つかりません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。 0: LDEV ID</p>
KNAE07349-E	<p>Created Volume not found. 作成されたボリュームが見つかりません。</p>
KNAE07350-E	<p>Failed to find available LDEV IDs. [Action] Make sure that there are enough free LDEV IDs in the resource group. Register additional LDEV IDs in the resource group, or specify the resource group in which there are enough free LDEV IDs. 利用できる LDEV ID を見つけることができませんでした。 [対処] リソースグループ内に LDEV ID の空きが十分にあることを確認してください。リソースグループに LDEV ID を登録するか、または、十分な空き LDEV ID が登録されているリソースグループを指定してください。</p>
KNAE07351-E	<p>Internal Error - number of LUNs invalid. 内部エラー LUN の数が無効です。</p>
KNAE07352-E	<p>No enough available LUNs. [Cause] The maximum available LUN value is {1}. [Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Try smaller "start LUN from" specification.</p> <p>0: port 1: max LUN (hex)</p> <p>使用できる LUN が不足しています。</p> <p>[原因] 使用できる LUN の最大値は{1}です。</p> <p>[対処] "start LUN from"でより小さな値を指定してください。</p> <p>0: ポート 1: LUN の最大値(16 進)</p>
KNAE07353-E	<p>Resource Group not found.</p> <p>リソースグループが見つかりません。</p>
KNAE07354-E	<p>Resource Group: '{0}' not found.</p> <p>0: resource group リソースグループ: '{0}'が見つかりません。</p> <p>0: resource group</p>
KNAE07355-E	<p>Unexpected error.</p> <p>未解決のエラー。</p>
KNAE07356-E	<p>Internal error occurred.</p> <p>[Cause] No pool volumes in specified Parity Group. 内部エラーが発生しました。</p> <p>[原因] 指定されたパリティグループにプールボリュームがありません。</p>
KNAE07357-E	<p>The pool cannot be shrink because one or more pool volumes needs to be kept in the pool.</p> <p>一つまたは複数のプールボリュームをプールに保持する必要があるため、プールを縮小することはできません。</p>
KNAE07358-E	<p>No available volumes in specified Parity Groups.</p> <p>[Action] Check parameters or find available parity groups, then try again. 指定されたパリティグループに使用できるボリュームがありません。</p> <p>[対処] パラメータを確認するか使用できるパリティグループを見つけてから、もう一度やり直してください。</p>
KNAE07359-E	<p>Internal Error.</p> <p>[Cause] The Parity Group is missing. Parity Group ID: {0}</p> <p>0: Parity Group ID 内部エラー。</p> <p>[原因] パリティグループがありません。パリティグループ ID: {0}</p> <p>0: Parity Group ID</p>
KNAE07360-E	<p>Storage Device ID is not specified.</p> <p>[Action] Check parameters and try again. ストレージシステム ID が指定されていません。</p> <p>[対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07361-E	<p>Pool ID is not specified.</p> <p>[Action] Check parameters and try again. プール ID が指定されていません。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07362-E	Specified pool does not exist. [Action] Check parameters and try again. Pool ID: {0} 0: Pool ID 指定されたプールは存在しません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。プール ID : {0} 0: Pool ID
KNAE07363-E	Parity Group IDs are not specified. [Action] Check parameters and try again. パリティグループ ID が指定されていません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07364-E	There is no parity group having same drive type and speed in the pool as ones of specified Parity Group: {0} 0: Parity Group ID 指定されたパリティグループのプールと同じドライブタイプと速度を持つパリティグループはありません : {0} 0: Parity Group ID
KNAE07365-E	There are no pool volumes in the specified pool, which are created from the specified Parity Group. Pool ID: {0}, Parity Group ID: {1} [Action] Check parameters and try again. 0: Pool ID 1: Parity Group ID 指定されたプールには、指定されたパリティグループのプールボリュームが存在しません。プール ID : {0}, パリティグループ ID: {1} [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。 0: Pool ID 1: Parity Group ID
KNAE07366-E	The number of pool volumes will exceed the maximum number of pool volumes. Maximum Number of Pool Volumes: {0}, Number of Pool Volumes: {1} [Action] Check parameters and try again. 0: Maximum Number of Pool Volumes 1: Number of Pool Volumes プールボリュームの数が上限を超えています。最大プールボリューム数: {0}, プールボリューム数: {1} [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。 0: Maximum Number of Pool Volumes 1: Number of Pool Volumes
KNAE07367-E	Failed to find virtual storage machine. [Action] Check the parameters and then try again. 仮想ストレージマシンが見つかりませんでした。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07368-E	When the source volume belongs to the resource group 'meta_resource', only meta_resource can be specified for the resource group. [Cause] The movement of LDEV ID to meta_resource is currently not supported.

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Specify meta_resource for the resource group, or omit specification. Even if not specified, LDEV ID is searched from meta_resource. ソースボリュームがリソースグループ'meta_resource'に属するとき、リソースグループに指定できるのは meta_resource だけです。</p> <p>[原因] meta_resource への LDEV ID 移動は現在サポートされていません。</p> <p>[対処] リソースグループに meta_resource を指定するか、指定を省略してください。指定しない場合も、LDEV ID は meta_resource から検索されます。</p>
KNAE07369-E	<p>The resource group of the source volume is on the default virtual storage machine. You cannot specify a resource group on the non-default virtual storage machine.</p> <p>[Cause] The movement of LDEV ID from a non-default virtual storage machine different from the source is currently not supported.</p> <p>[Action] Specify the resource group on the default virtual storage machine. If not specified, LDEV ID is searched from the same resource group as the source volume. ソースボリュームのリソースグループが default 仮想ストレージマシン上にあります。non-default 仮想ストレージマシン上のリソースグループは指定できません。</p> <p>[原因] ソースと異なるデフォルト以外の仮想ストレージマシンからの LDEV ID 移動は現在サポートされていません。</p> <p>[対処] default 仮想ストレージマシン上のリソースグループを指定してください。指定しない場合は LDEV ID はソースボリュームと同じリソースグループから検索されます。</p>
KNAE07370-E	<p>The specified resource group and the resource group of the source volume are on different non-default virtual storage machines.</p> <p>[Cause] The movement of LDEV ID from a non-default virtual storage machine different from the source is currently not supported.</p> <p>[Action] Specify meta_resource or the resource group on the same virtual storage machine as the source volume. If not specified, LDEV ID is searched from the same resource group as the source volume. 指定したリソースグループとソースボリュームのリソースグループは異なる non-default 仮想ストレージマシン上にあります。</p> <p>[原因] ソースと異なるデフォルト以外の仮想ストレージマシンからの LDEV ID 移動は現在サポートされていません。</p> <p>[対処] meta_resource またはソースボリュームと同じ仮想ストレージ・マシン上のリソースグループを指定してください。指定しない場合、LDEV ID はソースボリュームと同じリソースグループから検索されます。</p>
KNAE07371-E	<p>No LU paths are set for the specified source volume.</p> <p>[Action] Check parameters and try again. 指定されたソースボリュームには LU パスが設定されていません。</p> <p>[対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07372-E	<p>Virtual LDEV ID is not assigned to the specified source volume.</p> <p>[Action] Check parameters and try again. 指定されたソースボリュームには仮想 LDEV ID が付与されていません。</p> <p>[対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07373-E	Port {0} does not match the specified criteria '{1}'. 0: port ポート {0} は条件 {1} に合いません。 0: port
KNAE07374-E	Port {0} is a {1}. 0: port 1: port type ポート {0} は {1} です。 0: port 1: port type
KNAE07375-E	Port {0} is for {1}. [Cause] It cannot be used as a target port. 0: port 1: port tattributes ポート {0} は {1} 用です。 [原因] ターゲットポートとして使用することはできません。 0: port 1: port tattributes
KNAE07376-E	Port {0} is not LUN security-enabled. 0: port ポート {0} はセキュリティで保護されていません。 0: port
KNAE07377-E	An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem based on the ServiceNow Table API error message, and then try again. (Table API message={0}) 0: message API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] ServiceNow Table API のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (Table API メッセージ:{0}) 0: message
KNAE07378-E	The specified HTTP Method is incorrect. [Action] Specify another HTTP Method from POST, PUT or GET. 指定した HTTP メソッドは不正です。 [対処] POST, PUT, GET の中から指定してください。
KNAE07379-I	The specified ESX Cluster has no accessible ESX Host. 指定された ESX クラスタにアクセス可能な ESX ホストがありません。
KNAE07380-I	No Partition GUID to exclude is specified. 除外するディスクパーティション GUID が指定されていません。
KNAE07381-I	Excluded Disk Name List: {0} 0: diskNameList 除外ディスク名リスト: {0} 0: diskNameList
KNAE07382-E	This configuration is not supported. [Cause] ESX boot volume is assigned to multiple ESX Hosts. (boot volume={0}) [Action] Make sure that each ESX Host have its own boot LUN, and then try again. 0: bootVolume

メッセージID	メッセージの内容
	<p>サポート外の構成です。</p> <p>[原因] ESX boot ボリュームが複数の ESX ホストに割り当てられています。(boot volume: {0})</p> <p>[対処] ESX ホスト毎に独自の起動 LUN を持つことを確認し、再度実行してください。 0: bootVolume</p>
KNAE07383-I	<p>This request will not be executed, because the LUN Path for SAN Boot is remaining. (Request={0}, Method={1})</p> <p>0: request 1: method</p> <p>SAN ブート用の LU パスが残っているため、このリクエストは実行されません。(Request={0}, Method={1})</p> <p>0: request 1: method</p>
KNAE07384-E	<p>The specified Target ESX Host doesn't have any Datastore except Boot Disk.</p> <p>[Cause] Possible causes are as follows:- Specification of Target ESX Host is incorrect.- Datastore was deleted from the Target ESX Cluster.- The Storage in which the Datastore is created is not registered to Configuration Manager.</p> <p>[Action] Make sure the Datastore of the specified ESX cluster is created and the Storage is registered to Configuration Manager, and then try again. 対象の ESX ホスト上にブートディスク以外にデータストアがありません。</p> <p>[原因] 考えられる原因は次の通りです。 - ターゲット ESX ホストの指定が間違っています。 - データストアがターゲット ESX クラスタから削除されました。 - データストアが作られたストレージが Configuration Manager に登録されていません。</p> <p>[対処] 指定された ESX クラスタのデータストアが作成され、Configuration Manager にストレージが登録されていることを確認してから、再試行してください。</p>
KNAE07385-W	<p>The resource group of the port {0} and the specified resource group {1} are on different virtual storage machines.</p> <p>0: port 1: resourceGroup</p> <p>ポート{0}が属するリソースグループと指定されたリソースグループ{1}が異なる仮想ストレージ装置に属しています。</p> <p>0: port 1: resourceGroup</p>
KNAE07386-E	<p>No available storages was found.</p> <p>[Action] Register storage in Configuration Manager.(Configuration Manager = {0})</p> <p>0:Configuration Manager</p> <p>利用可能なストレージが見つかりませんでした。</p> <p>[対処] Configuration Manager にストレージを登録してください。.(Configuration Manager = {0})</p> <p>0:Configuration Manager</p>
KNAE07387-E	<p>No available storage was found.</p> <p>[Action] Check the pool setting of each storage.(Configuration Manager = {0})</p> <p>0:Configuration Manager</p> <p>利用可能なストレージが見つかりませんでした。</p> <p>[対処] 各ストレージのプールの設定を確認してください。.(Configuration Manager = {0})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:Configuration Manager
KNAE07388-E	<p>No available pool was found.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the pool setting of each storage system. If the disk type was specified, review the disk type settings. .(Configuration Manager = {0})</p> <p>0:Configuration Manager</p> <p>利用可能なプールが見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>各ストレージのプールの設定を確認してください。 Disk Type を指定している場合は設定を確認してください。 .(Configuration Manager = {0})</p> <p>0:Configuration Manager</p>
KNAE07389-E	<p>No available pool was found.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the pool setting of storage. (model = {0} ,serial number = {1})</p> <p>0:model</p> <p>1:serial number</p> <p>利用可能なプールが見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージのプールの設定を確認してください。 (モデル = {0} ,シリアル番号 = {1})</p> <p>0:モデル</p> <p>1:シリアル番号</p>
KNAE07390-E	<p>The specified pool was not available.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the pool.(model = {0} ,serial number = {1}, pool id = {2})</p> <p>0:model</p> <p>1:serial number</p> <p>2:pool id</p> <p>指定されたプールが見つかりませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>プールの設定を確認してください。 (モデル = {0} ,シリアル番号 = {1}, プール ID = {2})</p> <p>0:モデル</p> <p>1:シリアル番号</p> <p>2:プール ID</p>
KNAE07391-E	<p>The specified volume usage of the S-VOL is invalid.</p> <p>[Cause]</p> <p>The specified volume usage of the S-VOL does not match the P-VOL.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified volume usage of the S-VOL, and then try again.</p> <p>指定された S-VOL のボリューム用途が不正です。</p> <p>[原因]</p> <p>指定された P-VOL と S-VOL のボリューム用途が一致しません。</p> <p>[対処]</p> <p>P-VOL と S-VOL に指定したボリューム用途を見直し、再度、サービスを実行してください。</p>
KNAE07392-E	<p>Backup Host Group Settings are not specified.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify Backup Host Group Settings.</p> <p>Backup Host Group Settings が指定されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>Backup Host Group Settings を指定してください。</p>
KNAE07393-E	<p>The specified volume ldev ID of the S-VOL is invalid.</p> <p>[Cause]</p> <p>The specified volume ldev ID of the S-VOL does not match the P-VOL.</p> <p>[Action]</p> <p>Revise the specified volume ldev ID of the S-VOL, and then try again.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>指定された S-VOL の LDEV ID が不正です。</p> <p>[原因] 指定された P-VOL と S-VOL の LDEV ID が一致しません。</p> <p>[対処] P-VOL と S-VOL に指定した LDEV ID を見直し、再度、サービスを実行してください。</p>
KNAE07394-E	<p>Creating a copy pair failed. (Copy Group Name={0}, Copy Pair Name={1}, P-VOL LDEV ID={2}, S-VOL LDEV ID={3})</p> <p>[Cause] An error occurred while running the API.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={4})</p> <p>0:Copy Group Name 1:Copy Pair Name 2:P-VOL LDEV ID 3:S-VOL LDEV ID 4:Configuration Manager Message</p> <p>コピーペアの作成に失敗しました。(コピーグループ名={0}, コピーペア名={1}, P-VOL LDEV ID={2}, S-VOL LDEV ID={3})</p> <p>[原因] API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {4})</p> <p>0:コピーグループ名 1:コピーペア名 2:P-VOL LDEV ID 3:S-VOL LDEV ID 4:Configuration Manager Message</p>
KNAE07395-E	<p>Creating a copy pair failed. (Copy Group Name={0}, Copy Pair Name={1}, P-VOL LDEV ID={2}, S-VOL LDEV ID={3})</p> <p>[Cause] An error occurred while running the API.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Automation Director error message, and then try again. (Automation Director message={4})</p> <p>0:Copy Group Name 1:Copy Pair Name 2:P-VOL LDEV ID 3:S-VOL LDEV ID 4:Automation Director message</p> <p>コピーペアの作成に失敗しました。(コピーグループ名={0}, コピーペア名={1}, P-VOL LDEV ID={2}, S-VOL LDEV ID={4})</p> <p>[原因] API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Automation Director のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Automation Director メッセージ : {4})</p> <p>0:コピーグループ名 1:コピーペア名 2:P-VOL LDEV ID 3:S-VOL LDEV ID 4:Automation Director message</p>
KNAE07396-E	<p>Failed to create all copy pairs.</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Check the Task Log and resolve the problem according to the error message. すべてのコピーペアの作成に失敗しました。</p> <p>[対処] タスクログを確認し、エラーメッセージの内容に従って対処を実行してください。</p>
KNAE07397-W	<p>Failed to create some of the copy pairs. (Number of failed copy pairs={0})</p> <p>[Action] Check the Task Log and resolve the problem according to the error message. 0:num of failed pairs 一部のコピーペアの作成に失敗しました。(作成失敗したコピーペアの数={0})</p> <p>[対処] タスクログを確認し、エラーメッセージの内容に従って対処を実行してください。 0:作成失敗ペア数</p>
KNAE07398-E	<p>The combination of the specified storage models is invalid.</p> <p>[Action] Check the specified storages. 指定されたストレージモデルの組み合わせが不正です。</p> <p>[対処] ストレージの指定を見直してください。</p>
KNAE07399-E	<p>The total number of specified volumes exceeds the max value. (Max number of volumes: {0})</p> <p>[Action] Check the specified number of volumes. 0:Max number of volumes ボリューム数の合計数が指定可能な最大値を超えています。(最大値: {0})</p> <p>[対処] 指定したボリューム数を見直してください。 0:最大ボリューム数</p>
KNAE07400-E	<p>Required property is not specified. (Property key: {0})</p> <p>[Action] Check the specified property values. 0:Property Key 必要なプロパティが指定されていません。(プロパティキー: {0})</p> <p>[対処] 指定したプロパティ値を見直してください。 0:プロパティキー</p>
KNAE07401-E	<p>Information about remote storage system is not registered on the Configuration Manager REST API server.</p> <p>[Action] Register information about the remote storage system on the Configuration Manager REST API server of the local storage system. リモートストレージシステムの情報が Configuration Manager REST API サーバに登録されていません。</p> <p>[対処] ローカルストレージシステムの Configuration Manager REST API サーバにリモートストレージシステムの情報を登録してください。</p>
KNAE07402-E	<p>The specified copy group name is already exists.</p> <p>[Action] Check the storage settings and specify the copy group name which is not being used yet. 指定したコピーグループ名は既に存在します。</p> <p>[対処] ストレージの設定を確認し、まだ使用されていないコピーグループ名を指定してください。</p>
KNAE07403-E	<p>The primary and secondary of the storage is reverse between the existing copy group pairs and the pairs to be added.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Check the remote replication settings. 既存のコピーグループと追加するペアの間で、ストレージのプライマリとセカンダリが逆になっています。 [対処] リモートコピーの設定を見直してください。</p>
KNAE07404-E	<p>The replication type of the existing copy group pair does not match the replication type of the pairs to be added. [Action] Check the remote replication settings. 既存のコピーグループのコピー種別が、追加するペアのコピー種別と一致しません。 [対処] リモートコピーの設定を見直してください。</p>
KNAE07405-E	<p>ESXi host not specified. ESXi host が指定されていません。</p>
KNAE07406-E	<p>Datastore not found. Datastore が見つかりません。</p>
KNAE07407-E	<p>Cannot get the information of the created Copy Pair. [Cause] The data format obtained from {0} is invalid. The {0} server version may be unsupported. [Action] Make sure that the {0} server version is supported. 0:Product Name 作成したコピーペアの情報が取得できませんでした。 [原因] {0}から取得したデータの書式が不正です。{0}のバージョンがサポート外の可能性があります。 [対処] 使用している{0}サーバのバージョンを見直してください。 0:Product Name</p>
KNAE07408-E	<p>The specified Source Volume has a path of LUN values exceeding {0}. [Action] For Target Storage, specify storage that can allocate more than {0} LUNs. 0: max LUN (hex) 指定した Source Volume には{0}を超える LUN 値のパスが割り当てられています。 [対処] Target Storage には{0}を超える LUN が割り当て可能なストレージを指定してください。 0: LUN の最大値(16 進)</p>
KNAE07409-E	<p>No LU paths are set for the specified target volume. [Action] Check parameters and try again. 指定されたターゲットボリュームには LU パスが設定されていません。 [対処] パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07410-E	<p>Creating a pair between volumes with a LUN value of more than 2047 or less than 2048 is unsupported. (LDEV IDs: {0}) [Action] Create a pair between volumes with a LUN value of less than 2048 or create a pair between volumes with a LUN value of more than 2047. 0: LDEV IDs of volume of LUN more than 2047 LUN が 2047 を超えるボリュームと LUN が 2048 未満のボリュームでペアを作成することはサポート範囲外です。(LDEV IDs: {0}) [対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	LUN が 2048 未満のボリューム同士でペア作成を行うか、2047 を超える LUN を作成できるストレージ同士でペア作成してください。 0: LUN が 2047 を超えるボリュームの LDEV IDs
KNAE07411-E	Creating a pair between volumes with a LUN value of more than 2047 or less than 2048 is unsupported. [Action] Change the LUN Starts From value to less than 2048 or create a pair between volumes with a LUN value of more than 2047. LUN が 2047 を超えるボリュームと LUN が 2048 未満のボリュームでペアを作成することはサポート範囲外です。 [対処] LUN Starts From の値を 2048 未満に変更するか、2047 を超える LUN を作成できるストレージ同士でペア作成してください。
KNAE07412-E	The port type does not match the port assigned to the specified hosts. [Cause] This configuration is not supported. [Action] Check the port assigned to the volumes that is attached to the specified hosts. The port type does not match the port assigned to the specified hosts. [原因] This configuration is not supported. [対処] Check the port assigned to the volumes that is attached to the specified hosts.
KNAE07413-E	The selected hosts does not have WWN and iSCSI name. [Action] Select the hosts that has WWN or iSCSI name. The selected hosts does not have WWN and iSCSI name. [対処] Select the hosts that has WWN or iSCSI name.
KNAE07414-E	The selected hosts has volumes that is attached from multiple storage systems. [Action] Select the hosts that has volumes that is attached from single storage system. The selected hosts has volumes that is attached from multiple storage systems. [対処] Select the hosts that has volumes that is attached from single storage system.
KNAE07415-E	The specified source storage port was not found. [Action] Review the storage port mappings (Source Storage Port:{0}). 0:Source Storage Port The specified source storage port was not found. [対処] Review the storage port mappings (Source Storage Port:{0}). 0:Source Storage Port
KNAE07416-E	The source volume attached to the selected host is not found. [Action] Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again. The source volume attached to the selected host is not found. [対処] Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again.
KNAE07417-E	The source storage system that provides the volumes to the selected hosts is not found.

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action]</p> <p>Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again.</p> <p>The source storage system that provides the volumes to the selected hosts is not found.</p> <p>[対処]</p> <p>Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again.</p>
KNAE07418-E	<p>The Configuration Manager is not found for the source storage system that provides the volumes to the selected hosts.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again.</p> <p>The Configuration Manager is not found for the source storage system that provides the volumes to the selected hosts.</p> <p>[対処]</p> <p>Make sure the selected hosts have the volumes attached to the storage system, the storage system registered to Configuration Manager, and the Configuration Manager is registered in Web Service Connections, and then try again.</p>
KNAE07419-E	<p>The specified target storage system is the same as the source storage system that provides the volumes to the selected hosts.</p> <p>[Action]</p> <p>Review the target storage system.</p> <p>The specified target storage system is the same as the source storage system that provides the volumes to the selected hosts.</p> <p>[対処]</p> <p>Review the target storage system.</p>
KNAE07420-E	<p>The volume is not attached to the host.</p> <p>[Cause]</p> <p>The configuration information for the storage system contained in Configuration Manager might be outdated.</p> <p>[Action]</p> <p>Refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager and try again. (model:{0}, serial number:{1})</p> <p>0:model 1:serial number</p> <p>The volume is not attached to the host.</p> <p>[原因]</p> <p>The configuration information for the storage system contained in Configuration Manager might be outdated.</p> <p>[対処]</p> <p>Refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager and try again. (model:{0}, serial number:{1})</p> <p>0:model 1:serial number</p>
KNAE07421-E	<p>The volume attached to the host is not found in the storage system.</p> <p>[Cause]</p> <p>The configuration information for the storage system contained in Configuration Manager might be outdated.</p> <p>[Action]</p> <p>Refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager and try again. (model:{0}, serial number:{1})</p> <p>0:model</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1:serial number</p> <p>The volume attached to the host is not found in the storage system.</p> <p>[原因]</p> <p>The configuration information for the storage system contained in Configuration Manager might be outdated.</p> <p>[対処]</p> <p>Refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager and try again. (model:{0}, serial number:{1})</p> <p>0:model</p> <p>1:serial number</p>
KNAE07422-E	<p>The configuration of specified hosts or attached volumes is changed in the storage system.</p> <p>[Cause]</p> <p>The host groups and volumes will not be deleted if you check the migration settings checkboxes.</p> <p>[Action]</p> <p>Select the new volumes attached to the host and try again if needed.</p> <p>The configuration of specified hosts or attached volumes is changed in the storage system.</p> <p>[原因]</p> <p>The host groups and volumes will not be deleted if you check the migration settings checkboxes.</p> <p>[対処]</p> <p>Select the new volumes attached to the host and try again if needed.</p>
KNAE07423-E	<p>Could not get the performance information.(message = {0},server = {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the log to see the status of the server providing the performance information. (server = {1})</p> <p>0:message</p> <p>1:name(wsc)</p> <p>パフォーマンス情報を取得できませんでした。。 (message = {0},server = {1})</p> <p>[対処]</p> <p>ログを確認して、パフォーマンス情報を提供しているサーバーの状態を確認してください。 (server = {1})</p> <p>0:メッセージ</p> <p>1:name(wsc)</p>
KNAE07424-E	<p>An error occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to Hitachi Scale-out Storage error message, and then try again. (Hitachi Scale-out Storage message={0})</p> <p>0:Sophia Message</p> <p>APIの実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Hitachi Scale-out Storage のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (Hitachi Scale-out Storage メッセージ : {0})</p> <p>0:Sophia Message</p>
KNAE07425-E	<p>The specified resource information is not found. (Resource Name={0}, ID={1})</p> <p>0:Resource Name</p> <p>1:Id</p> <p>指定されたリソースの情報が見つかりません。 (リソース名={0}, ID={1})</p> <p>0:Resource Name</p> <p>1:Id</p>
KNAE07426-E	<p>No initiator information is registered to the specified compute node. (Compute Node={0})</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Register initiator information and add path information to the compute node, and then try again.</p> <p>0:Compute Node</p> <p>指定されたコンピュータノードにイニシエーター情報が登録されていません。(コンピュータノード={0})</p> <p>[対処]</p> <p>コンピュータノードにイニシエーター情報を登録後、パス情報を追加し、再度実行してください。</p> <p>0:Compute Node</p>
KNAE07427-E	<p>No path information is added to the specified compute node. (Compute Node={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Add path information to the compute node, and then try again.</p> <p>0:Compute Node</p> <p>指定されたコンピュータノードにパス情報が追加されていません。(コンピュータノード={0})</p> <p>[対処]</p> <p>コンピュータノードにパス情報を追加し、再度実行してください。</p> <p>0:Compute Node</p>
KNAE07428-E	<p>The storage controller has insufficient free space. (Volume Usage={0}, Number of Volumes={1}, Volume Capacity={2}MiB, Logical Limit={3}MiB)</p> <p>[Action]</p> <p>Reduce the capacity or the number of volumes to create.</p> <p>0:Volume Usage</p> <p>1:Number of Volumes</p> <p>2:Volume Capacity</p> <p>3:Logical Limit</p> <p>ストレージコントローラーの論理容量が不足しています。(Volume Usage={0}, Number of Volumes={1}, Volume Capacity={2}MiB, Logical Limit={3}MiB)</p> <p>[対処]</p> <p>作成するボリュームの容量を小さくするか、ボリューム数を減らして再度実行してください。</p> <p>0:Volume Usage</p> <p>1:Number of Volumes</p> <p>2:Volume Capacity</p> <p>3:Logical Limit</p>
KNAE07429-I	<p>Stops waiting for the completion of the job action. (Job ID={0}, Status={1}, State={2})</p> <p>[Cause]</p> <p>The execution of the API did not complete within the time envisaged.</p> <p>[Action]</p> <p>Configure the situation of the job by executing API. For details, refer to the Hitachi Scale-out Storage REST API manual.</p> <p>0:Job ID</p> <p>1:Status</p> <p>2:State</p> <p>Job 実行の終了待ちを停止します。(Job ID={0}, Status={1}, State={2})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行が想定する時間内で終了しませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>API を実行して Job の状況を確認してください。詳細は、Hitachi Scale-out Storage の REST API マニュアルを参照してください。</p> <p>0:Job ID</p> <p>1:Status</p> <p>2:State</p>
KNAE07430-I	<p>The job was retried. (Job ID={0}, RetryCount={1})</p> <p>0:Job ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	1:Count Job を再実行しました。(Job ID={0}, RetryCount={1}) 0:Job ID 1:Count
KNAE07431-E	Failed to create one or more volumes. (Number of failed volumes={0}) [Action] Check the Task Log and resolve the problem according to the error message. 0:Number of failed volume 一つまたは複数のボリュームの作成に失敗しました。(作成失敗したボリュームの数={0}) [対処] タスクログを確認し、エラーメッセージの内容にしたがって対処を実行してください。 0:Number of failed volume
KNAE07432-I	Succeeded to create volume(s). (Volume ID={0}, Job={1}) 0:Volume ID 1:Job ボリュームの作成に成功しました。(Volume ID={0}, Job={1}) 0:Volume ID 1:Job
KNAE07433-I	Failed to create volume(s). (Job ID={0}, Message={1}) [Action] Resolve the problem according to the message. 0:Job ID 1:Message ボリュームの作成に失敗しました。(Job ID={0}, Message={1}) [対処] メッセージの内容にしたがって対処を実行してください。 0:Job ID 1:Message
KNAE07434-E	Failed to create one or more volume-server-connections. (Number of failed volume-server-connections={0}) [Action] Check the Task Log and resolve the problem according to the error message. 0:Number of failed volume-server-connections 一つまたは複数のボリュームとコンピュータノードの接続に失敗しました。(作成失敗したボリュームとコンピュータノード接続の数={0}) [対処] タスクログを確認し、エラーメッセージの内容にしたがって対処を実行してください。 0:Number of failed volume-server-connections
KNAE07435-I	Succeeded to create volume-server-connection(s). (volume-server-connection ID={0}, Job={1}) 0:volume-server-connection ID 1:Job ボリュームとコンピュータノードの接続に成功しました。(volume-server-connection ID={0}, Job={1}) 0:volume-server-connection ID 1:Job
KNAE07436-I	Failed to create volume-serve-connection(s). (Job ID={0}, Message={1}) [Action] Resolve the problem according to the message. 0:Job ID 1:Message ボリュームとコンピュータノードの接続に失敗しました。(Job ID={0}, Message={1}) [対処] メッセージの内容にしたがって対処を実行してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:Job ID 1:Message
KNAE07437-E	<p>The number of characters of specified volume nickname exceeds the max value. (Base Name={0}, Number of Volumes={1}, Number of Digits={2})</p> <p>[Action]</p> <p>Set the total number of characters equals to or less than 32 characters, and then try again.</p> <p>0:Base Name 1:Number of Volumes 2:Number of Digits</p> <p>ボリュームのニックネームの文字数が上限を超えています。(Base Name={0}, Number of Volumes={1}, Number of Digits={2})</p> <p>[対処]</p> <p>Base Name と通番の桁数の合計が 32 文字以内になるよう設定し、再度実行してください。</p> <p>0:Base Name 1:Number of Volumes 2:Number of Digits</p>
KNAE07438-W	<p>No available pools satisfied the specified Pool BusyRate.</p> <p>[Cause]</p> <p>Possible reasons:-Pool performance information could not be obtained. -There was no pool satisfying the specified Pool BusyRate.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the specified Pool BusyRate. If necessary, check the log to see the status of the server providing the performance information. (Pool BusyRate = {0}, server = {1})</p> <p>0:PoolBusyRate 1:Server</p> <p>Pool BusyRate を満たす利用可能なプールは見つかりませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールの性能情報が取得できなかった ・PoolBusyRate を満たすプールがなかった <p>[対処]</p> <p>指定した Pool BusyRate の値を確認してください。もしくは、ログを確認して、パフォーマンス情報を提供しているサーバーの状態を確認してください。(指定した Pool BusyRate = {0}, server = {1})</p> <p>0:PoolBusyRate 1:Server</p>
KNAE07439-W	<p>Failed to get the associated parity group's information of each pool in the target storage system. (Storage SerialNumber = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the log to see the status of the server providing the performance information. (server = {1})</p> <p>0: SerialNumber 1: Server</p> <p>対象のストレージの各プールに関連する PG の情報が取得できませんでした。(SerialNumber = {0})</p> <p>[対処]</p> <p>ログを確認して、パフォーマンス情報を提供しているサーバーの状態を確認してください。(server = {1})</p> <p>0: SerialNumber 1: Server</p>
KNAE07440-W	<p>Failed to get the associated parity group's information of the target pool. (Storage SerialNumber = {0}, PoolID = {1})</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Check the log to see the status of the server providing the performance information. (server = {2}) 0: SerialNumber 1: PoolID 2: Server 対象のプールに関連する PG の情報が取得できませんでした。(Storage SerialNumber = {0}, PoolID = {1}) [対処] ログを確認して、パフォーマンス情報を提供しているサーバーの状態を確認してください。(server = {2}) 0: SerialNumber 1: PoolID 2: Server</p>
KNAE07441-E	<p>Unable to update the zoning information. [Cause] An error has occurred while running the API. [Action] Check fabric status by using the switch management server, and confirm the settings and update as needed. Resolve the problem according to the switch management server error message. (Name:{0}, Category:{1}, Fabric Name:{2}, VSAN Name:{3}, Switch management server message={4}) If the switch management server message is related to zone mode, reconfirm the Zone Mode value specified in the service. 0: Connection Name 1: category 2: Fabric Name 3: VSAN Name 4: message Zone 情報を設定できませんでした。 [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] スイッチ管理サーバでファブリックの状態を確認し、必要に応じて設定の修正を行ってください。スイッチ管理サーバのメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。(接続名 : {0}, カテゴリ : {1}, ファブリック名 : {2}, VSAN 名 : {3}, スイッチ管理サーバメッセージ : {4}) スイッチ管理サーバのメッセージがゾーンモードに関する内容だった場合は、サービスで指定したゾーンモードの値を再確認してください。 0: Connection 名 1: category 2: ファブリック名 3: VSAN 名 4: メッセージ</p>
KNAE07442-E	<p>No source volume is assigned to a Virtual Storage Machine. [Action] Source Volumes must belong to a single Virtual Storage Machine. Check the parameters and try again. 移行元ボリュームが仮想ストレージマシンに属していません。 [対処] 移行元ボリュームはただ 1 つの仮想ストレージマシンに割り当てられている必要があります。パラメータを確認してもう一度試してください。</p>
KNAE07443-E	<p>Source Volumes are assigned to multiple Virtual Storage Machines. [Action] Source Volumes must belong to a single Virtual Storage Machine. Check the parameters and try again. 移行元ボリュームが複数の仮想ストレージマシンに属しています。 [対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	移行元ボリュームはただ1つの仮想ストレージマシンに割り当てられている必要があります。パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07444-E	No source host is assigned to a Virtual Storage Machine. [Action] Source Hosts must have volumes that are attached to a single Virtual Storage Machine. Check the parameters and try again. 仮想ストレージマシンに割り当てられている移行元ホストが存在しません。 [対処] 移行元ホストはただ1つの仮想ストレージマシンに割り当てられている必要があります。パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07445-E	Source Hosts are attached to multiple Virtual Storage Machines. [Action] Source Hosts must have volumes that are attached to a single Virtual Storage Machine. Check the parameters and try again. 移行元ホストが複数の仮想ストレージマシンに割り当てられています。 [対処] 移行元ホストはただ1つの仮想ストレージマシンに割り当てられている必要があります。パラメータを確認してもう一度試してください。
KNAE07446-E	Storage Port Mapping is invalid. [Action] Check the port mapping settings and try again. ポートのマッピング情報が不正です。 [対処] ポートマッピング情報を見直してもう一度実行してください。
KNAE07447-E	The specified target resource group does not belong to the same Virtual Storage Machine as the source hosts. [Action] Check the specified target resource group. 指定された移行先リソースグループが属する仮想ストレージマシンが移行元ホストの属する仮想ストレージマシンと異なります。 [対処] 移行先リソースグループの指定を見直してください。
KNAE07448-E	The specified target resource group does not belong to the same Virtual Storage Machine as the source volumes. [Action] Check the specified target resource group. 指定された移行先リソースグループが属する仮想ストレージマシンが移行元ボリュームの属する仮想ストレージマシンと異なります。 [対処] 移行先リソースグループの指定を見直してください。
KNAE07449-E	No available storage systems were found. [Action] Check whether the source storage system to which the specified source hosts are attached is the same as the storage system registered in Configuration Manager. (Configuration Manager={0}) 0: Configuration Manager Name 利用可能なストレージシステムが見つかりませんでした。 [対処] 指定されたホストのボリュームが割り当てられているストレージシステムと、Configuration Managerに登録しているストレージシステムが一致するか確認してください。 (Congiguration Manager={0}) 0: Configuration Manager Name
KNAE07450-E	Reclaiming zero pages of a volume failed. (LDEV ID={0}) [Cause] An error occurred while running the API.

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={1}) 0: LdevID 1: Configuration Manager Error Message ボリュームのゼロデータページの破棄に失敗しました。(LDEVID={0})</p> <p>[原因] API の実行中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Configuration Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Configuration Manager メッセージ:{1}) 0: LdevID 1: Configuration Manager Error Message</p>
KNAE07451-E	<p>When migrating volumes for which the capacity saving function (compression or deduplication) is enabled, you must enable "Force copy for capacity saving volume". (LDEV ID={0}) 0: LdevID 容量削減機能(圧縮および重複排除)が有効なボリュームを強制的に移行する場合、"Force copy for capacity saving volume"オプションを有効にする必要があります。 0: LdevID</p>
KNAE07452-E	<p>Not enough free LDEV IDs. [Action] Make sure that there are enough free LDEV IDs in the specified target resource group or meta_resource of the target storage system, and then try again. 空き LDEV ID が不足しています [対処] 指定した移行先リソースグループまたは移行先ストレージの meta_resource 内に LDEV ID の空きが十分にあることを確認し、再度実行してください。</p>
KNAE07453-E	<p>The specified source volumes contain a secondary volume of a clone copy pair. (LDEV ID={0}) [Cause] This configuration is not supported. [Action] Review the configuration, and then try again. 0: LdevID 指定された移行元ボリュームがクローンのセカンダリボリュームを含んでいます。(LDEV ID={0}) [原因] サポート外構成です。 [対処] 構成を見直し、再試行してください。 0: LdevID</p>
KNAE07454-E	<p>Cannot run migration. [Cause] Some of the source volumes are clone copy pair volumes. (LDEV ID={0}) 0: LdevID 移行操作を実行できませんでした。 [原因] 移行元ボリュームにクローンのコピーペアボリュームが含まれています。(LDEV ID={0}) 0: LdevID</p>
KNAE07455-E	<p>The selected storage systems do not have the same free Quorum ID. [Action] Create the same free Quorum ID for the selected storage systems and try again. (Source Storage System:{0}, Target Storage System:{1})</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0: SourceStorageSystem 1: TargetStorageSystem</p> <p>The selected storage systems do not have the same free Quorum ID. [対処] Create the same free Quorum ID for the selected storage systems and try again. (Source Storage System:{0}, Target Storage System:{1}) 0: SourceStorageSystem 1: TargetStorageSystem</p>
KNAE07456-E	<p>The storage system must be registered to the Configuration Manager with SSL communication enabled when you use the Quorum-less feature. (Storage System: {0}) 0: StorageSystem</p> <p>The storage system must be registered to the Configuration Manager with SSL communication enabled when you use the Quorum-less feature. (Storage System: {0}) 0: StorageSystem</p>
KNAE07457-E	<p>An error occurred while creating the Diskless Quorum. [Action] Resolve the problem according to the error message, and then try again. (message: {0}) 0: message</p> <p>An error occurred while creating the Diskless Quorum. [対処] Resolve the problem according to the error message, and then try again. (message: {0}) 0: message</p>
KNAE07458-E	<p>The specified expanded volume capacity is less than the current volume capacity. [Action] Specify a value greater than the current volume capacity and try again. The specified expanded volume capacity is less than the current volume capacity. [対処] Specify a value greater than the current volume capacity and try again.</p>
KNAE07459-E	<p>The expanded volume capacity is greater than the maximum volume capacity. [Action] Specify a value less than the maximum volume capacity and try again. The expanded volume capacity is greater than the maximum volume capacity. [対処] Specify a value less than the maximum volume capacity and try again.</p>
KNAE07460-E	<p>Capacity expansion of volume failed. [Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: message</p> <p>Capacity expansion of volume failed. [対処] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, and then try again. (Configuration Manager message={0}) 0: message</p>
KNAE07461-E	<p>The expanded volume capacity is greater than the available pool capacity. [Action] Specify a value less than the available pool capacity and try again. The expanded volume capacity is greater than the available pool capacity. [対処] Specify a value less than the available pool capacity and try again.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07462-E	<p>The expanded volume capacity is greater than the pool's virtual maximum volume capacity.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value less than the pool's virtual maximum volume capacity and try again.</p> <p>The expanded volume capacity is greater than the pool's virtual maximum volume capacity.</p> <p>[対処]</p> <p>Specify a value less than the pool's virtual maximum volume capacity and try again.</p>
KNAE07463-E	<p>The migration cannot be performed because volumes that belong to the Dataflow that creates a pair other than an Asynchronous Remote Clone are specified as source volumes. (Dataflow Name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Either remove the volumes from the Dataflow, or reconfigure the Dataflow with only an Asynchronous Remote Clone pair, and try again.</p> <p>0:DataFlow Names</p> <p>Asynchronous Remote Clone 以外のペアを構成しているデータフローに属しているボリュームを移行対象として指定したため、移行できません。(Dataflow Name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>移行対象ボリュームをデータフローから除外するか、Asynchronous Remote Clone のペアのみのデータフローに再構成してから、再実行してください。</p> <p>0:データフロー名</p>
KNAE07464-E	<p>The migration cannot be performed because the Dataflow that creates the Asynchronous Remote Clone pair of the Source Volumes includes volumes that are not to be migrated. (Dataflow Name={0},Volumes={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Assign to the dataflow only the volumes or hosts that are to be migrated, and try again.</p> <p>0:DataFlow Names</p> <p>1:volume</p> <p>移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフローに、移行対象外のボリュームが含まれているため、移行できません。(Dataflow Name={0},Volumes={1})</p> <p>[対処]</p> <p>移行対象ボリュームのみをデータフローに割り当てて、再実行してください。</p> <p>0:データフロー名</p> <p>1:ボリューム</p>
KNAE07465-E	<p>Cannot perform the migration because the Source Volumes have invalid pairs created without the Dataflow that configures the Asynchronous Remote Clone pair. (Volumes={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Remove the invalid pair and try again.</p> <p>0:volumes</p> <p>移行対象ボリュームに、Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフロー以外で作られた不正なペアがあるため移行できません。(Volumes={0})</p> <p>[対処]</p> <p>不正なペアを取り除いてから、再実行してください。</p> <p>0:ボリューム</p>
KNAE07466-E	<p>Cannot perform the migration because the status of the Dataflow that creates the Asynchronous Remote Clone pair of the Source Volumes is invalid. (Dataflow Name={0}, Dataflow status={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Activate the Dataflow to create the Asynchronous Remote Clone pair, and try again after the pair status becomes "PAIR".</p> <p>0:DataFlow Names</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>1:Flow Status 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフローの状態が不正なため移行できません。(Dataflow Name={0}, Dataflow status={1})</p> <p>[対処] データフローを Activate して Asynchronous Remote Clone ペアを作成し、ペアのステータスが"PAIR"となってから、再度実行してください。</p> <p>0:データフロー名 1:データフロー状態</p>
KNAE07467-E	<p>Cannot perform the migration because the status of the Source Volumes' Asynchronous Remote Clone pair is invalid. (Dataflow Name={0}, Pair status={1})</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Asynchronous Remote Clone pair, and then try again after the pair status becomes "PAIR".</p> <p>0:Dataflow Names 1:Pair Status 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアの状態が不正なため移行できません。(Dataflow Name={0}, Pair status={1})</p> <p>[対処] 障害の原因を取り除き、ペアのステータスが"PAIR"となってから、再度実行してください。</p> <p>0:データフロー名 1:ペア状態</p>
KNAE07468-E	<p>Cannot perform the migration because the dataflow policy that creates the source volumes' Asynchronous Remote Clone pair has additional logical device selections. (Dataflow Name={0},Policy Name={1})</p> <p>[Action] Remove the additional logical devices from the policy, reconfigure the pair, and try again.</p> <p>0:Dataflow Names 1:Policy Names 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフローのポリシーにて追加の Logical Devices を指定しているため、移行できません。(Dataflow Name={0},Policy Name={1})</p> <p>[対処] ポリシーから追加の Logical Devices の指定を取り除きペアを再構成してから、再実行してください。</p> <p>0:データフロー名 1:ポリシー名</p>
KNAE07469-E	<p>The submit service failed.</p> <p>[Cause] Multiple tasks exist with same name. ({0}: {1})</p> <p>[Action] Specify a task name that is not a duplicate of other tasks and try again.</p> <p>0:Task Name 1:Specified Value サービス実行が失敗しました。</p> <p>[原因] 同名のタスクが複数存在します。({0}: {1})</p> <p>[対処] 他のタスクと重複しないタスク名を指定して、再度実行してください。</p> <p>0:タスク名 1:指定値</p>
KNAE07470-E	<p>The submit service failed.</p> <p>[Cause] The specified task name is already used in another service. (Existing task ID: {0}, {1}: {2})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Change the specified values and try again. 0:Task ID 1:Task Name 2:Specified Value サービス実行が失敗しました。 [原因] 指定されたタスク名はすでに他のサービスで使用されています。(既存の task ID: {0}, {1}: {2}) [対処] 指定した値を変更し、再度実行してください。 0:タスク ID 1:タスク名 2:指定値</p>
KNAE07471-E	<p>The submit service failed. [Cause] Multiple services exist with same name. ({0}: {1}, {2}: {3}) [Action] Specify a value for {2} and try again. 0:Service Name 1:Specified Value at Service Name 2:Service Group 3:Specified Value at Service Group サービス実行が失敗しました。 [原因] 同名のサービスが存在します。({0}: {1}, {2}: {3}) [対処] {2}に値を指定して、再度実行してください。 0:サービス名 1:サービス名に対する指定値 2:サービスグループ 3:サービスグループに対する指定値</p>
KNAE07472-E	<p>The specified value is invalid ({0}: {1}). [Action] Specify the value within a valid range (min: 0, max: 65535). 0: Port 1: Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 有効な値を指定してください。(min: 0, max: 65535). 0: ポート 1: 指定値</p>
KNAE07473-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify a value greater than or equal to 5. 0:Task Timeout 1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 5以上の値を指定してください。 0:タスクのタイムアウト 1:指定値</p>
KNAE07474-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify a value of 128 characters or fewer. 0:Service Name</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 128 文字以下の値を指定してください。 0:サービス名 1:指定値</p>
KNAE07475-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify a value of 80 characters or fewer. 0:Service Group 1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 80 文字以下の値を指定してください。 0:サービスグループ 1:指定値</p>
KNAE07476-E	<p>The submit service failed. [Cause] The key name specified in {0} does not exist in the service's properties. (key name: {1}, {2}: {3}, {4}: {5}) [Action] Specify a key name which exists in the service's properties and try again. 0:Service Parameters 1:Specified KeyName in Service Parameters 2:Service Name 3:Specified Value at Service Name 4:Service Group 5:Specified Value at Service Group サービス実行が失敗しました。 [原因] {0}に指定されたキー名が、サービスのプロパティに存在しません。(キー名: {1}, {2}: {3}, {4}: {5}) [対処] サービスのプロパティに存在するキー名を指定して、再度実行してください。 0:サービスパラメータ 1:サービスパラメータ内の KeyName に対する指定値 2:サービス名 3:サービス名に対する指定値 4:サービスグループ 5:サービスグループに対する指定値</p>
KNAE07477-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify the value between 0 and 9233372036854775807. 0:Task ID 1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 0 以上、9233372036854775807 以下の値を指定してください。 0:タスク ID 1:指定値</p>
KNAE07478-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify a value of 128 characters or fewer. 0:Task Name 1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>128 文字以下の値を指定してください。</p> <p>0:タスク名</p> <p>1:指定値</p>
KNAE07479-E	<p>The specified value is invalid. ({0}: {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a value of 1024 characters or fewer.</p> <p>0:Task Description</p> <p>1:Specified Value</p> <p>不正な値が指定されました。({0}: {1})</p> <p>[対処]</p> <p>1024 文字以下の値を指定してください。</p> <p>0:タスクディスクリプション</p> <p>1:指定値</p>
KNAE07480-E	<p>Invalid request sent by the client. API responded with client error code ({0}).</p> <p>[Cause]</p> <p>Reason:{1}</p> <p>0:HTTP Error Code</p> <p>1:HTTP Error Reason</p> <p>不正なリクエストがクライアントから送られました。API がクライアントエラーコード({0})で応答しました。</p> <p>[原因]</p> <p>原因 : {1}</p> <p>0:HTTP エラーコード</p> <p>1:HTTP エラー原因</p>
KNAE07481-E	<p>The server encountered an unexpected condition. API responded with server error code ({0}).</p> <p>[Cause]</p> <p>Reason:{1}</p> <p>0:HTTP Error Code</p> <p>1:HTTP Error Reason</p> <p>予期しない状態をサーバーが検知しました。API がサーバーエラーコード({0})で応答しました。原因 : {1}</p> <p>[原因]</p> <p>原因 : {1}</p> <p>0:HTTP エラーコード</p> <p>1:HTTP エラー原因</p>
KNAE07482-E	<p>Communication with the target server failed.</p> <p>[Cause]</p> <p>Reason:{0}</p> <p>0:Error</p> <p>ターゲットサーバーへの接続が失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>原因 : {0}</p> <p>0:エラー</p>
KNAE07483-E	<p>Not available.</p> <p>対象外です。</p>
KNAE07484-E	<p>The specified value in {0} is not string. (key name: {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Specify a string value.</p> <p>0:Service Parameters</p> <p>1:Key</p> <p>2:Value</p> <p>The specified value in {0}に指定された値は string ではありません。(key name: {0})</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	String 値を指定してください。 0:サービスパラメータ 1:キー 2:値
KNAE07485-E	Task did not complete. (Task ID: {0}, Status: {1}). [Action] Confirm the task information. 0:Task ID 1:Task Status タスクは完了していません。(Task ID: {0}, Status: {1}). [対処] タスクの情報を確認してください。 0:タスク ID 1:タスクステータス
KNAE07486-E	A task timeout occurred while waiting for the task to finish ({0}: {1}). [Action] Confirm the task status. (Task ID: {2}) 0:Task Timeout 1:Specified Value 2:Task ID タスクが終了するまでの待ち時間中に、タイムアウトが発生しました。({0}: {1}). [対処] タスクの状態を確認してください。(Task ID: {2}) 0:タスクタイムアウト 1:指定値 2:タスク ID
KNAE07487-E	The specified value is invalid. ({0}: {1}) [Action] Specify a value between 5 and 300. 0:Wait Interval 1:Specified Value 不正な値が指定されました。({0}: {1}) [対処] 5 以上、300 以下の値を指定してください。 0:インターバル 1:指定値
KNAE07488-E	The submit service failed. [Cause] The current scheduling options (or scheduleType) of the specified service are not supported. ({0}: {1}, {2}: {3}) [Action] Set the scheduling options to include immediate and try again. 0:Service Name 1:Specified Value at Service Name 2:Service Group 3:Specified Value at Service Group サービス実行が失敗しました。 [原因] 指定されたサービスのスケジュールオプションは、サポート対象外です。({0}: {1}, {2}: {3}) [対処] 即時実行をスケジュールオプションに含めるよう設定し、再度実行してください。 0:サービス名 1:サービス名に対する指定値 2:サービスグループ 3:サービスグループに対する指定値

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07489-E	The value for the parameter is required. ({0}) [Action] Specify a valid value. 0:Requested Parameter このパラメーターの指定値は必須です。({0}) [対処] 有効な値を指定してください。 0:リクエストパラメーター
KNAE07490-E	A timeout occurred because no response was received from the server. サーバーからの応答がないため、タイムアウトしました。
KNAE07491-E	The specified service does not exist ({0}: {1}, {2}: {3}). [Cause] The service may have been renamed or deleted. [Action] Specify an existing service and try again. 0:Service Name 1:Specified Value at Service Name 2:Service Group 3:Specified Value at Service Group 指定されたサービスは存在しません。({0}: {1}, {2}: {3}). [原因] そのサービスは、名前変更されたか、削除された可能性があります。 [対処] 存在するサービスの名前を指定して、再度実行してください。 0:サービス名 1:サービス名に対する指定値 2:サービスグループ 3:サービスグループに対する指定値
KNAE07492-E	The specified value is not an integer type ({0}: {1}). [Action] Specify an integer value. 0:Param 1:Specified Value 指定された値は Integer 値ではありません。({0}: {1}) [対処] Integer 値を指定してください。 0:パラメータ 1:指定値
KNAE07493-E	The number of selected hosts must be between 1 and 64. 指定可能なホストの個数は 1 から 64 までです。
KNAE07494-E	The selected hosts do not have WWN or iSCSI names. [Action] Select the hosts that have WWN or iSCSI names. 選択したホストに WWN もしくは iSCSI name が存在しません。 [対処] WWN もしくは iSCSI name が登録されたホストを選択してください。
KNAE07495-E	The selected host(s) contains both FIBRE and iSCSI protocols, please select hosts that contain only one of these protocols. 選択したホストは、FIBRE と iSCSI プロトコル両方含まれています。FIBRE もしくは iSCSI の単一のプロトコルになるよう選択してください。
KNAE07496-E	The hosts contain a host that does not have any storage system volumes. ホストに対しボリュームがアタッチされていません。
KNAE07497-E	The selected hosts have volumes that are attached from multiple storage systems. [Action]

メッセージID	メッセージの内容
	Select hosts that have volumes attached from a single storage system. 選択したホストに対し、複数のストレージシステムからボリュームがアタッチされています。 [対処] 単一のストレージシステムからボリュームがアタッチされているホストを選択してください。
KNAE07498-E	The number of volumes must be between 1 and 512. 指定可能なボリュームの個数は 1 から 512 までです。
KNAE07499-E	The number of host groups must be between 1 and 64. 指定可能なホストグループの個数は 1 から 512 までです。
KNAE07500-E	The number of WWNs must be between 1 and 128. 指定可能な WWN の個数は 1 から 128 までです。
KNAE07501-E	The number of iSCSI names must be between 1 and 128. 指定可能な iSCSI name の個数は 1 から 128 までです。
KNAE07502-E	The IOPS upper limit must be between 1 and 65535. 指定可能な IOPS の値は 1 から 65535 までです。
KNAE07503-E	The transfer rate upper limit must be between 1 and 31. 指定可能な Transfer Rate の値は 1 から 31 までです。
KNAE07504-E	The number of volumes with IO control configured exceeds 4,096 (Existing: {0}, Additional: {1}). [Action] Revise the specified resources or delete the existing IO control settings, and then try again. 0: The number of existing IO control configured volumes 1: The number of additional IO control configured volumes IO 制御が設定されているボリュームの数が 4096 を超えます。(現在の個数={0}, 追加される個数={1}) [対処] 指定する内容を見直す。もしくは、設定済みの IO 制御を削除し、再度サービスを実行してください。 0: IO 制御が設定済みのボリューム数 1: IO 制御を追加しようとしているボリューム数
KNAE07505-E	The specified volumes are not attached to the specified WWNs or iSCSI names. [Action] Attach the specified volumes to the specified WWNs or iSCSI names, and then try again. 指定されたボリュームは指定された WWN もしくは iSCSI name にアタッチされていません。 [対処] ボリュームに WWN もしくは iSCSI name をアタッチし、再度サービスを実行してください。
KNAE07506-E	The specified volume is not attached or the configuration information for the storage system contained in Configuration Manager might be outdated. [Action] Attach the specified volume or refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager(model:{0}, serial number:{1}). 0: Model 1: serialNumber 指定されたボリュームがアタッチされていない、もしくは、Configuration Manager が保持するストレージ情報が古くなっています。 [対処] ボリュームをアタッチしてください。もしくは、Configuration Manager の情報をリフレッシュしてください。(model:{0}, serial number:{1}). 0: Model

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: serialNumber
KNAE07507-E	<p>A Configuration Manager is not registered in Web Service Connections.</p> <p>[Action]</p> <p>Register the Configuration Manager that is managing the volumes which are attached to the specified host.</p> <p>Configuration Manager が Web Service Connection に登録されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>指定されたホストにアタッチされているボリュームを管理している Configuration Manager を登録してください。</p>
KNAE07508-E	<p>Cannot find a storage system with a volume attached to the specified host.</p> <p>[Action]</p> <p>Do any of the following: - Register the Configuration Manager that is managing the volumes attached to the specified host. - Verify that the account settings registered in Web Service Connection is correct. - Add the storage system to the Configuration Manager. - Refresh the storage system configuration information on the Configuration Manager.</p> <p>指定したホストにアタッチされているボリュームを持つ、ストレージシステムが見つかりません。</p> <p>[対処]</p> <p>指定されたホストにアタッチされているボリュームを管理している Configuration Manager を登録するもしくは、Web Service Connection に登録されている認証情報を見直す、もしくは Configuration Manager に対象ストレージシステムを登録するもしくは、Configuration Manager が持つ対象のストレージシステムの情報をリフレッシュしてください。</p>
KNAE07509-E	<p>No host was acquired from the Storage Management Connections.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the specified host is registered.</p> <p>Storage Management Connection からホストの情報を取得できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>指定したホストの情報が登録されているか確認してください。</p>
KNAE07510-E	<p>The specified host was not found. (Host names: {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the specified host is registered.</p> <p>0: Specified host names</p> <p>指定されたホストは存在しません。(ホスト名={0})</p> <p>[対処]</p> <p>指定したホストの情報が登録されているか確認してください。</p> <p>0: 指定されたホスト名</p>
KNAE07511-E	<p>Cannot get the information from the Storage Management Connections. An error has occurred while running the API.</p> <p>[Cause]</p> <p>The authentication setting for the Storage Management Connection might be incorrect, or the connection might not be established.</p> <p>[Action]</p> <p>Do any of the following: - Confirm the settings in Web Service Connections and update as needed. - Verify that the Storage Manager server is running correctly. - Resolve the problem according to the Error details. (Connection Name:{0}, Error Details:{1})</p> <p>0: Web Service Connection Name</p> <p>1: Error Details</p> <p>Storage Management Connection から情報を取得できませんでした。API 実行時にエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>Storage Management Connection に登録されている認証情報が不正、もしくは、コネクションが確立できていない可能性があります。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] Administrator タブの Web Service Connection に登録されている設定を確認し、必要であれば更新してください。もしくは、Storage Management Server が起動しているか確認してください、もしくは、エラー詳細を確認し問題を取り除いてください。(コネクション名:{0}, エラー詳細{1}) 0: Web Service Connection 名 1: エラー詳細</p>
KNAE07512-E	<p>Cannot perform the migration because the source volumes have Asynchronous Remote Clone pairs but the value of the "Migrate the volumes with Asynchronous Remote Clone pairs" property is false. (Volumes={0}) [Action] Set the property value to true, enter the property values required for migration, and then try again. 0:volumes 移行対象ボリュームに Asynchronous Remote Clone ペアが構成されているにも関わらず、Migrate the volumes with Asynchronous Remote Clone pairs プロパティが false になっているため移行できません。(Volumes={0}) [対処] プロパティを true にし移行に必要なプロパティを入力してから、再実行してください。 0:ボリューム</p>
KNAE07513-E	<p>The Dataflow that creates the source volumes' Asynchronous Remote Clone pair includes multiple source host nodes. [Action] Specify all volumes defined in the Dataflow as source volumes and run the task again. 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフロー内に、複数の Source Host Node が含まれています。 [対処] データフローで定義されているすべての移行元ボリュームを移行対象として指定して再実行してください。</p>
KNAE07514-E	<p>In the Dataflow that creates the source volumes' Asynchronous Remote Clone pair, "Included Logical Devices" of the source host node includes the host group ID specification. [Action] Specify all volumes defined in the Dataflow as source volumes and run the task again. 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフローにおいて、Source Host Node の Included Logical Devices が Host Group ID によって指定されています。 [対処] データフローで定義されているすべての移行元ボリュームを移行対象として指定して再実行してください。</p>
KNAE07515-E	<p>In the Dataflow that creates the source volumes' Asynchronous Remote Clone pair, "Included Logical Devices" of the source host node includes the LDEV ID range specification. [Action] Specify all volumes defined in the Dataflow as source volumes and run the task again. 移行対象ボリュームの Asynchronous Remote Clone ペアを構成するデータフローにおいて、Source Host Node の Included Logical Devices が LDEV ID の範囲によって指定されています。 [対処] データフローで定義されているすべての移行元ボリュームを移行対象として指定して再実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE07516-E	<p>The operation could not complete during the monitoring remote copy pair status time period. (operation={0}).</p> <p>[Cause] The situation continued that the remote copy pair status could not be gotten due to deletion of the remote storage system in the Configuration Manager.</p> <p>[Action] Check the status of the remote copy pair and wait until the remote copy pair creation/split is successful.</p> <p>0: operation リモートコピーペアステータスの監視時間内にコピーペアの操作が完了しませんでした。(操作={0})</p> <p>[原因] Configuration Manager 上のリモートストレージシステムが削除されたためにリモートコピーペアのステータスが取得できない状況が続きました。</p> <p>[対処] コピーペアの状態を確認し、コピーペア作成/分割が終わるまでお待ちください。</p> <p>0: 操作</p>
KNAE07517-E	<p>Failed to move undefined LDEV IDs from the meta_resource resource group to the target resource group.</p> <p>[Action] Make sure that there are enough undefined LDEV IDs in the meta_resource resource group, and then try again.</p> <p>未定義の LDEV ID を meta_resource リソースグループからターゲットリソースグループに移動できませんでした。</p> <p>[対処] meta_resource リソースグループに十分な未定義の LDEV ID があることを確認してから、再実行してください。</p>
KNAE07518-W	<p>Cannot remove {0} created when running the migration task. {0} might have already been removed. (resource Type={0}, resource ID={1})</p> <p>0: Resource Type 1: Resource Name</p> <p>マイグレーションタスク実行時に作成した{0}を削除できませんでした。{0} はすでに削除されている可能性があります。(resource Type={0}, resource ID={1})</p> <p>0: リソース種別 1: リソース名</p>
KNAE07519-W	<p>Cannot reregister {0} to which the resource group was migrated when running the migration task. {0} might already be registered in the original resource group. (resource Type={0}, resource ID={1})</p> <p>0: Resource Type 1: Resource Name</p> <p>マイグレーションタスク実行時にリソースグループを移動した{0}を再登録できませんでした。{0} はすでに元のリソースグループに登録されている可能性があります。(resource Type={0}, resource ID={1})</p> <p>0: リソース種別 1: リソース名</p>
KNAE07520-W	<p>Cannot reregister the host group to which the resource group was migrated when running the migration task to the original resource group. The host group is mapped to an LU path other than the LU path mapped in the migration task. (port={0}, host group number={1})</p> <p>0: Port 1: Host Group Number</p> <p>マイグレーションタスク実行時にリソースグループを移動したホストグループを元のリソースグループに再登録できませんでした。ホストグループがマイグレーションタスクでマッピングした LU パス以外の LU パスにマッピングされています。(port={0}, host group number={1})</p> <p>0: ポート</p>

メッセージID	メッセージの内容
	1: ホストグループナンバー
KNAE07521-W	Cannot delete the host group or iSCSI target created in the migration task. A WWN or iSCSI name other than the host specified in the migration task is registered. (port={0}, host group number={1}) 0: Port 1: Host Group Number マイグレーションタスク実行時に作成したホストグループまたは iSCSI ターゲットを削除できませんでした。マイグレーションタスクで指定したホスト以外の WWN または iSCSI ネームが登録されています。(port={0}, host group number={1}) 0: ポート 1: ホストグループナンバー
KNAE07522-W	Cannot delete the host group or iSCSI target created in the migration task. An LU other than the LU path mapped in the migration task is mapped. (port={0}, host group number={1}) 0: Port 1: Host Group Number マイグレーションタスク実行時に作成したホストグループまたは iSCSI ターゲットを削除できませんでした。マイグレーションタスクでマッピングした LU パス以外の LU がマッピングされています。(port={0}, host group number={1}) 0: ポート 1: ホストグループナンバー
KNAE07523-W	Cannot reregister the volume in which the resource group was migrated when running the migration task to the original resource group. The volume is mapped to a LU path other than the LU path mapped in the migration task. (LDEV ID={0}) 0: LDEV ID マイグレーションタスク実行時にリソースグループを移動したボリュームを元のリソースグループに再登録できませんでした。ボリュームがマイグレーションタスクでマッピングした LU パス以外の LU パスにマッピングされています。(LDEV ID={0}) 0: LDEV ID
KNAE07524-W	Cannot reassign the virtual LDEV ID that was unassigned when running the migration task. The virtual LDEV ID might already in use by another volume. (LDEV ID={0}, Virtual LDEV ID={1}) 0: LDEV ID 1: Virtual LDEV ID マイグレーションタスク実行時に割り当て解除した仮想 LDEV ID を再割り当てできませんでした。仮想 LDEV ID が他のボリュームに既に使用されている可能性があります。(LDEV ID={0}, Virtual LDEV ID={1}) 0: LDEV ID 1: Virtual LDEV ID
KNAE07525-W	Cannot delete the LDEV created when running the migration task. The volume is mapped to an LU path other than the LU path mapped in the migration task. (LDEV ID={0}) 0: LDEV ID マイグレーションタスク実行時に作成した LDEV を削除できませんでした。ボリュームがマイグレーションタスクでマッピングした LU パス以外の LU パスにマッピングされています。(LDEV ID={0}) 0: LDEV ID
KNAE07526-E	Cannot clean up the Online Migration task. The specified task was not found. The task might be already archived or removed. (Task ID={0}) [Action] Manually delete the created resources. 0: Task ID マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。指定したタスクが見つかりませんでした。タスクがすでにアーカイブ、または削除されている可能性があります。(Task ID={0})

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] 手動でクリーンアップを実施してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07527-E	<p>Cannot clean up the migration task. Cannot obtain the resource information of the cleanup target. (Task ID={0}) [Action] Check the status of the task, and manually delete the created resources if necessary. 0: Task ID マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。クリーンアップ対象のリソース情報が取得できませんでした。(Task ID={0}) [対処] 指定したタスクの状態を確認し、必要に応じて手動でクリーンアップを実施してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07528-E	<p>Cannot clean up the migration task. Cannot read the resource information of the cleanup target. (Task ID={0}) [Action] Rerun the cleanup task. 0: Task ID マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。クリーンアップ対象のリソース情報を読み込めませんでした。(Task ID={0}) [対処] クリーンアップのタスクを再実行してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07529-E	<p>Cannot clean up the migration task. A task of the unsupported service template is specified. (Task ID={0}, maintenance information={1}) [Action] Manually delete the created resources. 0: Task ID マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。サポートしていないサービステンプレートのタスクが指定されています。(Task ID={0}, maintenance information={1}) [対処] 手動でクリーンアップを実施してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07530-E	<p>Cannot clean up the migration task. The task in which "Migrate" was clicked in the Response Input dialog is not supported. (Task ID={0}) [Action] Manually delete the created resources. 0: Task ID マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。ユーザ応答にて「Migrate」を選択したマイグレーションタスクのクリーンアップはサポートしていません。(Task ID={0}) [対処] 手動でクリーンアップを実施してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07531-E	<p>Cannot delete the Diskless Quorum. (Quorum Disk ID={0}) [Action] Remove the cause of the problem and manually delete the Diskless Quorum. (message:{1}) 0: Quorum Disk ID 1: message ディスクレスクォーラムを削除できませんでした。(Quorum Disk ID={0}) [対処]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>エラーメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。その後、ディスクレスクォーラムを手動で削除してください。(message={1})</p> <p>0: Quorum Disk ID 1: message</p>
KNAE07532-W	<p>Warnings occurred while cleaning up the migration task. (Resource Type={0}, Number of warning resources={1})</p> <p>[Action]</p> <p>In the "Results" tab of the "Task Details" window, check the warning contents and fix any issues. Then, resubmit the cleanup task if necessary.</p> <p>0: Resource Type 1: Number of warning resources</p> <p>マイグレーションタスクのクリーンアップ中に警告が発生しました。(Resource Type={0}, Number of warning resources={1})</p> <p>[対処]</p> <p>Task Details 画面の Results タブから警告の内容を確認してください。そして、必要に応じてメッセージを参照して原因を取り除き、クリーンアップタスクを再実行してください。</p> <p>0: リソース種別 1: 警告が発生したリソース数</p>
KNAE07533-E	<p>Cannot clean up the migration task. The copy group created when running the migration task contains copy pairs other than the pair created in the migration task. (Copy Group Name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the copy group and manually delete any copy pairs other than the pair created in the migration task if necessary.</p> <p>0: Copy Group Name 1: Copy Pair Names</p> <p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。マイグレーションタスク実行時に作成したコピーグループに、マイグレーションタスクで作成したペア以外のコピーペアが含まれています。(Copy Group Name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>コピーグループの状態を確認し、必要に応じてマイグレーションタスクで作成したペア以外のコピーペアを手動で削除してください。</p> <p>0: コピーグループ名 1: コピーペア名</p>
KNAE07534-E	<p>Cannot clean up the migration task. A problem occurred while deleting {0}. (Resource Type={0})</p> <p>[Action]</p> <p>In the "Results" tab of the "Task Details" window, check the message information for the resource that could not be deleted and fix any issues. Then, resubmit the cleanup task if necessary.</p> <p>0: Resource Type</p> <p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。{0}の削除中に問題が発生しました。(Resource Type={0})</p> <p>[対処]</p> <p>Task Details 画面の Results タブから削除できなかったリソースの情報とメッセージを確認し、原因を取り除いてください。そして、必要があればクリーンアップタスクを再実行してください。</p> <p>0: リソース種別</p>
KNAE07535-E	<p>Cannot clean up the migration task. The S-VOL of the high availability pair created when running the migration task is in use as the volume of another pair. (LDEV ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the copy group and manually delete the copy pair if necessary.</p> <p>0: LDEV ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。マイグレーションタスク実行時に作成した high availability ペアの SVOL が、他のペアのボリュームとして使用されています。(LDEV ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>コピーグループの状態を確認し、必要に応じて手動でコピーペアを削除してください。</p> <p>0: LDEV ID</p>
KNAE07536-E	<p>The selected migration task has already been cleaned up. No resources created in the migration task exist.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the resources of the clean up target.</p> <p>0: Task ID</p> <p>選択されたマイグレーションタスクはすでにクリーンアップされています。マイグレーションタスクで作成したリソースは存在しません。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>クリーンアップ対象のリソースの状態を確認してください。</p> <p>0: タスク ID</p>
KNAE07537-W	<p>Cannot split the copy pair in the copy group created when running the migration task. This copy pair has already been split. (Copy pair name={0})</p> <p>0: Copy pair name</p> <p>マイグレーションタスク実行時に作成したコピーペアを中断できませんでした。既にコピーペアが中断されています。(Copy pair name={0})</p> <p>0: Copy pair name</p>
KNAE07538-E	<p>Cannot clean up the migration task. Some of the copy pairs in the copy group created when running the migration task are in neither PAIR status, PSUS/SSUS status nor SMPL status. (Copy pair name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the copy pairs and manually delete them if necessary.</p> <p>0: Copy pair name</p> <p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。マイグレーションタスク実行時に作成したコピーグループに、PAIR 状態でも PSUS/SSUS 状態でも SMPL 状態でもないコピーペアが含まれています。(Copy pair name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>コピーペアの状態を確認し、必要に応じて手動でコピーペアを削除してください。</p> <p>0: Copy pair name</p>
KNAE07539-E	<p>Cannot clean up the migration task. The user who submitted the cleanup service is different from the one who submitted the migration service. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Resubmit the cleanup service as the same user who submitted the migration service.</p> <p>0: Task ID</p> <p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。クリーンアップのサービスを実行したユーザーがマイグレーションのサービスの実行時と異なります。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>クリーンアップのサービスをマイグレーションのサービスの実行時と同じユーザーで再実行してください。</p> <p>0: タスク ID</p>
KNAE07540-E	<p>Cannot clean up the migration task. Only failed migration tasks are supported as cleanup target tasks. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the migration task, and manually delete the created resources if necessary.</p> <p>0: Task ID</p> <p>マイグレーションタスクをクリーンアップできませんでした。失敗したマイグレーションタスクのみクリーンアップをサポートしています。(Task ID={0})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] マイグレーションタスクの状態を確認し、必要に応じて手動でクリーンアップを実施してください。 0: タスク ID</p>
KNAE07541-E	<p>Cannot delete the Diskless Quorum created by the migration task. It only exists in the {0} storage system or it is invalid. (Quorum Disk ID={1}) [Action] Check the status of the Diskless Quorum and manually delete the Diskless Quorum if necessary. 0: Storage side (source or target) 1 : Quorum Disk ID マイグレーションタスク実行時に作成したディスクレスクォーラムを削除できませんでした。ディスクレスクォーラムが{0}ストレージシステムのみには存在していないか、不正な状態です。(Quorum Disk ID={1}) [対処] ディスクレスクォーラムの状態を確認し、必要に応じて手動でディスクレスクォーラムを削除してください。 0: Storage side (source or target) 1 : Quorum Disk ID</p>
KNAE07542-W	<p>Cannot delete the LU path. It is mapped to a volume or host group/iSCSI target which was not created by the migration task. (LUN ID={0}, host group number={1}, LDEV ID={2}) 0: LUN ID 1: Host group number 2: LDEV ID LUパスを削除できませんでした。マイグレーションタスクで作成していないボリューム、ホストグループもしくはiSCSIターゲットがLUパスにマッピングされています。(LUN ID={0}, host group number={1}, LDEV ID={2}) 0: LUN ID 1: Host group number 2: LDEV ID</p>
KNAE07543-E	<p>Cannot delete LUNs on the volumes. (LDEV ID={0}) [Cause] They cannot be deleted because the target volumes are running host I/O. [Action] Make sure that all source volumes have been taken offline, and manually delete the source volumes. (Configuration Manager message={1}) 0:LDEV IDs 1: Configuration Manager Message ボリュームのLUNを削除できませんでした。(LDEV ID : {0}) [原因] 操作対象ボリュームがホストI/Oを実行しているため削除できません。 [対処] ソースボリュームがオフラインに変更されているか確認してください。その後、手動でソースボリュームを削除してください。(Configuration Manager メッセージ : {1}) 0:LDEV IDs 1: Configuration Manager メッセージ</p>
KNAE07544-I	<p>The migration task was canceled because "Cancel Migration" was clicked in the Response Input dialog. ユーザー応答待ち画面にて Cancel Migration が選択されたため、マイグレーションタスクを中止しました。</p>
KNAE07545-W	<p>Cannot delete the {0}. (Resource ID={1}) It has relationships with other resources that were not created by the migration task. (Related resources: {2}) 0: Resource type 1: Resource ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>2: Related resources</p> <p>{0} の削除に失敗しました。(Resource ID={1}) このマイグレーションタスクが作成していないリソースと関連を持っています。(Related resources: {2})</p> <p>0: リソース種別</p> <p>1: リソース ID</p> <p>2: 関連リソース</p>
KNAE07546-W	<p>Cannot delete the {0}. (Resource ID={1}) Its configuration is different from the one that was created by the migration task. (Expected: {2}, Actual: {3})</p> <p>0: Resource type</p> <p>1: Resource ID</p> <p>2: Expected configuration</p> <p>3: Actual configuration</p> <p>{0} の削除に失敗しました。(Resource ID={1}) マイグレーションタスクが作成した構成と異なります。(Expected: {2}, Actual: {3})</p> <p>0: リソース種別</p> <p>1: リソース ID</p> <p>2: 期待する構成</p> <p>3: 実際の構成</p>
KNAE07547-W	<p>Cannot split the copy pair in the copy group created when running the migration task. This copy pair is in SMPL status. (Copy pair name={0})</p> <p>0: Copy pair name</p> <p>マイグレーションタスク実行時に作成したコピーペアを中断できませんでした。コピーペアが SMPL 状態になっています。(Copy pair name={0})</p> <p>0: Copy pair name</p>
KNAE07548-E	<p>The migration task cannot be performed because you are trying to enable the capacity saving function for the volumes with the full allocation function enabled. (LDEV ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>If you want to use the capacity saving function, disable the volumes full allocation function, and run the task again.</p> <p>0:LDEV IDs</p> <p>ページ予約機能が有効になっているボリュームに対して容量削減機能を有効化しようとしているため、マイグレーションタスクを実行できません。(LDEV ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>容量削減機能を使用する場合は、対象のボリュームのページ予約機能を無効化し、タスクを再実行してください。</p> <p>0:LDEV IDs</p>
KNAE07549-E	<p>The migration task cannot be performed because the value of the target pool subscription limit is not unlimited.</p> <p>[Action]</p> <p>If you want to use the capacity saving function, the pool subscription limit should be defined as unlimited. Set the subscription limit to Unlimited or select another target pool, and run the task again.</p> <p>移行先プールの最大予約量が無制限ではないため、マイグレーションタスクを実行できません。</p> <p>[対処]</p> <p>容量削減機能を使用する場合は、プールの最大予約量が無制限である必要があります。設定を変更するか、移行対象のプールを変更し、タスクを再実行してください。</p>
KNAE07550-E	<p>The migration task cannot be performed because the migration target pool for which the capacity saving function cannot be used is selected.</p> <p>[Action]</p> <p>Select another pool for which the capacity saving function can be used, and run the task again.</p> <p>容量削減機能が使用できない移行先プールが選択されているため、マイグレーションタスクを実行できません。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] 容量削減機能を使用可能な別のプールを選択し、タスクを再実行してください。</p>
KNAE07551-E	<p>The migration task cannot be performed because the data direct mapping is applied for the target pool. [Action] Select a pool other than the pool for which the data direct mapping is applied, and run the task again. 移行先プールのデータダイレクトマップ属性が有効化されているため、マイグレーションタスクを実行できません。 [対処] データダイレクトマップ属性のプールとは別のプールを選択し、タスクを再実行してください。</p>
KNAE07552-E	<p>The migration task cannot be done because the {0} server version is not supported. [Action] Upgrade the {0} server, and run the task again. For supported versions of {0} server, refer to "Service template prerequisites" in the online help. 0: Server Type {0}サーバのバージョンがサポート対象外のため、マイグレーションタスクが実行できません。 [対処] {0}サーバをバージョンアップしてからタスクを再実行してください。{0}サーバのサポートバージョンについてはオンラインヘルプの「サービステンプレート前提条件」を参照してください。 0: サーバー種別</p>
KNAE07553-E	<p>The migration task cannot be performed because the target pool does not contain a deduplication system data volume. [Action] If you want to use deduplication, create a deduplication system data volume for the target pool. 移行先プールの重複排除システムデータボリュームが未割当のため、マイグレーションタスクを実行できません。 [対処] 重複排除機能を利用するには、プールに重複排除システムデータボリュームを割り当ててください。</p>
KNAE07554-W	<p>It is taking more time than expected to delete the capacity saving enabled volumes. (LDEV ID={0}) [Action] Wait for a while, and then check if the volumes have been deleted. 0:LDEV IDs 容量削減機能が有効になっているボリュームの削除に時間がかかっています。(LDEV ID={0}) [対処] しばらく待った後で、ボリュームが削除されたかを確認してください。 0:LDEV IDs</p>
KNAE07555-W	<p>Cannot delete the volume created when running the migration task. It is taking more time than expected to delete the capacity saving enabled volume. (LDEV ID={0}) 0:LDEV ID マイグレーションタスク実行時に作成したボリュームを削除できませんでした。容量削減機能が有効になっているボリュームの削除に時間がかかっています。(LDEV ID={0}) 0:LDEV ID</p>
KNAE07556-E	<p>Cannot run migration. The target task was not found. The task might be already archived or removed. (Task ID={0}) [Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Run the migration manually.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。指定したタスクが見つかりませんでした。タスクがすでにアーカイブ、または削除されている可能性があります。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07557-E	<p>Cannot run migration. Cannot get the resource information of the target task. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the target task, and run the migration manually if necessary.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。対象タスクのリソース情報が取得できませんでした。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>ターゲットタスクを確認し、必要に応じて手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07558-E	<p>Cannot run migration. Cannot read the resource information of the target task. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Rerun this task.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。対象タスクのリソース情報を読み込めませんでした。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>このタスクを再実行してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07559-E	<p>Cannot run migration. The target task of an unsupported service template is specified. (Task ID={0}, maintenance information={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Check the target task, and run the migration manually if necessary.</p> <p>0:Task ID</p> <p>1:Maintenance information</p> <p>移行操作を実行できませんでした。サポートしていないサービステンプレートのタスクが指定されています。(Task ID={0}, maintenance information={1})</p> <p>[対処]</p> <p>ターゲットタスクを確認し、必要に応じて手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:タスク ID</p> <p>1:保守情報</p>
KNAE07560-E	<p>Cannot run migration. Only completed or failed tasks are supported as the target task. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the target task has been completed or failed, and run the task again.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。成功、または失敗したタスクのみターゲットタスクとしてサポートされます。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>タスクが完了または失敗していることを確認し、再実行してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07561-E	<p>Cannot run migration. The target task in which online migration pair has not been created is not supported. (Task ID={0})</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Run a cleanup task.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。オンラインマイグレーションペアが作成されていないタスクはサポートされません。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>クリーンアップタスクを実行してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07562-E	<p>Cannot run migration. The target task which the "Migrate Data for Online Migration Pair" task has already started is not supported. (Task ID = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the target task is correct.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。既に Migrate Data for Online Migration Pair タスクを開始済みのタスクはサポートしていません。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>ターゲットタスクが間違っていないか確認してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07563-E	<p>Cannot run migration. The target task which the cleanup task has already started is not supported. (Task ID = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the target task is correct.</p> <p>0:Task ID</p> <p>移行操作を実行できませんでした。既に cleanup タスクを開始済みのタスクはサポートしていません。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>ターゲットタスクが間違っていないか確認してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07564-E	<p>Cannot run migration. Some of the source volumes are copy pair volumes of types other than the online migration pair. (LDEV ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:LDEV IDs</p> <p>移行操作を実行できませんでした。移行元ボリュームがオンラインマイグレーションペア以外の種別のコピーペアボリュームになっています。(LDEV ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:LDEV IDs</p>
KNAE07565-E	<p>Cannot run migration. Some of the source volumes are asynchronous remote clone pair volumes. (LDEV ID={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:LDEV IDs</p> <p>移行操作を実行できませんでした。移行先ボリュームが asynchronous remote clone のコピーペアボリュームになっています。(LDEV ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:LDEV IDs</p>
KNAE07566-E	<p>Cannot run migration. The copy group does not exist. It might have already been removed. (copy group name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:Copy group name</p> <p>移行操作を実行できませんでした。コピーグループが存在しません。すでに削除された可能性があります。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:コピーグループ名</p>
KNAE07567-E	<p>Cannot run migration. Some of the copy pairs in the copy group created when running the target task are PSUS/SSUS status.</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:Copy group name</p> <p>移行操作を実行できませんでした。ターゲットタスク実行時に作成したコピーグループに、PSUS/SSUS 状態のコピーペアが含まれています。(Copy group name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:コピーグループ名</p>
KNAE07568-E	<p>The copy group created when running the target task contains copy pairs other than the pair created in the target task. (Copy group name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:Copy group name</p> <p>ターゲットタスク実行時に作成したコピーグループに、ターゲットタスクで作成したペア以外のコピーペアが含まれています。(Copy group Name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:コピーグループ名</p>
KNAE07569-E	<p>Cannot run migration. Some of the copy pairs in the copy group created when running the target task are in neither PAIR status, COPY status, PSUS/SSWS status nor PSUS/SSUS status. (Copy group name={0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the migration manually.</p> <p>0:Copy group name</p> <p>移行操作を実行できませんでした。ターゲットタスク実行時に作成したコピーグループに、PAIR 状態でも、COPY 状態でも、PSUS/SSWS 状態でも、PSUS/SSUS 状態でもないコピーペアが含まれています。(Copy group name={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でマイグレーション手順を実施してください。</p> <p>0:コピーグループ名</p>
KNAE07570-E	<p>Cannot run migration. The copy group created by the target task has not been copied. (Copy group name={0}, Average progress rate={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that all copy pairs in the copy group have a status of PAIR, and then try again.</p> <p>0: Copy group name</p> <p>1: Average progress rate</p> <p>移行操作を実行できませんでした。ターゲットタスク実行時に作成したコピーグループのコピーが完了していません。(Copy group name={0}, Average progress rate={1})</p> <p>[対処]</p> <p>コピーグループ内のすべてのコピーペアのステータスが PAIR になった後、タスクを再実行してください。</p> <p>0:コピーグループ名</p> <p>1:平均進捗率</p>
KNAE07571-E	<p>Cannot clean up the target task. Cleaning up the task for which the "Migrate Data for Online Migration Pair" task has already started is not supported. (Task ID = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Run the cleanup manually.</p> <p>0:Task ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>ターゲットタスクをクリーンアップできませんでした。既に Migrate Data for Online Migration Pair タスクを開始済みのタスクに対するクリーンアップはサポートしていません。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>手動でクリーンアップを実施してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07572-E	<p>Cannot clean up the target task. Only completed or failed tasks are supported as cleanup target tasks. (Task ID = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the target task has been completed or failed, and run the task again.</p> <p>0:Task ID</p> <p>ターゲットタスクをクリーンアップできませんでした。完了または失敗したタスクのみクリーンアップをサポートしています。(Task ID={0})</p> <p>[対処]</p> <p>ターゲットタスクが完了または失敗していることを確認し、再実行してください。</p> <p>0:タスク ID</p>
KNAE07573-E	<p>Cannot get the information of the created Copy Pair.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the {2} log information, and then try again. (Data Flow Name:{0}, Policy Name:{1})</p> <p>0: Data Flow Name</p> <p>1: Policy Name</p> <p>2: Product Name</p> <p>作成したコピーペアの情報が取得できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>Data Instance Director のログ情報を確認して障害の原因を取り除き再度実行してください。(Data Flow Name:{0}, Policy Name:{1})</p> <p>0: Data Flow Name</p> <p>1: Policy Name</p> <p>2: Product Name</p>
KNAE07574-W	<p>Creating the online migration pair completed successfully, but cannot send the email.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the Task Log and resolve the problem according to the error message. You can continue the migration regardless of the success or failure of sending the email. Check the message in the "Results" tab of the "Task Details" window.</p> <p>online migration pair の作成は正常に完了しましたが、メールの送信に失敗しました。</p> <p>[対処]</p> <p>タスクログを確認し、エラーメッセージの内容に従って対処を実行してください。メール送信の成否に関わらず、マイグレーションを続けられます。Task Details 画面の Results タブのメッセージを確認してください。</p>
KNAE07575-E	<p>Cannot delete a temporarily created Diskless Quorum. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1})</p> <p>[Cause]</p> <p>An error occurred while running the API.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Configuration Manager error message and run a cleanup task. (Configuraton Manager message={2})</p> <p>0: Quorum Disk ID</p> <p>1: Storage System</p> <p>2: message</p> <p>一時的に作成した Diskless Quorum が削除できませんでした。(Quorum Disk ID={0}, Storage System={1})</p> <p>[原因]</p> <p>API の実行中にエラーが発生しました。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] メッセージの内容に従って対処を実行し、クリーンアップタスクを実行してください (Configuration Manager メッセージ={2}) 0: Quorum Disk ID 1: Storage System 2: message</p>
KNAE07576-W	<p>Deleting the temporarily created Diskless Quorum is taking longer than expected. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [Cause] The API is taking a long time. [Action] Wait for a while to check that the Diskless Quorum has been deleted and then run a cleanup task. 0: Quorum Disk ID 1: Storage System 一時的に作成した Diskless Quorum 削除処理が時間内に完了しませんでした。 (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [原因] API の処理に時間がかかっています。 [対処] しばらく経ってから対象の Diskless Quorum が削除されたかを確認し、クリーンアップタスクを実行してください。 0: Quorum Disk ID 1: Storage System</p>
KNAE07577-E	<p>Cannot delete a temporarily created Diskless Quorum. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [Cause] An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message, then manually delete the Diskless Quorum. (Configuration Manager message={2}) 0: Quorum Disk ID 1: Storage System 2: message 一時的に作成した Diskless Quorum が削除できませんでした。(Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] メッセージの内容に従って対処を実行し、手動で対象の Diskless Quorum を削除してください。(Configuration Manager メッセージ={2}) 0: Quorum Disk ID 1: Storage System 2: message</p>
KNAE07578-W	<p>Although the migration has completed successfully, deleting the temporarily created Diskless Quorum is taking longer than expected. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [Cause] The API is taking a long time. [Action] Wait for a while to check that the Diskless Quorum has been deleted. 0: Quorum Disk ID 1: Storage System マイグレーションは成功しましたが、一時的に作成した Diskless Quorum 削除処理が時間内に完了しませんでした。(Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	API の処理に時間がかかっています。 [対処] しばらく経ってから対象の Diskless Quorum が削除されたかを確認してください。 0: Quorum Disk ID 1: Storage System
KNAE07579-W	The Diskless Quorum deletion is taking longer than expected. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [Cause] The API is taking a long time. [Action] Wait for a while and check that the Diskless Quorum has been deleted, and then run the cleanup task again if necessary. 0: Quorum Disk ID 1: Storage System Diskless Quorum 削除処理が時間内に完了しませんでした。(Quorum Disk ID={0}, Storage System={1}) [原因] API の処理に時間がかかっています。 [対処] しばらく経ってから対象の Diskless Quorum が削除されたかを確認し、必要に応じてクリーンアップタスクを再実行してください。 0: Quorum Disk ID 1: Storage System
KNAE07580-E	Cannot run the Diskless Quorum operation. (Configuration Manager={0}, Storage System={1}) [Cause] An error occurred while running the API. [Action] Resolve the problem according to the Configuration Manager error message. (Configuraton Manager message={2}) 0: Configuration Manager 1: Storage System 2: Configiuraton Manager Message Diskless Quorum に対する操作を実行できませんでした。(Configuration Manager={0}, Storage System={1}) [原因] API の実行中にエラーが発生しました。 [対処] Configuration Manager のメッセージに従って対処を実行してください。(Configuration Manager メッセージ : {2}) 0: Configuration Manager 1: Storage System 2: Configiuraton Manager Message
KNAE07581-E	Cannot delete the Diskless Quorum. (Quorum Disk ID={0}, Storage System={2}) [Action] Remove the cause of the problem and manually delete the Diskless Quorum. (message:{1}) 0: Quorum Disk ID 1: message 2: Storage System ディスクレスクォーラムを削除できませんでした。(Quorum Disk ID={0}, Storage System={2}) [対処] エラーメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。その後、ディスクレスクォーラムを手動で削除してください。(message:{1}) 0: Quorum Disk ID

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: message 2: Storage System
KNAE07582-E	The migration task cannot be done because the {0} version is not supported. [Action] Upgrade the {0}, and run the task again. For supported versions of {0}, refer to "Service template prerequisites" in the online help. 0: Server Type {0}のバージョンがサポート対象外のため、マイグレーションタスクが実行できません。 [対処] {0}をバージョンアップしてからタスクを再実行してください。{0}のサポートバージョンについてはオンラインヘルプの「サービステンプレート前提条件」を参照してください。 0: Server Type
KNAE07583-E	Cannot run the Diskless Quorum operation. (Configuration Manager={0}, Storage System={1}) [Cause] An error occurred while running the API. The storage system's microcode version might not be supported. [Action] Confirm the microcode version of the storage system. For supported microcode versions, refer to "Service template supported platforms" in the online help. 0: Configuration Manager 1: Storage System Diskless Quorum に対する操作を実行できませんでした。(Configuration Manager={0}, Storage System={1}) [原因] API の実行中にエラーが発生しました。ストレージのマイクロコードバージョンがサポート対象外の可能性があります。 [対処] ストレージのマイクロコードバージョンを確認してください。サポートマイクロコードバージョンについては、オンラインヘルプの「サービステンプレートのサポートプラットフォーム」を参照してください。 0: Configuration Manager 1: Storage System

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE08001-I	部品実行を開始しました (タスク名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2}, 実行 ID: {3})。 0:タスク名 1:タスク ID 2:ステップ ID 3:実行 ID
KNAE08002-I	部品実行を終了しました (タスク名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2}, 実行 ID: {3}, 部品戻り値: {4})。 0:タスク名 1:タスク ID 2:ステップ ID 3:実行 ID 4:部品戻り値
KNAE08003-I	部品実行を停止しました (タスク名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2}, 実行 ID: {3})。 0:タスク名 1:タスク ID 2:ステップ ID 3:実行 ID

メッセージID	メッセージの内容
KNAE08004-I	{0} 0:部品情報
KNAE08005-I	{0} 0:部品情報
KNAE08006-I	{0} 0:部品情報
KNAE08008-E	部品の実行結果をタスク処理エンジンに応答できませんでした。 [原因] タスク処理エンジンとの通信に何らかの障害が発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE08009-I	{0} 0: 部品の標準出力内容
KNAE08010-I	{0} 0: 部品の標準出力内容
KNAE08011-E	部品実行でデータベース障害が発生しました。(タスク名:{0}, タスク ID:{1}, ステップ ID:{2}, 実行 ID:{3}, 例外詳細:{4})。 [原因] データベースへのアクセスで例外が発生しました。 [対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:タスク名 1:タスク ID 2:ステップ ID 3:実行 ID 4:例外詳細
KNAE08012-E	部品実行で障害が発生しました (タスク名:{0}, タスク ID:{1}, ステップ ID:{2}, 実行 ID:{3}, 部品戻り値:{4}, 例外詳細:{5})。 [原因] 次の要因が考えられます。 ・部品実行で何らかの障害が発生した。 ・タスクの強制停止操作が行われた。 ・本製品の停止操作が行われた。 [対処] タスクログおよび公開ログ(Server[n].log)の発生時刻前後のメッセージおよび例外詳細を確認して対処してください。タスクの強制停止や本製品の停止操作の形跡がなく、発生時刻前後にエラーメッセージや例外詳細が出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:タスク名 1:タスク ID 2:ステップ ID 3:実行 ID 4:部品戻り値 5:例外詳細
KNAE08013-E	入力プロパティの値が未設定のため、部品実行に失敗しました (プロパティキー:{0})。 [原因] 部品の入力プロパティ値が未設定です。 [対処] サービス実行時に指定した入力値を見直してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:プロパティキー
KNAE08014-E	指定された接続先ホスト名の名前解決に失敗しました (詳細情報:{0})。 [原因] 指定された接続先ホスト名の名前解決ができません。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] 接続先ホスト名の指定値、ネットワークおよび DNS の設定を確認して、再度サービスを実行してください。 0: 名前解決失敗の詳細情報</p>
KNAE08015-W	<p>プロパティの値が格納できる最大長を超えているため、切り捨てられました (プロパティキー: {0}, 元の文字列長: {1}, 最大長: {2})。 0: プロパティキー 1: 元の文字列長 2: 最大長</p>
KNAE08016-E	<p>部品実行で障害が発生しました (タスク名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2}, 実行 ID: {3}, 部品戻り値: {4})。 [原因] 次の要因が考えられます。 ・ 部品実行で何らかの障害が発生した。 ・ タスクの強制停止操作が行われた。 ・ 本製品の停止操作が行われた。 [対処] タスクログおよび公開ログ(Server[n].log)の発生時刻前後のメッセージを確認して対処してください。タスクの強制停止や本製品の停止操作の形跡がなく、発生時刻前後にエラーメッセージも出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: タスク名 1: タスク ID 2: ステップ ID 3: 実行 ID 4: 部品戻り値</p>
KNAE08017-E	<p>入力プロパティの値に使用できない文字が含まれているため、部品実行に失敗しました (プロパティキー: {0}, 使用不可文字: {1})。 [原因] 部品の入力プロパティの値に、使用できない文字が含まれています。 [対処] サービス実行時に指定した入力値を見直してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: プロパティキー 1: 使用不可文字</p>
KNAE08018-E	<p>入力プロパティの値に誤りがあるため、部品実行に失敗しました (プロパティキー: {0})。 [原因] 部品の入力プロパティの値に誤りがあります。 [対処] サービス実行時に指定した入力値を見直してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: プロパティキー</p>
KNAE08020-W	<p>プロパティの値が格納できる最大サイズを超えているため、切り捨てられました (プロパティキー: {0}, 最大サイズ: {1}メガバイト)。 0: プロパティキー 1: 最大サイズ</p>
KNAE08021-I	<p>遷移条件: {0}, 判定条件: {1}, 判定結果: {2} 0: 遷移条件 1: 判定条件 2: 判定結果</p>
KNAE08022-E	<p>ファイル参照入力プロパティのデータファイル作成に失敗しました。指定したプロパティ値の形式が不正です (プロパティキー: {0}, 要因: {1}, 値: {2}) 0: プロパティキー 1: 要因メッセージ</p>

メッセージID	メッセージの内容
	2: プロパティ値
KNAE08023-E	ファイル参照出力プロパティのデータファイルから値の読み込みに失敗しました。指定したプロパティ値の形式が不正です（プロパティキー{0}、パス{1}、要因{2}） 0: プロパティキー 1: 参照パス 2: 要因メッセージ
KNAE08044-W	実行されたスクリプトまたはコマンドの戻り値が 0 から 63 の範囲外であったため部品の戻り値を 64 に設定しました（スクリプトまたはコマンドの戻り値：{0}）。 0:スクリプトまたはコマンドの戻り値
KNAE08045-E	本製品の停止操作が行われたため、部品実行に失敗しました。 [対処] 本製品を再起動した後、必要に応じて再度サービスを実行してください。
KNAE08046-I	本製品の停止操作が行われたため、接続先ホストで実行中のプロセスを停止しました。 [対処] 本製品を再起動した後、必要に応じて再度サービスを実行してください。
KNAE08047-E	本製品の停止操作が行われたため、接続先ホストで実行中のプロセスの停止要求を行いました。停止に失敗しました（プロセス ID：{0}）。 [対処] 接続先ホストのプロセスの状態を Windows のタスクマネージャから確認し、必要に応じてプロセスを停止してください。本製品を再起動した後、必要に応じて再度サービスを実行してください。 0:プロセス ID
KNAE08048-E	接続先ホストで実行中のプロセスの情報が取得できなかったため、本製品の停止に伴うプロセスの停止要求を行えませんでした。 [対処] 実行中のコマンドが分かる場合は、接続先ホストで実行中のプロセスの状態を Windows のタスクマネージャから確認し、必要に応じてプロセスを停止してください。本製品を再起動した後、必要に応じて再度サービスを実行してください。
KNAE08049-I	接続先ホストでコマンドを実行して文字セット名を取得しました。（コマンド：{0}、実行結果：{1}）。 0:実行したコマンドライン 1:実行したコマンド結果
KNAE08050-I	接続先ホストの環境変数 LC_ALL と LANG に{0}を設定しました。 0:設定したロケール
KNAE08051-I	接続先プロパティファイルから通信に使用する文字セットを取得しました（文字セット名：{0}）。 0:文字セット名
KNAE08052-I	文字セットマッピングファイルの設定に従い、通信に使用する文字セットが決定しました（文字セット名：{0}）。 0:文字セット名
KNAE08053-I	接続先ホストとの通信に使用する文字セットを UTF-8 に設定しました。変更する場合は、接続先プロパティファイルまたは、文字セットマッピングファイルを設定してください。
KNAE08054-I	接続先ホストの環境変数 LC_ALL と LANG に値を設定しませんでした。
KNAE08055-E	ホストに接続を試みましたが、接続ができませんでした（接続先：{0}、プロトコル：{1}、ポート番号：{2}）。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・ 接続先ホストが起動していない。 ・ 接続先ホストが高負荷になっている。 ・ 接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 ・ ファイアウォールなどにより、指定されたポート番号を使った通信がブロックされている。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・ファイアーウォールの設定 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IPアドレス 1:プロトコル 2:ポート番号</p>
KNAE08056-E	<p>認証に失敗しました (接続先: {0}, プロトコル: {1}, ポート番号: {2})。</p> <p>[原因]</p> <p>認証情報の設定が誤っています。</p> <p>[対処]</p> <p>認証情報の設定を見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IPアドレス 1:プロトコル 2:ポート番号</p>
KNAE08057-E	<p>接続先プロパティファイルに無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (ファイル名: {0}, キー名: {1}, プロパティ値: {2})。</p> <p>[原因]</p> <p>プロパティ値に設定された文字セット名に誤りがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>有効な文字セット名を設定し、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名 2:プロパティ値</p>
KNAE08058-E	<p>接続先プロパティファイルに無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (ファイル名: {0}, キー名: {1}, プロパティ値: {2})。</p> <p>[原因]</p> <p>プロパティ値に設定された正規表現に誤りがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>有効な正規表現を設定し、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名 2:プロパティ値</p>
KNAE08059-E	<p>接続先プロパティファイルに無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (ファイル名: {0}, キー名: {1}, プロパティ値: {2})。</p> <p>[対処]</p> <p>プロパティには数値を設定する必要があります。設定値を見直し、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名 2:プロパティ値</p>
KNAE08060-E	<p>接続先プロパティファイルに無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (ファイル名: {0}, キー名: {1}, プロパティ値: {2})。</p> <p>[対処]</p> <p>プロパティには数値を「,」(カンマ)区切りで設定する必要があります。設定値を見直し、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名 2:プロパティ値</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE08061-E	文字セットマッピングファイル(charsetMapping_user.properties)に無効な文字セット名が設定されているため、部品実行に失敗しました (キー名: {0}, 文字セット名: {1})。 [原因] プロパティ値に設定された文字セット名に誤りがあります。 [対処] 有効な文字セット名を設定し、本製品を再起動した後、再度サービスを実行してください。 0:キー名 1:文字セット名
KNAE08062-E	プロパティファイル (config_user.properties) に無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (キー名: {0}, プロパティ値: {1})。 [原因] プロパティ値に設定された正規表現に誤りがあります。 [対処] 有効な正規表現を設定し、本製品を再起動した後、再度サービスを実行してください。 0:キー名 1:プロパティ値
KNAE08063-E	部品実行に必要なコマンドが存在しません (接続先: {0}, コマンド: {1})。 [対処] 接続先ホストにコマンドをインストールし、再度サービスを実行してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド
KNAE08064-E	タスクの強制停止が行われたため、部品実行に失敗しました。
KNAE08065-I	タスクの強制停止が行われたため、接続先ホストで実行中のプロセスを停止しました。
KNAE08066-E	タスクの強制停止が行われたため、接続先ホストで実行中のプロセスの停止要求を行いました。停止に失敗しました (プロセス ID: {0})。 [対処] 接続先ホストのプロセスの状態を Windows のタスクマネージャから確認し、必要に応じてプロセスを停止してください。 0:プロセス ID
KNAE08067-E	接続先ホストで実行中のプロセスの情報が取得できなかったため、タスクの強制停止に伴うプロセスの停止要求を行えませんでした。 [対処] 実行中のコマンドが分かる場合は、接続先ホストで実行中のプロセスの状態を Windows のタスクマネージャから確認し、必要に応じてプロセスを停止してください。
KNAE08068-E	権限昇格に失敗しました (接続先: {0})。 [原因] エージェントレス接続先定義にスーパーユーザーのパスワードが設定されていません。 [対処] エージェントレス接続先定義の設定を見直して再度サービスを実行してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス
KNAE08069-E	権限昇格に失敗しました。 [原因] root のパスワードが設定されていません。次の理由が考えられます。 ・ サービスプロパティと部品プロパティのマッピングの設定が誤っている。 ・ サービス設定時またはサービス実行時に root のパスワードを入力していない。 [対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。 ・ サービスプロパティと部品プロパティのマッピングの設定 ・ root のパスワードの入力
KNAE08070-I	root 権限に昇格する設定 (SSH 接続用) が有効になっています。
KNAE08071-I	root 権限に昇格する設定 (SSH 接続用) が無効になっています。
KNAE08077-E	接続先ホストでの作業フォルダの作成に失敗しました (作業フォルダ: {0})。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[原因]</p> <p>次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォルダを作成する権限がない。 ・作業フォルダと同名のファイルがすでに存在している。 ・プロパティファイル (config_user.properties) で plugin.remoteCommand.workDirectory.ssh の値に有効な絶対パスが指定されていない。 ・接続先プロパティファイルで ssh.workDirectory の値に有効な絶対パスが指定されていない。 <p>[対処]</p> <p>次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業フォルダのパスにフォルダを作成することが可能であること。 ・作業フォルダと同名のファイルが存在していないこと。 ・プロパティファイル (config_user.properties) の plugin.remoteCommand.workDirectory.ssh の値に有効な絶対パスが指定されていること。 ・接続先プロパティファイルの ssh.workDirectory の値に有効な絶対パスが指定されていること。 <p>0:作業フォルダ</p>
KNAE08078-E	<p>接続先ホストで作業フォルダのアクセスに失敗しました (作業フォルダ : {0})。</p> <p>[原因]</p> <p>次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業フォルダに接続ユーザーがアクセス可能な権限が設定されていない。 ・作業フォルダのファイルシステムの空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業フォルダに権限が設定されていること。 ・作業フォルダのファイルシステムに十分な空き容量があること。 <p>0:作業フォルダ</p>
KNAE08080-E	<p>接続先ホストでリモートファイルまたは作業フォルダのアクセスに失敗しました (リモートファイルのパス : {0}, 作業フォルダ : {1})。</p> <p>[原因]</p> <p>次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートファイルに接続ユーザーがアクセス可能な権限が設定されていない。 ・作業フォルダに接続ユーザーがアクセス可能な権限が設定されていない。 ・作業フォルダのドライブの空き容量が不足している。 <p>[対処]</p> <p>次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートファイルに権限が設定されていること。 ・作業フォルダに権限が設定されていること。 ・作業フォルダのドライブに十分な空き容量があること。 <p>0:リモートファイルのパス 1:作業フォルダ</p>
KNAE08084-E	<p>接続先プロパティファイルに無効な値が設定されているため、部品実行に失敗しました (ファイル名 : {0}, キー名 : {1}, プロパティ値 : {2})。</p> <p>[対処]</p> <p>値を見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名 2:プロパティ値</p>
KNAE08085-E	<p>接続先プロパティファイルに値が設定されていないため、部品実行に失敗しました (ファイル名 : {0}, キー名 : {1})。</p> <p>[対処]</p> <p>値を設定して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:キー名</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE08086-I	システムアカウントで実行する設定 (Windows 接続用) が有効になっています。
KNAE08087-I	システムアカウントで実行する設定 (Windows 接続用) が無効になっています。
KNAE08101-I	リモートコマンド実行を開始しました (コマンド: {0})。 0:コマンド名
KNAE08102-I	リモートコマンド実行に成功しました (コマンド: {0})。 0:コマンド名
KNAE08103-E	リモートコマンド実行に失敗しました (コマンド: {0}, 部品戻り値: {1})。 0:コマンド名 1:部品戻り値
KNAE08104-E	汎用コマンド実行部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました (プロパティ: {0})。 [原因] 汎用コマンド実行部品の認証種別の値に誤りがあります。 [対処] 認証種別の値を確認後、再度サービスを実行してください。 0:認証種別の設定値
KNAE08105-E	汎用コマンド実行部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました (プロパティ: {0})。 [原因] 汎用コマンド実行部品の標準出力パターンに誤りがあります。 [対処] 標準出力パターンの値を確認後、再度サービスを実行してください。 0:標準出力パターンに設定した正規表現の設定値
KNAE08106-E	汎用コマンド実行部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました (プロパティキー: {0})。 [原因] 汎用コマンド実行部品の標準出力プロパティに指定されているサービスプロパティは存在しません。 [対処] サービスプロパティの値を再設定後、再度サービスを実行してください。 0:サービスプロパティキー
KNAE08107-E	コマンド実行処理中に通信エラーが発生したため、処理を中断しました (接続先: {0}, コマンド: {1}, 詳細: {2})。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・接続中にホストの再起動が行われた。 ・接続先ホストとの通信が切断された。 [対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。 ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストとの通信経路 問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド名 2:詳細情報
KNAE08108-E	コマンド実行処理中に、ホストから応答がなくなったため処理を中断しました (接続先: {0}, コマンド: {1}, 詳細: {2})。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・SSH 接続の場合タイムアウトが発生している。 [対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストの SSH の設定 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド名 2:詳細情報</p>
KNAE08109-E	<p>コマンド実行処理を実行できませんでした (接続先 : {0})。</p> <p>[原因] 接続先ホストの同時に処理可能なコマンド数が上限に達しました。</p> <p>[対処] 実行中のコマンドの終了後、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>
KNAE08110-E	<p>接続可能なホストが見つかりませんでした (接続先 : {0}, タスク ID : {1})。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストに対応するエージェントレス接続先定義が設定されていない。 ・接続先ホストに対応するエージェントレス接続先定義がインフラストラクチャーグループに割り当てられていない。または、サービスグループにインフラストラクチャーグループが割り当てられていない。 ・接続先ホストに対応するエージェントレス接続先定義の認証情報が誤っている。 ・実行時に指定した認証情報が誤っている。 ・root 権限に昇格する設定 (SSH 接続用) が有効になっているが、接続先ホストで root 権限への昇格が許可されていない。 <p>[対処] 下記を見直して、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エージェントレス接続先定義の設定および認証情報 ・インフラストラクチャーグループとサービスグループの設定 ・接続先ホストの設定 <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:タスク ID</p>
KNAE08111-I	リモートコマンド実行を開始しました。
KNAE08112-E	リモートコマンド実行に失敗しました。
KNAE08113-E	<p>予期せぬエラーが発生したため処理を中断しました。</p> <p>[原因] 部品実行で何らかの障害が発生しました。</p> <p>[対処] タスクログの前後のエラーメッセージおよび例外詳細を確認して対処してください。 前後のエラーメッセージや例外詳細がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p>
KNAE08114-E	<p>実行フォルダの取得に失敗しました (接続先 : {0})。</p> <p>[原因] 接続先ホストが Windows の場合、システム環境変数%TEMP%の取得ができませんでした。</p> <p>[対処] 接続先ホストのシステム環境変数%TEMP%が設定されていることを確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>
KNAE08115-E	<p>処理準備中に実行したコマンドでエラーが発生しました (接続先 : {0}, コマンド : {1})。</p> <p>[対処] 接続先ホストでコマンドが実行できることを確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>

メッセージID	メッセージの内容
	1:コマンド名
KNAE08116-E	<p>コマンドの実行ができませんでした (接続先: {0}, コマンド: {1})。</p> <p>[原因] コマンドの実行権限がないか、無効なコマンドが指定されました。</p> <p>[対処] コマンドおよび接続先ホストにおける実行権限が適切か確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド名</p>
KNAE08117-E	<p>ホストに接続を試みましたが、接続ができませんでした (接続先: {0}, OS 種別: {1})。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストが起動していない。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 ・接続先ホストが Windows の場合、139 番ポートで通信ができない。 ・接続先ホストが Linux/UNIX の場合、SSH 用のポートで通信ができない。 ・接続先ホストが Linux/UNIX の場合、ログイン時に起動するスクリプトが対話型になっている。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・ファイアーウォールの設定 ・ユーザー設定プロパティファイルに記載されている ssh.port.number の値とホストの SSH 用ポートの設定 ・ログイン時に起動するスクリプト <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:OS 種別</p>
KNAE08118-E	<p>認証に失敗しました (接続先: {0}, OS 種別: {1})。</p> <p>[原因] 認証情報の設定が誤っています。</p> <p>[対処] 認証情報の設定を見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:OS 種別</p>
KNAE08119-E	<p>接続先のホストでフォルダ作成に失敗しました (接続先: {0}, フォルダ: {1})。</p> <p>[原因] 接続先ホストにおけるフォルダの操作権限が適切か確認してください。</p> <p>[対処] 接続先ホストにおけるフォルダの操作権限が適切か確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:フォルダパス</p>
KNAE08120-E	<p>ホストに接続を試みましたが、接続に使用したユーザーの権限不足のため接続ができませんでした (接続先: {0}, OS 種別: {1})。</p> <p>[原因] ユーザーに接続可能な権限がありませんでした。</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>ユーザー情報と UAC の設定を確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:OS 種別</p>
KNAE08121-E	<p>接続先ホストから要求に対する応答が返りませんでした (接続先: {0})。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信が切断された。 ・接続先ホストとの通信がタイムアウトした。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・情報取得のタイムアウト値 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>
KNAE08122-E	<p>接続先ホストの管理共有が無効になっていたため、接続ができませんでした (接続先: {0})。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理共有が有効になっていない。 ・接続先プロパティファイルの <code>wmi.workDirectory.sharedName</code> に不正な値が設定されている。 ・接続先プロパティファイルの <code>wmi.workDirectory.sharedPath</code> に不正な値が設定されている。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理共有が有効になっていること。 ・接続先プロパティファイルの <code>wmi.workDirectory.sharedName</code> に有効な値が設定されていること。 ・接続先プロパティファイルの <code>wmi.workDirectory.sharedPath</code> に有効な値が設定されていること。 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>
KNAE08123-E	<p>認証に失敗したためコマンドを実行できませんでした (接続先: {0})。</p> <p>[原因] ユーザー認証に失敗しました。</p> <p>[対処] ユーザー情報を確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス</p>
KNAE08124-E	<p>スクリプトファイルが存在しないため、転送を行いません (スクリプトファイルのパス: {0})。</p> <p>[原因] フォルダパスの場所にスクリプトファイルがありません。</p> <p>[対処] サービステンプレートをインポートし直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:フォルダパス</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE08125-E	<p>コマンド実行処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、コマンド：{1}、カレントフォルダパス：{2}、詳細：{3}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストのシェルが不正な状態になっている。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの負荷状態。 ・シェルで基本的なコマンドが実行可能であること。 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド名 2:カレントフォルダパス 3:詳細</p>
KNAE08126-E	<p>ファイル削除処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、対象パス：{1}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル削除時に通信障害が発生した。 ・接続先ホストでディスク障害が発生した。 ・ファイルが別のプロセスによって開かれている。 <p>[対処] ファイルの状態を確認後、ファイルを手動で削除してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:削除対象パス</p>
KNAE08127-E	<p>コマンド実行状態取得処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、コマンド識別子：{1}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続中にホストの再起動が行われた。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 ・接続先ホストの空きメモリが不足している。 ・本製品の一時ファイル用のフォルダが不正な状態になっている。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・接続先ホストの空きメモリの状態 <p>問題が解決しない場合は、本製品を再起動して、再度サービスを実行してください。それでも問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:コマンド識別子</p>
KNAE08128-E	<p>ホストに接続を試みましたが、接続ができませんでした（接続先：{0}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストに接続する本製品が複数ある。 ・接続先ホストの再起動が行われた。 ・接続先ホスト上で本製品が起動するプロセスが停止した。 <p>[対処] 接続先ホストが Windows の場合は、複数のサーバから管理することはできません。システム構成を見直して、他の本製品が接続先ホストに接続していないことを確認してください。システム構成に問題がない場合は、接続先ホストの起動状態を確認して、再度</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス
KNAE08129-I	汎用コマンド実行を開始しました (コマンド: {0})。 0:コマンド名
KNAE08130-I	汎用コマンド実行に成功しました (コマンド: {0})。 0:コマンド名
KNAE08131-E	汎用コマンド実行に失敗しました (コマンド: {0}, 部品戻り値: {1})。 0:コマンド名 1:部品戻り値
KNAE08132-E	コマンドの標準出力のサイズが上限値を超えたため、処理を中断しました (上限値: {0} キロバイト)。 [対処] 入力プロパティを確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:標準出力サイズ上限値
KNAE08133-E	ホストとの接続中に問題が発生しました。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・接続中にホストの再起動が行われた。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 ・接続先ホストの空きメモリが不足している。 [対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。 ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・接続先ホストの空きメモリの状態 問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE08134-E	次のフォルダのアクセスに失敗しました (フォルダ: {0})。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・フォルダが削除された。 ・フォルダに対するアクセス権がない。 [対処] フォルダが存在しない場合は、しばらく待ってから再度サービスを実行してください。フォルダが存在する場合はアクセス権を確認して再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:フォルダパス
KNAE08135-E	コマンドの標準出力のサイズが上限値を超えたため、プロセスの停止要求をしましたが、応答がタイムアウトしました (標準出力の上限値: {0} キロバイト, プロセス ID: {1})。 [対処] 接続先ホストのプロセスを手動で停止した後、入力プロパティを確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:標準出力サイズ上限値 1:プロセス ID
KNAE08136-E	コマンドの標準出力のサイズが上限値を超えたため、プロセスの停止要求をしましたが、停止に失敗しました (標準出力の上限値: {0} キロバイト, プロセス ID: {1})。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	<p>接続先ホストのプロセスを手動で停止した後、入力プロパティを確認して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:標準出力サイズ上限値 1:プロセス ID</p>
KNAE08137-E	<p>サービステンプレートが不正なため、部品実行に失敗しました（ファイル名：{0}、要素名：{1}）。</p> <p>[対処] 実行したサービスのサービステンプレートを再作成し、インポートしなおして、再度実行してください。</p> <p>0:ファイル名 1:要素名</p>
KNAE08138-E	<p>処理準備中に実行したコマンドでエラーが発生しました（コマンド：{0}、戻り値：{1}、実行結果：{2}）。</p> <p>[原因] 環境変数の設定に失敗しました。</p> <p>[対処] 入力プロパティの設定、サービステンプレート内の環境変数の設定を見直してください。入力プロパティに問題があった場合は、入力プロパティを修正して再度サービスを実行してください。サービステンプレートに問題があった場合は、サービステンプレートを再作成し、インポートし直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:実行したコマンドライン 1:実行したコマンド戻り値 2:実行したコマンド結果</p>
KNAE08139-E	<p>コマンドの実行ができませんでした（接続先：{0}、保守情報：{1}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続中にホストの再起動が行われた。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 ・接続先ホストの空きメモリが不足している。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路 ・接続先ホストの空きメモリの状態 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:保守情報</p>
KNAE08140-E	<p>コマンドの実行のためのファイル転送処理でエラーが発生しました（保守情報：{0}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの転送先パスに対するアクセス権がない（フォルダパス：{1}） ・接続中にホストの再起動が行われた。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・接続先ホストとの通信経路で障害が発生している。 <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転送先パスに対するアクセス権 ・接続先ホストの起動状態 ・接続先ホストの負荷状態 ・接続先ホストとの通信経路

メッセージ ID	メッセージの内容
	問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:保守情報 1:フォルダパス
KNAE08141-E	処理準備中に実行したコマンドでエラーが発生しました（コマンド：{0}、戻り値：{1}、実行結果：{2}）。 [原因] 実行ディレクトリへの移動に失敗しました。 [対処] 入力プロパティの設定、サービステンプレート内の実行ディレクトリの設定と接続先ホストの実行ディレクトリの状態を見直してください。入力プロパティに問題があった場合は、入力プロパティを修正して再度サービスを実行してください。サービステンプレートに問題があった場合は、サービステンプレートを再作成し、インポートし直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:実行したコマンドライン 1:実行したコマンド戻り値 2:実行したコマンド結果
KNAE08142-E	接続先ホストと部品定義のプラットフォームが一致していません（接続先：{0}、OS 種別：{1}）。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・ 接続先ホストの指定に誤りがある。 ・ サービステンプレートの部品定義に誤りがある。 [対処] 接続先ホストの指定が誤っていないか確認してください。接続先ホストの指定に誤りがあった場合は、接続先ホストの指定を修正して、再度サービスを実行してください。サービステンプレートに問題があった場合は、サービステンプレートを再作成し、インポートし直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:OS 種別
KNAE08143-E	接続先ホストは本製品がサポートする OS ではありません（接続先：{0}、OS 種別：{1}）。 [原因] 接続先ホストの指定に誤りがある可能性があります。 [対処] 接続先ホストの指定が誤っていないか確認してください。接続先ホストの指定に誤りがあった場合は、接続先ホストの指定を修正して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:OS 種別
KNAE08151-I	ファイル転送を開始しました（ローカルファイルパス：{0}、リモートファイルパス：{1}、転送モード：{2}）。 0:ローカルファイルのパス 1:リモートファイルのパス 2:転送モード
KNAE08152-I	ファイル転送に成功しました（ローカルファイルパス：{0}、リモートファイルパス：{1}、転送モード：{2}）。 0:ローカルファイルのパス 1:リモートファイルのパス 2:転送モード
KNAE08153-E	ファイル転送に失敗しました（ローカルファイルパス：{0}、リモートファイルパス：{1}、転送モード：{2}）。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0:ローカルファイルのパス 1:リモートファイルのパス 2:転送モード</p>
KNAE08154-E	<p>ファイルの転送処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、転送元パス：{1}、転送先パス：{2}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。 (1)接続中にホストの再起動が行われた。 (2)転送元のファイルが存在しない。 (3)転送元または転送先のファイルの書き込み/読み込みエラーが発生した。 (4)転送元または転送先のファイルの名前が 127 文字を超えている。 (5)転送元または転送先にフォルダを指定している場合、指定したフォルダの配下に絶対パスが 256 文字を超えているファイル/フォルダが存在する。 (6)転送元または転送先にフォルダを指定している場合、指定したフォルダ以降のパスが 127 文字を超えているファイル/フォルダが存在する。 (7)転送元パスまたは転送先パスにネットワークドライブまたは UNC パスを指定している。 (8)転送中に通信障害が発生した。 (9)接続先ホストが高負荷になっている。 (10)接続先ホストのシステムドライブの空き容量が不足している。 (11)本製品がインストールされているドライブの空き容量が不足している。 (12)転送対象のファイルが暗号化されている。</p> <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。 (1)接続先ホストの起動状態 (2)-(7)転送元または転送先のファイル/フォルダのパス (8)接続先ホストとの通信経路 (9)接続先ホストの負荷状態 (10)接続先ホストのシステムドライブの空き容量 (11)本製品がインストールされているドライブの空き容量 (12)転送対象のファイルの属性 問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:転送元パス 2:転送先パス</p>
KNAE08155-E	<p>ファイル転送部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました（プロパティ：{0}）。</p> <p>[原因] ファイル転送部品の認証種別の値に誤りがあります。</p> <p>[対処] 認証種別の値を確認後、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:認証種別の設定値</p>
KNAE08156-E	<p>ファイル転送部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました（プロパティ：{0}）。</p> <p>[原因] ファイル転送部品の転送モードの値に誤りがあります。</p> <p>[対処] 転送モードの値を確認後、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:転送モードの設定値</p>
KNAE08157-E	<p>ファイル転送部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました（プロパティ：{0}）。</p> <p>[原因] ファイル転送部品のローカルファイルパス名の値に誤りがあります。</p> <p>[対処] ローカルファイルパス名の値を確認後、再度サービスを実行してください。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	0:ローカルファイルパス名の設定値
KNAE08158-E	<p>ファイル転送部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました（プロパティ：{0}）。</p> <p>[原因] ファイル転送部品のリモートファイルパス名の値に誤りがあります。</p> <p>[対処] リモートファイルパス名の値を確認後、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:リモートファイルパス名の設定値</p>
KNAE08159-E	<p>ファイル転送処理中にエラーが発生したため、処理を中断しました（接続先：{0}、ローカルファイルパス名：{1}、リモートファイルパス名：{2}、詳細：{3}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <p>(1)転送先でファイルの書き込み/読み込みエラーが発生した。 (2)転送元または転送先のファイルの名前が 127 文字を超えている。 (3)転送元または転送先にフォルダを指定している場合、指定したフォルダの配下に絶対パスが 256 文字を超えているファイル/フォルダが存在する。 (4)転送元または転送先にフォルダを指定している場合、指定したフォルダ以降のパスが 127 文字を超えているファイル/フォルダが存在する。 (5)リモートファイルパスにネットワークドライブを指定している。 (6)リモートファイルパスに UNC パスを指定している。 (7)転送中に通信障害が発生した。 (8)接続先ホストが高負荷になっている。 (9)転送対象のファイルが暗号化されている。</p> <p>[対処] 次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <p>(1)-(6)転送元または転送先のファイル/フォルダのパス (7)接続先ホストとの通信経路 (8)接続先ホストの負荷状態 (9)転送対象のファイルの属性</p> <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:ローカルファイルパス 2:リモートファイルパス 3:詳細情報</p>
KNAE08160-E	<p>ファイル転送処理中にタイムアウトが発生したため処理を中断しました（接続先：{0}、ローカルファイルパス名：{1}、リモートファイルパス名：{2}、詳細：{3}）。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストが Linux/UNIX の場合、SCP のタイムアウトが発生した。 ・転送中に通信障害が発生した。 ・接続先ホストが高負荷になっている。 ・タスクの強制停止操作が行われた。 ・本製品の停止操作が行われた。 <p>[対処] タスクの強制停止や本製品の停止操作の形跡がない場合は、次の確認をして、再度サービスを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストの SSH の設定 ・接続先ホストとの通信経路 ・接続先ホストの負荷状態 <p>問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:ローカルファイルパス 2:リモートファイルパス 3:詳細情報</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE08161-E	<p>リモートファイルの配置場所に移動できませんでした（リモートファイルパス：{0}）。</p> <p>[原因] リモートファイルパスが誤っている可能性があります。</p> <p>[対処] リモートファイルパスを見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:リモートファイルパス</p>
KNAE08162-E	<p>ファイルの転送処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、転送元パス：{1}、転送先パス：{2}）。</p> <p>[原因] 転送元パスにファイルを指定していますが、転送先パスには同名のフォルダが存在しません。ファイル/フォルダの種別が一致しない場合は、上書きすることができません。</p> <p>[対処] 転送元パスと転送先パスを見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:転送元パス 2:転送先パス</p>
KNAE08163-E	<p>ファイルの転送処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、転送元パス：{1}、転送先パス：{2}）。</p> <p>[原因] 転送元パスにフォルダを指定していますが、転送先パスには同名のファイルが存在しません。ファイル/フォルダの種別が一致しない場合は、上書きすることができません。</p> <p>[対処] 転送元パスと転送先パスを見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:転送元パス 2:転送先パス</p>
KNAE08164-E	<p>ファイルの転送処理に失敗したため、処理を中断しました（接続先：{0}、転送元パス：{1}、転送先パス：{2}）。</p> <p>[原因] 転送対象のファイルが存在しません。</p> <p>[対処] 転送元パスを見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:転送元パス 2:転送先パス</p>
KNAE08165-E	<p>ファイル転送に失敗しました（ローカルファイルパス：{0}、ローカルファイルパスの長さ：{1}）。</p> <p>[原因] ローカルファイルパスの長さが 256 文字を超えています。</p> <p>[対処] ローカルファイルパスを見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ローカルファイルのパス 1:ローカルファイルのパスの長さ</p>
KNAE08166-E	<p>ファイル転送に失敗しました（ファイル名/フォルダ名：{0}、ファイル名/フォルダ名の長さ：{1}）。</p> <p>[原因] ローカルファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名の長さが 127 文字を超えています。</p> <p>[対処] ローカルファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名を見直して、再度サービスを実行してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:ファイル名/フォルダ名 1:ファイル名/フォルダ名の長さ
KNAE08167-E	<p>ファイル転送に失敗しました (接続先: {0}, ローカルファイルパス: {1}, リモートファイルパス: {2})。</p> <p>[原因] ローカルファイルパス/リモートファイルパスは、フォルダ配下のファイル/フォルダを含めて絶対パスの長さが 256 文字以下である必要があります。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルファイルパスが長い ・リモートファイルパスが長い ・転送対象のフォルダ配下のパスが長い <p>[対処] ローカルファイルパス, リモートファイルパスおよび転送対象のフォルダ配下のパスを見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:ローカルファイルパス 2:リモートファイルパス</p>
KNAE08168-E	<p>ファイル転送に失敗しました (接続先: {0}, ローカルファイルパス: {1}, リモートファイルパス: {2})。</p> <p>[原因] 転送対象のフォルダ以降のパスの長さが 127 文字以下である必要があります。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルパスに指定したフォルダのフォルダ名が長い ・リモートパスに指定したフォルダのフォルダ名が長い ・転送対象のフォルダ配下のファイル/フォルダのパスが長い <p>[対処] ローカルファイルパス, リモートファイルパスおよび転送対象のフォルダ配下のパスを見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:ローカルファイルパス 2:リモートファイルパス</p>
KNAE08169-E	<p>ファイル転送に失敗しました (リモートファイルパス: {0}, リモートファイルパスの長さ: {1})。</p> <p>[原因] リモートファイルパスの長さが 256 文字を超えています。</p> <p>[対処] リモートファイルパスを見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:リモートファイルのパス 1:リモートファイルのパスの長さ</p>
KNAE08170-E	<p>ファイル転送に失敗しました (ファイル名/フォルダ名: {0}, ファイル名/フォルダ名の長さ: {1})。</p> <p>[原因] リモートファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名の長さが 127 文字を超えています。</p> <p>[対処] リモートファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名を見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名/フォルダ名 1:ファイル名/フォルダ名の長さ</p>
KNAE08171-E	<p>接続先ホストで転送用アーカイブファイルの作成処理がタイムアウトしました (接続先: {0}, リモートファイルパス: {1})。</p> <p>[原因] 次の理由が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続先ホストでファイルの読み込みエラーが発生した。 ・接続先ホストが高負荷になっている。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>・ファイルサイズの合計値が制限値を超えている。</p> <p>[対処] 一時的なファイル読み込みエラーの場合は、再度サービスを実行すると成功する可能性があります。接続先のホストの負荷状態やファイルサイズを見直して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:リモートファイルパス</p>
KNAE08172-E	<p>ファイル転送に失敗しました（ファイル名/フォルダ名：{0}、ファイル名/フォルダ名の長さ：{1}バイト）。</p> <p>[原因] リモートファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名の長さが{2}バイトを超えています。</p> <p>[対処] リモートファイルパスに指定したファイル名/フォルダ名を見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:ファイル名/フォルダ名 1:ファイル名/フォルダ名の長さ 2:ファイル名/フォルダ名の長さの制限値</p>
KNAE08173-E	<p>ファイル転送に失敗しました（接続先：{0}、ローカルファイルパス：{1}、リモートファイルパス：{2}）。</p> <p>[原因] 転送対象のフォルダ以降のパスの長さが{3}バイト以下である必要があります。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルパスに指定したフォルダのフォルダ名が長い ・リモートパスに指定したフォルダのフォルダ名が長い ・転送対象のフォルダ配下のファイル/フォルダのパスが長い <p>[対処] ローカルファイルパス、リモートファイルパスおよび転送対象のフォルダ配下のパスを見直して、再度サービスを実行してください。</p> <p>0:接続先ホスト名・IP アドレス 1:ローカルファイルパス 2:リモートファイルパス 3:フォルダ配下のパス長の制限値</p>
KNAE08201-I	<p>繰り返し部品実行を開始しました（繰り返し実行フロー：{0}、繰り返し回数：{1}、繰り返し実行方式：{2}）。</p> <p>0:繰り返し実行フロー 1:繰り返し回数 2:繰り返し実行方式</p>
KNAE08202-I	<p>繰り返し部品実行に成功しました（繰り返し実行フロー：{0}）。</p> <p>0:繰り返し実行フロー</p>
KNAE08203-E	<p>繰り返し実行フローの起動に失敗しました（例外詳細：{0}）。</p> <p>[原因] 繰り返し部品実行で何らかの障害が発生しました。</p> <p>[対処] 資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。</p> <p>0:例外詳細</p>
KNAE08204-W	<p>一部繰り返し実行が失敗しました（繰り返し実行失敗数={0}）。</p> <p>[対処] 必要に応じて、繰り返し実行フローの実行結果を確認してください。</p> <p>0:繰り返し実行失敗数</p>
KNAE08205-E	<p>すべての繰り返し実行が失敗しました。</p> <p>[対処] 必要に応じて、繰り返し実行フローの実行結果を確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE08206-E	<p>繰り返し部品に設定しているプロパティに誤りがあるため、部品実行に失敗しました。</p> <p>[原因] 繰り返し部品の入力プロパティに上限値よりも多いプロパティが指定されています。</p> <p>[対処] 入力プロパティの値を確認後、再度サービスを実行してください。</p>
KNAE08207-E	<p>繰り返し部品に設定している繰り返し実行方式に誤りがあるため、部品実行に失敗しました（繰り返し実行方式：{0}）。</p> <p>[原因] 繰り返し部品の繰り返し実行方式の値に誤りがあります。</p> <p>[対処] 実行方式の値を確認後、再度サービスを実行してください。 0:繰り返し実行方式</p>
KNAE08208-I	<p>繰り返し実行フローの起動に成功しました（実行 ID：{0}）。</p> <p>0:実行 ID</p>
KNAE08209-W	<p>タスクの状態が停止中であるため、新たな繰り返し実行フローを開始できません。</p>
KNAE08210-E	<p>繰り返し部品配下のフロー数の合計が上限を超えたため、繰り返し部品の実行に失敗しました（最大フロー数：{0}）。</p> <p>[対処] 繰り返し部品配下のフロー数の合計がフロー数の上限以内となるように、サービス内の繰り返し部品の繰り返し回数を減らして、サービスを再実行してください。 0:最大フロー数</p>
KNAE08251-I	<p>標準出力部品実行に成功しました。</p>
KNAE08261-I	<p>値判定部品で判定条件と合致しました（条件式={0}）。</p> <p>0: 判定条件式</p>
KNAE08262-I	<p>値判定部品で判定条件と合致しませんでした（条件式={0}）。</p> <p>0: 判定条件式</p>
KNAE08263-W	<p>値判定部品で判定に使用する値に数値以外が含まれています（プロパティ={0}、プロパティ値={1}）。</p> <p>0:部品プロパティキー 1:部品プロパティの値</p>
KNAE08271-I	<p>指定された JavaScript コードの実行を開始しました。</p>
KNAE08272-E	<p>指定された JavaScript コードは関数型ではありません。</p> <p>[原因] 指定された JavaScript コードを評価したところ、関数型と認識できませんでした。</p> <p>[対処] スクリプト本体に指定した JavaScript コードを見直して、再度サービスを実行してください。</p>
KNAE08273-E	<p>指定された JavaScript コードをコンパイルできません。</p> <p>[原因] 指定された JavaScript コードを評価したところ、コンパイルに失敗しました。</p> <p>[対処] スクリプト本体に指定した JavaScript コードを見直して、再度サービスを実行してください。</p>
KNAE08274-E	<p>指定された JavaScript コードの実行中に予期しない例外が発生しました。（詳細:{0}）</p> <p>[原因] 指定された JavaScript コードを実行したところ、実行中に予期しない例外が発生しました。</p> <p>[対処] スクリプト本体に指定した JavaScript コードを見直して、再度サービスを実行してください。 0: 原因メッセージ</p>
KNAE08275-E	<p>JS ライブラリの読み込みに失敗しました。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	JS ライブラリの読み込み中に IO エラーが発生しました。 [対処] JS ライブラリのファイルが正しい場所に配置してあるか、ファイル名が間違っていないかを確認し、製品のサービスを再起動してから再実行してください。
KNAE08276-I	{0} 0:JavaScript コードから print 関数に渡された文字列
KNAE08277-I	{0} 0:JavaScript コードから print 関数に渡された文字列
KNAE08278-I	{0} 0:JavaScript コードから print 関数に渡された文字列
KNAE08279-I	{0} 0:JavaScript コードから print 関数に渡された文字列
KNAE08280-I	{0} 0:JavaScript コードから print 関数に渡された文字列
KNAE08281-E	JS ライブラリの設定ファイルを読み込めません(ファイル名: {0}). [原因] 所定のフォルダに設定ファイルが存在しないか、壊れているか、読み込めません。 [対処] 設定ファイルが所定のフォルダにあるか、壊れたり、ロックされたりしていないか確認し、サービスを再起動してください。 0: 設定ファイルのファイル名
KNAE08282-E	JS ライブラリの設定ファイルが不正です(ファイル名: {0}). [原因] 設定ファイルの内容が空か、書式が正しくないか、必要な記述が欠けています。 [対処] 設定ファイルの記述内容を確認し、サービスを再起動してください。 0: 設定ファイルのファイル名
KNAE08283-W	より新しい方の JS ライブラリを利用できます(リンク名: {0}, ライブラリ名: {1}, バージョン: {2}). 0: リンク名 1: ライブラリ名 2: 新バージョン
KNAE08284-E	ロードした JS ライブラリをコンパイルできません(ファイル名: {0}). [原因] 設定ファイルに指定の JS ライブラリのコンパイルに失敗しました。 [対処] JS ライブラリファイルの内容を確認して、サービスを再起動してください。 0: JS ライブラリのファイル名
KNAE08285-W	利用可能な JS ライブラリがありません(リンク名: {0}). 0: リンク名
KNAE08286-I	指定された JavaScript コードを正常に終了しました。
KNAE08287-E	指定された JavaScript コードを正常に終了できませんでした。 [原因] 指定された JavaScript コードの実行を中断しました。 [対処] タスクログおよび公開ログ(Server[n].log)の発生時刻前後のメッセージを確認して対処してください。タスクの強制停止や本製品の停止操作の形跡がなく、発生時刻前後にエラーメッセージも出力されていない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE08288-E	指定された JavaScript コードが異常を通知しています(通知: {0}). 0: 通知された値

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE08289-W	HTTP リクエストが失敗しました(タスク ID: {0}, repeatHttpRequestID: {1}, HTTP メソッド: {2}, URL: {3})。 0: タスク ID 1: repeatHttpRequestID 2: HTTP メソッド 3: URL
KNAE08290-W	HTTP リクエストが失敗しました(タスク ID: {0}, repeatHttpRequestID: {1}, HTTP メソッド: {2}, URL: {3}, ステータスコード: {4}, メッセージ: {5})。 0: タスク ID 1: repeatHttpRequestID 2: HTTP メソッド 3: URL 4: ステータスコード 5: メッセージ
KNAE08301-E	SMTP サーバ, SMTP サーバポート番号または送信元メールアドレスが設定されていないため, メールを送信しませんでした (SMTP サーバ: {0}, SMTP サーバポート番号: {1}, 送信元メールアドレス: {2})。 [対処] サービス共有プロパティの SMTP サーバの設定を見直して, 再度サービスを実行してください。 0:SMTP サーバ 1:SMTP サーバポート番号 2:送信元メールアドレス
KNAE08302-E	SMTP サーバホスト名不正のため接続に失敗しました (SMTP サーバ: {0}, SMTP サーバポート番号: {1}, 認証ユーザー ID: {2})。 [対処] サービス共有プロパティの SMTP サーバの設定を見直して, 再度サービスを実行してください。 0:SMTP サーバ 1:SMTP サーバポート番号 2:認証ユーザー ID
KNAE08303-E	SMTP サーバでの認証に失敗しました (SMTP サーバ: {0}, SMTP サーバポート番号: {1}, 認証ユーザー ID: {2})。 [対処] サービス共有プロパティの SMTP サーバの設定を見直して, 再度サービスを実行してください。 0:SMTP サーバ 1:SMTP サーバポート番号 2:認証ユーザー ID
KNAE08304-W	メールを送信しませんでした。 [原因] 送信先メールアドレス (TO/CC/BCC) が設定されていません。 [対処] 送信先メールアドレス (TO/CC/BCC) を設定して, 再度サービスを実行してください。
KNAE08305-E	メール送信に失敗しました。エンコード種別が不正です (エンコード種別: {0})。 [対処] サービス実行時に指定するメールのエンコード種別を見直して, 再度サービスを実行してください。 0:エンコード種別
KNAE08306-E	メール送信に失敗しました (例外詳細: {0})。 [原因] 送信先の設定が誤っています。 [対処] 送信先の設定を見直して, 再度サービスを実行してください。

メッセージID	メッセージの内容
	0:例外詳細
KNAE08307-E	メール送信に失敗しました (例外詳細: {0})。 [対処] 例外詳細の情報を基に対処してください。 0:例外詳細
KNAE08351-I	ユーザー応答待ちを開始しました (応答タイムアウト時間: {0}分)。 0: 応答タイムアウト時間
KNAE08352-I	ユーザー応答待ちで、ユーザー応答を受け取りました (ユーザー ID: {0}, 応答されたボタン番号: {1}, ボタン表示ラベル: {2}, 入力された値: {3})。 0: 応答したユーザーのユーザー ID 1: 押されたボタンの番号 2: 押されたボタンの表示ラベル 3: 入力された値
KNAE08353-W	ユーザー応答待ちがタイムアウトしました。部品プロパティ <code>timeOutDefault</code> で指定されているタイムアウトデフォルト値が部品の戻り値となります (タイムアウトデフォルト値: {0})。 0: タイムアウトデフォルト値
KNAE08354-W	ユーザー応答待ち部品に設定しているプロパティに誤りがあります (プロパティ: {0})。 [原因] ユーザー応答待ち部品の応答タイムアウト時間の値に誤りがあります。 [対処] 応答タイムアウト時間の値として指定可能な値を設定してください。 0: 応答タイムアウト時間
KNAE08355-W	ユーザー応答待ち部品に設定しているプロパティに誤りがあります (プロパティ: {0})。 [原因] ユーザー応答待ち部品のタイムアウトデフォルトの値に誤りがあります。 [対処] タイムアウトデフォルトの値として指定可能な値を設定してください。 0: タイムアウトデフォルト値
KNAE08356-I	ユーザー応答待ち中にタスクの実行停止、強制停止、または本製品の停止操作が行われました。
KNAE08357-W	ユーザー応答待ち部品に設定しているプロパティキーを持つサービスプロパティが存在しません (プロパティキー: {0})。 [原因] ユーザー応答待ち部品に設定しているプロパティキーに誤りがあります。 [対処] プロパティキーとして指定可能な値を設定してください。 0: プロパティキー
KNAE08358-E	応答入力画面で指定したプロパティ値が不正です。 (プロパティキー: {0}, プロパティ値: {1})。 [対処] 応答入力画面で有効なプロパティ値を指定してください。 0: プロパティキー 1: プロパティ値
KNAE08401-I	ターミナル接続を開始しました (接続先: {0}, プロトコル: {1})。 0: 接続先ホスト名・IP アドレス 1: プロトコル
KNAE08402-I	ターミナル接続に成功しました。
KNAE08403-E	ターミナル接続に失敗しました。
KNAE08404-I	ターミナルコマンド実行を開始しました (コマンドライン: {0})。 0: コマンドライン
KNAE08405-I	ターミナルコマンド実行に成功しました。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE08406-E	ターミナルコマンド実行に失敗しました。
KNAE08407-I	ターミナル切断を開始しました。
KNAE08408-I	ターミナル切断に成功しました。
KNAE08409-E	ターミナル切断に失敗しました。
KNAE08410-I	{0} 0:コマンドライン
KNAE08411-I	{0} 0:標準出力と標準エラー出力
KNAE08412-E	無効なトークンが指定されたため、処理を中断しました（トークン：{0}）。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・ターミナル接続部品が返したトークンを指定していない。 ・ターミナル切断部品を実行した。 [対処] サービステンプレート作成者に連絡し、入力プロパティに正しくトークンを設定していることを確認してください。 0:トークン
KNAE08413-I	接続先ホストからユーザー ID 入力プロンプトが返されたため、ユーザー ID を入力しました。
KNAE08414-I	接続先ホストからパスワード入力プロンプトが返されたため、パスワードを入力しました。
KNAE08415-W	接続してから一定時間が経過しましたが、接続先ホストからユーザー ID 入力プロンプトが返されないため、ユーザー ID の入力を実行しませんでした（ユーザー ID 入力プロンプトの正規表現：{0}、待ち時間：{1}ミリ秒）。 0:ユーザー ID 入力プロンプトの正規表現 1:待ち時間
KNAE08416-W	接続してから一定時間が経過しましたが、接続先ホストからパスワード入力プロンプトが返されないため、パスワードの入力を実行しませんでした（パスワード入力プロンプトの正規表現：{0}、待ち時間：{1}ミリ秒）。 0:パスワード入力プロンプトの正規表現 1:待ち時間
KNAE08417-I	ログイン処理が完了しました。
KNAE08418-I	標準出力が戻り値判定パターンに合致しました（戻り値判定パターン：{0}、戻り値：{1}）。 0:戻り値判定パターン 1:戻り値
KNAE08419-E	トークンの数が上限値に達していたため、部品実行に失敗しました（上限値：{0}）。 [原因] サービステンプレートが誤っている可能性があります。 [対処] サービステンプレート作成者に連絡し、タスクあたりのトークン取得数が上限値を超えないことを確認してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:トークン数の上限値
KNAE08420-E	接続先ホストからプロンプトが返されない状態で、一定時間経過しました（プロンプトの正規表現：{0}、待ち時間：{1}ミリ秒）。 [原因] プロンプトの正規表現パターンの設定が誤っている可能性があります。 [対処] プロンプトの正規表現パターンが正しく設定されていることを確認し、再度サービスを実行してください。 0:プロンプトの正規表現

メッセージID	メッセージの内容
	1:待ち時間
KNAE08421-W	すでに切断されているため、切断処理を実行しませんでした。
KNAE08422-E	接続後にセッションが切断されました（接続先：{0}）。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・ 接続先のサーバから切断された。 ・ 通信障害が発生した。 [対処] タスクログに出力されている標準出力/標準エラー出力の情報と接続先の設定を確認して、タイムアウトなどにより接続先のサーバから切断されていないか確認してください。問題がない場合は、通信経路に異常が発生していないか確認してください。問題が解決したあと、必要に応じて再度サービスを実行してください。 0:接続先ホスト名・IP アドレス
KNAE08423-E	コマンドの実行ができませんでした（接続先：{0}）。 [原因] すでにセッションが切断されています。次の理由が考えられます。 ・ 接続先のサーバから切断された。 ・ ターミナルコマンド実行部品を使用してログアウトするコマンドを実行した。 ・ 通信障害が発生した。 [対処] 次の確認をして、必要に応じて再度サービスを実行してください。 ・ タイムアウトなどにより接続先のサーバから切断されていないか。 ・ ターミナルコマンド実行部品を使用してログアウトするコマンドを実行していないか。 ・ 通信経路に異常が発生していないか。 0:接続先ホスト名・IP アドレス
KNAE08424-E	コマンド実行結果の標準出力/標準エラー出力の取得に失敗しました（接続先：{0}）。 [原因] すでにセッションが切断されています。次の理由が考えられます。 ・ 接続先のサーバから切断された。 ・ ターミナルコマンド実行部品を使用してログアウトするコマンドを実行した。 ・ 通信障害が発生した。 [対処] 次の確認をして、必要に応じて再度サービスを実行してください。 ・ タイムアウトなどにより接続先のサーバから切断されていないか。 ・ ターミナルコマンド実行部品を使用してログアウトするコマンドを実行していないか。 ・ 通信経路に異常が発生していないか。 0:接続先ホスト名・IP アドレス
KNAE08451-E	出力ファイルの生成に失敗しました（ファイル名：{0}）。 [原因] 出力先ファイルの絶対パスが 256 文字を超えています。 [対処] 出力ファイル名および出力先ディレクトリパスを見直して再度サービスを実行してください。 0:ファイル名
KNAE08452-E	出力ファイルのフォーマット処理中にエラーが発生しました。 [原因] 出力用テンプレートに文法エラーがあります。 [対処] 出力用テンプレートを VTL(Velocity Template Language)の文法に従って正しく記述し、再度サービスを実行してください。
KNAE08453-E	出力ファイルのフォーマット処理中にエラーが発生しました。 [原因] 出力用テンプレート内に、未定義の変数またはメソッド呼び出しがあります。

メッセージ ID	メッセージの内容
	[対処] 出力用テンプレートを見直して再度サービスを実行してください。
KNAE08454-E	出力ファイルのフォーマット処理中にエラーが発生しました。 [原因] 出力ファイルのフォーマット処理中に何らかの障害が発生しました。 [対処] タスクログの前後のエラーメッセージおよび例外詳細を確認して対処してください。 前後のエラーメッセージや例外詳細がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE08455-E	ファイルの出力中にエラーが発生しました（ファイル名：{0}）。 [原因] 次の理由が考えられます。 ・出力先ディレクトリに書き込み権限がない。 ・出力先ディスクの容量が不足している。 ・出力ファイルが予期せず編集または削除された。 [対処] 出力先ディレクトリにファイルを新規作成できることを確認して再度サービスを実行してください。 0:ファイル名
KNAE08456-E	予期せぬエラーが発生したため処理を中断しました。 [原因] 部品実行で何らかの障害が発生しました。 [対処] タスクログの前後のエラーメッセージおよび例外詳細を確認して対処してください。 前後のエラーメッセージや例外詳細がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。
KNAE08457-E	HTTP レスポンスボディのサイズが最大受信サイズを超えているため、切り捨てられました（上限値：{0}メガバイト）。 [対処] 入力プロパティを再検討して、再度サービスを実行してください。問題が解決しない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: HTTP レスポンスボディサイズの上限値
KNAE08458-E	カテゴリと名前が一致する Web サービス接続先定義が見つかりませんでした（Web サービス接続先定義のカテゴリ：{0}、Web サービス接続先定義の接続先名：{1}）。 [対処] Web サービス接続先定義の設定値と入力プロパティを見直してください。 0:Web サービス接続先定義のカテゴリ 1:Web サービス接続先定義の接続先名
KNAE08459-W	Web サービス接続先定義の設定値を使用するため、入力プロパティの値は無視されます。（対象の入力プロパティ：{0}）。 0:入力プロパティ(カンマ区切り)
KNAE08460-E	URL が"/"で始まっていません（URL：{0}）。 [対処] Web サービス接続先定義を使用する場合、URL には"/"から始まる文字列を指定してください。例えば、"http://host:port/folder/"の場合は"/folder/"を指定してください。 0:リクエスト URL
KNAE08461-I	指定された Python スクリプトの実行を開始しました。
KNAE08462-I	指定された Python スクリプトを正常に終了しました。
KNAE08463-E	指定された Python スクリプトの実行に失敗しました（インタプリタパス：{0}、詳細：{1}）。 [原因] Python インタプリタを実行できませんでした。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	Python インタプリタ (実行ファイル) のパスが正しいか、Python インタプリタ (実行ファイル) の実行権限があるか確認の上、再実行してください。 0:Python インタプリタのパス 1:エラー詳細情報
KNAE08464-E	指定された Python スクリプトの実行がタイムアウトしました (詳細: {0})。 [対処] タイムアウトの値を大きな値に変更するか、実行がタイムアウト指定値未満の時間で終わるよう Python スクリプトを見直してから再実行してください。
KNAE08465-E	指定された Python スクリプトの実行に失敗しました。 [対処] スクリプト本体に指定した Python スクリプトを見直して、再実行してください。
KNAE08466-E	Python 部品の実行中に予期せぬエラーが発生しました (詳細: {0})。 [原因] Python 部品の実行で何らかの障害が発生しました。 [対処] タスクログの前後のエラーメッセージおよび例外詳細を確認して対処してください。 前後のエラーメッセージや例外詳細がない場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0:エラー詳細情報
KNAE08467-I	{0} 0:Python コードから log 関数に渡された文字列
KNAE08468-I	{0} 0:Python コードから log 関数に渡された文字列
KNAE08469-I	{0} 0:Python コードから log 関数に渡された文字列
KNAE08470-I	{0} 0:Python コードから log 関数に渡された文字列
KNAE08471-I	{0} 0:Python コードから log 関数に渡された文字列
KNAE08472-W	Python 実行部品のタイムアウト時間の値に誤りがあります (値: {0})。 [対処] タイムアウト時間の値として指定可能な値を設定してください。 0:指定したタイムアウト時間
KNAE08501-I	サーバが HTTP ステータスコード: {0} を返しました。{1} 秒後にリトライします(リトライ回数: {2}, 最大リトライ回数: {3})。 0:HTTP ステータスコード 1:リトライ前待ち時間 2:リトライ回数 3:最大リトライ回数
KNAE08502-E	最大リトライ回数を超えました。リトライを中断します(最大リトライ回数: {0})。 0:最大リトライ回数
KNAE08601-I	パーミットが取得できるまで待機します(セマフォ名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2})。 0:セマフォ名 1:タスク ID 2:ステップ ID
KNAE08602-I	パーミットを取得しました(セマフォ名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2})。 0:セマフォ名 1:タスク ID 2:ステップ ID
KNAE08603-I	パーミットを解放しました(セマフォ名: {0}, タスク ID: {1}, ステップ ID: {2})。 0:セマフォ名

メッセージ ID	メッセージの内容
	1:タスク ID 2:ステップ ID
KNAE08901-I	タスクを実行停止しました (ユーザー ID : {0})。 0:操作を行ったユーザーのユーザー ID

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE09001-E	バス名を指定してください。 [対処] バス名を指定してください。
KNAE09002-E	指定されたバスが見つかりません。 {0} [対処] 存在するバスを指定してください。 0:部品定義ファイルパス
KNAE09003-E	指定されたバスへのアクセス権がありません。 [対処] 部品定義ファイルへアクセス権を付加させてください。
KNAE09004-E	以下の部品定義ファイルの内容は不正のため読み込めません。 {0}({1}) [対処] 部品定義ファイル(plugin.xml)の内容を確認してください。 0:部品定義ファイルパス 1:追記事項
KNAE09005-E	{0}のマッピングパラメーターを入力してください。 [対処] {0}のマッピングパラメーターを入力してください。 0:プロパティキー
KNAE09006-E	内部 DLL の読み込みに失敗しました。この問題はプログラムを再インストールすることで解消される可能性があります。 [対処] プログラムを再度インストールしてください。
KNAE09007-E	内部 DLL の関数呼び出しに失敗しました。この問題はプログラムを再インストールすることで解消される可能性があります。 [対処] プログラムを再度インストールしてください。
KNAE09008-E	部品定義ファイルの読み込み時に内部エラーが発生しました。再度プログラムを実行してください。 [対処] プログラムを再度実行してください。
KNAE09009-E	プログラムの起動に失敗しました。再度プログラムを実行してください。 [対処] プログラムを再度実行してください。起動できない場合はプログラムを再インストールしてください。
KNAE09010-E	プログラムの実行に必要なメモリサイズの確保に失敗しました。プログラムを終了します。 [対処] 不要なプロセスを終了後、再度プログラムを実行してください。
KNAE09011-E	内部エラーにより、ダイアログの作成に失敗しました。 [対処] プログラムを再度実行してください。
KNAE09015-E	ダイアログの更新処理中にエラーが発生しました。 [対処]

メッセージID	メッセージの内容
	プログラムを再度実行してください。
KNAE09016-E	マッピングパラメータの入力値が上限を超えています (上限値: {0}文字)。 [対処] マッピングパラメータを再入力してください。 0:文字数

メッセージID	メッセージの内容
KNAE10006-E	ロールの情報を取得できませんでした(アプリケーション: {0})。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: アプリケーション名
KNAE10012-E	{0}の削除に失敗しました。 [対処] いったん操作を終了し、削除するサービスグループの状態を確認してください。 0: サービスグループ名
KNAE10029-E	ユーザーグループの編集に失敗しました(ユーザーグループ名: {0})。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {1})。 0: ユーザーグループ名 1: サーバメッセージ
KNAE10030-E	選択したユーザーに、別のユーザーグループに属しているユーザーがいます。 [対処] 別のユーザーグループからユーザーを削除して、再度ユーザーグループを割り当ててください。
KNAE10031-W	画面の表示条件を自動保存できません。再ログイン後、指定された表示条件は適用されません。 [原因] 指定したフィルター条件が多過ぎる、またはフィルター条件が長過ぎます。 [対処] フィルター条件を見直してください。
KNAE10032-E	不正なパスワードが指定されています(詳細: {0})。 [対処] いったん操作を終了し、ユーザーを確認してください。 0: 詳細
KNAE10033-E	無効なユーザー ID が指定されています(ユーザー ID: {0}, 詳細: {1})。 [対処] 正しいユーザー ID を指定してください。 0: ユーザー ID 1: 詳細
KNAE10034-E	指定されたユーザー ID はすでに存在します(ユーザー ID: {0})。 [対処] 異なるユーザー ID を指定してください。 0: ユーザー ID
KNAE10073-E	子プロセスの起動に失敗しました(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE10074-E	サーバと通信できません。 [対処] 再度同じ操作を実行してください(保守情報: {0})。 0: 保守情報

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE10076-E	データベースの初期化に失敗しました。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作してください。
KNAE10077-E	製品のサービスの起動に失敗しました。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してください。
KNAE10078-E	ロギングサービスの初期化に失敗しました。 [対処] 次の対処をしてください。(1) ディスクの空き容量を確認してください。(2) "logs"ディレクトリのアクセス権を確認してください。(3) "logs"ディレクトリを空にしてください。(4) 製品のサービスを停止した後、再度起動してください。
KNAE10079-E	製品のインストールファイル "{0}" が見つかりません。 [原因] インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。 [対処] 上書きインストールを実行してください。 0: ファイル名
KNAE10080-E	内部エラーが発生しました。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 要因
KNAE10082-E	セッションが無効です。 [対処] サーバが起動しているか確認し、再度ログインしてください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE10084-E	アプリケーションの起動に失敗しました。
KNAE10085-E	アプリケーションの起動に失敗しました(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE10086-I	アプリケーションの起動に成功しました。
KNAE10089-I	アプリケーションの終了に成功しました。
KNAE10133-E	データを取得できませんでした(レポート: {0})。 [原因] 製品のサービスが正常に起動していない、または環境が正しくないおそれがあります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: レポート名
KNAE10134-E	データ構造を取得できませんでした(レポート: {0})。 [原因] 製品のサービスが正常に起動していない、または環境が正しくないおそれがあります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: レポート名
KNAE10135-E	ユーザー情報を保存しました(ユーザー ID: {0}, レポート: {1})。 [原因] 製品のサービスが正常に起動していない、または環境が正しくないおそれがあります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。

メッセージID	メッセージの内容
	0: ユーザー ID 1: レポート名
KNAE10137-E	内部エラーが発生しました。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KNAE10138-E	子ノードの情報を取得できませんでした(ノード名: {0})。 [原因] 製品のサービスが正常に起動していない、または環境が正しくないおそれがあります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ノード名
KNAE10139-E	ルートノードの情報を取得できませんでした(ノード名: {0})。 [原因] 製品のサービスが正常に起動していない、または環境が正しくないおそれがあります。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください。 0: ノード名
KNAE10141-E	ユーザーを追加できませんでした(ユーザー ID: {0})。 [対処] いったん操作を終了し、ユーザーを確認してください。 0: ユーザー ID
KNAE10142-E	指定したユーザーを認証できません。 [原因] ユーザーが存在しないか、またはパスワードが間違っています(ユーザー ID: {0})。 [対処] ユーザー ID およびパスワードを確認してください。 0: ユーザー ID
KNAE10143-E	指定したプロパティを読み込めません(プロパティ名: {0})。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0: プロパティ名
KNAE10144-E	指定したテーブルを読み込めません(テーブル名: {0})。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0: テーブル名
KNAE10145-E	データベースにアクセス中にエラーが発生しました。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 例外
KNAE10146-E	認証サービスを実行できませんでした。 [対処] 製品のサービスを停止し、再度起動してから操作を再実行してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、資料採取ツールで資料を採取し、システム管理者に連絡してください(保守情報: {0})。 0: 例外
KNAE10147-E	パスワードを変更できませんでした(ユーザー ID: {0})。 [対処] いったん操作を終了し、ユーザーを確認してください。

メッセージID	メッセージの内容
	[対処] ユーザーグループ名を入力しなおしてください。
KNAE11011-E	ユーザーグループ名が長過ぎます。 [対処] ユーザーグループ名は 64 文字以内で入力してください。
KNAE11012-E	ユーザーグループ名を入力してください。
KNAE11013-E	説明は{0}文字以内で入力してください。 0:最大文字数
KNAE11018-I	ユーザーグループからユーザーを削除しました。
KNAE11019-I	ユーザーグループにユーザーを追加しました。
KNAE11030-E	入力してください。
KNAE11031-E	入力値に制御文字が含まれています。 [対処] 入力値を変更してください。
KNAE11032-E	入力値が長過ぎます。 [対処] {0}バイト以内で入力してください。 0:ユーザー入力値の最大バイト数
KNAE11033-E	時刻が正しくありません。 [対処] 正しい時刻を HH:MM 形式 (H は時間, M は分) で入力してください。
KNAE11034-E	タスクの説明が長過ぎます。 [対処] タスクの説明を 256 文字以内で入力してください。
KNAE11035-E	タスク名を入力してください。
KNAE11043-E	タスク名に制御文字が含まれています。 [対処] タスク名を変更してください。
KNAE11044-E	サーバとの接続に失敗しました。 [原因] 次の要因が考えられます。 (1) ネットワークに障害が発生している。 (2) 一時的にサーバの負荷が高くなっている。 (3) サーバが停止している。 [対処] サーバが起動しているか確認し、再度ログインしてください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE11045-E	サーバとの接続がタイムアウトしました。ネットワークに障害が発生しているおそれがあります。 [対処] サーバが起動しているか確認し、再度ログインしてください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE11046-E	予期しないエラーが発生しました。 [対処] システム管理者に問い合わせてください(保守情報: {0})。 0: 保守情報
KNAE11053-E	半角英数字で指定してください。
KNAE11054-E	E メールアドレスは{0}文字以内で入力してください。 [対処] 入力した E メールアドレスに誤りがないか確認してください。または、文字数に収まる E メールアドレスを入力してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
	0:最大文字数
KNAE11055-E	パスワードを入力してください。
KNAE11056-E	ユーザー ID を入力してください。
KNAE11057-E	パスワードと同じ文字列を入力してください。
KNAE11058-E	フルネームに使用できない文字が含まれています。
KNAE11060-I	ログインセッションは切断されます。
KNAE11061-E	選択したノードに対応するオブジェクトがデータベースにありません。 [対処] ツリーの表示を更新してください(保守情報:{0})。 0: ノード名
KNAE11062-E	選択したレポートを閲覧する権限がありません。 [対処] システム管理者に問い合わせさせて権限を見直してください(保守情報:{0})。 0: レポート名
KNAE11067-E	インストールされている製品のバージョン情報を取得できませんでした。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KNAE11079-E	ログインに必要なパラメータが不足しています(保守情報:{0})。 [対処] 同じエラーが発生する場合には、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 0:パラメータ名
KNAE11161-Q	選択した外部リソースプロバイダをエクスポートしますか？
KNAE11162-Q	{0}を削除しますか？(ID:{1}) 0: ユーザ定義型名 1: 識別名
KNAE11163-E	指定された外部リソースプロバイダは存在しません。
KNAE11164-E	指定された ID のドメインタイプは既に存在します。
KNAE11165-Q	指定したファイルでプロパティを上書きしますか？
KNAE11166-I	更新が完了しました。
KNAE11167-Q	現在の GUI メタ情報を上書きします。よろしいですか？
KNAE11168-E	ストレージシステムの情報のリフレッシュに失敗しました (Storage Device ID:{0})。 0: Storage Device ID
KNAE11169-I	Configuration Manager REST API サーバがリクエストを受け付けました。しばらくしてからリフレッシュ状態の更新ボタンをクリックし、最新情報を確認してください。

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE20001-E	ログイン認証に失敗しました。
KNAE20002-I	ログインに成功しました。
KNAE20003-W	ログインに失敗しました。
KNAE20004-I	ログアウトしました。
KNAE20006-I	ユーザーグループを作成しました。(ユーザーグループ名: {0}) 0:ユーザーグループ名
KNAE20007-E	ユーザーグループの作成に失敗しました。(ユーザーグループ名: {0}) 0:ユーザーグループ名
KNAE20008-I	ユーザーグループを編集しました。(ユーザーグループ名: {0}, ユーザー ID: {1}, ロール: {2}) 0:ユーザーグループ名

メッセージID	メッセージの内容
	1:ユーザー ID (ユーザーグループに所属するすべてのユーザー ID をコンマ区切りで出力します。) 2:ロール (ユーザーグループに設定されたすべてのロールを、「サービスグループ名:ロール」の形式でコンマで区切って出力します。)
KNAE20009-E	ユーザーグループの編集に失敗しました。(ユーザーグループ名: {0}) 0:ユーザーグループ名
KNAE20010-I	ユーザーグループを削除しました。(ユーザーグループ名: {0}) 0:ユーザーグループ名
KNAE20011-E	ユーザーグループの削除に失敗しました。(ユーザーグループ名: {0}) 0:ユーザーグループ名
KNAE20012-I	エージェントレス接続先情報を作成しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20013-E	エージェントレス接続先情報の作成に失敗しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20014-I	エージェントレス接続先情報を編集しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20015-E	エージェントレス接続先情報の編集に失敗しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20016-I	エージェントレス接続先情報を削除しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20017-E	エージェントレス接続先情報の削除に失敗しました。(エージェントレス接続先: {0}, サービスグループ: {1}) 0:ホスト名または IP アドレスを出力する。 1:サービスグループ名を出力する。
KNAE20020-I	サービスグループを作成しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20021-E	サービスグループの作成に失敗しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20022-I	サービスグループを編集しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20023-E	サービスグループの編集に失敗しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20024-I	サービスグループを削除しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20025-E	サービスグループの削除に失敗しました。(サービスグループ名: {0}) 0:サービスグループ名
KNAE20026-I	サービスを追加しました。(サービス名: {0}, サービスグループ: {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20027-E	サービスの追加に失敗しました。(サービス名: {0}, サービスグループ: {1}) 0:サービス名

メッセージ ID	メッセージの内容
	1:サービスグループ名
KNAE20028-I	サービスを編集しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20029-E	サービスの編集に失敗しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20030-I	サービスを削除しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20031-E	サービスの削除に失敗しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20032-I	サービスを実行しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20033-E	サービスの実行に失敗しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20034-I	タスクのスケジュールを一時停止しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20035-E	タスクのスケジュール一時停止に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20036-I	タスクのスケジュールを再開しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20037-E	タスクのスケジュール再開に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20038-I	タスクのスケジュールをキャンセルしました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20039-E	タスクのスケジュールキャンセルに失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20040-I	タスクの実行を停止しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20041-E	タスクの実行停止に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20042-I	タスクをアーカイブしました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20043-I	タスクの履歴を削除しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20044-I	ユーザーグループにユーザーを割り当てました。(ユーザーグループ名 : {0}, ユーザー ID : {1})

メッセージID	メッセージの内容
	{0} : ユーザーグループを出力する {1} : ユーザーグループに割り当たったすべてのユーザー ID を「,」(コンマ)区切りで連結して出力する。
KNAE20045-E	ユーザーグループへのユーザーの割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名 : {0}, ユーザー ID : {1}) {0} : ユーザーグループを出力する {1} : ユーザーグループに割り当たったすべてのユーザー ID を「,」(コンマ)区切りで連結して出力する。
KNAE20046-E	タスクのアーカイブに失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20047-E	タスクの履歴の削除に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE20048-I	サービステンプレートの作成に成功しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20049-E	サービステンプレートの作成に失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20050-I	サービステンプレートの編集に成功しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20051-E	サービステンプレートの編集に失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20052-I	サービステンプレートの削除に成功しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20053-E	サービステンプレートの削除に失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン
KNAE20054-I	サービステンプレートの複製に成功しました。(複製元サービステンプレート ID : {0}, 複製元ベンダー ID : {1}, 複製元バージョン : {2}, 複製先サービステンプレート ID : {3}, 複製先ベンダー ID : {4}, 複製先バージョン : {5}) 0:複製元サービステンプレート ID 1:複製元サービステンプレートのベンダー ID 2:複製元サービステンプレートのバージョン 3:複製先サービステンプレート ID 4:複製先サービステンプレートのベンダー ID 5:複製先サービステンプレートのバージョン

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE20055-E	<p>サービステンプレートの複製に失敗しました。(複製元サービステンプレート ID : {0}, 複製元ベンダー ID : {1}, 複製元バージョン : {2}, 複製先サービステンプレート ID : {3}, 複製先ベンダー ID : {4}, 複製先バージョン : {5})</p> <p>0:複製元サービステンプレート ID 1:複製元サービステンプレートのベンダー ID 2:複製元サービステンプレートのバージョン 3:複製先サービステンプレート ID 4:複製先サービステンプレートのベンダー ID 5:複製先サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE20056-I	<p>サービステンプレートのビルドに成功しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE20057-E	<p>サービステンプレートのビルドに失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE20058-I	<p>サービステンプレートのリリースに成功しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE20059-E	<p>サービステンプレートのリリースに失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン</p>
KNAE20060-I	<p>部品の作成に成功しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン</p>
KNAE20061-E	<p>部品の作成に失敗しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン</p>
KNAE20062-I	<p>部品の編集に成功しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン</p>
KNAE20063-E	<p>部品の編集に失敗しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2})</p> <p>0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン</p>
KNAE20064-I	<p>部品の複製に成功しました。(複製元部品 ID : {0}, 複製元ベンダー ID : {1}, 複製元バージョン : {2}, 複製先部品 ID : {3}, 複製先ベンダー ID : {4}, 複製先バージョン : {5})</p> <p>0:複製元部品 ID 1:複製元部品のベンダー ID 2:複製元部品のバージョン 3:複製先部品 ID 4:複製先部品のベンダー ID 5:複製先部品のバージョン</p>

メッセージID	メッセージの内容
KNAE20065-E	部品の複製に失敗しました。(複製元部品 ID : {0}, 複製元ベンダー ID : {1}, 複製元バージョン : {2}, 複製先部品 ID : {3}, 複製先ベンダー ID : {4}, 複製先バージョン : {5}) 0:複製元部品 ID 1:複製元部品のベンダー ID 2:複製元部品のバージョン 3:複製先部品 ID 4:複製先部品のベンダー ID 5:複製先部品のバージョン
KNAE20066-I	部品の削除に成功しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン
KNAE20067-E	部品の削除に失敗しました。(部品 ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}) 0:部品 ID 1:部品のベンダー ID 2:部品のバージョン
KNAE20078-I	サービスグループにユーザーグループを割り当てました。(サービスグループ名 : {0}, ユーザーグループ名 : {1}, ロール : {2}) 0: サービスグループ名 1: ユーザーグループ名 2: ロール
KNAE20079-E	サービスグループへのユーザーグループの割り当てに失敗しました。(サービスグループ名 : {0}, ユーザーグループ名 : {1}, ロール : {2}) 0: サービスグループ名 1: ユーザーグループ名 2: ロール
KNAE20080-I	サービスグループのユーザーグループ割り当てを解除しました。(サービスグループ名 : {0}, ユーザーグループ名 : {1}) 0: サービスグループ名 1: ユーザーグループ名
KNAE20081-E	サービスグループのユーザーグループ割り当ての解除に失敗しました。(サービスグループ名 : {0}, ユーザーグループ名 : {1}) 0: サービスグループ名 1: ユーザーグループ名
KNAE20082-I	サービスのプロパティを編集しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE20083-E	サービスのプロパティを編集に失敗しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}) 0:サービス名 1:サービスグループ名
KNAE21001-I	タスクを自動アーカイブしました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE21002-I	タスクの履歴を自動削除しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE21003-E	タスクの自動アーカイブに失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE21004-E	タスクの履歴の自動削除に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE21005-I	サービス共有プロパティを編集しました。(サービス共有プロパティキー：{0}) 0:サービス共有プロパティのキー
KNAE21006-E	サービス共有プロパティの編集に失敗しました。(サービス共有プロパティキー：{0}) 0:サービス共有プロパティのキー
KNAE22005-I	サービステンプレートの削除に成功しました。(サービステンプレート ID：{0}, ベンダー ID：{1}, バージョン：{2}, ユーザー ID：{3}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン 3:ユーザー ID
KNAE22006-E	サービステンプレートの削除に失敗しました。(サービステンプレート ID：{0}, ベンダー ID：{1}, バージョン：{2}, ユーザー ID：{3}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン 3:ユーザー ID
KNAE22007-I	サービステンプレートのインポートに成功しました。(サービステンプレートファイル：{0}, ユーザー ID：{1}) 0:サービステンプレートファイルのパス 1:ユーザー ID
KNAE22008-E	サービステンプレートのインポートに失敗しました。(サービステンプレートファイル：{0}, ユーザー ID：{1}) 0:サービステンプレートファイルのパス 1:ユーザー ID
KNAE22009-I	サービスに紐づくサービステンプレートを更新しました。(サービス名：{0}, サービスグループ：{1}, サービステンプレート ID：{2}, ベンダー ID：{3}, バージョン：{4}) 0:サービス名 1:サービスグループ 2:サービステンプレート ID 3:サービステンプレートのベンダー ID 4:サービステンプレートのバージョン
KNAE22010-E	サービスに紐づくサービステンプレートの更新に失敗しました。(サービス名：{0}, サービスグループ：{1}) 0:サービス名 1:サービスグループ
KNAE22011-I	ライセンス登録を開始しました。
KNAE22012-I	ライセンス登録に成功しました。
KNAE22013-E	ライセンス登録に失敗しました。
KNAE22014-I	サービスを実行しました。(サービス名：{0}, サービスグループ：{1}, ユーザー ID：{2}) 0:サービス名 1:サービスグループ 2:ユーザー ID
KNAE22015-E	サービスの実行に失敗しました。(サービス名：{0}, サービスグループ：{1}, ユーザー ID：{2}) 0:サービス名 1:サービスグループ 2:ユーザー ID
KNAE23001-I	製品のサービスを開始しました。
KNAE23002-I	製品のサービスを終了しました。
KNAE23003-I	{0}を実行しました。 0:コマンド名

メッセージID	メッセージの内容
KNAE23004-E	{0}の実行に失敗しました。 0:コマンド名
KNAE23005-I	submittask を実行しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}, ユーザー ID : {2}) 0:サービス名 1:サービスグループ 2:ユーザー ID
KNAE23006-E	submittask の実行に失敗しました。(サービス名 : {0}, サービスグループ : {1}, ユーザー ID : {2}) 0:サービス名 1:サービスグループ 2:ユーザー ID
KNAE23007-I	stoptask を実行しました。(タスク ID : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク ID 1:ユーザー ID
KNAE23008-E	stoptask の実行に失敗しました。(タスク ID : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク ID 1:ユーザー ID
KNAE23009-I	listtasks を実行しました。(ユーザー ID : {0}) 0:ユーザー ID
KNAE23010-E	listtasks の実行に失敗しました。(ユーザー ID : {0}) 0:ユーザー ID
KNAE23011-I	listservices を実行しました。(ユーザー ID : {0}) 0:ユーザー ID
KNAE23012-E	listservices の実行に失敗しました。(ユーザー ID : {0}) 0:ユーザー ID
KNAE23013-I	importservicetemplate を実行しました。(サービステンプレートファイル : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:サービステンプレートファイルのパス 1:ユーザー ID
KNAE23014-E	importservicetemplate の実行に失敗しました。(サービステンプレートファイル : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:サービステンプレートファイルのパス 1:ユーザー ID
KNAE23015-I	deleteservicetemplate を実行しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}, ユーザー ID : {3}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン 3:ユーザー ID
KNAE23016-E	deleteservicetemplate の実行に失敗しました。(サービステンプレート ID : {0}, ベンダー ID : {1}, バージョン : {2}, ユーザー ID : {3}) 0:サービステンプレート ID 1:サービステンプレートのベンダー ID 2:サービステンプレートのバージョン 3:ユーザー ID
KNAE23017-E	製品のサービスの開始に失敗しました。
KNAE23018-I	submittask でのタスクの一括再登録を実行しました。(タスク詳細情報格納フォルダ : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク詳細格納フォルダのパス 1:ユーザー ID

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE23019-E	submittask でのタスクの一括再登録に失敗しました。(タスク詳細情報格納フォルダ : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク詳細格納フォルダのパス 1:ユーザー ID
KNAE23020-W	submittask でのタスクの一括再登録が一部失敗しました。(タスク詳細情報格納フォルダ : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク詳細格納フォルダのパス 1:ユーザー ID
KNAE23021-I	listtasks でのタスク詳細情報出力を実行しました。(タスク詳細情報格納フォルダ : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク詳細格納フォルダのパス 1:ユーザー ID
KNAE23022-E	listtasks でのタスク詳細情報出力に失敗しました。(タスク詳細情報格納フォルダ : {0}, ユーザー ID : {1}) 0:タスク詳細格納フォルダのパス 1:ユーザー ID
KNAE23023-I	タスクを編集しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE23024-E	タスクの編集に失敗しました。(タスク名 : {0}, タスク ID : {1}) 0:タスク名 1:タスク ID
KNAE23025-I	インフラストラクチャグループの作成に成功しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ ID : {1}) 0: グループ名 1: ID
KNAE23026-E	インフラストラクチャグループの作成に失敗しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}) 0: グループ名
KNAE23027-I	インフラストラクチャグループの編集に成功しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ ID : {1}) 0: グループ名 1: ID
KNAE23028-E	インフラストラクチャグループの編集に失敗しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ ID : {1}) 0: グループ名 1: ID
KNAE23029-I	インフラストラクチャグループの削除に成功しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ ID : {1}) 0: グループ名 1: ID
KNAE23030-E	インフラストラクチャグループの削除に失敗しました。(インフラストラクチャグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ ID : {1}) 0: グループ名 1: ID
KNAE23031-I	サービスグループ—インフラストラクチャグループ関連の編集に成功しました。(サービスグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ名 : {1}) 0: サービスグループ名 1: インフラストラクチャグループ名
KNAE23032-E	サービスグループ—インフラストラクチャグループ関連の編集に失敗しました。(サービスグループ名 : {0}, インフラストラクチャグループ名 : {1}) 0: サービスグループ名

メッセージID	メッセージの内容
	1: インフラストラクチャグループ名
KNAE23033-I	インフラストラクチャグループの構成要素変更に成功しました。(インフラストラクチャグループ名: {0}, インフラストラクチャグループ ID: {1}) 0: インフラストラクチャグループ名 1: インフラストラクチャグループ ID
KNAE23034-E	インフラストラクチャグループの構成要素変更に失敗しました。(インフラストラクチャグループ名: {0}, インフラストラクチャグループ ID: {1}) 0: インフラストラクチャグループ名 1: インフラストラクチャグループ ID
KNAE23035-I	外部サーバ情報の作成に成功しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}, 接続設定 ID: {2}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名 2: 接続設定 ID
KNAE23036-E	外部サーバ情報の作成に失敗しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名
KNAE23037-I	外部サーバ情報の編集に成功しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}, 接続設定 ID: {2}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名 2: 接続設定 ID
KNAE23038-E	外部サーバ情報の編集に失敗しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}, 接続設定 ID: {2}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名 2: 接続設定 ID
KNAE23039-I	外部サーバ情報の削除に成功しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}, 接続設定 ID: {2}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名 2: 接続設定 ID
KNAE23040-E	外部サーバ情報の削除に失敗しました。(プロダクト: {0}, 接続設定名: {1}, 接続設定 ID: {2}) 0: 外部接続プロダクト名 1: 設定名 2: 接続設定 ID
KNAE23041-I	レプリケーション設定の作成に成功しました。(プライマリ装置名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名
KNAE23042-E	レプリケーション設定の作成に失敗しました。(Raid マネージャ設定名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名
KNAE23043-I	レプリケーション設定の編集に成功しました。(プライマリ装置名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名
KNAE23044-E	レプリケーション設定の編集に失敗しました。(プライマリ装置名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名

メッセージ ID	メッセージの内容
KNAE23045-I	レプリケーション設定の削除に成功しました。(プライマリ装置名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名
KNAE23046-E	レプリケーション設定の削除に失敗しました。(プライマリ装置名: {0}, セカンダリ装置名: {1}) 0: プライマリストレージ装置名 1: セカンダリストレージ装置名
KNAE23047-I	ストレージプロファイルの作成に成功しました。(ストレージプロファイル名: {0}, ストレージプロファイル ID: {1}) 0: ストレージプロファイル名 1: ストレージプロファイル ID
KNAE23048-E	ストレージプロファイルの作成に失敗しました。(ストレージプロファイル名: {0}) 0: ストレージプロファイル名
KNAE23049-I	ストレージプロファイルの編集に成功しました。(ストレージプロファイル名: {0}, ストレージプロファイル ID: {1}) 0: ストレージプロファイル名 1: ストレージプロファイル ID
KNAE23050-E	ストレージプロファイルの編集に失敗しました。(ストレージプロファイル名: {0}, ストレージプロファイル ID: {1}) 0: ストレージプロファイル名 1: ストレージプロファイル ID
KNAE23051-I	ストレージプロファイルの削除に成功しました。(ストレージプロファイル名: {0}, ストレージプロファイル ID: {1}) 0: ストレージプロファイル名 1: ストレージプロファイル ID
KNAE23052-E	ストレージプロファイルの削除に失敗しました。(ストレージプロファイル名: {0}, ストレージプロファイル ID: {1}) 0: ストレージプロファイル名 1: ストレージプロファイル ID
KNAE23053-I	レプリケーション設定 (virtual storage) の作成に成功しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名 1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23054-E	レプリケーション設定 (virtual storage) の作成に失敗しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名 1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23055-I	レプリケーション設定 (virtual storage) の編集に成功しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名 1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23056-E	レプリケーション設定 (virtual storage) の編集に失敗しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名 1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23057-I	レプリケーション設定 (virtual storage) の削除に成功しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23058-E	レプリケーション設定 (virtual storage) の削除に失敗しました。(仮想ストレージ装置名: {0}, プライマリ装置名: {1}, セカンダリ装置名: {2}) 0: 仮想ストレージ装置名 1: プライマリストレージ装置名 2: セカンダリストレージ装置名
KNAE23059-I	listremotecoconnections を実行しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23060-E	listremotecoconnections の実行に失敗しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23061-I	setremotecoconnection を実行しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23062-E	setremotecoconnection の実行に失敗しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23063-I	deleteremotecoconnection を実行しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23064-E	deleteremotecoconnection の実行に失敗しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID
KNAE23065-W	setremotecoconnection の実行に一部失敗しました。(ユーザー ID: {0}) 0: ユーザー ID

メッセージ ID	メッセージの内容
KAIA00000-I	start Method. {0}({1}) 0: method 1: args メソッドを開始しました。{0}({1}) 0: メソッド 1: 引数
KAIA00001-I	end Method. {0}({1}) 0: method 1: args メソッドを終了しました。{0}({1}) 0: メソッド 1: 引数
KAIA00002-E	An unexpected error occurred. [Action] Contact the support center. (maintenance information = {0}) 0: Exception 予期しないエラーが発生しました。 [対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報: {0}) 0: 保守情報
KAIA00005-E	Cannot obtain database information. [Cause] The Device Manager database is not running properly. [Action] On the running Device Manager host, use the hcmds64srv command to terminate and restart Hitachi Command Suite services, and then try again. (maintenance information = {0}) 0: Exception データベースからデータを取得できませんでした。 [原因]

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Device Manager のデータベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 稼働ホスト上で hcmds64srv コマンドを使用して Hitachi Command Suite のサービスを終了させ、その後、起動し直してから再度操作してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: 例外</p>
KAIA00006-E	<p>An unexpected error occurred. Retry the operation. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the support center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>予期しないエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00007-W	<p>{0}</p> <p>0: message</p> <p>{0}</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00008-I	<p>{0}</p> <p>0: message</p> <p>{0}</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00011-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause]</p> <p>The host mode between host groups is inconsistent.</p> <p>[Action]</p> <p>Select ports so that the host mode and options are the same. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>ホストグループ間でホストモードの設定が異なります。</p> <p>[対処]</p> <p>ホストモードとオプションがすべて同じになるようにポートを選択してください。</p> <p>Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00012-W	<p>Cannot create a part of the paths.</p> <p>[Cause]</p> <p>The specified number of paths to be created on a host ({0}) exceeds the number allowed.</p> <p>[Action]</p> <p>Check the required number of host ports with the user who edited the service. It is also required that there is enough number of port and free host group number / iSCSI target number for each port in the infrastructure group.</p> <p>0: host</p> <p>一部のパスを作成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>指定されたパス数は、ホスト({0})に作成することができる上限を超えています。</p> <p>[対処]</p> <p>必要なホストポート数をサービスを編集したユーザーに確認してください。インフラストラクチャーグループ内のポートごとに十分な空きホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号があることも必要です。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	0: ホスト
KAIA00021-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated.</p> <p>[Cause] No pools are available for allocation of volumes on the storage system that host mode has been set on Edit Service windows.</p> <p>[Action] Check the host mode setting on Edit Service window by user with Modify permission on Automation Director. Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] サービス編集でホストモードを設定済みのストレージシステム上にボリュームを割り当てできるプールが存在しません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でホストモードの設定を確認してください。Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00022-E	<p>A Device Manager volume allocation task could not be created.</p> <p>[Cause] The available number of free host group/iSCSI targets per storage port in the resource group of the infrastructure group was not found.</p> <p>[Action] Edit the resource group settings in Device Manager, and then retry the operation. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, unallocate unnecessary volumes as needed, then retry the operation. (Storage port name={0})</p> <p>0: portName Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] インフラストラクチャグループのリソースグループに、ストレージポートごとの使用可能な空きホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号が見つかりませんでした。</p> <p>[対処] Device Manager 上でリソースグループの設定を変更してから、サービスを再度実行してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。(ストレージポート名: {0})</p> <p>0: ポート名</p>
KAIA00023-E	<p>Unable to acquire a user group data from Device Manager.</p> <p>[Cause] An error occurred in the API execution.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. Then retry the operation. (message of Device Manager={0})</p> <p>0: message Device Manager からユーザーグループ情報の取得に失敗しました。</p> <p>[原因] API 実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Device Manager メッセージ: {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00024-E	<p>Unable to acquire a resource group data from Device Manager.</p> <p>[Cause] An error occurred in the API execution.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. Then retry the operation. (message of Device Manager={0}) 0: message Device Manager からリソースグループ情報の取得に失敗しました。</p> <p>[原因] API 実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。 (Device Manager メッセージ : {0}) 0: メッセージ</p>
KAIA00025-E	<p>Cannot execute a Device Manager volume allocation task. (Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Cause] An error occurred in the Device Manager task.</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. 0: Device Manager task name 1: Device Manager message Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。 (Device Manager タスク : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[原因] Device Manager によるタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。 Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再度実行してください。 0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00026-E	<p>A Device Manager volume allocation task could not be generated.</p> <p>[Cause] No pools are available for allocating volumes that meet the specified criteria, the number of available LDEV IDs is insufficient, or there is no pool other than for Hitachi NAS Platform or NAS modules.</p> <p>[Action] To resolve this issue, try the following: (1) Using an account with Automation Director Modify permission, check the Storage Profile Settings in the Edit Service window. (2) Using an account with Automation Director Admin permission, check the Infrastructure Group Settings and Storage Profile Settings in the Administration window. (3) Check the user permissions and edit the Device Manager pool settings, or register additional LDEV IDs to the resource group, and then try to start the service again. (4) From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try to restart the service. (5) From Device Manager, create a pool other than for Hitachi NAS Platform or NAS modules and edit the pool settings as needed. Then, try to restart the service. Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>指定された条件のボリュームを割り当て可能なプールが存在しません。または、LDEV ID が枯渇しています。または、Hitachi NAS Platform または NAS modules 用以外のプールが存在しません。</p> <p>[対処] この問題を解決するために、次の対処をしてください。</p> <p>(1) Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でストレージプロファイルの設定を見直してください。</p> <p>(2) Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でインフラストラクチャグループ、ストレージプロファイルの設定を見直してください。</p> <p>(3) Device Manager 上でユーザー権限の確認及びプールの設定、またはリソースグループに LDEV ID の追加を行ってから、サービスを再度実行してください。</p> <p>(4) Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>(5) Device Manager の画面で、必要に応じて Hitachi NAS Platform または NAS modules 用以外のプールの作成及び設定を行ってから、サービスを再度実行してください。</p>
KAIA00027-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause] No licenses are registered for Device Manager or the registered license key is expired.</p> <p>[Action] Register a valid license key for Device Manager, and then try again. Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager のライセンスキーが登録されていません。または、登録されたライセンスキーの有効期限が切れています。</p> <p>[対処] Device Manager の画面上で有効なライセンスキーを登録し、再実行してください。</p>
KAIA00028-W	<p>Because number of pool is insufficient, P-VOL and S-VOL is allocated to the same pool.</p> <p>[Action] Verify the volume allocation result, and allocate it again, if necessary. プールが不足していたため、P-VOL と S-VOL を同じプールに割り当てました。</p> <p>[対処] ボリュームの割り当て結果を確認し、必要に応じて割り当て直してください。</p>
KAIA00029-I	<p>A message was returned by Device Manager while generating the configuration. (message of Device Manager={0})</p> <p>0: message 構成の生成処理で Device Manager のメッセージが返されました。次のメッセージを確認してください。(Device Manager メッセージ : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00030-E	<p>Unable to run a Device Manager volume allocate task.</p> <p>[Cause] Unable to obtain information for the preferred path.</p> <p>[Action] To resolve this issue, try the following:</p> <p>(1) Register ports and the host group or the iSCSI target numbers to the resource group in the infrastructure group. If you specified the Number Criteria of Storage Port, update the settings.</p> <p>(2) Resolve the problem according to the Device Manager error message and then stop and restart the Hitachi Command Suite service using the hcnds64srv command on the Device Manager running the host.</p> <p>(3) Check the Device Manager user permissions.</p> <p>(4) Confirm the Device Manager task that relates to the Automation Director task ID, and if necessary, unallocated it.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>(5) Retry the operation. (Device Manager error message = {0}) 0: Device Manager message Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 推奨パス情報を取得できません。 [対処] この問題を解決するために、次の対処をしてください。 (1)ストレージポート、ホストグループ番号、iSCSI ターゲット番号をインフラストラクチャグループ内のリソースグループに登録してください。もし、StoragePort の Number の条件を指定している場合は、設定を見直してください。 (2)Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を排除してください。 Device Manager 稼働ホスト上で hcmds64srv コマンドを使用して Hitachi Command Suite のサービスを終了させ、その後、起動し直してしてください。 (3)Device Manager 上でユーザー権限の確認を行ってください。 (4)Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除してください。 (5)Automation Director タスクを再度実行してください。(Device Manager エラーメッセージ={0}) 0: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00032-E	<p>Cannot execute a Device Manager volume allocation task. [Cause] Cannot obtain the path information from Device Manager. Path information may have been deleted. [Action] From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。 [原因] 設定したパスの情報を Device Manager から取得できませんでした。パスの情報が削除されたおそれがあります。 [対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00036-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task. [Cause] The selected host does not exist. (host name = {0}) [Action] Add the host in Device Manager, and then try again. 0:Host Name Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定されたホストが存在しません。(ホスト名 : {0}) [対処] Device Manager の画面でホストを追加し、サービスを再実行してください。 0:ホスト名</p>
KAIA00037-E	<p>Cannot execute a Device Manager volume allocation task. [Cause] A Device Manager task timed out. (Device Manager task name = {0}) [Action] Verify that Device Manager is running. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. 0: Device Manager task name Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] Device Manager のタスク実行でタイムアウトが発生しました。(Device Manager タスク : {0})</p> <p>[対処] Device Manager が起動していることを確認してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>0:Device Manager タスク名</p>
KAIA00038-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause] An error occurred in the API execution of Device Manager. (Device Manager error message = {0})</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: Device Manager message Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager の API 実行でエラーが発生しました。(Device Manager エラーメッセージ : {0})</p> <p>[対処] Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>0:Device Manager メッセージ</p>
KAIA00040-E	<p>Cannot execute an edit labels task of Device Manager.</p> <p>[Cause] An error occurred during an attempt to change the label of the allocated volume. (Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: Device Manager task name 1: Device Manager message Device Manager のラベル編集タスクが失敗しました。</p> <p>[原因] 割り当てたボリュームのラベルを変更しようとしたときに、エラーが発生しました。(Device Manager タスク : {0} Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00043-W	<p>An error occurred during communication with HTnM.</p> <p>[Cause] Possible causes are as follows: (1) HTnM - Agent for RAID is not running.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>(2) A request to obtain performance data timed out because of a temporary increase in the communication load.</p> <p>(3) Performance data has not yet accumulated at the HTnM agent.</p> <p>(4) The HTnM linkage settings are incorrect.</p> <p>[Action]</p> <p>If linking with HTnM is required, resolve the problem as follows:</p> <p>(1) Verify that the HTnM agent is running.</p> <p>(2) Check the status of network communication, and then try the operation again.</p> <p>(3) After performance data has accumulated at the HTnM agent, try the operation again.</p> <p>(4) Verify that the HTnM linkage settings are correct.</p> <p>HTnM との通信中にエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>次の原因が考えられます。</p> <p>(1)HTnM-Agent for RAID が動作していない。</p> <p>(2)通信負荷の一時的な増大により、性能情報の取得要求がタイムアウトした。</p> <p>(3)HTnM エージェントに性能情報がまだ蓄積されていない。</p> <p>(4)HTnM の連携設定が正しくない。</p> <p>[対処]</p> <p>HTnM と連携する必要がある場合、次の対処をしてください。</p> <p>(1)HTnM エージェントが動作していることを確認してください。</p> <p>(2)通信状況を確認した上で、再度実行してください。</p> <p>(3)HTnM エージェントに性能情報が蓄積されてから、再度実行してください。</p> <p>(4)HTnM の連携設定が正しいことを確認してください。</p>
KAIA00045-E	<p>Cannot execute a volume allocation task from Device Manager. (Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Cause]</p> <p>Cannot register the task in Device Manager.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: Device Manager task name 1: Device Manager message</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。(Device Manager タスク : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[原因]</p> <p>タスクを Device Manager に登録できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。</p> <p>Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00046-E	<p>Cannot define the copy pair.</p> <p>[Cause]</p> <p>Unable to obtain database information because the database is not running properly.</p> <p>[Action]</p> <p>Stop and start all services. (maintenance information = {0})</p> <p>0: message</p> <p>コピーペアを定義できませんでした。</p> <p>[原因]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>データベースからデータを取得できませんでした。データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] すべてのサービスを再起動してください。(保守情報 : {0}) 0: メッセージ</p>
KAlA00054-I	<p>The volume allocate task is executed based on configuration information in Device Manager.</p> <p>[Cause] The settings to link Tuning Manager have not been specified.</p> <p>[Action] To allocate the task based on performance information on Tuning Manager, configure the settings that link Device Manager and Tuning Manager. ボリューム割り当てタスクの実行は Device Manager の構成情報を元に行われました。</p> <p>[原因] Tuning Manager の連携設定がされていません。</p> <p>[対処] Tuning Manager の性能情報を基にしたボリューム割り当てを行う場合は、Device Manager と Tuning Manager の連携設定を行ってください。</p>
KAlA00055-E	<p>A polling error occurred during execution of an Automation Director task.</p> <p>[Cause] The Device Manager server has been rebooted. Or, the duration to keep task information exceeds the settings of automation.properties. (automation.provisioning.keepingduration.hour = {0}, automation.provisioning.cleaninginterval.hour = {1})</p> <p>[Action] Check the task status in Device Manager. If the status of the executed task is "Failed," execute the task again. Alternatively, revise the automation.properties settings for "automation.provisioning.keepingduration.hour" and "automation.provisioning.cleaninginterval.hour". Then, try the operation again.</p> <p>0: Duration of keeping status table 1: Interval of cleaning status table</p> <p>実行中の Automation Director タスクのポーリングでエラーが発生しました。</p> <p>[原因] Device Manager サーバが再起動しました。またはタスク情報の保持期限が、automation.properties の設定を超えました。 (automation.provisioning.keepingduration.hour : {0}, automation.provisioning.cleaninginterval.hour : {1})</p> <p>[対処] Device Manager タスクの状態を確認してください。もし、実行したタスクの状態が「失敗」になった場合、再度タスクを実行してください。または、automation.properties の「automation.provisioning.keepingduration.hour」と「automation.provisioning.cleaninginterval.hour」を見直し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: 設定した、タスク情報を保持する時間 1: 設定した、タスク情報の削除の実行間隔</p>
KAlA00056-E	<p>A thread that is currently being executed will be stopped.</p> <p>[Cause] The duration to keep task information exceeds the settings of automation.properties. (automation.provisioning.keepingduration.hour = {0}, automation.provisioning.cleaninginterval.hour = {1})</p> <p>0: Duration of keeping status table 1: Interval of cleaning status table</p> <p>実行中のスレッドが停止されます。</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>タスク情報の保持期限が、 automation.properties の設定を超えました。 (automation.provisioning.keepingduration.hour : {0}, automation.provisioning.cleaninginterval.hour : {1}) 0: 設定した、タスク情報を保持する時間 1: 設定した、タスク情報の削除の実行間隔</p>
KAIA00057-E	<p>Cannot execute a Device Manager volume allocation task. [Cause] The database is not running properly. [Action] On the running Device Manager host, use the hcnds64srv command to terminate and restart Hitachi Command Suite services, and then try again. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. (maintenance information = {0}) 0: Exception message Device Manager のボリューム割り当てタスクの実行に失敗しました。 [原因] データベースが正常に動作していません。 [対処] Device Manager 稼働ホスト上で hcnds64srv コマンドを使用して Hitachi Command Suite のサービスを終了させ、その後、起動し直してから再度操作してください。 Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。(保守情報 : {0}) 0: 例外メッセージ</p>
KAIA00058-W	<p>A host mode option was not set because it is not supported by the storage system. (storage system = {0}, host mode option not set = {1}) [Cause] The storage system to which volumes are allocated does not support the selected host mode option. 0: Storage System name 1: Host Mode Option ストレージシステムが対応していないホストモードオプションが設定されませんでした。(ストレージシステム : {0}, 設定されなかったホストモードオプション : {1}) [原因] ボリューム割当先のストレージシステムが選択されたホストモードオプションをサポートしていません。 0: ストレージシステム名 1: ホストモードオプション</p>
KAIA00059-E	<p>An exception occurred. (message: {0}, stack trace: {1}) 0: param0 1: param1 例外が発生しました (メッセージ : {0}, スタックトレース : {1}) 0: パラメータ 0 1: パラメータ 1</p>
KAIA00061-E	<p>Cannot connect to the authentication service. [Action] Cancel the operation, and then check the status of the server. (maintenance information = {0}) 0: Exception 認証サービスに接続できませんでした。 [対処] 操作を中止し、サーバ側の状態を確認してください。(保守情報 : {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00062-E	<p>An error occurred while accessing the database.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Verify that the server is running. If it is running, an internal error might have occurred. Contact the Support Center. (maintenance information = {0}) 0: Exception データベースのアクセス中にエラーが発生しました。</p> <p>[対処] サーバが起動しているか確認してください。起動している場合は、内部エラーが発生したおそれがあります。障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報 : {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00063-E	<p>The session has expired. [Action] Log in again. (maintenance information = {0}) 0: Exception セッションが切れています。</p> <p>[対処] 再度ログインしてください。(保守情報 : {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00064-E	<p>An unexpected error occurred. [Action] A detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. (maintenance information = {0}) 0: Exception 予期しないエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報 : {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00065-E	<p>Cannot authenticate the user. [Cause] The specified user does not exist, or the password is incorrect. (user ID = {0}) [Action] Check the Device Manager Connections on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation. 0: user ID ユーザーを認証できません。</p> <p>[原因] 指定したユーザーが存在しないか、またはパスワードが間違っています。(ユーザー ID : {0}) [対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面で Device Manager 接続の設定を見直してください。その後、サービスを再実行してください。 0: ユーザー ID</p>
KAIA00066-E	<p>Automation Director throws a new exception: {0} 0: Exception Automation Director で例外が発生しました : {0} 0: 例外</p>
KAIA00067-E	<p>Automation Director throws a translated exception: {0} 0: Exception Automation Director で変換された例外が発生しました : {0} 0: 例外</p>
KAIA00068-E	<p>More usable LDEV IDs are required. [Action] Register additional LDEV IDs in the resource group. 使用できる LDEV ID が不足しています。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処] リソースグループに使用する LDEV ID を登録してください。</p>
KAIA00069-E	<p>Cannot obtain the task results from Device Manager. [Action] Verify that Device Manager is running. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. タスクの実行結果を Device Manager から取得できません。 [対処] Device Manager が起動していることを確認してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00070-E	<p>Cannot reserve the resources of the allocation target. ({0}) [Cause] Unable to obtain information of host groups.(Device Manager error message = {0}) [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message and retry the operation. 1: Device Manager message 割り当て先のリソースを確保できません。 [原因] ホストグループの情報を取得できませんでした。(Device Manager エラーメッセージ: {0}) [対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、サービスを再度実行してください。 0:Device Manager メッセージ</p>
KAIA00073-I	<p>The specified path number and the number of paths to be created are different. (specified paths: {0}, paths to be created: {1}) 0: settingpass 1: makingpass 設定パス数と作成パス数で違いが発生しています。(設定パス: {0}, 作成パス: {1}) 0: 設定パス 1: 作成パス</p>
KAIA00074-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server. [Cause] Possible causes: (1) A Device Manager server service is being initialized. (2) A Device Manager server service is stopped or was restarted. [Action] If a Device Manager server service is stopped or was restarted, restart the Common Component and all related services, and then try again. If the problem persists, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. Device Manager サーバと通信できませんでした。 [原因] 次の原因が考えられます。(1)Device Manager サーバのサービスが初期起動中である。(2)Device Manager サーバのサービスが停止しているか、または再起動した。 [対処] Device Manager サーバのサービスが停止または Device Manager サーバのサービスを再起動した場合は、共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p>
KAIA00075-E	<p>Cannot generate the volume allocation task of Device Manager.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Cause] A message was returned by Device Manager while generating the configuration. (message of Device Manager={0})</p> <p>[Action] Resolve the Device Manager message. Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: message Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] 構成の生成処理で Device Manager のエラーメッセージが返されました。(Device Manager エラーメッセージ: {0})</p> <p>[対処] Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除いてください。 Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00076-E	<p>Cannot execute the volume allocation task of Device Manager.</p> <p>[Cause] An API execution error occurred on Device Manager.</p> <p>[Action] Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then try the operation again. If this problem continues, contact the Support Center.(maintenance information={0})</p> <p>0:maintenance information Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager の API 実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報: {0})</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00077-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Cause] Possible causes: (1) A Device Manager server service is being initialized. (2) A Device Manager server service has stopped, or was restarted.</p> <p>[Action] If a Device Manager server service is being initialized, wait and try again. If a Device Manager server service is stopped or was restarted, restart the Common Component and all related services, and then try again. If the problem persists, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0: maintenance information Device Manager サーバと通信できませんでした。</p> <p>[原因] 次の原因が考えられます。(1)Device Manager サーバのサービスが初期起動中である。(2)Device Manager サーバのサービスが停止しているか、または再起動した。</p> <p>[対処] Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合は、時間を空けて再度操作してください。Device Manager サーバのサービスが停止または Device Manager サーバのサービスを再起動した場合は、共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>したあと、再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00079-E	<p>Cannot execute the volume allocation task of Device Manager.</p> <p>[Cause] Cannot confirm the Device Manager license. (maintenance information={0})</p> <p>[Action] Verify the Device Manager license, and then try again. If this problem continues, contact the Support Center. (maintenance information={0})</p> <p>0:maintenance information Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager のライセンスを確認できません。(保守情報 : {0})</p> <p>[対処] Device Manager の画面上でライセンスを確認し、再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00080-E	<p>Cannot execute the volume allocation task of Device Manager. (maintenance information={0})</p> <p>[Cause] An HTTP communication error occurred.</p> <p>[Action] Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If this problem continues, contact the Support Center.</p> <p>0:maintenance information Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。(保守情報 : {0})</p> <p>[原因] HTTP 通信エラーが発生しました。</p> <p>[対処] Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00081-E	<p>Cannot execute the volume allocation task of Device Manager. (maintenance information={0})</p> <p>[Action] Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If this problem continues, contact the Support Center.</p> <p>0:maintenance information Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。(保守情報 : {0})</p> <p>[対処] Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。同じエラーが発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00082-E	<p>Cannot generate volume allocate task of Device Manager.</p> <p>[Cause] An XML generation error occurred.</p> <p>[Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Try the operation again. If the problem occurs repeatedly, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。</p> <p>[原因] XML 生成でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決ため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAIA00083-E	<p>The version of the Device Manager plug-in does not match the Automation Director content.</p> <p>[Cause] The version of Automation Director contents are newer than the installed Device Manager plug-in. (maintenance information={0})</p> <p>[Action] Install the version of Automation Director contents that matches the Device Manager plug-in.</p> <p>0:version Automation Director コンテンツと Device Manager プラグインのバージョンが一致していません。</p> <p>[原因] Device Manager プラグインより新しい Automation Director コンテンツがインストールされています。(保守情報 : {0})</p> <p>[対処] Device Manager プラグインと一致するバージョンの Automation Director コンテンツをインストールしてください。</p> <p>0:バージョン</p>
KAIA00084-E	<p>Cannot decode the XML.</p> <p>[Cause] The XML may contain errors.</p> <p>[Action] If the problem occurs repeatedly, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>XML をデコードできませんでした。</p> <p>[原因] XML が不正であったおそれがあります。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIA00085-E	<p>An internal processing error occurred.</p> <p>[Action] If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.(maintenance information={0})</p> <p>0: maintenance information Automation Director の内部処理でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決ため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: 保守情報</p>
KAIA00086-E	<p>Cannot execute the volume allocation task of Device Manager.</p> <p>[Cause] Unable to obtain a setting pass number or a making pass number.</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. If this problem continues, contact the Support Center.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。</p> <p>[原因] 指定または作成するパス数がデータから取得できませんでした。</p> <p>[対処] Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIA00087-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated.</p> <p>[Cause] The number of volume is outside the valid range.</p> <p>[Action] Specify a number of volumes in the range from {0} through {1}. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, retry the operation.</p> <p>0: min value 1: max value</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] 指定したボリューム数が範囲外です。</p> <p>[対処] ボリューム数を{0}から{1}の範囲で指定し直してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。</p> <p>0: 最小値 1: 最大値</p>
KAIA00088-I	<p>{0}</p> <p>0: message</p> <p>{0}</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00089-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task.</p> <p>[Cause] Automation Director task is interrupted.</p> <p>[Action] Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. If this same problem continues, contact the Support Center.</p> <p>Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] タスク実行が中断されました。</p> <p>[対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。同じエラーが繰り返し発生する場合は、顧客問い合わせ窓口に連絡してください。</p>
KAIA00090-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task.</p> <p>[Cause] The specified resource group does not exist.</p> <p>[Action] Check the Infrastructure Group Setting on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation.</p> <p>Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] 指定されたリソースグループが存在しません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でインフラストラクチャーグループの設定を見直してください。その後、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00091-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task.</p> <p>[Cause] Resource group is not specified.</p> <p>[Action] Check the Infrastructure Group Setting on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] リソースグループが指定されていません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でインフラストラクチャーグループの設定を見直してください。その後、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00092-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task.</p> <p>[Cause] Lane which can be specified as HDT Pool does not exist.</p> <p>[Action] Improve a setup of HDT Pool. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] HDT プールに指定できるレーンが存在しません。</p> <p>[対処] HDT Pool の設定を見直してください。</p>
KAIA00093-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task.</p> <p>[Cause] Host is not specified.</p> <p>[Action] Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] ホストが指定されていません。</p> <p>[対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00095-E	<p>The capacity is outside the valid range.</p> <p>[Action] Specify a value in the range from {0} through {1}. 0: min value 1: max value 指定した容量が範囲外です。</p> <p>[対処] {0}から{1}の範囲で指定し直してください。 0: 最小値(単位付き) 1: 最大値(単位付き)</p>
KAIA00096-E	<p>The starting value of the LUN settings is outside the valid range.</p> <p>[Action] Specify a value in the range from 0 through {0}.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0: max value 指定した LUN 設定の開始番号の値が範囲外です。 [対処] 0～{0}の範囲で指定し直してください。 0: 最大値</p>
KAIA00097-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task. [Cause] A pool that meets the storage profile condition does not exist. [Action] Check the Storage Profile Setting on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。 [原因] 指定されたストレージプロファイルの条件を満たすプールが存在しません。 [対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でストレージプロファイルの設定を見直してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00098-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task. [Cause] Storage Profile is not specified. [Action] Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。 [原因] ストレージプロファイルが指定されていません。 [対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00099-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated. [Cause] The selected host has not a port. (host name = {0}) [Action] Check the port of host in Device Manager. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, retry the operation. 0:Host Name Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定されたホストにポートが存在しません。(ホスト名 : {0}) [対処] Device Manager の画面で、ホストのポートを確認してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。 0:ホスト名</p>
KAIA00100-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated. [Cause] The selected host port and available storage port are unmatched. [Action]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Check the Storage Profile Setting on Edit Service window by user with Admin permission on Automation Director, or check the port type of the selected host in Device Manager. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, retry the operation.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] 指定したホストのポートと、選択できるストレージのポートが一致しません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、サービス編集でストレージプロファイルの設定を見直すか、Device Manager の画面で、指定したホストのポートタイプを確認してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00101-E	<p>The specified parameter is invalid. (value = {0})</p> <p>[Action] Improve a parameter.</p> <p>0: paramName 指定したパラメータが不正です。(値: {0})</p> <p>[対処] パラメータの設定を見直してください。</p> <p>0: パラメータ名</p>
KAIA00102-I	<p>Maintenance information (executeQuery: SQL > {0})</p> <p>0: sql Maintenance information (executeQuery: SQL > {0})</p> <p>0: sql</p>
KAIA00103-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated.</p> <p>[Cause] CCI instance is not specified.</p> <p>[Action] Check the Replication Settings on Edit Service window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] RAID Manager インスタンスが指定されていません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、サービス編集でレプリケーション設定を見直し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00104-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated.</p> <p>[Cause] Storage System which is specified in the Replication Settings on Automation Director does not exist.</p> <p>[Action] Check the Replication Settings on Edit Service window by user with Admin permission on Automation Director. Then retry the operation.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] Automation Director 上のレプリケーション設定で指定されているストレージシステムが存在しません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、サービス編集でレプリケーション設定を見直し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00105-E	<p>The specified capacity unit is invalid. (value = {0})</p> <p>[Action] Specify Block, MB, GB, or TB.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>0: capacity unit 指定した容量の単位が不正です。(値: {0}) [対処] Block, MB, GB, TB のいずれかを指定してください。 0: 容量単位</p>
KAIA00106-E	<p>Unable to volume check of Device Manager.(maintenance information={0}) [Action] If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.(maintenance information={0}) 0: maintenance information Device Manager でボリュームチェックを行えませんでした。(保守情報: {0}) [対処] エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決ため、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。(保守情報: {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00107-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated. [Cause] The format of Storage Profile is invalid. [Action] Check the Storage Profile Setting on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. (maintenance information={0}) 0: maintenance information Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定されたストレージプロファイルの書式が不正です。 [対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でストレージプロファイルの設定を見直してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。(保守情報: {0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00108-E	<p>The specified VolumeResult is invalid. (value = usage:{0}, parameter={1}) [Action] Confirm the VolumeResult parameter. 0: usage, 1: volumeResultParameter 指定したボリューム結果が不正です。(値: 用途: {0}, パラメータ: {1}) [対処] VolumeResult パラメータを確認してください。 0: 用途 1: volumeResult パラメータ</p>
KAIA00109-E	<p>The specified parameter is invalid. [Action] Confirm a parameter. 指定したパラメータが不正です。 [対処] パラメータを確認してください。</p>
KAIA00110-E	<p>The specified volumeResult parameter is invalid. PathResult does not exist. [Action] Confirm a volumeResult parameter. 指定した volumeResult パラメータが不正です。PathResult が存在しません。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] volumeResult パラメータを確認してください。</p>
KAIA00111-E	<p>Some of the S-VOLs fail to be allocated. [Action] From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again. 割り当てできなかった S-VOL があります。 [対処] Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00113-E	<p>A volume allocation task of Device Manager could not be generated. [Cause] Settings of Specified Storage Profile does not exist. (Storage Profile Name:{0}) [Action] Check the Storage Profile Setting on Edit Service window by user with Modify permission on Automation Director. Confirm the Device Manager task which relates to Automation Director task id, and if necessary, unallocate it. Then retry the operation. 0:Specified Storage Profile Name Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定したストレージプロファイルの設定がありません。(ストレージプロファイル名 : {0}) [対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でストレージプロファイルの設定を見直してください。Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再実行してください。 0: 指定したストレージプロファイル名</p>
KAIA00115-E	<p>Device Manager was not up. [Action] Execute after Device Manager completes the preparations of task executions. (maintenance information={0}) 0: Exception Device Manager が起動していません。 [対処] Device Manager がタスクを実行する準備を完了してから実行してください。(保守情報={0}) 0: 保守情報</p>
KAIA00116-E	<p>Device Manager was down. [Action] Restart Device Manager and check the tasks of the Device Manager are runnable. Device Manager が停止しています。 [対処] Device Manager を再起動し、Device Manager でタスク実行ができることを確認してください。</p>
KAIA00117-E	<p>There is no instance on the condition ({0}). [Action] Cancel the operation and verify the resources. 0: condition 条件({0})に合うインスタンスはありません。 [対処] いったん操作を終了して、リソースの状態を確認してください。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	0: 条件
KAIA00118-I	Start Volume Usage. {0} 0: VolumeUsage ボリューム用途を開始しました。{0} 0: ボリューム用途
KAIA00119-I	End VolumeUsage. {0} 0: VolumeUsage ボリューム用途を終了しました。{0} 0: ボリューム用途
KAIA00120-I	Start plug-in. {0} 0: plug-in 部品を開始しました。{0} 0: 部品
KAIA00121-I	End plug-in. {0} 0: plug-in 部品を終了しました。{0} 0: 部品
KAIA00122-I	Start S-VOL Volume Allocation. (VolumeUsage={0}, Generation={1}) 0: VolumeUsage 1: Generation S-VOL のボリューム割り当てを開始しました。(ボリューム用途 : {0}, 世代番号 : {1}) 0: ボリューム用途 1: 世代番号
KAIA00123-I	End S-VOL Volume Allocation. (VolumeUsage={0}, Generation={1}) 0: VolumeUsage 1: Generation S-VOL のボリューム割り当てを終了しました。(ボリューム用途 : {0}, 世代番号 : {1}) 0: ボリューム用途 1: 世代番号
KAIA00124-I	Start Define Pair. (CopyGroup={0}) 0: CopyGroupName ペア定義を開始しました。(コピーグループ : {0}) 0: コピーグループ名
KAIA00125-I	End Define Pair. (CopyGroup={0}) 0: CopyGroupName ペア定義を終了しました。(コピーグループ : {0}) 0: コピーグループ名
KAIA00126-E	Can not reflect the volume label. (VolumeUsageName={0}) [Cause] Specified volume label contains the invalid characters. (Invalid characters={1}) [Action] Remove invalid character at specified volume label by user with Modify permission on Automation Director, and then try again. 0: VolumeUsageName 1: InvalidCharacter ボリュームのラベルを反映できません。(ボリューム用途名 : {0}) [原因] ボリュームのラベルの設定に次の不正文字列が含まれています。(不正文字列 : {1}) [対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーにボリュームのラベルの指定を見直してもらい、不正文字列を取り除いてください。その後、再度タスクを実行してください。 0: ボリューム用途名 1: 不正文字列

メッセージID	メッセージの内容
KAIA00127-E	<p>Can not reflect the volume label. (VolumeUsageName={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Specified pair volume label contains the invalid characters. (Invalid characters={1})</p> <p>[Action]</p> <p>Remove invalid character at specified pair volume label by user with Modify permission on Automation Director, and then try again.</p> <p>0: VolumeUsageName 1: InvalidCharacter</p> <p>ボリュームのラベルを反映できません。ボリューム用途名 : {0}</p> <p>[原因]</p> <p>ペアボリュームのラベルの設定に次の不正文字列が含まれています。(不正文字列 : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーにペアボリュームのラベルの指定を見直してもらい、不正文字列を取り除いてください。その後、再度タスクを実行してください。</p> <p>0: ボリューム用途名 1: 不正文字列</p>
KAIA00128-E	<p>Can not reflect the volume label. (VolumeUsageName={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Volume label is not set or set label is too long.</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm the volume label settings, and specify the label between 1 to {1} characters by user with Modify permission on Automation Director. And confirm the configuration of Shared Properties Settings of Administration tab by user with Admin permission on Automation Director as necessary. Then execute the task again.</p> <p>0: VolumeUsageName 1: MaxLength</p> <p>ボリュームのラベルを反映できません。(ボリューム用途名 : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>ボリュームのラベルが設定されていない、もしくは設定した文字数が長すぎます。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーにボリュームのラベルの指定を見直してもらい、長さが 1~{1}文字で収まるように再度設定してください。また、Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが必要に応じて、管理タブの共有プロパティの設定を見直してください。その後再度タスクを実行してください。</p> <p>0: ボリューム用途名 1: 最大長</p>
KAIA00129-E	<p>Can not reflect the volume label. (VolumeUsageName={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Pair volume label is not set or set label is too long.</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm the pair volume label settings, and specify the label between 1 to {1} characters by user with Modify permission on Automation Director. And confirm the configuration of Shared Properties Settings of Administration tab by user with Admin permission on Automation Director as necessary. Then, unallocate the primary volumes as necessary, and execute the task again.</p> <p>0: VolumeUsageName 1: MaxLength</p> <p>ボリュームのラベルを反映できません。ボリューム用途名 : {0}</p> <p>[原因]</p> <p>ペアボリュームのラベルが設定されていない、もしくは設定した文字数が長すぎます。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーにペアボリュームのラベルの指定を見直してもらい、長さが 1~{1}文字で収まるように再度設定してください。また、</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが必要に応じて、管理タブの共有プロパティの設定を見直してください。さらに、必要に応じてプライマリボリュームの割り当てを解除し、その後再度タスクを実行してください。 0: ボリューム用途名 1: 最大長
KAIA00130-E	Device Manager cannot run a volume allocation task. [Cause] No storage systems are registered for the {0} license. [Action] Ensure that the storage system is licensed, configure the storage system settings in Infrastructure Groups and Replication Settings, and then run the service again. 0: LicenseName Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] {0}のライセンスが登録されているストレージシステムが存在しません。 [対処] ストレージシステムにライセンスが登録されていることを確認後、インフラストラクチャグループとレプリケーション設定でストレージシステムの設定を行い、サービスを再実行してください。 0: ライセンス名
KAIA00160-E	An error occurred while executing a task. [Cause] The referenced volume is allocated to a host which is not managed by a Device Manager, or unnecessary WWN is assigned to the host group to which the referenced volume belongs to. (Device Manager={0}, displayArrayType={1}, serial number={2}, LDEV ID={3}) [Action] Add the host to a Device Manager, or delete unnecessary WWN from the host group and then try again. 0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId タスク実行でエラーが発生しました。 [原因] 参考ボリュームが Device Manager 管理下でないホストに割り当てられています。または、参考ボリュームが割り当てられているホストグループに不要な WWN が割り当てられています。(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号={2}, LDEV ID : {3}) [対処] ホストを Device Manager に登録してください。または、不要な WWN をホストグループから削除し、サービスを再実行してください。 0: HD v M 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID
KAIA00161-E	An error occurred while executing a task. [Cause] The specified volume is not registered in Device Manager. (Device Manager={0}, hostPort={1}, storagePort={2}, lun={3}) [Action] Make sure the specified volume is registered in Device Manager, and then try again. 0: hdvmName 1: hostPort 2: storagePort

メッセージID	メッセージの内容
	<p>3: lun タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 指定したボリュームは Device Manager に登録されていません。(Device Manager : {0}, ホストポート : {1}, ストレージポート : {2}, LUN : {3})</p> <p>[対処] 指定したボリュームが Device Manager に登録されているか見直し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: ホストポート 2: ストレージポート 3: LUN</p>
KAIA00162-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] The specified datastore volume is not registered in Device Manager. (VMware vCenter server={0}, datastore name={1}, extent={2})</p> <p>[Action] Verify the specified datastore volume, and then try again.</p> <p>0: vcenterIp 1: datastoreName 2: extentName</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 指定したデータストアのボリュームは Device Manager に登録されていません。(VMware vCenter サーバ : {0}, データストア名 : {1}, エクステント : {2})</p> <p>[対処] 指定したデータストアのボリュームを確認し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: vCenter の IP アドレス 1: データストア名 2: エクステント名</p>
KAIA00163-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] Cannot perform the allocate like volumes operation for the referenced volume. (Device Manager={0}, displayArrayType={1}, serial number={2}, LDEV ID={3})</p> <p>[Action] Refer to the Device Manager message and resolve the problem, and then try again. (Device Manager message={4})</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId 4: Device Manager message</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームに対して、類似ボリューム割り当ての操作を実行できません。(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})</p> <p>[対処] Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き、サービスを再実行してください。(Device Manager メッセージ : {4})</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID 4: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00164-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>The referenced volume is not a virtual volume. (Device Manager={0}, displayArrayType={1}, serial number={2}, LDEV ID={3})</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure the referenced volume is a virtual volume, and then try again.</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>参考ボリュームは仮想ボリュームではありません。(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})</p> <p>[対処]</p> <p>参考ボリュームが仮想ボリュームであることを確認し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAIA00165-W	<p>Cannot create a volume on the desired pool. The volume will be created from a recommended pool.</p> <p>要求されたプールからボリュームを作成できません。ボリュームは推奨プールから作成されます。</p>
KAIA00166-E	<p>The Device Manager task to allocate like volumes could not be generated.</p> <p>[Cause]</p> <p>A pool from which volumes can be created could not be found, or the number of available LDEV IDs is insufficient. The recommended pool was not searched because a custom policy is set in a reference volume.</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, make sure there is a pool that has sufficient free space for creating volumes, or register additional LDEV IDs to the resource group or virtual storage machine, and then try again.</p> <p>Device Manager の類似ボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>ボリュームを作成できるプールがありません。または、使用できる LDEV ID が不足しています。参考ボリュームにカスタムポリシーが設定されているため、推奨プールの検索は行われませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 上でプールに十分な空き容量があるか確認してください。または、リソースグループまたは仮想ストレージマシンに LDEV ID を登録し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00167-I	<p>Existing unallocated volumes will be allocated to hosts. (volume usage = {0}, LDEV ID (virtual LDEV ID) = {1})</p> <p>0: Volume Usage 1: LDEV ID(Virtual LDEV ID)</p> <p>既存の未割り当てボリュームをホストに割り当てます。(ボリューム用途 : {0}, LDEV ID(仮想 LDEV ID) : {1})</p> <p>0: ボリューム用途 1: LDEV ID(仮想 LDEV ID)</p>
KAIA00168-I	<p>Settings for the existing unallocated volumes that were allocated to hosts will be updated. (tiering policy = {0}, new page assignment tier = {1}, relocation priority = {2})</p> <p>0: Tiering Policy 1: New Page Assignment Tier 2: Tier Relocation</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>ホストに割り当てられた既存の未割り当てボリュームの設定を更新します。(階層ポリシー : {0}, 新規ページ割り当て階層 : {1}, 再配置プライオリティ : {2})</p> <p>0: 階層ポリシー 1: 新規ページ割り当て階層 2: 再配置プライオリティ</p>
KAIA00169-E	<p>The Device Manager task to allocate like volumes could not be generated. [Cause] A pool from which volumes can be created could not be found, there is no pool other than for Hitachi NAS Platform or NAS modules, or the number of available LDEV IDs is insufficient. [Action] In Device Manager, make sure there is a pool that has sufficient free space for creating volumes and there is a pool other than for Hitachi NAS Platform or NAS modules. If you want execute full volume allocation, add pools which are configured from parity groups for which Accelerated Compression is disabled. Or register additional LDEV IDs to the resource group or virtual storage machine, and then try again. Device Manager の類似ボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] ボリュームを作成できるプール、Hitachi NAS Platform または NAS modules 用以外のプールがありません。または、使用できる LDEV ID が不足しています。 [対処] Device Manager 上でプールに十分な空き容量があるか、Hitachi NAS Platform または NAS modules 用以外のプールが存在するか確認してください。ページ予約が必要な場合、仮想化モードが無効なパリティグループで構成されているプールをリソースグループに追加してください。または、リソースグループまたは仮想ストレージマシンに LDEV ID を登録し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00170-I	<p>The volume was created from a pool with mixed drive attributes ({0}). Therefore, the attributes are not included in the pool search conditions when searching for a recommended pool. 0: types 参考ボリュームは、ドライブ属性({0})が混在したプールから作成されたボリュームです。そのため、推奨プールの検索において、これら属性はプールの検索条件に含まれません。 0: 種類</p>
KAIA00171-E	<p>An error occurred while executing a task. [Cause] The value specified for the volume capacity is not one of the values set for the service. [Action] Specify one of the following values: {0} 0: discreteValue タスク実行でエラーが発生しました。 [原因] ボリューム容量に指定された値がサービスで設定された値のいずれでもありません。 [対処] {0}のいずれかの値を指定してください。 0: 離散値</p>
KAIA00172-I	<p>Existing unallocated volumes will be allocated to hosts. ({0}, LDEV ID(virtual LDEV ID)={1}) 0: P-VOL or S-VOL 1: LDEV ID(Virtual LDEV ID) 既存の未割り当てボリュームをホストに割り当てます。({0}, LDEV ID(仮想 LDEV ID) : {1}) 0: P-VOL or S-VOL 1: LDEV ID(仮想 LDEV ID)</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
KAIA00173-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] The referenced volume belongs to pool ({0}) that belongs to a different resource group. (Device Manager={1}, displayArrayType={2}, serial number={3}, LDEV ID={4})</p> <p>[Action] In Device Manager, register the pool to which the referenced volume belongs into the resource group. 0: poolId 1: hdvmName 2: displayArrayType 3: serialNum 4: ldevId タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームは、参考ボリュームの属するリソースグループとは別のリソースグループに属するプール({0})から作成されています。(Device Manager : {1}, 機種 : {2}, シリアル番号 : {3}, LDEV ID : {4})</p> <p>[対処] Device Manager 上で、参考ボリュームが属するプールをリソースグループに追加してください。 0: プール ID 1: HD v M 名 2: 機種 3: シリアル番号 4: LDEV ID</p>
KAIA00174-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] Cannot obtain the pool information for the referenced volume. Information about the referenced volume or pool information might have been deleted. (Device Manager={0}, displayArrayType={1}, serial number={2}, LDEV ID={3})</p> <p>[Action] In Device Manager, make sure that the referenced volume and the pool information exists, and then try again. 0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームの属するプールの情報を取得できませんでした。参考ボリューム、またはプールの情報が削除されたおそれがあります。(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})</p> <p>[対処] Device Manager 上で、参考ボリューム、参考ボリュームの属するプールが存在することを確認し、サービスを再実行してください。 0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAIA00175-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] You do not have the permission required to perform the operation on a host group or port used by a path set for the referenced volume. (Device Manager={0}, displayArrayType={1}, serial number={2}, LDEV ID={3})</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>In Device Manager, make sure that the host group and port are registered in the resource group, and that you have permission for the host group and port.</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームに設定されたパスで使用されているホストグループ、またはポートに対して、操作に必要な権限がありません。(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})</p> <p>[対処] Device Manager 上で、ホストグループとポートがリソースグループに登録されていること、ホストグループとポートに対して権限があることを確認してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAIA00176-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] The referenced volume is allocated to the port ({0}) that belongs to a different resource group. (Device Manager={1}, displayArrayType={2}, serial number={3}, LDEV ID={4})</p> <p>[Action] In Device Manager, add the port to the resource group.</p> <p>0: portName 1: hdvmName 2: displayArrayType 3: serialNum 4: ldevId</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームは、参考ボリュームの属するリソースグループとは別のリソースグループに属するポート({0})に割り当てられています。(Device Manager : {1}, 機種 : {2}, シリアル番号 : {3}, LDEV ID : {4})</p> <p>[対処] Device Manager 上で、ポートをリソースグループに追加してください。</p> <p>0: ポート名 1: HD v M 名 2: 機種 3: シリアル番号 4: LDEV ID</p>
KAIA00177-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause] The referenced volume is allocated to a port used by the host group ({0}) that belongs to a different resource group. (Device Manager={1}, displayArrayType={2}, serial number={3}, LDEV ID={4})</p> <p>[Action] In Device Manager, add the host group to the resource group.</p> <p>0: hostGroupName 1: hdvmName 2: displayArrayType 3: serialNum 4: ldevId</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>参考ボリュームは、参考ボリュームの属するリソースグループとは別のリソースグループに属するホストグループ({0})経由でホストに割り当てられています。(Device Manager : {1}, 機種 : {2}, シリアル番号 : {3}, LDEV ID : {4})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager 上で、ホストグループをリソースグループに追加してください。</p> <p>0: ホストグループ名 1: HD v M 名 2: 機種 3: シリアル番号 4: LDEV ID</p>
KAIA00178-I	<p>The referenced volume is allocated to multiple hosts through iSCSI. Therefore, the created volume will be assigned to an iSCSI target shared by all hosts.</p> <p>複数ホストに対して iSCSI 経由で割り当てられたボリュームが参考ボリュームに指定されたため、作成するボリュームは全ホスト共通の iSCSI ターゲットに割り当てられます。</p>
KAIA00179-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause]</p> <p>The host mode or options are not the same between host groups used by the path set for the referenced volume.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the host mode and options are the same between host groups.</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: ldevId</p> <p>タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>参考ボリュームに設定されたパスで使用されているホストグループ間でホストモードまたはホストモードオプションが異なります。</p> <p>[対処]</p> <p>ホストグループ間でホストモードとオプションがすべて同じであることを確認してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAIA00180-E	<p>An error occurred while executing a task.</p> <p>[Cause]</p> <p>Cannot obtain the storage port information with LUN security disabled.</p> <p>[Action]</p> <p>Refer to the Device Manager message and resolve the problem, and then try again. (Device Manager message={0})</p> <p>0: Device Manager message</p> <p>Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因]</p> <p>Device Manager から LUN セキュリティが無効なストレージポートに関する情報を取得できませんでした。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager のメッセージに従って障害の原因を取り除き、サービスを再実行してください。(Device Manager メッセージ : {0})</p> <p>0: Device Manage メッセージ</p>
KAIA00181-I	<p>Settings for the existing unallocated volumes ({0}) that were allocated to hosts will be updated. (tiering policy = {1}, new page assignment tier = {2}, relocation priority = {3})</p> <p>0: P-VOL or S-VOL 1: Tiering Policy</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>2: New Page Assignment Tier 3: Tier Relocation</p> <p>ホストに割り当てられた既存の未割り当てボリューム ({0}) の設定を更新します。(階層ポリシー : {1}, 新規ページ割り当て階層 : {2}, 再配置プライオリティ : {3})</p> <p>0: P-VOL or S-VOL 1: 階層ポリシー 2: 新規ページ割り当て階層 3: 再配置プライオリティ</p>
KALIA00182-E	<p>The addition of the copy pair is failed. (copy group={0}, instance number={1}, host={2}) [Cause] The specified generation number is as inharmonious as the existing copy group, or the pair of a Simplex state exists in the existing copy group. [Action] Change the state of all the generations' existing copy pair into states other than Simplex by CCI. Or confirm followings and check the connection setting of Pair Management Manager on Administration tab by user with Admin permission, or submit task again.(1)Prefix of Copy Group Name(2)Number of backup generations 0: Copy group 1: Instance number 2: Host</p> <p>コピーペアを追加できませんでした。(コピーグループ : {0}, インスタンス番号 : {1}, ペア管理サーバ : {2})</p> <p>[原因] 指定した世代数が作成済みのコピーグループと不一致、または既存コピーグループに Simplex 状態のコピーペアが存在します。</p> <p>[対処] 既存の全世代のコピーペアを RAID Manager で Simplex 以外の状態に変更してください。もしくは、次の情報を確認し、Admin 権限を持つユーザーが管理タブのペア管理サーバの接続設定を見直すか、タスクを再実行してください。(1)コピーグループ名のプレフィックス(2)バックアップ世代数</p> <p>0: コピーグループ名 1: インスタンス番号 2: ペア管理サーバ</p>
KALIA00183-E	<p>An error occurred in executing Automation Director task. [Cause] The Resource Group of referenced volume doesn't assigned in Infrastructure Group that assigns to your Service Group of your submit service. (LDEV ID={0}) [Action] Confirm the Resource Group of LDEV ID of referenced volume in Device Manager. In Administration tab, open Infrastructure Group that is assigned to Service Group of your submit service, and confirm the Resource Group of referenced volume is assigned in Resource Groups. Then add the Resource Group as necessary, and submit the service again. (Device Manager={1}) 0: ldevId 1: hdvmName</p> <p>Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 参考ボリュームが属するリソースグループが実行したサービスのサービスグループに割り当てられたインフラストラクチャーグループに割り当てられていません。(LDEV ID : {0})</p> <p>[対処] Device Manager 上で、参考ボリュームの LDEV ID が属するリソースグループを確認してください。その後、管理タブで、実行したサービスのサービスグループに割り当てられたインフラストラクチャーグループを開き、リソースグループに割り当てられた参</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	考ボリュームの属するリソースグループを確認し、必要に応じてリソースグループを追加をしてください。その後再度サービスを実行してください。(Device Manager : {1}) 0: LDEV ID 1: HDvM 名
KAIA00184-E	Cannot define a pair. [Cause] An error occurred in the Device Manager. [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, refresh the storage subsystem and hosts. Then retry the operation. (message of Device Manager={0}) If the problem persists, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. 0: message コピーペアを定義できませんでした。 [原因] Device Manager でエラーが発生しました。 [対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、Device Manager の画面で、ストレージシステムとホストに対して更新を実行した上で、再度実行してください。(Device Manager メッセージ : {0}) エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。 0: メッセージ
KAIA00185-I	PoolSelect Information : {0} 0: message プール選択情報 : {0} 0: メッセージ
KAIA00186-W	No LDEV IDs are available for the pool[Pool Id={0}]. Move on to the next pool. 0: poolId 使用できる LDEV ID が存在しないプールです(プール ID : {0})。次のプールを確認します。 0: プール ID
KAIA00187-W	No virtual LDEV IDs are available for the pool[Pool Id={0}]. Move on to the next pool. 0: poolId 使用できる仮想 LDEV ID が存在しないプールです(プール ID : {0})。次のプールを確認します。 0: プール ID
KAIA00188-W	The virtual storage machine group of the unallocated existing volume is not same as the virtual storage machine of this pool[Pool Id={0}]. Move on to the next pool. 0: poolId 未割り当ての既存ボリュームの仮想ストレージマシンが、このプールの仮想ストレージマシンと一致しません(プール ID : {0})。次のプールを確認します。 0: プール ID
KAIA00189-E	The pair information of specified volume cannot be obtained. [Cause] Cannot obtain the copy group information for the volume (Device Manager={0}, DisplayArrayType={1}, Serial number={2}, LDEV ID={3}) [Action] Check the connection to the pair management server and refresh storage systems. 0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: LDEV ID

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>指定したボリュームのペア情報が取得できません。</p> <p>[原因] ボリューム(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})の コピーグループ情報が取得できませんでした。</p> <p>[対処] ペア管理サーバとの接続を確認し、ストレージシステムを更新してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAlA00190-E	<p>The configuration of specified GAD volume is not valid.</p> <p>[Cause] Cannot obtain the GAD information for the QuorumDisk (Device Manager={0}, DisplayArrayType={1}, Serial number={2}, QuorumDisk ID={3})</p> <p>[Action] Cancel the operation and verify the specified GAD volume.</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: Quorum Disk ID</p> <p>指定した GAD ボリュームの構成が正しくありません。</p> <p>[原因] Quorum ディスク(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, Quorum ディ スク ID : {3})の情報が取得できませんでした。</p> <p>[対処] いったん操作を終了して、指定した GAD ボリュームを確認してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: Quorum ディスク ID</p>
KAlA00191-E	<p>The pair management server of specified volume cannot be obtained.</p> <p>[Cause] Cannot obtain the pair management server for the volume (Device Manager={0}, DisplayArrayType={1}, Serial number={2}, CopyGroup={3})</p> <p>[Action] Cancel the operation and check the pair management server.</p> <p>0: hdvmName 1: displayArrayType 2: serialNum 3: Copy Group Name</p> <p>指定したボリュームのペア管理サーバが取得できません。</p> <p>[原因] ボリューム(Device Manager : {0}, 機種 : {1}, シリアル番号 : {2}, コピーグループ : {3})のペア管理サーバが取得できませんでした。</p> <p>[対処] いったん操作を終了して、ペア管理サーバの状態を確認してください。</p> <p>0: HDvM 名 1: 機種 2: シリアル番号 3: コピーグループ名</p>
KAlA00192-E	<p>The pair management server to manage was configured as CCI Server.</p> <p>[Cause] The pair management server (Device Manager={0}, Host={1}) was not a CCI Server.</p> <p>[Action] Create the GAD pair by CCI Server. And specify it.</p> <p>0: hdvmName</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1: Pair Management Server 指定した GAD ボリュームは RAID Manager サーバで管理していません。</p> <p>[原因] ペア管理サーバ(Device Manager : {0}, ホスト : {1})は RAID Manager サーバではありません。</p> <p>[対処] RAID Manager サーバを使用して GAD ペアを作成し、それを指定してください。 0: HDvM 名 1: ペア管理サーバ</p>
KAIA00193-E	<p>No available pool for allocating. [Cause] No available pool in the resource group {1} in the virtual storage system {0}.</p> <p>[Action] In Device Manager, register the pool into the resource group or refresh the storage systems.</p> <p>0: Virtual Storage System 1: Resource Group</p> <p>割り当てに使用できるプールがありません。</p> <p>[原因] 仮想ストレージシステム {0} のリソースグループ {1} に使用できるプールがありません。</p> <p>[対処] Device Manager 上で、プールをリソースグループに追加してください。あるいは、ストレージシステムをリフレッシュしてください。 0: 仮想ストレージシステム 1: リソースグループ</p>
KAIA00194-E	<p>Cannot execute a GAD P-VOL allocation task. [Cause] An error occurred in the Device Manager task.(Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: Device Manager task name 1: Device Manager message</p> <p>GAD P-VOL のボリューム割り当てが実行できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager によるタスク実行でエラーが発生しました。(Device Manager タスク : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager タスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、サービスを再度実行してください。 0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00195-E	<p>Cannot execute a GAD S-VOL allocation task. [Cause] An error occurred in the Device Manager task.(Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1})</p> <p>[Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try the operation again.</p> <p>0: Device Manager task name 1: Device Manager message</p> <p>GAD S-VOL のボリューム割り当てが実行できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>Device Manager によるタスク実行でエラーが発生しました。(Device Manager タスク : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き, Device Manager の画面で, Automation Director タスクに関連する Device Manager タスクの状態を確認し, 必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で, サービスを再度実行してください。</p> <p>0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ</p>
KAIA00196-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task of GAD.</p> <p>[Cause]</p> <p>Invalid licenses are registered for Replication Manager or the registered license key is expired.</p> <p>[Action]</p> <p>Register a valid license key for Replication Manager, and then try again.</p> <p>GAD の Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>不正な Replication Manager のライセンスが登録されています。または, 登録されたライセンスキーの有効期限が切れています。</p> <p>[対処]</p> <p>Replication Manager の有効なライセンスキーを登録し, 再実行してください。</p>
KAIA00197-E	<p>The capacity or starting value of the LUN settings is outside of the support range of the storage system.</p> <p>[Action]</p> <p>Specify the capacity and starting value of the LUN settings in the support range of the storage system.</p> <p>指定した容量または LUN 設定の開始番号はストレージのサポート範囲外です。</p> <p>[対処]</p> <p>ストレージのサポート範囲内の容量および LUN 設定の開始番号を指定してください。</p>
KAIA00198-E	<p>Device Manager cannot run a volume allocation task.</p> <p>[Cause]</p> <p>No storage system pool supports full allocation.</p> <p>[Action]</p> <p>Log in to Automation Director with Admin permissions, verify the Infrastructure Group Setting in the Administration window, and add a storage pool that supports full allocation if required. Then, try to run the service again.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを実行できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>ページ予約をサポートしたストレージシステムに使用できるプールがありません。</p> <p>[対処]</p> <p>Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが, 管理画面でインフラストラクチャーグループの設定を見直してください。ページ予約が必要であれば, サポートするストレージのプールを追加した上で, 再実行してください。</p>
KAIA00199-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause]</p> <p>A pool from which volumes can be created could not be found, or the number of available LDEV IDs is insufficient.</p> <p>[Action]</p> <p>In Device Manager, make sure there is a pool that has sufficient free space for creating volumes. If you want execute full volume allocation, add pools which are</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>configured from parity groups for which Accelerated Compression is disabled. Or register additional LDEV IDs to the resource group or virtual storage machine, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, retry the operation.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] ボリュームを作成できるプールがありません。または、使用できる LDEV ID が不足しています。</p> <p>[対処] Device Manager 上でプールに十分な空き容量があるか確認してください。ページ予約が必要な場合、容量拡張が無効なパリティグループで構成されているプールをリソースグループに追加してください。または、リソースグループまたは仮想ストレージマシンに LDEV ID を登録し、サービスを再実行してください。Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00200-I	<p>Thin Image pool selection processing started. (volumeusage = {0}) 0: VolumeUsage Thin Image プールの選択処理を開始しました。(ボリューム用途 : {0}) 0: ボリューム用途</p>
KAIA00201-I	<p>Thin Image pool selection processing ended. (volumeusage = {0}) 0: VolumeUsage Thin Image プールの選択処理を終了しました。(ボリューム用途 : {0}) 0: ボリューム用途</p>
KAIA00202-E	<p>The specified parameter is invalid. [Action] Check the parameter value and update if required. 指定したパラメータが不正です。 [対処] パラメータの設定を見直してください。</p>
KAIA00203-E	<p>A Device Manager volume allocation task could not be created. [Cause] No pools are available in the storage system or on the virtual storage machine that was specified in Replication Settings. [Action] A user with Automation Director Admin permission must check the Replication Settings from the Administration window and update if required. In Device Manager, make sure that a pool specified in the Replication Settings exists in the storage system or on the virtual storage machine. If using Thin Image, make sure that the DP pool and TI pool belong to the same resource group, make sure that there are enough free LDEV IDs, and then try the action again. Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] レプリケーション設定で指定されたストレージシステム、または仮想ストレージマシン上にボリュームを作成できるプールがありません。 [対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でレプリケーション設定を見直してください。Device Manager 上でレプリケーション設定で指定したストレージシステムまたは仮想ストレージマシン上にプールが存在することを確認してください。Thin Image を使用する場合には、DP プールと TI プールが同じリソースグループに属することを確認してください。LDEV ID に空きがあることを確認して、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00204-E	<p>An error occurred during an Automation Director task. [Cause] A Thin Image pool does not exist in the same resource group as the specified volume.</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[Action] Check the parameter and update if required. If the problem persists, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information. Automation Director のタスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 指定されたボリュームと同じリソースグループに Thin Image プールが存在しません。</p> <p>[対処] パラメータの設定を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIA00205-I	<p>Volume allocation of a V-VOL started. (volumeusage = {0}, generation = {1}) 0: VolumeUsage 1: Generation V-VOL のボリューム割り当てを開始しました。(ボリューム用途 : {0}, 世代番号 : {1}) 0: ボリューム用途 1: 世代番号</p>
KAIA00206-I	<p>Volume allocation of a V-VOL ended. (volumeusage = {0}, generation = {1}) 0: VolumeUsage 1: Generation S-VOL のボリューム割り当てを終了しました。(ボリューム用途 : {0}, 世代番号 : {1}) 0: ボリューム用途 1: 世代番号</p>
KAIA00207-E	<p>Failed to allocate a Volume. [Cause] An XML generation error occurred. [Action] Try the action again. If the problem persists, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information. ボリューム割り当てに失敗しました。 [原因] XML 生成でエラーが発生しました。 [対処] サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口にご連絡してください。</p>
KAIA00208-E	<p>Failed to allocate a Volume. [Cause] An error occurred in Device Manager. [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. Refresh the storage system and host from the Device Manager window, and then try the action again. (Device Manager message = {0}) If the problem persists, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information. 0: message ボリューム割り当てに失敗しました。 [原因] Device Manager でエラーが発生しました。 [対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、Device Manager の画面で、ストレージシステムとホストに対して更新を実行したのち、再度実行してください。(Device Manager メッセージ : {0}) エラーが繰り返し発生する場合</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口 に連絡してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00209-E	<p>Failed to allocate a Volume.</p> <p>[Cause] Information about {0} could not be obtained.</p> <p>[Action] Make sure that there are enough free LDEV IDs in the resource group. Register additional LDEV IDs to the resource group or virtual storage machine, or refresh the storage system from the Device Manager window, and then try the action again.</p> <p>0: targetInfo ボリューム割り当てに失敗しました。</p> <p>[原因] {0}情報を取得できません。</p> <p>[対処] リソースグループ内に LDEV ID の空きが十分であることを確認してください。リ ソースグループまたは仮想ストレージマシンに LDEV ID を追加登録するか、Device Manager の画面からストレージシステムを更新した上で、再度実行してください。</p> <p>0: 取得対象情報</p>
KAIA00210-E	<p>A Thin Image pool could not be specified.</p> <p>[Cause] No Thin Image pools are available that meet the specified criteria.</p> <p>[Action] Check and, if necessary, revise the parameter. Thin Image プールの指定ができませんでした。</p> <p>[原因] 指定された条件を満たす、利用できる Thin Image プールが存在しません。</p> <p>[対処] パラメータの設定を見直してください。</p>
KAIA00211-E	<p>An unsupported copy type was specified.</p> <p>[Cause] An unsupported type was specified for a copy type. (copy type = {0})</p> <p>[Action] In the copy settings, verify the parameter setting and update if necessary. Then try the action again.</p> <p>0: copyType 未サポートのコピー種別が指定されました。</p> <p>[原因] コピー種別にサポートしていない種別が指定されました。(コピー種別: {0})</p> <p>[対処] コピー設定でパラメータ設定を見直して、サービスを再実行してください。</p> <p>0: コピー種別</p>
KAIA00212-E	<p>A Replication Manager pair creation task could not be created.</p> <p>[Cause] Failed to communicate with Replication Manager. (details = {0})</p> <p>[Action] Make sure that Replication Manager is started and that the RMI communication settings are enabled. In addition, make sure that the hosts and storage system are given Modify permission in Replication Manager. Then try the action again.</p> <p>0: message Replication Manager へのタスクの登録に失敗しました。</p> <p>[原因] Replication Manager と通信できませんでした。(詳細: {0})</p> <p>[対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Replication Manager が起動していることを確認し、RMI の設定が有効になっていることを確認してください。また、ホストおよびストレージシステムが、Replication Manager で Modify 権限を与えられていることを確認して、サービスを再実行してください。</p> <p>0: メッセージ</p>
KAlA00213-E	<p>Failed to define or create a pair. [Cause] An error occurred during a Replication Manager task. (task ID = {0}, details = {1}) [Action] Check the error message in Replication Manager, undefine pairs and unallocate unnecessary volumes as required, delete the task and workflow in Replication Manager, and then try the action again. 0: taskID 1: message ペアの定義または作成に失敗しました。 [原因] Replication Manager のタスクでエラーが発生しました。(タスク ID : {0}, 詳細 : {1}) [対処] Replication Manager でタスクのエラーメッセージを確認し、必要に応じてペアの削除および不要なボリュームの割り当て解除をして、Replication Manager でタスクおよびワークフローを削除した上で、サービスを再実行してください。 0: タスク ID 1: メッセージ</p>
KAlA00214-W	<p>A pair was successfully defined or created, but a warning message was generated. [Cause] A warning occurred during a Replication Manager task. (task ID = {0}, details = {1}) [Action] Check the error message in Replication Manager, undefine pairs and unallocate unnecessary volumes as required, delete the task and workflow in Replication Manager, and then try the action again. 0: taskID 1: message ペアの定義または作成が期待通りではない可能性があります。 [原因] Replication Manager のタスクで警告が発生しました。(タスク ID : {0}, 詳細 : {1}) [対処] Replication Manager でタスクのエラーメッセージを確認し、必要に応じてペアの削除および不要なボリュームの割り当て解除をして、Replication Manager でタスクおよびワークフローを削除した上で、サービスを再実行してください。 0: タスク ID 1: メッセージ</p>
KAlA00215-E	<p>Failed to define or create a pair. [Cause] A Replication Manager task was canceled. (task ID = {0}, details = {1}) [Action] Check the status in Replication Manager, undefine pairs and unallocate unnecessary volumes as required, delete the task and workflow in Replication Manager, and then try the action again. 0: taskID 1: message ペアの定義または作成に失敗しました。 [原因] Replication Manager でタスクがキャンセルされました。(タスク ID : {0}, 詳細 : {1}) [対処]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Replication Manager でタスクの状態を確認し、必要に応じてペアの削除および不要なボリュームの割り当て解除をして、Replication Manager でタスクおよびワークフローを削除した上で、サービスを再実行してください。</p> <p>0: タスク ID 1: メッセージ</p>
KAIA00216-E	<p>Failed to obtain results of an attempt to copy or define a pair. The task might have failed.</p> <p>[Cause] The task results could not be obtained from Replication Manager. (task ID = {0})</p> <p>[Action] Check the status in Replication Manager, undefine pairs and unallocate unnecessary volumes as required, delete the task and workflow in Replication Manager, and then try the action again.</p> <p>0: taskID ペアのコピーまたは定義の結果の取得に失敗しました。タスクが失敗している可能性があります。</p> <p>[原因] Replication Manager からタスクの結果を取得できませんでした。(タスク ID : {0})</p> <p>[対処] Replication Manager でタスクの状態を確認し、必要に応じてペアの削除および不要なボリュームの割り当て解除をして、Replication Manager でタスクおよびワークフローを削除した上で、サービスを再実行してください。</p> <p>0: タスク ID</p>
KAIA00217-I	<p>Registered a task to Replication Manager.</p> <p>[Cause] Succeeded in registering a task to Replication Manager(Task ID = {0})</p> <p>0: taskID Replication Manager にタスクを登録しました。</p> <p>[原因] Replication Manager へのタスクの登録に成功しました。(タスク ID : {0})</p> <p>0: タスク ID</p>
KAIA00218-E	<p>Cannot generate a parameter of define pair.</p> <p>[Cause] Pair Management Server does not have both WWN and ISCSI name. (Server Name = {0})</p> <p>[Action] From Device Manager, refresh the Pair Management Server. Then, try the operation again. If the error occurs repeatedly, a detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0: serverName ペア定義のパラメータが生成できませんでした。</p> <p>[原因] ペア管理サーバに WWN および ISCSI 名が登録されていません。(サーバ名 : {0})</p> <p>[対処] Device Manager 上でペア管理サーバの構成情報を更新して、サービスを再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: サーバ名</p>
KAIA00219-E	<p>Cannot obtain database information.</p> <p>[Cause] The database is not running properly.</p> <p>[Action] Restart the database. (maintenance information={0})</p> <p>0: message データベースからデータを取得できませんでした。</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[原因] データベースが正常に動作していません。</p> <p>[対処] データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報：{0}) 0: メッセージ</p>
KAIA00220-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Action] Check Device Manager Service.(message={0}) 0: message Device Manager と通信できませんでした。</p> <p>[対処] Device Manager のサービスが起動しているか確認してください。(メッセージ：{0}) 0: メッセージ</p>
KAIA00221-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Cause] Cannot communicate with https to the Device Manager.</p> <p>[Action] Review the SSL settings. (message={0}) 0: message Device Manager と通信できませんでした。</p> <p>[原因] Device Manager との https 通信できませんでした。</p> <p>[対処] SSL の設定を見直してください。(メッセージ：{0}) 0: メッセージ</p>
KAIA00222-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Cause] There is an error in the password or user ID.</p> <p>[Action] Check if the user ID and password are correct. Device Manager と通信できませんでした。</p> <p>[原因] ユーザー ID もしくはパスワードに誤りがあります。</p> <p>[対処] 正しいユーザー ID とパスワードか確認してください。</p>
KAIA00223-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Cause] The size of the request exceeds the limit.(size={0})</p> <p>[Action] Reduce the number of volumes that define pair. 0: size Device Manager と通信できませんでした。</p> <p>[原因] リクエストのサイズが制限値を超えています。(サイズ：{0})</p> <p>[対処] ペアを定義するボリュームの数を少なくしてください。 0: サイズ</p>
KAIA00224-E	<p>Cannot communicate with the Device Manager server.</p> <p>[Cause] An error occurred in the Device Manager.</p> <p>[Action] Contact the Support Center.(code={0}) 0: code Device Manager と通信できませんでした。</p> <p>[原因]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>Device Manager でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(コード: {0}) 0: コード番号</p>
KAIA00225-E	<p>Cannot obtain the status information of Replication Manager.</p> <p>[Cause] An error occurred in the Replication Manager. (details = {0})</p> <p>[Action] Confirm that Replication Manager has started, and confirm that setting of RMI communication is true. 0: message Replication Manager の状態情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因] Replication Manager でエラーが発生しました。(詳細: {0})</p> <p>[対処] Replication Manager が起動していることを確認し、RMI の設定が有効になっていることを確認してください。 0: メッセージ</p>
KAIA00226-W	<p>Cannot update the volume information.</p> <p>[Cause] An error occurred in the Replication Manager. (details = {0})</p> <p>[Action] Confirm that Replication Manager has started, and confirm that setting of RMI communication is true. 0: message Replication Manager へのタスクの登録に失敗しました。</p> <p>[原因] Replication Manager でエラーが発生しました。(詳細: {0})</p> <p>[対処] Replication Manager が起動していることを確認し、RMI の設定が有効になっていることを確認してください。 0: メッセージ</p>
KAIA00227-E	<p>Storage Profile Definition is invalid.</p> <p>[Cause] An error occurred in the Device Manager.</p> <p>[Action] Check the Storage Profile on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. And select the TI of pool type. ストレージプロファイルの定義が不正です。</p> <p>[原因] Device Manager でエラーが発生しました。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でストレージプロファイルの設定を見直してください。プール種別に TI を選択してください。</p>
KAIA00228-E	<p>Unable to run a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause] Possible causes are as follows: (1) Number of available Copy Group or Snapshot Group or Consistency Group is insufficient. (2) The specified CTG option is different from CTG option of the existing Copy Group or Snapshot Group.</p> <p>[Action] (1) Check the number available Copy Groups, Snapshot Groups, or Consistency Groups on the storage system. (2) Check the Copy Pair Settings in the Edit Service window by logging in as a user with Modify permission on Automation Director. Confirm the Device Manager task that relates to the Automation Director task ID, and if necessary, unallocated it. Then retry the action. (maintenance information={0})</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>0: message</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>次の原因が考えられます。(1)使用できるコピーグループ数、または、スナップショットグループ数、またはコンシステンシーグループ数が不足しています。(2)指定された CTG 設定と既存のコピーグループまたはスナップショットグループの CTG 設定が異なります。</p> <p>[対処]</p> <p>(1)ストレージシステム上で、使用できるコピーグループ、スナップショットグループ、コンシステンシーグループ数を確認してください。(2)Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でコピーペア設定を見直してください。Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除した上で、Automation Director タスクを再度実行してください。(保守情報 : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00229-W	<p>Pairs in the copy group {0} are defined, but not yet created.</p> <p>[Cause]</p> <p>The specified number of generations exceeds the maximum number of concurrent copies. (Number of generations = {1}, maximum concurrent copy = {2})</p> <p>0: copygroup name</p> <p>1: number of generations</p> <p>2: maximum concurrent copy</p> <p>コピーグループ{0}のペアは、定義だけが行われ、作成はされません。</p> <p>[原因]</p> <p>指定した世代数がコピーの最大同時実行数を超過しています。(世代数 : {1}, 最大同時コピー数 : {2})</p> <p>0: コピーグループ名</p> <p>1: 世代数</p> <p>2: 最大同時コピー数</p>
KAIA00230-E	<p>A Replication Manager task has failed.</p> <p>[Cause]</p> <p>A Replication Manager task returned an invalid status. (task ID = {0}, details = {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm that the Replication Manager and Device Manager versions are supported.</p> <p>0: taskID</p> <p>1: status code</p> <p>Replication Manager のタスクが失敗しました。</p> <p>[原因]</p> <p>Replication Manager のタスクが不正な状態コードを返却しました。(タスク ID : {0}, 状態コード : {1})</p> <p>[対処]</p> <p>Replication Manager と Device Manager のバージョンがサポートされているかを確認してください。</p> <p>0: タスク ID</p> <p>1: 状態コード</p>
KAIA00231-E	<p>A pair definition has failed. (copy group name = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>A Replication Manager task timed out. (Task ID = {1})</p> <p>[Action]</p> <p>Confirm the status of a task in Replication Manager. Undo pairs and unallocate unnecessary volumes as required. Try the action again.</p> <p>0: copygroup name</p> <p>1: taskID</p> <p>ペア定義できませんでした。(コピーグループ名 : {0})</p> <p>[原因]</p> <p>Replication Manager のタスクがタイムアウトになりました。(タスク ID : {1})</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>Replication Manager でタスクの状態を確認し、必要に応じてペアの削除および不要なボリュームの割り当て解除をして、サービスを再実行してください。</p> <p>0: コピーグループ名 1: タスク ID</p>
KAIA00232-E	<p>A Device Manager volume allocation task could not be created.</p> <p>[Cause]</p> <p>No pools are available in the storage system or on the virtual storage machine that is specified in Replication Settings.</p> <p>[Action]</p> <p>To resolve this issue, try the following:</p> <p>(1) If using Shadow Image, make sure that there are valid DP pools other than the pool to which the P-VOL belongs, and then try to restart the service.</p> <p>(2) From Device Manager, create a pool other than for Hitachi NAS Platform or NAS modules and edit the pool settings as needed. Then, try to restart the service.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>レプリケーション設定で指定されたストレージシステム、または仮想ストレージマシン上にボリュームを作成できるプールがありません。</p> <p>[対処]</p> <p>エラーを解決するために、次を確認してください。</p> <p>(1)ShadowImage を使用する場合には、P-VOL が属するプール以外に有効な DP プールが存在することを確認してください。</p> <p>(2)Device Manager の画面で、必要に応じて Hitachi NAS Platform または NAS modules 用以外のプールの作成および設定を行った上で、サービスを再度実行してください。</p>
KAIA00233-E	<p>The value specified for "Start from LDEV ID" is invalid. (volume usage = {0})</p> <p>[Action]</p> <p>Update the value specified for "Start from LDEV ID". (value specified for "Start from LDEV ID" = {1})</p> <p>0: volumeUsage 1: ldevId</p> <p>開始 LDEV ID の指定に誤りがあります。(ボリューム用途 : {0})</p> <p>[対処]</p> <p>開始 LDEV ID の指定を見直してください。(指定された開始 LDEV ID : {1})</p> <p>0: ボリューム用途 1: LDEV ID</p>
KAIA00234-E	<p>Cannot find available Resource Group. (VolumeUsage={0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Possible reasons are as follows.</p> <ul style="list-style-type: none"> - There are no Resource Groups that match the criteria. - The Resource Groups that match Criteria are not included in the Infrastructure Groups that the Service is assigned to. <p>[Action]</p> <p>Verify the following and update the settings as required:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The Resource Group criteria is specified correctly. - There are Resource Groups that match the criteria in Device Manager. - The Resource Groups that match the criteria are included in following Resource Groups in the Administration window. <p>* Resource Groups assigned to the Infrastructure Groups to which the Service is assigned. If Infrastructure Group criteria is specified, the Resource Groups are assigned to Infrastructure Groups that match the criteria.</p> <p>* Resource Groups belong to the specified Storage System.</p> <p>(JoinType={1}, Specified Criteria={2})</p> <p>0: volumeUsage 1: joinType</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>2: criteria 利用できるリソースグループが見つかりませんでした。(ボリューム用途: {0}) [原因] 次の原因が考えられます。(1)指定条件を満たすリソースグループがありません。(2)条件を満たすリソースグループが利用できるインフラストラクチャーグループに含まれていません。 [対処] 次の確認をして、必要に応じて設定の更新を行ってください。 (1)リソースグループの条件が正しく指定されていること。 (2)Device Manager の画面で指定条件を満たすリソースグループが存在すること。 (3)管理画面で、条件を満たすリソースグループが次のリソースグループに含まれていること。 ・サービスが割り当てられたインフラストラクチャーグループに割り当てられたリソースグループ。インフラストラクチャーグループの条件を指定している場合、条件を満たすインフラストラクチャーグループに割り当てられたリソースグループ ・指定したストレージシステム上のリソースグループ (結合種別: {1}, 指定条件: {2}) 0: ボリューム用途 1: 結合種別 2: 条件</p>
KAlA00235-E	<p>No available pool was found. (volume usage = {0}) [Cause] No pools match the specified criteria. (model = {1}, serial number = {2}) [Action] Verify the following and then retry the task: - Update the specified pools and other criteria as needed. - Verify that pools matching the criteria exist in Device Manager. - Verify that the user connected to Device Manager has the Modify permission in Device Manager for the pools that match the criteria. (join type = {3}, specified criteria = {4}) 0: volumeUsage 1: model 2: serialNumber 3: joinType 4: criteria 利用できるプールが見つかりませんでした。(ボリューム用途: {0}) [原因] 指定条件を満たすプールがありません。(指定したモデル: {1}, シリアル番号: {2}) [対処] 次の確認をした上で、再度タスクを実行してください。 ・必要に応じてプールおよびそのほかの指定条件を見直してください。 ・指定条件を満たすプールが Device Manager に存在することを確認してください。 ・Device Manager 上で Device Manager 接続ユーザーが、条件を満たすプールに対して Modify 権限があることを確認してください。 (結合種別: {3}, 指定条件: {4}) 0: ボリューム用途 1: モデル 2: シリアル番号 3: 結合種別 4: 条件</p>
KAlA00236-E	<p>No available port was found. (volume usage = {0}) [Cause] No ports match the specified criteria. ({1}) [Action] To resolve this issue:</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>- Verify the specified port criteria and the criteria listed in the Submitted Data or Log in the Task Details window.</p> <p>- Verify that storage ports exist that match the specified criteria of the port in {3}.</p> <p>- Verify that the user connected to Device Manager has the Modify permission for the ports that match the port {2} criteria.</p> <p>(join type = {4}, specified criteria = {5})</p> <p>0: volumeUsage 1: storageInfo 2: criteriaAttr 3: productName 4: joinType 5: criteria</p> <p>利用できるポートが見つかりませんでした。(ボリューム用途 : {0})</p> <p>[原因] 指定条件を満たすポートがありません。{1}</p> <p>[対処] この問題を解決するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タスク詳細画面の入力やログのタブで、指定したポートの条件およびそのほかの指定条件を見直してください。 ・指定したポートの条件を満たすストレージポートが存在することを{3}で確認してください。 ・Device Manager 接続ユーザーが、{2}条件を満たすポートに対して Modify 権限があることを確認してください。 <p>(結合種別 : {4}, 指定条件 : {5})</p> <p>0: ボリューム用途 1: ストレージ情報 2: 条件属性 3: 製品名 4: 結合種別 5: 条件</p>
KAIA00237-E	<p>Cannot find available Storage System.</p> <p>[Cause] There is no Storage System that matches the specified criteria. (Model={0}, SerialNumber={1})</p> <p>[Action] Verify the following and update the settings as required:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The specified Storage System is registered in Device Manager. - The Device Manager Connection user has the Modify permission for the resources in the specified Storage System. - The Resource Groups that match the criteria are assigned to the Infrastructure Groups to which the Service is assigned. If Infrastructure Group criteria is specified, the Resource Groups are assigned to Infrastructure Groups that match the criteria. <p>0: model 1: serialNumber</p> <p>利用できるストレージシステムが見つかりませんでした。</p> <p>[原因] 指定条件を満たすストレージシステムがありません。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1})</p> <p>[対処] 次の確認をして、必要に応じて設定の更新を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定したストレージシステムが Device Manager に登録されていること。 ・Device Manager 接続ユーザーが、指定したストレージシステムのリソースに対して Modify 権限を持っていること。 ・条件を満たすリソースグループが、サービスが割り当てられたインフラストラクチャグループに割り当てられていること。インフラストラクチャグループの条件を指定している場合、リソースグループが、条件を満たすインフラストラクチャグループに割り当てられていること。

メッセージID	メッセージの内容
	0: モデル 1: シリアル番号
KAIA00238-E	<p>A Device Manager volume allocation task could not be generated.</p> <p>[Cause] No pools are available for allocating volumes that meet the specified conditions, or the number of available LDEV IDs is insufficient.</p> <p>[Action] Check the Storage Profile Settings on Edit Service window by user with Modify permission on Automation Director. Check the Infrastructure Group Settings, Storage Profile Settings and Replication Settings on Administration window by user with Admin permission on Automation Director. Check the user permissions and edit the pool settings in Device Manager, or register additional LDEV IDs to the resource group, and then try to start the service again. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and unallocate unnecessary volumes as needed. Then, try to restart the service.</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] 指定された条件のボリュームを割り当てできるプールが存在しません。</p> <p>[対処] Automation Director 上で Modify 権限を持つユーザーが、サービス編集でストレージプロファイルの設定を見直してください。Automation Director 上で Admin 権限を持つユーザーが、管理画面でインフラストラクチャグループ、ストレージプロファイル、レプリケーション設定を見直してください。Device Manager 上でユーザー権限の確認およびプールの設定を行うか、リソースグループに追加の LDEV ID を登録した上で、サービスを再度実行してください。Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Device Manager のタスクの状態を確認し、必要に応じて不要なボリュームの割り当てを解除し、サービスを再実行してください。</p>
KAIA00239-E	<p>No available pool was found. (volume usage = {0})</p> <p>[Cause] No pools match the specified criteria.</p> <p>[Action] Verify the following and then retry the task:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Update the specified pools and other criteria as needed. - Verify that pools matching the criteria exist in Device Manager. - Verify that the user connected to Device Manager has the Modify permission in Device Manager for the pools that match the criteria. <p>(join type = {1}, specified criteria = {2})</p> <p>0: volumeUsage 1: joinType 2: criteria</p> <p>利用できるプールが見つかりませんでした。(ボリューム用途: {0})</p> <p>[原因] 指定条件を満たすプールがありません。</p> <p>[対処] 次の確認をした上で、再度タスクを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プールおよびそのほかの指定条件を必要に応じて更新してください。 ・ 指定条件を満たすプールが Device Manager に存在することを確認してください。 ・ Device Manager 上で Device Manager 接続ユーザーが、条件を満たすプールに対して Modify 権限があることを確認してください。(結合種別: {1}, 指定条件: {2}) <p>0: ボリューム用途 1: 結合種別 2: 条件</p>
KAIA00240-E	<p>No available port was found. (volume usage = {0})</p> <p>[Cause] No ports match the specified criteria.</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action]</p> <p>Verify the following and then retry the task:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Update the specified ports and other criteria as needed. - Verify that ports matching the criteria exist in Device Manager. - Verify that the user connected to Device Manager has the Modify permission in Device Manager for the ports that match the criteria. <p>(join type = {1}, specified criteria = {2})</p> <p>0: volumeUsage 1: joinType 2: criteria</p> <p>利用できるポートが見つかりませんでした。(ボリューム用途: {0})</p> <p>[原因]</p> <p>指定条件を満たすポートがありません。</p> <p>[対処]</p> <p>次の確認をした上で、再度タスクを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートおよびそのほかの指定条件を必要に応じて更新してください。 ・指定条件を満たすポートが Device Manager に存在することを確認してください。 ・Device Manager 上で Device Manager 接続ユーザーが、条件を満たすポートに対して Modify 権限があることを確認してください。(結合種別: {1}, 指定条件: {2}) <p>0: ボリューム用途 1: 結合種別 2: 条件</p>
KAIA00241-E	<p>Performance filtering for a storage port failed. (volume usage = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Storage port performance information cannot be obtained. The possible causes are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - HTnM - Agent for RAID is not running. - A request to obtain performance data timed out because of a temporary increase in communication load. - Performance data has not yet accumulated on the HTnM agent. - The HTnM linkage settings are incorrect. - The storage system information is not updated. <p>[Action]</p> <p>To run performance filtering for the storage port, resolve the problem as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Verify that the HTnM agent is running. - Check the status of network communication, and then try again. - After performance data has accumulated on the HTnM agent, try again. - Verify that the HTnM linkage settings are correct. - From Device Manager, refresh the storage subsystem. <p>0: volumeUsage</p> <p>ストレージポートの性能フィルタによる絞り込みができませんでした。(ボリューム用途: {0})</p> <p>[原因]</p> <p>ストレージポートの性能情報を取得できませんでした。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTnM-Agent for RAID が動作していない。 ・通信負荷の一時的な増大により、性能情報の取得要求がタイムアウトした。 ・HTnM エージェントに性能情報がまだ蓄積されていない。 ・HTnM の連携設定が正しくない。 ・ストレージシステムの情報が最新でない。 <p>[対処]</p> <p>ポートの性能フィルタによる絞り込みを実行する場合には、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTnM エージェントが動作していることを確認してください。 ・ネットワークの通信状況を確認した上で、再度実行してください。 ・HTnM エージェントに性能情報が蓄積されてから、再度実行してください。 ・HTnM の連携設定が正しいことを確認してください。 ・Device Manager でストレージシステムを更新してください。 <p>0: ボリューム用途</p>

メッセージID	メッセージの内容
KAIA00242-W	<p>Performance information for a storage port cannot be obtained. (volume usage = {0})</p> <p>[Cause]</p> <p>Storage port performance information cannot be obtained. The possible causes are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - HTnM - Agent for RAID is not running. - A request to obtain performance data timed out because of a temporary increase in communication load. - Performance data has not yet accumulated on the HTnM agent. - The HTnM linkage settings are incorrect. - The storage system information is not updated. <p>[Action]</p> <p>To obtain performance information for all storage ports, resolve the problem as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Verify that the HTnM agent is running. - Check the status of network communication, and then try again. - After performance data has accumulated on the HTnM agent, try again. - Verify that the HTnM linkage settings are correct. - From Device Manager, refresh the storage subsystem. <p>0: volumeUsage</p> <p>ストレージポートの性能情報を取得できませんでした。(ボリューム用途: {0})</p> <p>[原因]</p> <p>ストレージポートの性能情報を取得できませんでした。次の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTnM-Agent for RAID が動作していない。 ・通信負荷の一時的な増大により、性能情報の取得要求がタイムアウトした。 ・HTnM エージェントに性能情報がまだ蓄積されていない。 ・HTnM の連携設定が正しくない。 ・ストレージの情報が最新でない。 <p>[対処]</p> <p>全ストレージポートについて性能情報を取得する場合には、次の対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTnM エージェントが動作していることを確認してください。 ・ネットワークの通信状況を確認した上で、再度実行してください。 ・HTnM エージェントに性能情報が蓄積されてから、再度実行してください。 ・HTnM の連携設定が正しいことを確認してください。 ・Device Manager で、ストレージシステムを更新してください。 <p>0: ボリューム用途</p>
KAIA00243-E	<p>The specified {0} was not found. (value = {1})</p> <p>[Cause]</p> <p>The specified {0} might have been deleted from Device Manager.</p> <p>[Action]</p> <p>Make sure that the specified {0} exists in Device Manager.</p> <p>0: item name</p> <p>1: value</p> <p>指定された{0}が見つかりませんでした。(値: {1})</p> <p>[原因]</p> <p>指定された{0}は Device Manager から削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>指定された{0}が Device Manager に存在するか確認してください。</p> <p>0: 項目名</p> <p>1: 値</p>
KAIA00244-E	<p>The specified file system cannot be found. (file system = {0}, server/cluster = {1}, file server = {2}, EVS = {3})</p> <p>[Cause]</p> <p>File system information might have been deleted.</p> <p>[Action]</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>In Device Manager, make sure that the file system exists, and then run the service again.</p> <p>0: file system name 1: server or cluster name 2: file server 3: EVS</p> <p>指定されたファイルシステムが存在しません。(ファイルシステム : {0}, サーバ/クラスタ : {1}, ファイルサーバ : {2}, EVS : {3})</p> <p>[原因] ファイルシステムの情報が削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] Device Manager 上で、ファイルシステムが存在することを確認し、サービスを再実行してください。</p> <p>0: ファイルシステム名 1: サーバまたはクラスタ名 2: ファイルサーバ 3: EVS</p>
KAIA00246-E	<p>An EVS was not found. (file system = {0}, server/cluster = {1}, file server = {2}, EVS = {3})</p> <p>[Cause] Information about the specified EVS in Device Manager might be old, or the specified EVS might have been deleted.</p> <p>[Action] In Device Manager, check the specified EVS.</p> <p>0: file system name 1: server or cluster name 2: file server 3: EVS</p> <p>EVS が見つかりませんでした。(ファイルシステム : {0}, サーバ/クラスタ : {1}, ファイルサーバ : {2}, EVS : {3})</p> <p>[原因] 指定した EVS は Device Manager での情報が古いかあるいは削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] Device Manage 上で、指定した EVS を確認してください。</p> <p>0: ファイルシステム名 1: サーバまたはクラスタ名 2: ファイルサーバ 3: EVS</p>
KAIA00247-E	<p>The version of the specified file server is not supported. 指定されたファイルサーバはサポートしていないバージョンです。</p>
KAIA00248-I	<p>The creation of a CIFS share or NFS export started. CIFS 共有または NFS 共有の作成を開始しました。</p>
KAIA00249-I	<p>The creation of CIFS share or NFS export was finished. CIFS 共有または NFS 共有の作成を終了しました。</p>
KAIA00250-E	<p>The host name, host port, storage port, and LDEV ID have not been specified. [Action] Specify a value for at least one of the following: host name, host port, storage port, or LDEV ID. ホスト名, ホストポート, ストレージポート, LDEV ID の値が未設定です。 [対処] ホスト名, ホストポート, ストレージポート, LDEV ID の少なくとも一つの値を設定してください。</p>
KAIA00251-E	<p>Failed to get a resource group. [Cause]</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>Resource group has been deleted or modified during task execution.</p> <p>[Action] Review the setting for Resource Groups assigned to the Infrastructure Groups. リソースグループ情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因] タスク実行中にリソースグループ情報が削除もしくは変更されました。</p> <p>[対処] インフラストラクチャグループに割り当てられたリソースグループの設定を見直してください。</p>
KAIA00252-I	<p>port performance information = {0}</p> <p>0: message ポート性能情報 : {0}</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00253-I	<p>No storage pool was found. Actions can occur only on a file system in a storage pool composed of HDP/HDT pools that are managed by Device Manager.</p> <p>ストレージプールがありません。Device Manager で管理されている、HDP/HDT で構成されたストレージプール上のファイルシステムだけ操作できます。</p>
KAIA00254-I	<p>No storage pool in a valid configuration can be found. For an untiered storage pool, a file system in a storage pool composed of a single HDP/HDT pool can be used. For a tiered storage pool, a file system in a storage pool composed of a single HDP/HDT pool can be used for each tier.</p> <p>使用できる構成であるストレージプールがありません。階層化されていないストレージプールの場合、単一の HDP/HDT プールから構成されたストレージプール上のファイルシステムが使用できます。階層化されたストレージプールの場合、階層ごとに単一の HDP/HDT プールから構成されたストレージプール上のファイルシステムが使用できます。</p>
KAIA00255-I	<p>No supported file system was found. A file server with a CIFS share or NFS export, which is created in Device Manager, can be used.</p> <p>サポートしているファイルサーバがありません。Device Manager で CIFS 共有または NFS 共有の作成が実行できるファイルサーバが使用できます。</p>
KAIA00256-I	<p>No file server that can be used in the infrastructure group was found. The resource groups of HDP/HDT pools assigned to the file server are not specified in the infrastructure group.</p> <p>インフラストラクチャグループで使用できるファイルサーバがありません。ファイルサーバに割り当てられている HDP/HDT プールのリソースグループがインフラストラクチャグループに指定されていません。</p>
KAIA00257-I	<p>No file server that complies with the specified storage profile was found. The resource groups of HDP/HDT pools allocated to the file server must comply with the prerequisites of the storage profile.</p> <p>指定したストレージプロファイルに合致するファイルサーバがありません。ファイルサーバに割り当てられている HDP/HDT プールがストレージプロファイルの前提条件に合致する必要があります。</p>
KAIA00258-I	<p>No file system was found in the storage pool. A file system must be created in Device Manager.</p> <p>ストレージプールにファイルシステムがありません。Device Manager で、ファイルシステムを作成する必要があります。</p>
KAIA00259-I	<p>The specified file system (server/cluster ID = {0}, EVS ID = {1}, file system = {2}) was not found. Revise the selected file system.</p> <p>0: server or cluster ID 1: EVS ID 2: file system name</p> <p>指定したファイルシステム (サーバ/クラスタ ID : {0}, EVS ID : {1}, ファイルシステム : {2}) がありません。ファイルシステムの選択を見直してください。</p> <p>0: サーバまたはクラスタ ID</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	1: EVS ID 2: ファイルシステム名
KAIA00260-I	No available file system was found. The file system must be in Mounted state. 使用できる状態のファイルシステムがありません。ファイルシステムは Mounted 状態である必要があります。
KAIA00261-I	The specified CIFS share or NFS export is already being used in EVS. You cannot specify a CIFS share or NFS export that is already in use. 指定した CIFS 共有または NFS 共有はすでに EVS で使用されています。すでに使用されている CIFS 共有または NFS 共有は指定できません。
KAIA00262-I	Part of the specified path is already being used by the file system. To use a file system that is already being used, explicitly specify the file system. 指定したパスの一部はすでにファイルシステムで使用されています。すでに使用中のファイルシステムを使用するには、ファイルシステムを明示的に指定してください。
KAIA00263-I	No storage pool in a valid configuration can be found. When the HDP/HDT pool is used as a storage pool and also used for other purposes, it is not available. 使用できる構成であるストレージプールがありません。ストレージプールを構成している HDP/HDT プールがほかの用途にも使用されていると使用できません。
KAIA00264-I	The specified EVS (server/cluster ID = {0}, EVS ID = {1}) was not found. Update the selected EVS. 0: server or cluster ID 1: EVS ID 指定した EVS(サーバ/クラスタ ID : {0}, EVS ID : {1})がありません。EVS の選択を見直してください。 0: サーバまたはクラスタ ID 1: EVS ID
KAIA00265-E	Cannot run a Device Manager create file share task. (Device Manager task name = {0}, Device Manager error message = {1}) [Cause] An error occurred in the Device Manager task. [Action] Resolve the problem according to the Device Manager error message. From Device Manager, check the status of the Device Manager task related to the Automation Director task, and delete unnecessary file share as needed. Then, try the operation again. 0: Device Manager task name 1: Device Manager message Device Manager のファイル共有作成タスクを実行できませんでした。(Device Manager タスク : {0}, Device Manager エラーメッセージ : {1}) [原因] Device Manager によるタスク実行でエラーが発生しました。 [対処] Device Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き、Device Manager の画面で、Automation Director タスクに関連する Focus タスクの状態を確認し、必要に応じて不要なファイル共有を削除した上で、サービスを再度実行してください。 0: Device Manager タスク名 1: Device Manager メッセージ
KAIA00266-E	This topology refers to an unsupported configuration. [Cause] The number of local copy generations exceeds the maximum value. [Action] Refer to the Device Manager manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] ローカルコピーの世代数が最大値を超えています。

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] 詳細については Device Manager のマニュアルを参照してください。</p>
KAIA00267-E	<p>This is the topology of an unsupported configuration. [Cause] This configuration includes storage that does not support the specified topology. [Action] Check the Automation Director manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] この構成には、指定したトポロジーにサポートしていないストレージシステムが含まれています。 [対処] 詳細については Automation Director のマニュアルを確認してください。</p>
KAIA00268-E	<p>This is the topology of an unsupported configuration. [Cause] This configuration is a combination of a storage device that remote copy does not support. [Action] Check the Device Manager manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] この構成は、リモートコピーがサポートしていないストレージシステムの組み合わせです。 [対処] 詳細については Device Manager のマニュアルを確認してください。</p>
KAIA00269-E	<p>This is the topology of an unsupported configuration. [Cause] This configuration is a combination of remote copy and local copy of the cascade that is not supported. [Action] Check the Device Manager manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] この構成は、リモートコピーとローカルコピーのカスケードがサポートしていない組み合わせです。 [対処] 詳細については Device Manager のマニュアルを確認してください。</p>
KAIA00270-E	<p>A volume exists that is not available in this topology. [Action] Register all volumes that make up the topology to the available resources group. このトポロジーには利用できないボリュームが存在します。 [対処] トポロジーを構成するボリュームをすべて利用できるリソースグループに登録してください。</p>
KAIA00271-E	<p>The volume, host group, storage port, and DP pool do not belong to the same resource group (StorageSystem={0}, Volume={1}). [Action] Ensure the individual paths for each are set to the same resource group. 0:Storage system 1:Volume ボリューム、ホストグループ、ストレージポート、および DP プールが同じリソースグループに属していません。(ストレージシステム: {0}, ボリューム: {1}) [対処] 個々のパスが同じリソースグループに属するように設定してください。 0:ストレージシステム</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	1:ボリューム
KAIA00272-E	The topology contains the basic volume (StorageSystem={0}, Volume={1}). [Action] Review and verify the configuration topology. 0:Storage system 1:Volume トポロジーに基本ボリュームが含まれています。(ストレージシステム : {0}, ボリューム : {1}). [対処] トポロジーの構成を見直してください。 0:ストレージシステム 1:ボリューム
KAIA00273-E	Failed to get topology details (message={0}). 0: message トポロジーの詳細情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0}) 0: メッセージ
KAIA00274-E	Failed to get topology (message={0}). 0: message トポロジーの情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0}) 0: メッセージ
KAIA00275-E	Failed to get a pair definition (message={0}). 0: message ペア定義情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0}) 0: メッセージ
KAIA00276-E	Failed to get a pair definition (message={0}). 0: message ペア定義情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0}) 0: メッセージ
KAIA00277-E	Failed to get a copy group (message={0}). 0: message コピーグループ情報を取得できませんでした。(メッセージ : {0}). 0: メッセージ
KAIA00278-E	The specified topology information cannot be found. [Action] Review and verify the parameters ({0}). 0:parameter 指定されたトポロジー情報が見つかりませんでした。 [対処] パラメータを見直してください。({0}) 0:パラメータ
KAIA00279-E	This is the topology of an unsupported configuration. [Cause] This type of topology is not supported. [Action] Check the Automation Director manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] サポートしていない型のトポロジーです。 [対処] 詳細については Automation Director のマニュアルを確認してください。
KAIA00280-E	An error occurred while running a task. [Cause] The specified volume is not registered in Device Manager. (Device Manager={0}, model={1}, serial number={2}, LDEV ID={3})

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[Action] Make sure the specified volume is registered in Device Manager, and then try again. 0: hdvmName 1: model 2: serialNumber 3: LDEV ID タスク実行でエラーが発生しました。</p> <p>[原因] 指定したボリュームは Device Manager に登録されていません。(Device Manager : {0}, モデル : {1}, シリアル番号 : {2}, LDEV ID : {3})</p> <p>[対処] 指定したボリュームが Device Manager に登録されているか見直し、サービスを再実行してください。 0: HD v M 名 1: モデル 2: シリアル番号 3: LDEV ID</p>
KAIA00281-E	<p>This is the topology of an unsupported configuration. [Cause] Local copy is a cascade configuraration. [Action] Check the Device Manager manual for additional information. サポートしていない構成のトポロジーです。 [原因] ローカルコピーがカスケードしています。 [対処] 詳細については Device Manager のマニュアルを確認してください。</p>
KAIA00282-E	<p>The response value from the Replication Manager REST API is invalid. (value = {0}) 0: value Replication Manager REST API の返却値が不正です。(値 : {0}) 0: 値</p>
KAIA00283-E	<p>The specified topology information cannot be found. [Action] Review and verify the parameters (ldevId={0}, displayArrayType={1}, serialNumber={2}). 0:Ldev Id 1:Model Name 2:serialNumber 指定されたトポロジー情報が見つかりませんでした。 [対処] パラメータを見直してください。(LDEV ID : {0}, モデル名 : {1}, シリアル番号 : {2}) 0:LDEV ID 1:モデル名 2:シリアル番号</p>
KAIA00284-E	<p>A valid topology type parameter is not specified. [Action] Review and verify the parameters. 有効なトポロジー種別のパラメータが指定されていません。 [対処] パラメータを見直してください。</p>
KAIA00285-I	<p>FileSystemSelect Information : {0} 0: message ファイルシステム選択情報 : {0}</p>


メッセージ ID	メッセージの内容
	0: メッセージ
KAIA00286-E	<p>The topology contains an unsupported copy type. (Copy Group Name = {0}).</p> <p>[Action]</p> <p>Check the status of the copy group. Check the Automation Director manual for additional information.</p> <p>0: Copy Group Name</p> <p>トポロジーにサポートしていないコピー種別が含まれています。(コピーグループ名 : {0}).</p> <p>[対処]</p> <p>コピーグループの状態を確認してください。詳細については Automation Director のマニュアルを確認してください。</p> <p>0: コピーグループ名</p>
KAIA00287-E	<p>The configuration of the copy group pair is not the same (Copy Group Name = {0}).</p> <p>[Action]</p> <p>Check the Device Manager manual for additional information.</p> <p>0: Copy Group Name</p> <p>コピーグループ内のペアの構成が不一致です(コピーグループ名 = {0}).</p> <p>[対処]</p> <p>詳細については Device Manager のマニュアルを確認してください。</p> <p>0: コピーグループ名</p>
KAIA00288-E	<p>A configuration file using the VLDEV ID already exists. (pmsName={0}, instanceNo={1}, copyGroupName={2}).</p> <p>[Action]</p> <p>See the Device Manager manual for additional information.</p> <p>0:Pair Management Server Name</p> <p>1:Instance No.</p> <p>2:Copy Group Name</p> <p>仮想 LDEV ID を使用した構成ファイルがすでに存在します。(ペア管理サーバ名 : {0}, インスタンス番号 : {1}, コピーグループ名 : {2})</p> <p>[対処]</p> <p>詳細については Device Manager のマニュアルを確認してください。</p> <p>0:ペア管理サーバ名</p> <p>1:インスタンス番号</p> <p>2:コピーグループ名</p>
KAIA00289-E	<p>Unable to obtain data from Replication Manager.</p> <p>[Cause]</p> <p>An error occurred in the API execution.</p> <p>[Action]</p> <p>Resolve the problem according to the Replication Manager error message and then retry the operation. (message of Replication Manager={0})</p> <p>0: message</p> <p>Replication Manager から情報を取得できませんでした。</p> <p>[原因]</p> <p>API 実行でエラーが発生しました。</p> <p>[対処]</p> <p>Replication Manager のエラーメッセージに従って障害の原因を取り除き再度実行してください。(Replication Manager メッセージ : {0})</p> <p>0: メッセージ</p>
KAIA00290-E	<p>The topology includes incorrect information.({0}={1},message={2})</p> <p>[Action]</p> <p>Choose another topology.</p> <p>0:Section</p> <p>1:name</p> <p>2:message</p> <p>トポロジーに不正な情報が含まれています。({0} : {1}, メッセージ : {2})</p>

メッセージID	メッセージの内容
	<p>[対処] 別のトポロジーを選択してください。 0:セクション 1:名前 2:メッセージ</p>
KAIA00291-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task. [Cause] The switches connected to the specified hosts are not found. (hosts={0}, host ports={1}) [Action] Revise the Fabric Settings and check that the specified host is managed by the switch management server. 0: hosts 1: host ports Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定したホストに接続されたスイッチが見つかりません。(ホスト: {0}, ホストポート: {1}) [対処] ファブリック設定を見直してください。スイッチ管理サーバが指定したホストを管理していることを確認してください。 0: ホスト 1: ホストポート</p>
KAIA00292-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task. [Cause] The information for the switches connected to the specified hosts is invalid. (hosts={0}, host ports={1}) [Action] Update the switch management server information as needed and ensure that the information is consistent and not managed in a duplicate entry. 0: switches or fabrics 1: ports Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。 [原因] 指定したホストのスイッチ情報が不正です。(スイッチまたはファブリック: {0}, ポート: {1}) [対処] 必要に応じてスイッチ管理サーバの情報を更新し、サーバ間で不整合や重複管理が無いか確認してください。 0: スイッチまたはファブリック 1: ポート</p>
KAIA00293-E	<p>No available port was found. (volume usage = {0}) [Cause] No switches connected to the ports match the specified criteria. ({1}) [Action] To resolve this issue: -Register ports and the host group or the iSCSI target numbers to the resource group in the infrastructure group. - Verify the specified port criteria and the criteria listed in the Submitted Data or Log in the Task Details window. - Verify that the storage ports matching the specified criteria are connected to the switches in the switch management servers. - Verify that the user connected to Device Manager has the Modify permission for the ports that match the port {2} criteria. (join type = {4}, specified criteria = {5}, storageports = {3}) 0: volumeUsage</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>1: storageInfo 2: criteriaAttr 3: storage ports 4: joinType 5: criteria</p> <p>利用できるポートが見つかりません。(ボリューム用途 : {0})</p> <p>[原因] 指定条件を満たすポートに接続するスイッチがありません。({1})</p> <p>[対処] この問題を解決するためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポート、ホストグループ番号または iSCSI ターゲット番号をインフラストラクチャグループ内のリソースグループに登録してください。 ・タスク詳細画面の入力やログのタブで、指定したポートの条件およびそのほかの指定条件を見直してください。 ・指定条件を満たすストレージポートがスイッチ管理サーバのスイッチに接続されていることを確認してください。 ・Device Manager 接続ユーザーが、{2}条件を満たすポートに対して Modify 権限があることを確認してください。 <p>(結合種別 : {4}, 指定条件 : {5}, ストレージポート : {3})</p> <p>0: ボリューム用途 1: ストレージ情報 2: 条件属性 3: ストレージポート 4: 結合種別 5: 条件</p>
KAIA00294-E	<p>Cannot generate a Device Manager volume allocation task.</p> <p>[Cause] The switches connecting the specified hosts and the storage systems matching the specified storage profile are not found. (usage={0},hosts={1}, storage ports={2})</p> <p>[Action] Revise the Volume Settings and the Fabric Settings as needed and verify that the specified hosts are managed by the switch management server and that the hosts have connected to the same storage system that matches the conditions.</p> <p>0: usage 1: hosts 2: storage ports</p> <p>Device Manager のボリューム割り当てタスクを生成できませんでした。</p> <p>[原因] 指定したホストと、指定したストレージプロファイルに合致するストレージシステムに接続するスイッチが見つかりません。(用途 : {0}, ホスト : {1}, ストレージポート : {2})</p> <p>[対処] 必要に応じてボリューム設定とファブリック設定を見直してください。スイッチ管理サーバが指定したホストを管理しており、ホストが条件に合う同一のストレージシステムに接続されていることを確認してください。</p> <p>0: 用途 1: ホスト 2: ストレージポート</p>
KAIA00295-W	<p>Two or more switches are connected to the specified hosts. (switches or fabrics={0}, ports={1})</p> <p>0: switches or fabrics 1: ports</p> <p>指定したホストに複数のスイッチが接続されています。(スイッチまたはファブリック : {0}, ポート : {1})</p> <p>0: スイッチまたはファブリック 1: ポート</p>

メッセージID	メッセージの内容
KAIA00296-W	<p>The specified VSM does not exist. (Model={0}, Serial No.={1}, Virtual Model={2}, Virtual Serial No.={3})</p> <p>[Cause] Information in Device Manager about the storage system might be old, or the storage system has been deleted.</p> <p>[Action] From Device Manager, refresh the storage subsystem. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the support center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0: Model 1: Serial No. 2: Virtual Model 3: Virtual Serial No.</p> <p>指定された VSM は存在しません。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, 仮想モデル : {2}, 仮想シリアル番号 : {3})</p> <p>[原因] 操作対象のストレージシステムは Device Manager での情報が古いかあるいは削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] Device Manager からストレージシステムを更新してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号 2: 仮想モデル 3: 仮想シリアル番号</p>
KAIA00297-W	<p>The storage system target does not exist.</p> <p>[Cause] Information in Device Manager about about the storage system might be old, or the storage system has been deleted.</p> <p>[Action] From Device Manager, refresh the storage subsystem. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the support center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>操作対象のストレージシステムが存在しません。</p> <p>[原因] 操作対象のストレージシステムは Device Manager での情報が古いかあるいは削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処] Device Manager からストレージシステムを更新してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口ご連絡してください。</p>
KAIA00298-W	<p>Failed to create a host group/iSCSI target.</p> <p>[Cause] There is no free host group number/iSCSI target number in the resource group.</p> <p>[Action] Make sure that there are enough free host group numbers/iSCSI target numbers in the resource group. Register additional host group numbers/iSCSI target numbers to the resource group or virtual storage machine, or refresh the storage system from the Device Manager window, and then try the action again.</p> <p>ホストグループ/iSCSI ターゲットが作成できません。</p> <p>[原因] リソースグループにホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号の空きがありませんでした。</p>

メッセージ ID	メッセージの内容
	<p>[対処]</p> <p>リソースグループ内にホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号の空きが十分にあることを確認してください。リソースグループまたは仮想ストレージマシンにホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号を追加登録するか、Device Manager の画面からストレージシステムを更新した上で、再度実行してください。</p>
KAIA00299-W	<p>The host group/iSCSI target does not exist. (Model={0}, Serial No.={1}, Port ID={2}, host group number / iSCSI target number={3})</p> <p>[Cause]</p> <p>Information in Device Manager about the host group/iSCSI target might be old, or the host group/iSCSI target has been deleted.</p> <p>[Action]</p> <p>From Device Manager, refresh the storage subsystem. If the error occurs repeatedly, detailed investigation is required to determine the cause and to resolve the problem. Contact the support center, who may ask you to collect troubleshooting information.</p> <p>0: Model 1: Serial No. 2: Port ID 3: HSD ID/iSCSI Target ID</p> <p>操作対象のホストグループ/iSCSI ターゲットが存在しません。(モデル : {0}, シリアル番号 : {1}, ポート ID : {2}, ホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号 : {3})</p> <p>[原因]</p> <p>操作対象のホストグループ/iSCSI ターゲットは Device Manager での情報が古いかあるいは削除されたおそれがあります。</p> <p>[対処]</p> <p>Device Manager からストレージシステムを更新してください。エラーが繰り返し発生する場合には、原因究明と問題の解決には、詳細な調査が必要です。障害情報を収集し、障害対応窓口に連絡してください。</p> <p>0: モデル 1: シリアル番号 2: ポート ID 3: ホストグループ番号/iSCSI ターゲット番号</p>
KAIA00300-E	<p>This topology refers to an unsupported configuration.</p> <p>[Cause]</p> <p>The Secondary Storage System is not virtualized.</p> <p>[Action]</p> <p>Update the selected topology.</p> <p>サポートしていない構成のトポロジーです。</p> <p>[原因]</p> <p>副ストレージシステムが仮想化されていません。</p> <p>[対処]</p> <p>選択したトポロジーを更新してください。</p>
KAIA00302-E	<p>The topology includes snapshot groups named "{0}".</p> <p>[Action]</p> <p>The operation contains cascadable snapshot group is not supported.</p> <p>0:Snapshot Group Name</p> <p>トポロジーにカスケード可能スナップショットグループ "{0}" が含まれます。</p> <p>[対処]</p> <p>カスケード可能スナップショットグループを含む操作はサポートしていません。</p> <p>0:スナップショットグループ名</p>

 株式会社 日立製作所

〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号
